津山松平藩町奉行日記　二十一

凡例

一、本書には、津山郷土博物館に所蔵する愛山文庫から、「町奉行日記」享和三年正月～十二月を収録した。

一、本文の表現は、つとめて原文の形にそうようにしたが、読解の便宜を図って、つぎの点に留意した。

1　平出・欠字は、省略した。

2　漢字は、原則として常用漢字（人名用漢字を含む）に改めたが、他は正字体とした。

3　誤字・脱字と思われる場合は、右傍らに（ママ）と注記した。なお、誤字ではあるが、沙駄・留主・算様・百性・小性については筆者が常用としており、煩雑さを避けるため、注記しなかった。

4　近世期一般に慣用されていた左記のような文字・用語等は、そのまま記載した。

体（てい）　扣（ひかえ）　曖（あつかう）　欺（か）　喧嘩（けんか）　音物（いんもつ）　稠敷（きびしく）　又候（またぞろ）　与（と）　風　颪（おろし）　躬（せがれ）　麁（そ）　挙（かせぐ）　糀（こうじ）　綺（いろう）

5　変体がなは、原則としてひらがなに改めたが、助詞等に用いられている、而(て)、江(え)、者(は)、茂(も)、与(と)及び片仮名のニ、并は、小活字で示した。

6　訂正・削除がある場合、消された文字の左側に見消記号(〻)を付し、右側に訂正の文字を記した。また、消された文字が不明の場合はその文字を■で示した。

7　虫損・破損などで解読できない文字は、字数を推定して［　］で括り虫損・破損によらない場合は、右傍らに（不詳）と注記した。

8　日記の表紙・奥書等は、その部分を□で囲み、（表紙）のように注記した。

9　日記の天の小口には小見出しの付箋が貼られており、はがれて各丁の綴じ目に挟んであるものも多いが、元の場所に残っていて文字を記してあるものは、その箇所に○○として示した。

10　記載を配慮すべき地名・固有名詞は□□のようにした。

一、本資料中に、封建的身分差別を表現する名辞・賤称が認められるが、事実に基づく科学的な歴史研究を進める立場から、これらをそのまま揚げた。もとより我々は、この不当な差別を容認するものではなく、科学的な歴史認識を通じて差別と差別意識の根絶にいたることを望んでいる。読者においても、この立場を理解し、この資料を正しく利用されることを期待する。

一、本書の翻刻は小島徹・梶村明慶・杉井万里子が分担し、編集は小島が担当した。

享和三癸亥年

町奉行御用日記　（表紙）

五十六　増児右門

「享和三癸亥年

町奉行御用日記　（中表紙）

五十六　増児右門」

享和三癸亥年　正月　大

月番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　大橋十太夫殿

大目附　佐々木主馬

大年寄　玉置六郎左衛門

諸吟味　宮田喜左衛門

正月元丁卯旦　曇少時雨

一有役之面々卯ノ中刻惣登城於黄帝之間御礼被為請紫陽花之間御縁座敷銘々之於席々御奏者番以下何茂太刀折紙振之御礼申上之御流頂戴之其所へ大御番組御時服之御目録持参請取之頂戴仕退出仕候事

一御奏者番ゟ御小性頭迄ハ紫陽花之間御敷居内ニ太刀を振り御敷居外ニ而御礼申上ル大目附ゟ小従人頭迄ハ御敷居外御縁座敷ニ太刀を振り中之御畳目ニ而御礼申上ル物頭ゟ御使番格迄ハ中之御畳目ニ太刀を振り御障子際之御畳目ニ而御礼申上候事御縁座敷一間半之間を三段之御定也御流頂戴之席ハ何茂同様ニ而御挨拶之御小性ハ紫陽花之間之内御敷居際也

一御用人以上ハ柳之間也番外ゟ小従人組迄ハ松之間群居銘々前に太刀折紙置之御礼申上畢而御流頂戴計ニ紫陽花之間御縁座敷へ相廻候事大役人ハ松之間南御縁座敷群居弐本入扇子箱前ニ差置番外と一緒ニ御礼申上之畢而御流頂戴ニ罷出候事

右御規式畢而三奉行一同御用所へ罷出上席格式ゟ年頭之御祝詞申上候段申上之末席ゟ引取引懸ケ大目附へ及挨拶候事

但御留主年者公私之御挨拶并年頭御祝詞申上候事ニ候付伊左衛門心得違公私之御挨拶申述候者間違之事也為心得記置

候

一明二日八時ゟ大年寄札元共ニ年頭逢可申候間罷出候様大年寄へ申達候但例歳五日ニ謁来候得共御用日半日ニ相成差支候故右之通申達候

一町人共来ル三日登城ニ付名面書中奥目附へ差出御門通行并献上もの被相通候様及通用置候

正月二日　晴

一早朝大年寄月番罷出町方御静謐之旨相届候

一無役之面々卯中刻登城御礼被為請候当役御用初ニ付五半時登城太守様御用所へ被為入三奉行御蔵奉行御金奉行御代官一同ニ御用所へ罷出二重ニ烈居仕上席当役ゟ何茂御用初御祝義申上候段述之続而町方御静謐之旨申上之郡代郷中御静謐之旨申上之末席ゟ順々ニ引取引懸ケニ大目附役所ニ而不相替御用初恐悦之上及挨拶引取畢而焼火之間ニおゐて御酒御吸物頂戴之仕諸事御嘉例之通無滞相済御用所退出後引取候事

但例歳ハ一烈ニ南北へ折曲り罷出町奉行郡代御静謐申上候節者少し進ミ出申上来候所当年者太守様被為入候ニ付二重並ニ罷出候ニ付其儘ニ而申上候事○焼火之間ニおゐて御酒頂戴之節ハ中奥目附も罷出何茂席順ニ着座仕候

一八時揃ニ而大年寄札元久山勘八諸吟味迄年頭謁ス諸事旧格之通無滞相済

○蔵合孫左衛門一人不参其余ハ不残罷出候○大年寄之節ハ下役小頭計出席札元江者大年寄諸吟味出席○札元ハ多人数ニ付勘八迄二タ切ニ差出盃相済候ものハ済次第壱人ツヽ為引取候事

一御蔵米六拾匁五分　町米五拾六匁五分

正月三日　晴風

一隠居之面々并市郷御礼被為請御用所五時登城出仕之面々五半時揃依之町人共五時登城申達候当役郡代同刻登城

△町人共并差上物御門通行前以中奥目附へ相達置候事故相済候得共持夫之人足通行不相成由ニ而中奥目附ゟ割場中間被申付冠木御門ニ而受取候由ニ付右持夫之中奥目附へ申達候事但右差上ものハ其所之小使相頼御礼席之次まて差出させ夫ゟ銘々受取前ニ差置候先格也

△町人共相揃候得者名面書小使を以差出候ニ付虎之間御縁座敷小使部屋ニ溜居候ニ付相越大年寄共呼出し揃不参相改候上ニ而名面書御奏者番へ差出候

△大年寄札元大庄屋ハ旧格松之間外落縁ニ打込ニ東を上席として横へ列居候処当年ゟハ上席東之方半分ニ町人共西半分ニ大庄屋共と分別を付群居候様御奏者番小須賀貢差図ニ付左之通群居申付候

大年寄　小三折壱束　蔵合孫左衛門　同　川口藤左衛門　同　玉置忠四郎
同　三束　町惣代右同人
松之間　同　壱束　玉置六郎左衛門　同　山本三郎左衛門　同　山本三右衛門
外落縁始此列居　同　武田七郎兵衛　同　妹尾平兵衛　同　見習　三船清右衛門
同　茂渡庄右衛門　同　茂渡藤右衛門　同　久山勘八

大庄屋共右同様群居

御奏者番中大年寄札元大庄屋と披露有之候而勘八義ハ札元ニ

こもり居候事

△藤之間御縁座敷紅葉之御杉戸入口ニ南向ニ西ゟ東へ御使番両人中奥目附壱人町奉行郡代同添役と順ニ相詰候事

△金鶯之間　　町医師　　高畠生斎

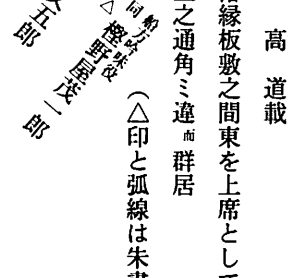
南御敷居之内　　差上物　　渡部玄端

如此列居　　無之　　北山修伯

但東を上として　　跡見青鷗

高　道載

△諸吟味御用達御蔵元共裏中之口落縁板敷之間東を上席として二人ツ、竹之間御杉戸へ向ヒ三重ニ左之通角ミ違而群居



（△印と弧線は朱書）

右之通三ケ所共くり込座席相定候上又為引込休息申付置相始候節呼出候事

右之通斎藤孫右衛門ハ御咎中其余北山修斎当病其外ハ相揃候右畢而勝手次第引取候様申達候

一御奏者番小須賀貢ゟ大年寄共両人江雉子三羽ツ、被下之候間其段申達候様被相達役所へ呼出左之通申達候尤雉子ハ小勘者ゟ役宅へ相廻り相渡候

例年之通雉子三羽ツ、　　蔵合孫左衛門

被下之候　　玉置六郎左衛門

一御用日ニ付三奉行一同御用所へ罷出当役申上候御用向無之候

一明四日四時御供揃ニ而御褒(ママ)束御駕籠ニ而四ケ寺へ御参詣被仰出候旨中奥目附渥美源五郎ゟ通用有之大目附へ相尋候所去六月十二日御初入初而御褒(ママ)束ニ而御参詣被成候通之振合ニ諸事取計候様被申聞候ニ付左之通相触候

一大年寄共へ御道筋掃除井辻堅町役差出可申候

一小頭江麻上下着用御先払差出候様申付ル

一今晩之御謡初井来ル六日寺社御礼之節御近例之通不及罷出哉之旨大目附へ相尋候処不及登城旨被申聞候

一大目附佐々木主馬ゟ左之通従公儀被仰出候間三役申談之上考付差出候様被申聞候右書状要用之所計写置候

当秋諸国出水之砌酒造半石減之義申渡候処最早不及其儀候之間定例之通酒造可致候元来酒之義者造穀高少く候而も敢而差支無之事候処令ニ拘り候米穀を潰候段畢竟ハ無益之儀ニ付酒造米高之内十分一役米可差出候其向寄々被積置諸民御手当筋ニ可被当行候委細之儀ハ御勘定奉行江可被談候

十二月

正月四日　快晴

一四時御供揃ニ而三ケ寺へ御仏参被成御褒(ママ)束御出ニ付御先払嘉七庄蔵麻上下ニ而差出候所無滞相済候段届出候尤御道筋(ママ・以下記載)

正月五日　雨

一御用日ニ付裏付上下着用例刻登城

一兵庫灘屋吉三郎ゟ油方之ものへ差越候返書昨晩喜左衛門差出右ハ

久世清次を正月十二日ニ御呼出ニ相成候由尤大坂油屋共ハ相手不取久世清次を相手取願付候趣并清次義油を大坂へ相廻候様ニ相巧候故菜種買集石数減候様可成行旨之書状を認吉三郎方へ差越候様案詞差越候併早春御登坂ニ候ハヽ夫ニも及間敷当所之義ハ不正之取計無之候得者申披ハ可相立旨申越候書面ニ而左而已当所之為ニ可相成書面とも不相見候得共御用番中へ差出候同十一日喜左衛門へ返ス

一六車堅益御箱訴旧臘廿八日御渡ニ付不及御取上旨致附紙大目附へ致返達候勿論当所徘徊住居等仕度歎也

一新魚町紙屋元吉借屋住佐助被盗もの届書旧臘廿八日差出置候所今日御用番中御下ケ被成大目附へ差出町触取計之

一今日左之通御役替有之候

御前様御守役御小性頭格　植木左士　物頭（御旗奉行　御長柄奉行）渡部相馬

御使番　稲垣宗兵衛　組頭　渥美源五郎

中奥目附　筧良助　御前様附　三浦伴左衛門

一江州多賀成就院使僧玄乗坊上下弐人例年通来候段新職人町松のヤ十右衛門宿切手出（四月廿五日断ニ出）病気

一安岡町小倉屋七右衛門自国受酒株去ル寛政八辰年二月二日東新町出雲屋幸吉へ貸置候段限年来候ニ付取戻し届書差出承り届

一大年寄組中牢屋三軒屋へ例歳之通昼後6年礼ニ相越候但供番栄治

正月六日　時雨夜大雪

一御蔵元惣町年寄人馬問屋大保頭目明共例歳之通五時揃ニ而年礼請之但当病左之通

戸川町平野屋助左衛門　西新町高松屋忠右衛門

中之町米屋善右衛門　勝間田町栄屋与三左衛門

橋元町山形屋藤吉　京町二文字屋嘉左衛門

二階町組屋忠右衛門　西今町直屋孫兵衛

茅町大坂屋浜吉　安岡町久米屋友七

戸川町豊屋喜兵衛　吹屋町吹屋八左衛門

船頭町美濃出屋清右衛門　鍛冶町山形屋惣兵衛

下紺屋町亀屋勘右衛門

一公儀御触大目附廻状到来大急左之通

五街道宿々困窮令難義候得共先被成方も無之間成丈失（ママ）随無之様并先触ニ以来ハ泊付いたし可差出途中ニ而川支等ニ而泊違候ハヽ追触差出候様被仰出候

正月七日　雪

一御用日并若菜御祝義申上ニ付御用所槍之間大目附三奉行計麻上下着用五半時登城於宮島之間式日之通御家老衆取合ニ而御目見申上之候畢而三奉行一同御用所へ罷出御用向申上之当役御用向無之

一兵庫灘屋吉三郎書状御用番中御戻被成宜取計候様被仰出

一京都祇園三位之御礼差出候段蔵合孫左衛門届出其段御奏者番中へ申達候

一明八日四時御供揃ニ而地蔵院泰安寺へ御仏詣被仰出御道筋例之通之旨中奥目附後藤郷助6通用有之例之通大年寄并小頭代江申達候

一林田弓之町御城代組治部藤右衛門拝領屋敷住房方へ旧臘盗賊這入衣類何角十三品被盗取候触流取計候様郡代所6伝達有之町触取計之

本書ハ差戻し

一坪井役人吉井要助ゟ例歳之通年頭之祝書来及相答候

一久世御代官重田又兵衛殿長沢貞治郎ゟ御廻米今日切ニ而積切ニ相成候ニ付引取候間右案内之書状例歳之通差越及相答候

一久世御廻米積切ニ相成候段今津屋孫十郎後家名代清六届出候段大年寄ゟも届出候

正月八日　快晴

一斎藤孫右衛門追込昨日迄ニ而廿日ニ相成候付今六半時呼出新左衛門藤四郎立合左之通申渡候

其方義追込御免被成候　斎藤孫右衛門

右取計済御用番并大目附へ紙面ニ而相届候

一地蔵院泰安寺へ御仏参被成無御滞相済候段御先払幸治岩蔵届出候

一西川役人平沢助八大谷代蔵ゟ例年之通年頭祝書来及相答候

一市村常五郎長屋住家来才兵衛義致病死候ニ付勝手次第致取置候様被相達候付其段為心得通用有之候旨大目附佐々木主馬ゟ紙面ニ而申来候

正月九日　曇夜雨

一御用日ニ付平服例刻登城申上候御用向無之

一九半時ゟ松之間中庸講尺初（ママ）ニ付麻上下着用拝聴之

一京町綿屋源七所持之古道具屋株去ル辰十一月坪井町角屋喜八へ貸置候処此度取返候段届書差出候

一橋本町後藤屋左市持来候古道具屋株当亥正月ゟ来ル卯十二月迄五ヶ年之間下紺屋町原田屋茂吉へ貸渡度願承り届

一明十日四時御供揃ニ而地蔵院へ御仏詣被仰出候段中奥目附後藤郷助ゟ通用有之候ニ付大年寄へ例之通元魚町二階町へ辻堅差出候様ニ申達ス

正月十日　晴

一御蔵米六拾目　町米五拾六匁

一御代官大坂谷町池田仙九郎殿手附奥野右源太手代上野戸作ゟ去戌年中之銭相場書取ニ来例歳之通拙者奥印ニ而差遣候但去年中銭相場平均百四文也

一勝山役人榊原九郎左衛門尾崎小右衛門ゟ例歳之通年頭之祝書来及相答候

一生野御代官布施孫三郎殿手代渡部円次ゟ添簡ニ而孫三郎殿預り所当国東北条郡青木村（「青柳」の誤りか）勘三郎ゟ美濃職人町蔦屋伝十郎へ杉皮売渡候処代銀百拾壱匁壱分差滞候ニ付致出訴候段添簡指越候ニ付右伝十郎義他参留申付置候様大年寄へ申達置候尤及深更候事故明日出仕之上可及御沙駄候

正月十一日　晴

一御用日登城

一生野ゟ出訴之趣昨夜記置候通御用番中へ申上候所済方取計筋立候上ニ而又々相伺候様御差図有之候尤大目附へも達置候

一深信院様（桜藩主康哉の別称）明十二日泰安寺妙法寺へ薗田町通御仏詣有之候段種村登門ゟ通用有之候ニ付大年寄へ掃除小頭代江御先払之義申達候

一二町目伏見屋茂七義借金出入ニ付郡代所へ訴候処内済相整候ニ付申渡有之候間差出候様郡代所ゟ申来大年寄へ申付候

一七時ゟ大年寄諸吟味小頭代部屋目附助役立合左之通申渡候但新左衛門不参断

一杉皮代滞り青柳村勘三郎出訴之趣　美濃職人町蔦屋伝十郎相糺候所無相違旨ニ付今明日中ニ急度済方取計候様申渡候

一出訴之趣相糺候所無相違旨ニ付　東北条郡青柳村勘三郎急ニ済方いたし候様申付候筋立候ハヽ早々可申出候

一牢舎人無宿周蔵義今日迄二廻り療治相済候得共未相勝候ニ付明日ゟ中島宗元江療治申付候段双方ゟ届出候同廿五日休薬申出候

一兵庫灘屋吉三郎返書去ル五日御用番中へ差出置候所去ル七日御下ケ被成今日喜左衛門へ相返し候尤向方ゟ案詞差越久世清次義邪魔ニ相成趣申遣候様申来候所御用所ニ而も不差遣方可然哉之旨丹後殿御申ニ付喜左衛門へ相尋候所勿論油方之ものも不差遣候心得ニ而罷在候旨申聞候

正月十二日　曇

一深信院様御仏参御先払為治幸治差出候所無御滞相済候段届出候

一播州広峯天王神主魚住蔵人ゟ例年之通年頭祝書来及相答候

正月十三日　晴

一御用日登城申上候御用向無之

一造酒屋共ゟ十分一米御取揚被成候公儀御触去ル三日被仰出三役申談今日伺書大目附へ差出

一二町目伏見屋茂七義桑原村甚蔵藤助へ取替銀礼差滞去戌十月廿五日致出訴郡代所江相廻置候所致内済候付願下ケ願書差出承り届

一福渡町皆木屋甚助妻去戌九月十四日出奔届有之候処今五十日日延願差出し承り届同二月十五日除断

一大熊殿小者部屋紛失もの吟味ニ倉敷へ目明孫兵衛指遣候入用四匁三分五厘六毛之受取証文小頭差出奥印取計之

一林田町辰野屋喜助ゟ去ル七日触流有之候林田弓之町房被盗ものニ似寄候単(ママ)物壱ツ質物ニ取置候段届書指出右房義者御城代組渡り屋敷居住之ものニ付大目附へ差出し房指遣し被相糺候様ニ申達候

一林田弓之町房被盗もの去ル七日触流し有之候品ニ似寄候もの六品中之町藁屋兵蔵方ニ質ニ取居候由届書指出右同断ニ付大目附へ差出候

一生野ゟ添簡持参青柳村勘三郎義美濃職人町蔦屋伝十郎へ相懸り杉皮代差滞出訴一昨日済方申付置候所致内済以後申分無之旨届書指出候付承り届返書下案相認御用番中へ差出相伺置候

一明十四日四時御供揃ニ而泰安寺へ御仏詣被仰出候段中奥目附出九太夫ゟ通用有之大年寄并小頭へ例之通申達候

正月十四日　快晴

一泰安寺御仏詣ニ付御先払栄治理右衛門差出候所無御滞相済候段届出候

一生野へ之返簡伺之通宜取計候様御用番中ゟ被仰出依之右返書大年寄ゟ相渡候様ニ申渡相渡候勿論蔦屋伝十郎義他参留差免候様ニ申達ス

一勝間田町栄屋与三左衛門娘園義去戌三月土居村牛尾主鈴妻ニ差遣候所当時ハ大坂へ引越居候所病気ニ付為養生罷越候間全快仕候迄逗留為仕度願承り届

正月十五日　快晴

一初之十五日ニ付麻上下着用井御用日ニ付五半時登城於宮島之間例之通御目見申上之

但右御礼席是迄宇多四郎兵衛と両人罷出候所中之御框を隔罷出候様御奏者番演達有之候段及承右之通ニ致来候所両人ニ而ハ中之御框を不越出口ニ而も御礼被申上候御間取有之御目通中之御框を越候而ハ中座も入様子不宜候ニ付以来ハ御框を不越入口ニ而御礼申上候而も可然哉之旨御奏者番へ相尋候処初ハ右之通ニ候処其後之被仰出有之三人罷出候節ハ壱人御框を越弐人罷出候節ハ御框を不越御礼申上候様ニ被仰出候間其旨相心得候様小須賀貢太田舎人被申聞候

右畢而三奉行一同御用所へ罷出御用向申上之但当役申上候御用向無之

一大目附佐々木主馬ゟ造酒屋共之義猶又従公儀左之通被仰出候間三役申談不審之義も有之候ハヽ附紙いたし相伺候様被仰出候

一此度被仰出候酒造役拾分一米之義酒造米同位之米当分銘々酒造人共手元江囲置候様可被申付尤追而御囲所及差図候者其節右場所へ運送可被申付候

但勝手ニ付石代納相願候者其段御勘定所江可被相伺候

一御料私領其内是迄酒造役冥加等公儀江相納候分一同免除被仰付候間其段可被申渡候

一是迄領主地頭へ酒造役冥加等取立候向茂有之候者右取立米銀永高酒造人軒別ニ被書分早々御勘定所江可被相届候

戌十二月

一楢井村山伏吉祥方へ旧臘廿六日盗賊這入拾七品代ニ積四拾壱匁九分九厘程之もの被盗取触流取計候様大目附中ゟ達有之町触取計本書ハ差戻候同廿一日町方ニ廻之旨届出候

一二ノ宮龍沢寺へ去ル十二日盗賊這入五品代ニ積り百四拾六匁計之もの被盗取候触流右同断取計之右同断

正月十六日　晴風

一御具足御祝ニ付麻上下着用御徒格以上五半時惣登城於宮島之間御具足御祝御規式有之於同御間御用所大目附三奉行檜之間式日御礼之通御家老衆御取合ニ而御具足御祝義申上候段被申上候勿論檜之間衆ハ御奏者番被露也紫陽花之間迄被為入御道筋於席々群居御礼立御ニ而被為請畢而御具足御祝御用所大目附ハ役所之御縁座敷ニ而頂戴檜之間衆ハ芥子之間頂戴有役大目附格以上ハ宇治橋之間ニ而御用所坊主給仕ニ而頂戴有役小従人頭格以下ハ竹之間ニ而銘々罷出操出ニ而頂戴無役御奏者番以下不残松之間銘々格式之於御畳目頂戴之右畢而七間於廊下御小性頭謁有之御用所大目附三奉行例之通御祝頂戴之御礼申上之嫡子有之面々ハ大目附役所へ罷出御奏者番中へ悴頂戴之御礼申上之候事

一昨十五日自分具足之鏡開いたし組中牢屋三軒屋呼出近例之通差遣畢而吸物碗ふた鉢肴ニ而御酒差出畢而平小付飯家例之通差出候但小野田為治上野団助不参余ハ不残相揃候昨日之所ニ認落候ニ付爰ニ記置候

正月十七日　嵐

一御用日登城大守様御用所へ被為入三奉行一同罷出候当役申上候御用向無之

一下紺屋町年寄勘右衛門義足痛いたし候付忰磯吉へ名代為相勤度旨願出承り届

一御領分東南条郡林田村大吉夫婦并娘二人右家内四人戸川町重屋かち借屋住与助後家方へ役介（ママ）ニ引受度人別入願下方引合相済候段申出承り届

一古道具屋共例年之通仲ケ間取締帳大年寄ゟ差出

一昨十六日左之通被仰付候

大御番組　川瀬宇太夫　小従人組　藤田弥治兵衛

上勘定所詰　河合清弥

正月十八日　嵐

一勝間田町栄屋与三左衛門妹義去ル十四日願出記置候通大坂住牛尾主礼（ママ）妻ニ相成居候所病気ニ付養生ニ来居候所致病死候付与三左衛門旦那寺妙法寺ニ葬度旨願書指出尤大坂旦那寺送り茂有之疑敷義も無之実ニ無拠趣妙法寺も承知之趣ニも申出候間承り届大目附へ差支無之葬呉候様御達被下候様紙面ニ而申達御用番中江も紙面ニ而右之趣及御沙駄候

正月十九日　風烈

一御用日登城申上候御用向無之

一松之間御講釈八時過ゟ相始り御出座被遊候当役も拝聴仕候

一斎藤孫右衛門妻病死いたし候付御定式之忌服廿日引込候段届出其段御用番中并大目附へ相届候

一札元山本三郎左衛門義妻致出産候ニ付血忌引込候段届出及深更候付翌廿日朝御両所へ紙面ニ而相届

一町人共商売名前家名前相止当主名面ニ而商売いたし候様旧臘廿一日申渡候所惣町不残名前相止当主名面ニ相改候段帳面差出并古道具屋株札も三船清左衛門妹尾平兵衛福永屋林右衛門名面ニ認かへ相渡候右帳面ニ名面有之ニ付爰ニ略之

正月廿日　風烈夜雪

正月廿一日　風雪

一御用日登城申上候御用向無之

一種油壱升ニ付是迄四匁弐分売ニ候処大坂表高直ニ相成候ニ付今日ゟ四匁四分売仕候段届書指出承り届

一西今町中野屋太郎兵衛義宗永寺へ田地質入ニいたし銀札百四拾匁借り受不相払候ニ付宗永寺ゟ願書指出三浦十郎左衛門ゟ相廻り同人江対談之上廿日限ニ致内済候様ニ可申渡旨大年寄へ申渡候

一市村常五郎屋敷ニ而行倒死候雲州もの伝蔵一件懸り合之もの共伺之通宜取計候様尤明後廿三日取計候様御用番中被仰渡其段大目附へ相達夫々手配り申付置候

一先前ゟ致来惣町中ゟ同心組へ年玉として指越候銀札都合弐百七拾四匁九分有之平組八人江弐拾九匁四分六厘八毛ツヽ割渡シ小頭分三拾弐匁四分三厘三毛有之段小頭代藤四郎帳面差出候

一弓之町房被盗もの中之町蘂屋兵蔵林田町辰野屋喜助方へ房相借屋与吉と申もの質ニ置候段大目附へ相達候所房差遣糺有之候処弥房被盗候品ニ相違無之旨申出候得共右与吉相尋弥居不申百日計も過

候ハ、相渡候様ニ伺可申之旨御用番中御指図之旨大目附主馬被申聞候

正月廿二日　晴風

一明廿三日四時御供揃ニ而院庄辺へ御遠乗被仰出御道筋裏下御門ゟ京橋御門夫ゟ本町通御順路ニ筋違橋へ被為入候旨中奥目附出九太夫ゟ通用有之大年寄井小頭へ例之通取計候様申達

一御蔵米五拾九匁　町米五拾五匁

一市村常五郎長屋もの共御裁許取計ニ付明廿三日六時受人差添被差出候様申達候所才兵衛妻大病ニ付代人可差出旨申来候

一右ニ付土岐雄助長屋平三郎も同刻被差出候様ニ申遣候

一右同断ニ付小田中村和兵衛義も帳外ニ付立去り被申付候様郡代所へ申遣候

一右同断ニ付細工町久治も差出候様大年寄へ申達候

正月廿三日　快晴

一御用日登城

一豆腐直段十六文売之処十七文売仕度願御用番御済ニ付大目附へ指出御聞届申達候

但大豆五拾匁相場ニ而差引〆手間代三分三厘

一左之もの共六時呼出立合例之通左之通申渡之右取計済出仕之上御両所へ相届候

御領分立去り申付候妻子　牢舎人（市村常五郎長屋住幸三郎
之義も夫立去りニ付同様申付候　井同人妻子）

立帰り徘徊致間敷候

牢舎人（同人長屋住民治井妻子
右同　右同断喜三郎
雲州もの伝蔵市村屋敷ニ而　右同断三五郎
行倒死候一件吟味相済　右同断十五郎
何れも指構無之候此段申渡候　右同斉兵衛妻煩代権右衛門
但右取計済主人々々へも申遣候　土岐雄助長屋住平三郎
細工町久治
神戸村喜代八妻きよ）

一院庄御遠乗被為入御先払文蔵岩蔵指出候所無御滞相済候段七時過届出候

一明廿四日四時御供揃ニ而泰安寺へ御仏詣被仰出御道筋例之通之旨中奥目附後藤郷助ゟ通用有之大年寄井小頭代へ例之通申達候

一英田屋新治義明廿四日八時差出呉候様郡代所ゟ申来大年寄へ申達候

一備前邑久郡牛窓大工五郎左衛門市兵衛喜多右衛門半兵衛善助小作右六人例年之通来候段新職人町松の屋十右衛門宿切手差出十二月廿七日帰

一京町菊屋鶴吉姉かめ義御領分山北村文蔵妻ニ差遣度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一二階町組屋忠右衛門家屋敷東側ニ而表口拾三間半裏行拾七間但二軒二歩役也南隣者阿賀屋とわ北隣ハ忠右衛門持家也右家屋敷今般御銀札場ニ御買上ニ相成拾五貫目ニ相極差上度旨願書指出し承り届聞正月朔日売券状差出

一生野御代官布施孫三郎殿手代中沢良助桑名善蔵ゟ銭相場書取ニ来差遣候

正月廿四日　快晴

一台徳院様（徳川家忠）証（ママ）御忌日ニ付泰安寺へ御仏詣被遊無御滞相済候段御先払藤四郎理右衛門届出候

一石名伝蔵義御家老組相勤居候高橋伝内忰源蔵と申もの十八歳ニ相成当時近藤伊左衛門家来罷成居候ニ付右之もの番代ニ差出度旨昨日願書指出近藤伊左衛門へ懸ケ合候所差構無之段申来候ニ付右番代願承り届明廿五日目見取計候様小頭代へ申達候

正月廿五日　晴

一御用日登城之処自分義持病之頭瘡発出いたし出勤難仕ニ付三浦士を以当病御断申達候尤申上候御用向無之

一林田上之町高橋勇次郎と申組屋敷北之藪之内ニ古看板壱ツ有之候段御作事ゟ届出候間当役江引渡候様被仰達候間受取置候様大目附ゟ伝達有之候段三浦十郎左衛門ゟ申来続而御作事奉行金井長平ゟ指越受取置候

一石名伝蔵番代源蔵目見申付先格之通新左衛門藤四郎栄治立合罷出候

三本入扇子箱　　石名源蔵

一林田町香々登屋六之助借屋住新助と申もの今般割場中間ニ被召抱候ニ付人別離願出御中間頭北島唯七へ引合之上承り届

一桶屋町桶屋市右衛門役介（ママ）長蔵義今般往来中間ニ被召抱候ニ付人別離願出右同断引合之上承り届

一備前岡山小畑町鼠屋甚八忰新兵衛一人例年之通元結売ニ来候段新職人町松野屋十右衛門宿切手指出七月廿日帰

一播州今市綿屋嘉市郎一人例年之通呉服物売ニ来候段右同人宿切手指出七月廿日帰

一備中都郡（ママ）早島金田屋伝蔵手代栄八弐人例年之通うんさいもんぱ（雲斎紋羽）足袋卸売ニ来候段右同人宿切手指出七月十日帰

一郡代所ゟ甚吉と申病人送り来右ハ林田上之町ニ親類有之由ニ候処右甚吉と申もの以前京町井小性町ニ致住居候由申口ニ付右両町相糺候様申来大年寄へ申付候処翌廿六日申出候者右甚吉義ハ寛政五年京町ゟ小性町へ送り遣致除帳候旨書付差出小性町ニハ右甚吉入帳いたし候義無之同人母弟久蔵と弐人小性町ニ罷在寛政十二申年二月両人共致出奔同年五月除帳願済之由書付差出候付両通共郡代所へ相廻候

一三町目浜野屋源五郎義備前岡山久山町松原屋源兵衛方へ十五日之逗留ニ而明後廿七日出立願大年寄指出承り届閏正月十日帰

正月廿六日　晴夜雨

一御仏詣無御座候但何方ゟも通用無之候

正月廿七日　雨

一御用日登城之処拙者頭瘡ニ付当病御断三浦を以相届井御用向頼遣

一細工町大工太助忰定吉義乱心いたし候付去戌十二月五日借牢仕候処全快ニ付出牢願差出御用番御聞済ニ付大目附へ差出候由三浦ゟ申来大年寄へ申達ス

一一ノ宮村里下組小三郎方へ旧臘廿五日夕盗賊這入衣類二代拾二匁

位之もの被盗取候触流し取計候様大目附ゟ伝達有之由ニ而三浦ゟ相廻り町触取計本書ハ三浦へ差返候（同閏正月三日類之役申出候）

一大年寄玉置六郎左衛門左之通伺出伺之通宜取計候様申達候

繰綿至而下品之処中綿と相唱是迄口銭取不申候処以後ハ壱本ニ付五分つゝ口銭取可申旨伺出承り届

一林田町土手側下目附日下宇八渡屋敷ニ而博奕会合いたし居候旨註（ママ）進申出候もの有之候ニ付即刻藤四郎文蔵嘉七庄蔵利右衛門岩蔵差向候所最早逃去り老幼四五人残居候得共博奕道具も無之証拠と可致ものも無之ニ付何れも裸ニメ相改候処申分無之ニ付其儘ニメ罷帰候段届出候尤下目附渡屋敷之義ニ付翌廿八日朝大目附へ其段相届候

正月廿八日　雨

一初之廿八日ニ付大役人以上麻上下着用惣登城諸事朔望之通也然ル所拙者頭瘡ニ而難罷出三浦士を以当病御断相届候○今日ハ御痛所ニ付御礼不被為受謁ニ相成候由

一斎藤孫右衛門妻之服忌今日迄ニ而半減十日ニ相成候間明日ゟ忌御免被成候様三浦士を以御用番中へ伺済ニ付忌御免被成候間明廿九日ゟ出勤候様奉書差遣候尤大目附へ者達無之旨三浦ゟ申来候付翌廿九日大目附へ相届候

一石名源蔵今日ゟ致出番候ニ付加人御使組真北岩蔵今日ゟ指戻其段大目附へ相届候

一下目附組日下宇八渡屋敷へ昨夜同心組差向候段大目附へ相届候処向方ニ而も外目附組へ監察可申付置候間当役ニ而も無油断申付候様返書来候

一林田町臼杵築太方ニ而博奕参会風聞有之候ニ付内々大目附へ相達候

一細工町大工太助忰定吉義昼廻り栄治利右衛門ゟ出牢取計相渡候

正月廿九日　晴夜雨

一御用日登城之処自分義頭瘡未相勝三浦士を以当病御断仕并御用向頼遣候

一備前邑久郡山田村権六忰権吉夫婦二人吹屋町山城屋善左衛門引受度人別入願御用番御聞済ニ付大目附へ差出候段三浦士ゟ申来御聞届申達候閏正月七日住宅証文差出（同年二月十五日除帳）

一去戌歳中町方人別改左之通三浦士を以御用番中へ差出候

一他所ゟ引越百五拾七人　内男七拾七人　女八十人

一出生百三拾壱人　内男七十人　女六拾三人（ママ）

〆弐百八拾八人

一他所へ引越百三拾壱人　内男八拾人　女五拾壱人

一死失弐百四拾七人　内男百三拾三人　女百拾四人

〆三百七拾八人

右差引〆九拾人減

一郡代所ゟ旧牢番預ケ申付候沢田村藤兵衛多平次下田邑村川西弥八右三人出牢帰村申来出番為治差向取計之○右多平次所持之銀札弐拾壱匁四分郡代所へ相廻し受取書取置候

一牢浚申付候処無別条旨昼廻文蔵源蔵届出候

一大目附廻状到来左之通

今廿九日中庸講尺（ママ）御延引被仰出候此段及演達候

正月晦日　曇風

一昨夜更廻り藤四郎栄治幸治利右衛門為治源蔵差出候所無別条旨今朝届出候

一京都仏光寺柳馬場西へ入日野屋久五郎義用事有之来候ニ付五十日計逗留為仕度願同人弟坪井町日野屋五助差出承り届三月廿八日帰

一関貫番賃銀御定之通相渡候

閏正月　小

月番

御家老　山田主膳殿

御年寄　黒田要人殿

大目附　伊達与吉郎

大年寄　斎藤孫右衛門

諸吟味　宮田喜左衛門

閏正月朔丁酉日　快晴

一式日并御用日登城之処拙者義頭瘡不相勝三浦士を以当病御断相届候

一大坂大和屋弥三郎ゟ市郷拾壱人之ものへ相懸り芝居金三拾五両差滞去戌八月廿一日致出訴御番所ゟ御呼登之処日延願いたし置候所限日過不筋立候ニ付再出訴御番所ゟ御渡ニ而急ニ指出候様大坂長沢清左衛門ゟ相廻候由ニ而大目附伊達与吉郎ゟ被相渡候由ニ而三浦士ゟ相廻り候ニ付市郷申合急ニ罷登り筋立候様可申付旨大年寄へ申渡候

一公儀ゟ造酒屋共へ十分一役米可申付両度之御触不弁之所ニ致附紙御並方御問合有御座度先日佐々木主馬へ差出置候処其儘江戸へ相廻り候由ニ而酒運上取立之書付二冊同人ゟ被相戻運上ハ造酒米高之割合ニ而石ニ七分ツヽ取来候段御届取計候方御用所ニも思召候由佐々木主馬被申聞候由三浦ゟ申来候

一新職人町瀧本屋庄蔵借屋住作人利吉義旧臘廿八日致出奔相尋候得共行衛(ママ)不相知旨届書差出例之通百日尋申付候同四月十八日除帳

一斎藤孫右衛門申出候者甚不信用義ニ者御座候得共久米屋鶴蔵申出候者久世領久田百性致騒動三百人計致徒党津山へ罷出見世ニ而妨(ママ)いたし候得者御捨置ハ被成間敷其節添簡相願久世へ持帰り候ハヽ御取上ケ可被成旨今朔日二日頃津山へ罷出候風聞有之ニ付内々申聞候段申出候趣申出難捨置拙者義も引込中之義ニ付乍内々三浦へ申遣御存寄次第宜御計候様申遣候

閏正月二日　雨

一大坂大和屋弥三郎出訴ニ付御呼登セ之町人共西今町松田屋佐助安岡町山田屋新七小倉屋卯吉茅町浅田屋松之助四人江今朝迄ニ急ニ登坂仕候様申渡相済候段大年寄届出其段御(ママ)用番并大目附へ相届候

一当年之油年行司東新町佐伯屋与三兵衛へ申付度喜左衛門伺出承り届候

一勝間田町浜野屋伴治義因州鳥取四町目有本屋伊三郎方へ十七日之逗留ニ而明三日出立願大年寄承り届差出候二月七日帰

閏正月三日　快晴

一御用日登城之処拙者未相勝当病御断三浦士を以相届候

一宮尾村庄屋生野へ罷出候由ニ而人馬問屋へ立寄相咄候者久世御料非人多出候由ニ而江戸表ゟ隠目附弐三人参込居津山をも致監察候由風聞有之趣相咄候由人馬問屋申出候段大年寄申出若哉御心得ニ可相成義も可有之哉ニ付右之段三浦へ申遣宜御沙駄被下候由頼遣候

一二町目南側ニ而元林田屋庄右衛門家屋敷表口三間裏ニ而東西弐間弐尺四寸裏行拾七間但半役也西隣ハ林田屋あさ東隣ハ斎藤孫右衛門也右家屋敷天明元辛丑年十月林田屋庄右衛門ゟ代銀壱貫匁ニ買取候所孫右衛門役中ニ付伏見屋茂七名面ニいたし置候所今般之御改ニ付斎藤孫右衛門ニ附替度願伏見屋茂七差出承り届

一西今町小島屋孫市所持之他国受酒株去ル戌十一月西新町三原屋定七へ貸置候処此度取返し西今町中屋忠右衛門へ来ル丑ノ正月迄二ヶ年之間貸渡度願承り届

一小野田為治義指含候義有之ニ付番代願差出候様ニ小頭代藤四郎へ申達候所即刻病気引籠候段届出候

閏正月四日　曇風烈夜大雪

一江原文蔵中山勇蔵拝領屋敷地面相対替仕度旨願出承り届候処尚又江原文蔵と本島庄蔵と拝領屋敷地面相対替仕度旨願出承り届候依之替合之地面絵図相認名面相認藤四郎差出候

一安岡町一昨夜盗賊所々之壁切候ニ付目明へ監察申付候処今夕ゟ忍廻り可仕旨伺出候ニ付承り届其段御両所へ相届尤目明共非人一組召連忍廻り仕候段申達候

一小野田為治義近来病身ニ相成候付番代仕度願差出候ニ付即刻承り届御用ニ相立候もの早々願出候様ニ申付候

一萩野嘉七義風邪引込届出依之加人壱人大目附へ申立候所末沢折治来

一吹屋町糀屋与七郎義四国遍路仕度六十日計之逗留ニ而明後六日出立願大年寄指出承届三月二日帰

閏正月五日　雪

一御用日之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣

一大坂大和屋弥三郎再出訴御呼出之松田屋佐助小倉屋卯吉浅田屋松之助義未相勝出坂難仕ニ付右仲間(ヶ)(欠カ)之内山田屋新七壱人并在方ニ而ハ二ノ宮村新蔵両人為惣代明六日出立仕罷登済方仕度願書御用番御聞済ニ付右願書写ニ添状いたし今般ハ仲ヶ間之内之もの登り候義ニ付右三人之もの共病気見届一札不相廻候旨長浜清左衛門へ郡代連名ニ而申遣ス尤右書状山田屋新七へ相渡候様大年寄へ申付候

山田屋新七義三月十八日帰

一二町目伏見屋茂七忰三四郎義生野御代官布施孫三郎殿支配所当国東北条郡才之谷村弥五郎役介(マヽ)ニ差遣度人別除願御用番御聞済ニ付大目附へ差出候段三浦士ゟ申来御聞届申達候

一玉置六郎左衛門義源五兵衛と改名仕度願右同断申来御聞届申達候

一安岡町大坂屋鉄五郎岡崎屋伊兵衛方へ盗賊這入候得共紛失もの無

之届三浦士を以御両所へ差出候

一於御用所御用番黒田要人殿ゟ左之通被仰渡之候大目附出席

町奉行へ　名代　三浦十郎左衛門

無宿盗人力蔵盗相働不届之至ニ候依之五十敲之上

御領分追払被仰付候

右ニ付来ル九日取計候様郡代所ゟ申来尤申渡書も相廻り候筈也

一弓削懸ケ合ニ付掛質差別之義田中幸助へ之返書下案三浦士を以相伺置候

一新魚町樫野屋茂一郎義御国産取立之考弁書指出右之内ニも鍛冶ニ釘為拵候義并時質屋之二ヶ条者故障無之趣ニ付勘定奉行平井半平へ相談之上十郎左衛門を以御用番中へ差出候尤高雄屋藤助釘之考書も一緒ニ差出候

一江原文蔵義近辺之家へ致変宅(ヘン)候段栄治を以伺出承り届

一三船藤四郎義不快引込届出候ニ付加人壱人大目附へ申立候所真北岩蔵来

閏正月六日　快晴

一雲州大原郡立原村新蔵と申もの諸国順拝罷出紀州名草郡瀧畑村ニ而歩行不相叶同所ゟ送り出川部(ママ)村へ送り来遂吟味候処相違無之ニ付継送り申付候段郡代所ゟ通用有之継送り候様大年寄へ申達候

一安岡町山田屋新七二ノ宮村新蔵同道ニ而今朝大坂表へ致出立候段大年寄届出其段御両所へ相届候

一二町目福永屋栄三郎所持之他国請酒株去戌十月十五日坪井町万屋佐助へ貸置候処此度取戻候届書承り届

一安岡町小倉屋七右衛門所持之自国受酒株当亥正月ゟ来ル卯十二月迄五ヶ年之間坪井町万屋佐助借り受商売仕度願承り届

一二階町山手屋理兵衛家守仁兵衛借屋住福島屋甚助義去戌十二月廿一日出奔届出候ニ付百日尋申付置候処昨夜罷帰相糺候所借金ニ指詰り無拠罷出勝山在三田村平六方ニ日雇稼仕居候由申之候段届書指出先格之通無届罷出候段急度叱之上承り届候様大年寄へ申付候

閏正月七日　雪

一御用日登城之処自分義未相勝当病御断并御用向三浦士へ頼遣

一橋本町常盤屋弥太郎借屋住作人惣七義博奕為御咎夫役被仰付置候処去ル四日致病死候段届書差出其段三浦士を以御両所へ相達御作事奉行へも申達候

一明八日四時御供揃ニ而地蔵院泰安寺へ御仏詣被仰出御道筋例之通之旨中奥目附出九太夫ゟ申来大年寄并小頭代へ例之通取計候様ニ申達候

一弓削懸ケ合質物之義田中幸助へ聞合申遣候所懸ケ質と申義不相分候間委敷申越候様ニ返書差越右懸ケ質と申義ハ昨年十郎左衛門ゟ幸助へ懸合候義ニ付右十郎左衛門ゟ幸助へ懸合之文通借り写差添右再返書下案三浦士を以御用番中へ相伺候処宜取計候様被仰出候段申来候ニ付今日相認近便可相廻候

一愛染寺へ去ル二日之夕盗賊這入綿入一帯一襲銭六七百匁被盗取候触流取計候様大目附ゟ達有之候段郡代所ゟ申来町触取計本書ハ差戻候同十一日無之旨申出候

一西今町湯田屋太郎左衛門と一方構之内北村熊吉と申もの菜種買入

之義ニ付出入出来去夏願出郡代所へ懸ケ合候所内済申付度旨ニ付其段申付置候所双方熟談之上内済相整候ニ付願下ケ願書指出郡代所へ引合之上承り届

一本島庄蔵義今般替合之屋敷ニ建家有之右ハ中山百蔵自分家ニ付買取拝領屋敷ニ仕度旨願出先格之通普請八木三俵被下置候様三浦士を以大目附へ相達候所追而可申達旨挨拶有之候由申来同十二日受取相渡候

一勝間田町玉置忠四郎家守西屋要助借屋住菊屋利兵衛夫婦娘右家内三人川崎村佐七方へ引越度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一美濃職人吉田屋(町)幸助借屋住新屋惣兵衛と申者今般三浦伴左衛門へ奉公仕候ニ付人別除願承り届

一二町目福永屋栄三郎所持之他国受酒株当亥正月ゟ来ル丑ノ十二月迄丸三ヶ年之間二階町河内屋和兵衛借り受商売仕度願承り届丑十二月廿七日取戻ス

一牢舎扶持仕切証文差出九斗六升三合七勺五才返納有之又四俵之内貸証文差出先格之通奥印書取計之但右ニ而弐斗三升弐合五勺二月へ持越積り

閏正月八日　雪

一地蔵院泰安寺へ御仏詣被遊御滞無御座相済候段御先払文蔵岩蔵届出候

一明九日於牢屋無宿盗賊力蔵敲払取計候ニ付御徒目付立合被差出候様大目附へ申達其外牢屋并小頭代へ夫々手配申付候

閏正月九日　少雪夜雨

一御用日登城之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣

一今六半時揃於牢屋御徒目附藤田十兵衛下目附土居佐市小頭代栄治部屋目附代理右衛門出番庄蔵折治立会左之通取計之但取計済紙面ニ而御両所へ相届候

所々盗相働不届至極ニ付五十敲之上　無宿盗人力蔵

御領分追払申付候

一市中困窮ニ付他所酒御差留被下候様蔵合孫左衛門考書差出依之添書いたし三浦士を以御用番中へ差出置候

一萩野嘉七今日ゟ致出勤候仍而加人可差戻之処今日ハ取計有之候ニ付明日ゟ差戻候様申付其段大目附へ相届末吉折治差戻候

一三船藤四郎義明日ゟ出勤届出是又加人可差返処此節為治代致不足居候事故先其儘ニいたし置候様及差図

一西新町南側ニ而東新町住野村屋忠助後家所持之家屋敷表口三間裏行拾弐間土手切也但弐歩半役也西隣ハ余塩屋文左衛門東隣ハ太田屋七兵衛也右家屋敷代銀札三百匁ニ相極同町福田屋忠吉へ売渡度願承り届同十九日売券状差出

一堺町稲実屋義七郎義大坂堂島中之町潮屋源兵衛方へ廿五日之逗留ニ而来ル十二日出立願承り届二月三日帰

一札元三船清右衛門伯母かえ義寛政十二申十一月十三日川崎村瀬助悴弥市妻ニ差遣候所此度致離縁罷帰候付人別入願下方引合相済候段申出承り届

一植木左士三浦伴左衛門今朝東武へ出立

一茅町栄治義博奕咎夫役中之処病気ニ付引込届出承り置
一盗賊専蔵義御使組下田弥三郎方ニ而盗取候袷壱ツ可差戻之処右弥三郎義致番代当時ハ御蔵番日下左治右衛門方ニ致同居候由ニ付御蔵奉行吉田良蔵方へ相廻し受取書取置候

閏正月十日　快晴

一本島庄蔵義拝領屋敷へ引越候段届出候尤右屋敷地ニ自分家有之候処今般相対替ニ而買取普請料三俵被下置拝領屋敷ニ相成候事

閏正月十一日　雨

一御用日登城之処自分義未相勝候ニ付当病断并御用向三浦士へ頼遣
一札元玉置卯左衛門義仁平と相改忰忠四郎義卯左衛門と改名仕度願御用番御聞届ニ付大目附へ差出置候段三浦士ゟ申来御聞届申達候
一京町辰巳屋文兵衛忰伊三郎義兼而不所存もの二而親類組合之異見不相用其上去月中旬出奔仕行衛(ママ)不相知右躰之もの二付於何方如何様之義仕出候程も難計ニ付親類組合義絶勘当仕度願右同断取計済二月三日勘当証文差出
一郡代所ゟ牢屋預ケ之上田邑村南庄六伊右衛門出牢帰村ニ付立合申来文蔵差向取計之
一深信院様明十二日四時御供揃ニ而薗田町通り泰安寺へ御仏参被成候旨種村登門ゟ申来小頭代并大年寄へ例之通申達候

閏正月十二日　晴

一深信院様泰安寺へ御仏詣無御滞相済候段御先払幸治嘉七届出候
一公儀ゟ国々郡名村名町名城陣屋等迄之名六月迄ニ認差出候様被仰出則御案紙相渡り両役取調差出候様大目附伊達与吉郎ゟ達有之候由ニ而三浦ゟ相廻候

閏正月十三日　快晴

一御用日之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣候
一柘植又左衛門殿預り所備中国賀陽郡山上村善七次男八百蔵義下紺屋町作人浅右衛門養子ニ引受度人別入願御用番御聞済ニ付大目附へ差出候段三浦ゟ申来御聞届申達候同十六日住宅延文差出
一脇坂淡路守殿御預り所当国勝南郡青野村谷口宮内忰佐市郎と申もの鍛冶町山形屋宗兵衛養子仕引受度願右同断取計済同十四日住宅証文差出候
一油方山手屋利兵衛申出候由ニ而蔵合孫左衛門書付差出候者久世淀川屋清治義弥大坂へ被呼出右ニ付候而ハ他領油屋共も御呼出ニ可相成趣ニ相聞致心配居候由倉敷淡路屋常右衛門ゟ山手屋理兵衛方へ申越候由右ニ付候而ハ兵庫灘目水車方之ものも在坂仕居候由仍而ハ爰元油方之もの共出坂致延引見合候方可然哉と申出候付右書付十郎左衛門を以御用番中へ懸御目候
一宗永寺ゟ西今町中野屋太郎兵衛へ相懸り田地質入差滞出訴先月廿一日内済申付置候所日延願差出三浦十郎左衛門へ申達候所宗永寺と相対之上ニ而何十日之日延と双方ゟ申出候様いたし度旨申来其段申達候
一札元茂渡藤右衛門義眼疾ニ付播州加東郡屋敷村谷川良順方十四五日之逗留ニ而明十四日出立願右同断取計済同廿七日帰
一下紺屋町長江朝庵義因州若桜近江屋周助方へ四十五日計之逗留ニ而明後十五日出立願大年寄承り届差出二月晦日

閏正月十四日　曇風

一造酒屋林田町島屋文七伺出候者今般従公儀造酒屋共拾分一役米差上候付右文七株ハ龍野預り所小瀬村吉右衛門ゟ譲受候株ニ付小瀬村庄屋久五郎ゟ来ル十五日木知ヶ原村ニおゐて龍野預り所之造酒屋共寄り合申談いたし候間文七ニも来候様申越候間如何可仕哉と昨晩伺出尤去戌二月ニも小瀬村庄屋久五郎ゟ右造酒株願継之入用三拾匁差出候様申越其節三拾匁差遣候処又候去戌十一月減石為御改龍野御役人中被相廻候ニ付右入用四五両入候間差越候様申越甚不審之義ニ付其節龍野役所御用達倉敷之春名代二郎へ相尋候所左様之義ハ有之間敷義ニ候間役人中改ニ被参候節尋可遣旨ニ而龍野役人橋本三平次と申ものへ相尋候処公辺伺済ニ而譲渡候義故龍野ゟ差構者無之兼而約束之冥加銀さへ致上納候得者其外ニ者構無之旨被申候段申越候付右入用ハ不差遣候処先月代二郎ゟ右株ハ譲渡候義ニ付以来差構無之と申橋本三平次印形之書付相廻し以来役免申候ハ、此書付を以申披候ハ、小瀬村庄屋納得可致と申義ニ而差越候印形之書付も添差出右之通当時者当所之御支配之株ニ候得者申談ニ者得罷出間敷万一是非罷出候様ニと申義ニ候ハ、其御役所ゟ当御役所へ御懸ケ合之上罷出候様被仰付候ハ、可罷出と返書下案相認昨晩伺出候ニ付自分義引込中之義ニ付右之訳相認御用番中へ昨晩差出尤右文七と申者札元山本三右衛門名代之ものニ付兼而右様之懸合も有之候ハ、役筋へ伺出差図之上可取計所無其義他役所へ一己之私意を以相尋候段不埒至極ニ付急度叱置可申之旨相伺候所右返書取計之義并島屋文七叱之義も伺之通宜取計候様今日被仰出其段大年寄へ申達左之通申渡候

他所懸ケ合之義者伺出差図之上　山本三右衛門

可取計筋ニ候所無其義他之役人へ相伺候段甚心得違不埒至ニ候以来急度可相慎候此段急度叱置候

一鍛冶町年寄山形屋惣兵衛義与治兵衛と改名仕度願書差出承り届

一京都蛸薬師通東洞院東へ入ル井筒屋半兵衛夫婦娘二人召連誕生寺参詣罷越右娘致足痛依之縁類伏見町和気屋万吉方へ尋来候付同人方ニ廿日計逗留為仕度願承り届同十六日出立届出候

一山田主膳殿来月中出府大橋十太夫殿御供出府昨日被仰付候由ニ候

閏正月十五日　曇少雪風烈

一式日并御用日登城之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣

一福渡町阿賀屋助五郎家守忠助借屋住作人市平忰安兵衛義兼々不所存ものニ而親類組合之異見を不相用候処去月晦日出奔仕行衛(ママ)不相知右躰之ものニ付於何方如何様之義仕出候程も難計ニ付親類組合打寄義絶勘当仕度願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置候段三浦士ゟ申来御聞届申達候

一町方大破家工面金五ヶ年之間夫々江預ケ申付為致世話候処無滞去暮元銀上納相済候ニ付右預り候もの共大年寄宅ニおゐて吸物酒被下候様取計度右入用ハ右之利潤ニ而取計度旨大年寄伺出承り届候

一林田町島屋文七ゟ小瀬村庄屋久五郎へ差遣候返書為指遣候所受取書差越候間届出候

閏正月十六日　曇少雪風烈

一牢舎人勘兵衛源次郎郡代所ゟ呼出申来出番岩蔵理右衛門差向出入取計之

一明十七日四時御供揃ニ而地蔵院へ御社参被仰出御道筋例之通と中奥目附後藤郷助ゟ通用有之大年寄へ例之通元魚町二階町へ人留申付候様申達候

閏正月十七日　曇少雪風

一御用日登城之処拙者義未相勝当病御断三浦士へ頼遣尤申上候御用向無之

一今日地蔵院へ御社参御故障ニ付御延引被仰出候段中奥目附後藤郷助ゟ通用有之大年寄へ申達候

一於御用所大目附出席左之通被仰渡候旨三浦士ゟ申来候

下横野村忠蔵去ル申年博奕参会之上逃去り　町奉行へ此節立帰候ニ付五十敲之上帰村申付候

右之通被仰渡候処右忠蔵義未手錠ニ而村方ニ居候間先吟味申之姿ニ而明日ニも入牢取計猶其上ニ而取計之日限可申越旨郡代所ゟ申来候

一昨年来久世百性之騒動之濫觴実事承り候由蔵合孫左衛門認差出候ニ付三浦へ為見候処御用番中へも差出即刻御戻被成候由申来候

一樫野屋茂一郎御国産取立之義ニ付蔵合孫左衛門添考書指出候右御国産之品他邦ゟ来候品と品合直段不相替出来候上ハ他邦ゟ入込御指留被成候様仕度旨認出候付先日差出候茂一郎考書と御一緒ニ被成御覧被下候様三浦士を以御用番中へ差出候勿論右ハ初ゟ他を御留被下候様之考ニ付気受不宜難取立旨精々申聞候付差出候事也

一徳守宮門番地子居東角かと屋平兵衛役介松之助夫婦弐人宮脇町松井屋伊助引受度人別入願書差出寺社取次三浦十郎左衛門へ引合之上承り届

一橋本町年寄藤吉義喜八と改名仕度願承り届

一京町大村屋源右衛門義薪代元銀上納差滞去戌十月廿七日歎書差出平井半平へ懸合候処少々御用捨有之同廿九日申達置候所其通ニも難納去年之分上納出来不申今年ゟ三百匁ツヽ上納仕度歎書又候指出尤喜左衛門添弁書も有之平井半平へ相廻置候

一町方困窮ニ付質屋新質不取世上差支候趣ニ付質屋頭へ出精致候様申達并少々身元宜者共呼出随分致出精質物取候様ニ相移候ハヽ可然哉之旨蔵合孫左衛門内々申出候ニ付承届其旨宜取計候様月番へ申達候尤十九日三浦士を以及御沙駄御用番中御聞済之旨申来候

一大坂長沢清左衛門ゟ自分状差越右序ニ油方之もの共不致出坂旨細井戸屋惣左衛門催促申出候趣申越候付蔵合孫左衛門へ申達置候

閏正月十八日　晴

一西新町年寄伊崎屋十右衛門義病身ニ相成年寄役難相勤旨願書差出候実ニ無余義趣ニ付跡役同町稲屋忠右衛門へ申付度旨申出候付承り届

一吹屋町吹屋八左衛門義同様願書差出候得共致保養相勤候様ニ申付度伺出承り届

一郡代所ゟ下横野村忠蔵牢番預ケ申来出番嘉七差向取計之

閏正月十九日　雨

一御用日登城之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼

遣

一備前邑久郡西幸崎村正義大工徳松義新魚町大工太助養子ニ引受度人別入願御用番中御聞済ニ付大目附へ差出置候段三浦士ゟ申来御聞届申達候

一近来町方ニ而紋付と申賭勝負いたし候由粗相聞右ハ先年も触達有之停止之義ニ付猶又相触可申哉と三浦士を以弁書差出候処御用番中御聞済之旨申来左之通町触取計

福合紋付と申賭勝負停止之旨先年ゟ度々相触置候処近来猥ニ相成候様粗相聞不埒之事ニ候以後心得違無之様相守可申候若相背候もの於有之者吟味之上急度咎可申付候間其旨可存候

一近年町方ニ御家中役介(ママ)或家来と号し不埒之もの指置候付去戌五月廿六日以来ハ夫々願出主人〳〵ゟ当役へ断之上聞届可差置伺済ニ而其節町方へ者達置候へ共兎角主人ゟ之通用無之御家中へハ達無之義故当役へ相断候ニ者不及義抔と彼是申ものも有之哉ニ相聞候付主人〳〵ゟ当役へ通用有之候様御家中へ御触達被下様伺書三浦士を以御用番中へ指出候所即刻御聞届被仰出候付大目附中へ差出置御家中触有之候様達置承知之旨申来候

一大目附廻状到来左之通

御家中三拾歳以下之面々来ル廿一日素読被為聴候間早々大村成夫江申談可被罷出候不参之面々ハ出勤次第可被申出候

一元魚町米屋鹿之丞夫役五十日之日数今日迄ニ相済候段御作事奉行金井長平ゟ申来候町方ゟも同様届出候

一茅屋町広原屋善吉借屋住作人栄治義博奕為御咎去戌十一月夫役被仰付候処其後病気ニ付得不罷出去ル六日迄漸々日数六日計相勤候処去ル八日出奔仕所々相尋候得共行衛(ママ)不相知段届書指出候付親類組合打懸り急度尋出候様ニ申付置同廿一日御両所へ三浦士を以及御沙駄候

一西今町中野屋太郎兵衛義宗永寺へ田地質入差滞ニ付宗永寺ゟ及出訴先月廿一日廿日限ニ済方申付置候所当月中日延願書差出寺社取次三浦十郎左衛門へ引合候処宗永寺ゟも同様願出候段申来承り届

一今般従公儀被仰出候惣町町名仮名并郷庄ヲ記差出候様大年寄へ申付置候処差出候付写かへ拙者名面ニいたし郡代所へ相廻候

一町方工面金諸勘定帳差出受取置候

閏正月廿日　快晴

一林田町北側ニ而宇田屋和七家屋敷表口三間裏行拾六間但六歩役也東隣ハ河田屋忠助西隣ハ楢原屋喜助也右家屋敷代銀札四百五拾匁ニ相極同町河田屋忠助へ売渡度願承り届二月十七日売券状差出

一林田町南側ニ而河田屋忠助家屋敷表口三間裏行六間但三歩役也西隣ハ入江屋重兵衛東隣ハ通り筋也右家屋敷代銀札百五拾匁ニ相極同町宇田屋和七へ売渡度願承り届右同断

閏正月廿一日　快晴

一御用日登城之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣

一福渡町挽屋孫助方へ去ル十六日夕盗賊這入袷壱帯壱代ニ積八匁計之品被盗取候届書御用番中へ差出触流御聞済ニ付大目附へ差出候段三浦士ゟ申来町触取計之(同廿七日町方ニ無之段届出候)

一油方引受之もの共早春登坂可致処延引ニ付大坂ゟ催促申来其段申達候所太郎左衛門義ハ未相勝丈右衛門義ハ家内病人有之既ニ壱人致死去候位之義理兵衛壱人罷登り候而も筋立間敷ニ付今少出坂延引仕度日延願差出候付右願書写長沢清左衛門方へ可相廻之旨三浦士を以御用番中へ相伺候処思召無之段被仰出候旨同人ゟ申来候ニ付近便可相廻候

一大目附廻状到来左之通

金田式部殿（稲葉主殿頭の弟・正修）御病気之処御養生御叶不被成去ル十二日御死去被成候依之今日ゟ来ル廿五日迄鳴物高声御停止被仰出候尤普請ハ不苦

一御奏者番廻状到来左之通

金田式部殿御死去被成候処御叔父之御続柄ニ付明廿二日四時御徒格以上部屋住迄麻上下着用御機嫌伺登城可有之候

右御遠慮触組中并町中へ差出勿論明日廻勤之義申達候

一御家中下人役介（マヽ）町宅為致候ハヽ当役へ懸ケ合之上差置候様申達候所一昨日御用番中御聞済ニ而大目附へ達置候所右御家中へ触之文段認出候様大目附伊達与吉郎被申聞候由三浦士ゟ申来翌廿二日三浦士へ相廻候

一高石垣関貫番所繕致出来候由宮田喜左衛門届出候

一元魚町北横町南側ニ而桶屋伊助家屋敷表口壱間半裏行四間但壱歩役也東隣ハ桶屋伊助西隣ハ縫屋清助也右家屋敷代銀札五拾匁ニ相極組合縫屋清助へ売渡度願承り届翌廿二日売券状差出

一西新町年寄稲屋忠右衛門義彦兵衛と改名仕度願承り届

一今日御家中素読被為聴候段被仰出有之登城之上御延引被仰出候

閏正月廿二日　雨

一金田式部殿御死去被成候ニ付御機嫌伺惣登城之処拙者義未相勝候ニ付当病御断仕三浦十郎左衛門相頼名代ニ而御機嫌奉伺候

一御蔵米六拾匁五分　町米五拾六匁五分

一御領分西北条郡山北村藤兵衛娘菅義桶屋町吉田屋平助嫁ニ引受度人別入願下方引合相済候段申出承り届

一船頭町年寄熊野屋文五郎義近来病身ニ相成候付忰鶴吉名代ニ差出度旨願書差出承り届

一越州今立郡府中清吉と申もの四国遍路罷出作州真島郡西河内村ニ而病気付同所ゟ送り出院庄村へ送り来糺之上継送り候様申付候段郡代所ゟ申来継送り候様大年寄へ申付候

閏正月廿三日　晴風

一御用日登城之処自分義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣

一船頭町松永屋清兵衛娘のふ義備前赤坂郡黒沢村長十郎妻ニ差遣度人別除願御用番中御聞済ニ付大目附へ差出置候段三浦士ゟ申来御聞届申達候

一中島村七右衛門同村多三郎同村庄屋幸吉方へ盗賊這入都合拾壱品被盗取候触流し取計候様大目附ゟ達有之候由三浦士ゟ伝達有之町触取計本書ハ差戻候二月三日無之段申出候

一久世百性騒動之義承り候趣三浦へ相通し候所御用所へ被指出候由申来候但津山へ可出積之処不出候て引取候訳也

一札元茂渡庄右衛門忰只助妻出産女子致出生候段届出候
一博奕吟味ニ付今夕組両人貸呉候様郡代所ゟ申来栄治庄蔵罷越候様申付候
一小性町今津屋たけ家守阿波屋定右衛門借屋住安永屋磯同人娘三人右家内四人御使組鳥沢喜八方へ引越度人別除願大年寄差出承り届
一油方之もの共登坂延引之断書写取今日之御便ニ大坂長沢清左衛門へ差遣候
一安岡町籾屋伊兵衛義昨年被盗取候脇差壱腰ハ盗賊源次郎帯居今壱腰ハ売払候由源次郎白状口ニ候処右売払候と申脇差ハ外ゟ預りものニ而先方不致承知金銀ニ而も断立不申甚致難渋居候由之処右脇差源次郎居宅床下ニ有之候由ニ而取上ケ置候間其旨籾屋伊兵衛へ為相知候様郡代所ゟ申来大年寄へ申達候

閏正月廿四日　快晴

一孤独扶持百五拾八匁九分弐厘勘定所下代伝左衛門持参受取大年寄へ相渡候
一玉琳大商売追日繁昌いたし内町弥相衰歎ヶ敷何卒急ニ御差留被下候様蔵合孫左衛門弁書指出候ニ付御用番中へ紙面ニ而差出候
一堀内理右衛門義乍当分今日植木左士長屋へ引越候段届出候
一深信院様明廿五日五半時御供揃ニ而藺田町通泰安寺夫ゟ妙法寺へ御仏詣被成候段種村登門ゟ通用有之候付例之通掃除之義大年寄へ申達并御先払先出候様小頭代藤四郎へ申達候
一御蔵米六拾弐匁　町米五拾八匁
一材木町近江屋勢吉方ニ売女四人抱置候由昼廻り栄治庄蔵見咎組合預ケ申付置候段届出候ニ付其段大年寄へ申達右売女ハ唯今之内ニ御領分追払何方へ送り出候段相届并勢吉義御法度背不埒之段遂吟味口書取差出候様大年寄へ申付候

閏正月廿五日　雨

一深信院様御仏詣無御滞相済候段御先払文蔵岩蔵届出候
一明廿六日四時御供揃ニ而泰安寺へ御仏詣被遊御道筋例之通と中奥目附筧良助ゟ通用有之大年寄并小頭代へ例之通申付候
一下横野村忠蔵敲明後廿七日取計度郡代所ゟ申来則御徒目附立合之義大目附へ被申達候様申遣小頭代藤四郎へ其段申付候
一御用日登城之処自分義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣候
一元魚町大笹屋喜兵衛忰瀬助義乱心付借牢仕候処快気いたし候ニ付出牢願御用番御聞届ニ付大目附へ差出置候段三浦ゟ申来其段大年寄へ申達候
一御代官塩屋大四郎殿支配所当国吉野郡赤田村弥惣平娘なみ并忰平五郎右母子弐人河原町檜皮屋政吉役介(ママ)ニ引受度人別入願右同断済
二月四日住宅延文差出
一昨晩申付候材木町近江屋瀬(ママ)吉方ニ売女差置候義昨夜新田村へ送り届候段夜前届出并右瀬吉相糺候所二文字屋九兵衛手代武助ゟ被相頼候段申候ニ付右武助をも相糺候様申付置候所今日両人之口書差出候尤右ニ付海老屋長右衛門并二文字屋手代共も預ケ為慎置候様申付候
一小性町瓜生原屋平吉義荷割不埒之義有之候ニ付御蔵元場合ゟ船稼

差留置候段姫路屋甚右衛門届出候段大年寄申出承り置二月廿六日
指免届出候
一大目附廻状到来左之通
一御家中之面々役介（ママ）并家来等為致町宅候ハヽ其段町奉行へ通
用之上可被差置候尤是迄為致町宅置候分も通用可有之候
一来ル四月三日明好院様（僧主頃又の妹・表）御一周忌御相当ニ付来ル二月三日へ
御取越被成候此段為相知候様被仰出
右明好院様御一周忌之御触者組中町中へ差出候尤晴雲院様（僧主頃成の母・初）御一周
忌之節町方へ為御知而已ニ而自身番等之慎之義無之ニ付此度も右
之例ニ取計候
（朱点）
一安藤丹後殿ゟ長谷川此右衛門来同人并江田幸左衛門町宅為致候段
案内有之
閏正月廿六日　晴少雪風
一泰安寺御仏詣無御滞相済候段御先払嘉七幸治届出候
一上紺屋町南側ニ而平野敬徳家屋敷表口五間裏行拾七間但本役也西
隣ハ渡部元端東隣ハ浅屋幸右衛門也右家屋敷五年已前未十一月敬
徳義源右衛門と申候節堺町島屋藤吉取次ニ而質物ニ書入銀札六百
匁借り受候処此度元利返弁仕受返候段届出承り届
（朱点）
一長谷川新蔵義町宅案内ニ来候但伏見町家名前作人鶴蔵同居
一大坂長沢清左衛門ゟ返書来安岡町山田屋新七二ノ宮村新蔵弐人登
坂懸合居候由追而否可申越旨申来候
一新魚町三ツ巴初五郎義去戌十一月覗河原博奕場所ゟ逃去り百日尋
申付置候処限日来候得共未得不尋出候ニ付今百日之日延願差出承
り届
閏正月廿七日　快晴
一御用日之処拙者義未相勝依之当病御断并御用向三浦士へ頼遣
一於牢屋六半時揃御徒目附高橋三郎太下目附中村政兵衛小頭代藤四
郎部屋目附栄治出番嘉七源蔵郡代下代木林（ママ）左吉足軽渡部八十助立
合左之通取計之但郡代下代読渡之
博奕致参会逃去り　下横野村　忠蔵
此節立帰り候ニ付五十敲帰村被仰付候
右取計相済候段御用番并大目附へ紙面ニ而相届候
一備前津高郡金川村源太郎娘岩義勝間田町永瀬屋勘九郎妻ニ引受度
人別入願御用番御聞届相済候付大目附へ差出候段三浦士ゟ申来御
聞届申達候
一大久保安芸守殿領分当国久米北条郡戸脇村小六妹花義福渡町板屋
幸助後家借屋住岩坂屋幸助妻ニ引受度人別入願右同断取計済二月
十一日住宅証文差出
一去ル廿五日認置候売女差置候もの共御裁許伺三浦士を以御用番中
へ伺候処即刻伺之通被仰出候段三浦ゟ申来大年寄於宅藤四郎栄治
差向左之通申渡之候尤取計済御両所へ相届候
一其方義二文字屋九兵衛手代武助　材木町近江屋瀬吉
ゟ被相頼候由ニ而御法度之売女留置殊ニ
宿屋ニ而も無之他所もの逗留為仕候段重々不届至極ニ付
追込申付候但七日
一他所ものとハ乍申数年当所へ致　二文字屋九兵衛手代

出入御国法之趣も可存縦令縁類たり共御法度之　武助
売女留置候義者仕間敷処無其義売女引付置不届至極ニ付
御領分立去り申付以後当所へ出入差留候
一二文字屋九兵衛手代武助義　二文字屋九兵衛代惣兵衛
縁類とハ乍申御法度之売女　同人宿　海老屋長右衛門
引付置候段不埒至極ニ付御領分立去り申付
以後当所出入差留候右者其方共義兼々示方不行届不埒之事
ニ候依之追込申付候相慎可罷在候但日数七日
一播州揖東郡鵤村大村屋市左衛門ゟ京町大村屋源右衛門へ相懸り借
金滞大坂御番所へ致出訴并右同人ゟ両通之出訴大坂御留主居御呼
出ニ而右訴状御渡被成六十日限済方被仰出候旨大目附へ申来大目
附ゟ被相渡候旨三浦士ゟ伝達有之即刻呼出し左之通申渡候尤小頭
部屋頭大年寄諸吟味立合自分義不快ニ付新左衛門ゟ為申渡候
太子領播州揖東郡鵤村大村屋　京町大村屋源右衛門
市左衛門ゟ借銀滞壱貫目一口又三百目一口二口合壱貫三百匁
尤証文表ハ播州龍野下河原町山崎屋平兵衛又同所赤穂屋宗兵
衛と有之候得共算様詰ニ而大村屋市左衛門方へ可受取筋之由
右借銀六十日限相済候様御番所ゟ被仰付候間急度可相済若又
申分も有之候ハヽ早々罷登り申披可致候
右申渡相済候段御用番中へ相届右之段先格之通長沢清左衛門へ一
両日之内可申遣旨下案相認御用番中へ相伺大目附へも同様相届明
廿八日晩仕廻ニ而態飛脚被仰付候様申達候
一下横野村佐助方へ去ル廿三日夕盗賊這入夜着蒲茵(ママ)布子三品ニ而七
拾三匁位之品被盗取候触流取計候様大目附ゟ達有之候由三浦士ゟ
伝達有之町触取計本書ハ差戻し（布子一ツ有之外ハナシ）
一一昨夜渡部相馬下屋敷鉄砲町則郡代所内抱之もの居候所庭之壁を
小々(ママ)落し懸候処人通り懸り盗賊ハ逃去り簑笠落置候付渡部相馬ゟ
受取欠所もの ニ取計候様大目附ゟ達有之候段三浦ゟ申来無程渡部
相馬ゟ相廻り受取置候
一孝恭院様（徳川家斉四男・安藤信正養父）御年回来月末ニ御相当被成候付御赦考之もの有之候ハヽ
前以差出候様大目附太田舎人被申聞候由三浦ゟ申来候
一萩野嘉七義実ハ困窮ニ付番代承り届置候処勝手向致世話候もの出
来候ニ付又々相勤度歎書差出承り届候然ル所卒忽之義相願候段恐
入慎居候旨藤四郎ゟ伺出不及其義旨申達候
一御領分西北条郡小原村重助孫ひち義安岡町渋屋茂吉妻ニ引受度人
別入願下方引合相済候段申出承り届
一西新町備前屋市右衛門義先達而御赦ニ付追払ニ相成候伊勢弥助白
銀屋利兵衛ゟ預り候質物有之候ニ付伺書差出右ハ当人之品ニ付勝
手次第流し候様ニ及差図候
一大目附廻状到来左之通
明後廿九日御家中素読被為聴候ニ付孝経講釈御延引被仰出候
閏正月廿八日　晴夜雨
一明廿九日五時御供揃ニ而泰安寺へ御仏参被仰出御道筋例之通之由
中奥目附後藤郷助ゟ通用有之小頭并大年寄へ例之通申達候
一京町大村屋源右衛門へ播州鵤村大村屋市左衛門ゟ借銀出訴六十日
限済方申付候段大坂長沢清左衛門へ書状相認為持遣候所大目附伊

達与吉郎ゟ御用向有之候ニ付右飛脚明廿九日仕廻ニ申付候段申来
尤右大坂へ之文通下案昨日御用番中へ伺置候所思召無之段今朝被
仰出候
一細工町ニ而津島屋三右衛門家屋敷表口四間裏行拾壱間半但半役也
東隣ハ家根屋嘉兵衛西隣ハ作人弥七家屋敷也右家屋敷代銀二百拾
五匁ニ相極同町灰屋喜平治江売渡度願承り届二月五日売券状差
出
一福渡町挽屋孫助去ル廿一日被盗候帯壱筋二階町宮田喜左衛門家守
長八借屋住亀治郎と申もの去ル廿一日夕醴売ニ出於途中京町ニ而
先年橋本町ニ罷在候乙と申もの〻買取候所孫助被盗もの丶由届書
指出候
一佐久間兵右衛門殿執権来左之通届有之
、田村惣蔵一人新職人町瀧本屋借屋住作人定吉同居（朱書）二月二日町方ゟも届出同十一月三日主人方へ引越届出候
閏正月廿九日　快晴
一御用日登城之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼
遣候
一船頭町備前屋辰蔵弟六太郎義仙石越前守殿領分当国勝南郡周佐村
伝吉養子ニ差遣度人別除願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置候段
三浦士ゟ申来御聞届申達候
一東新町延屋宇右衛門娘きの義備前盤梨（ママ）郡田原上村仁兵衛方へ養女
ニ差遣度人別除願右同断取計済
一脇坂淡路守殿御預り所当国勝南郡池ヶ原村宇兵衛忰新蔵義船頭町
高瀬屋四郎兵衛役介（ママ）ニ引受度人別入願右同断取計済二月十一日住
宅証文差出
一細工町大工乙兵衛家守定吉借屋住作人市平義八十三歳ニ罷成候処
老衰仕手足不相叶親類等も無御座町内世話も不行届難義仕候間何
卒御救扶持被下置候様歎書右同断取計相済勘定奉行へも及通達置
候段申来御聞届申達候
一兵庫灘屋吉三郎ゟ油方之ものへ書状差越久世淀川屋清次致登坂候
処已来菜種之義ニ不携候段一札取相済候段為知書状大年寄ゟ差出
三浦士を以御用所へ差出置候
一於御用所大目附出席左之通被仰渡候但十郎左衛門名代被相勤候段
申来候
三船清右衛門義札元見習被成　町奉行へ
御免候尤祖父已来勤功ニ付門松是迄之通被成御免候此段可被
申渡候
右ニ付直切紙指遣候所病気ニ付玉置卯左衛門名代ニ罷出候ニ付大
脇新左衛門小頭代栄次（ママ）大年寄孫右衛門諸吟味喜左衛門立合於座敷
申渡之取計済御両所へ相届候
一西今町庭瀬屋佐助忰幸吉義去ル廿二日夕龍之口ニ而追剥ニ出逢二
夕太刀切付候得者逃去り候由風聞有之候得共届等も無之早速申出
候得者吟味も致能候処無其義御城下近辺ニ而甚不埒之義他聞も恐
入候義ニ付大年寄へ申付遂吟味候処弥世評之通相違無之旨口書差
出し候不軽義之処目明抔も不申出不埒之義ニ付目明孫兵衛呼出相
尋候処同人義ハ早速罷越候相尋候所甚不束之趣近辺ニ而も笑候も

のも有之何れニも脇差ニ而度々受留候由申候得共太刀疵無之旨申候ニ付脇差取寄及見候所切結候様之疵ハ一ケ所も無之棟又共ニ石ニ而敲候様之疵数ケ所有之鍔抔も敲こわし有之未子共之義故臆病之処ゟ狐狸之類ニ被誑候義哉と必定相見候ニ付其段再応為相糺候処前後疑と不相覚漸々逃帰り候由口書差出候ニ付当役場切ニいたし左之通叱置候

其方義全臆病之処ゟ狐狸之類ニ被誑　西今町庭瀬屋幸吉

不埒之事共申触御城下近辺之義他邦へ聞へ候而も御外聞ニも相懸り甚不宜不埒至極之事ニ候以来急度可相慎候

一泰安寺御仏詣御延引被仰出候段中奥目附後藤郷助ゟ通用有之夫々申達候

一大目附伊達与吉郎ゟ此間被聞候大坂飛脚外御用も有之候ニ付今晩仕廻ニ而差立候由申来小勘者北島唯七ゟも同様申来候

一本琳寺義来月朔日ゟ来年中町中夜念仏御聞届之由寺社取次三浦十郎左衛門ゟ申来大年寄小頭へ達置候

（朱点）一宮地東庫来り下小性町ニ致町宅名代松屋小八と差出し候家守弓削屋宇助と同居之由被届候并同人役介（ママ）臼杵又之丞兄弟二人林田町作人治吉と同居為仕候由届有之承置

（朱点）一渡部貞順来り橋本町致住居名前吉見屋伊（ママ）と同居之由届有之承り置

一中之町平岡屋忠左衛門義大坂梶木町玉子屋九郎兵衛方へ三十日計之逗留ニ而明朔日出立願大年寄承り届差出候二月廿九日帰

一播州網干唐物屋佐七郎一人例年之通小間物反物売ニ来候宿切手林田町福吉安右衛門差出し候六月廿九日帰

一播州網干天満屋義兵衛一人例年之通反物売来候段右同人宿切手指出右同断

一西新町高松屋忠右衛門家守吉原屋治兵衛弟音右衛門義黒田忠三郎供ニ而出府仕来子ノ三月迄相詰度願承り届甲子六月七日帰届

一林田町北側ニ而福地屋嘉七家屋敷表口三間裏行拾七間但半役也東隣ハ作人治吉西隣ハ箕打屋文助也右家屋敷代銀札四百匁ニ相極同町橋本屋和助へ売渡度願大年寄差出承り届二月十七日売券状差出

一関貫番賃銀例月之通相渡候

一御家中三拾歳以下之面々何茂御好之書を以素読被為聴候

一小頭代藤四郎宅ニおゐて部屋目附助役栄治立合左之通申付候

目明役申付候入念可相勤候　橋本町籾屋弥吉

右ニ付目明仮役吉田屋平助指免候

一京町原田屋嘉四郎義博奕御咎ニ付夫役被仰付候処病気ニ付引込候段届出候二月五日出勤相届候

二月　大

月番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　黒田要人殿

大目附　太田舎人

大年寄　蔵合孫左衛門

諸吟味　宮田喜左衛門

二月朔丙午旦　快晴

一式日幷御用日登城之処拙者義未相勝候ニ付当病断三浦士へ頼遣

一大熊靭負殿家来切手を拾候付当役へ被引渡候様御達有之候間靭負殿ゟ被相廻候ハヽ受取置可申幷御家中へも御触被差出候間其趣市郷江も相触候様大目附太田舎人被申聞候旨三浦士ゟ伝達有之

一大熊靭負殿ゟ右拾切手弐俵壱枚御作事と宛所有之切手執権西川善平病気ニ付小平次を以被相渡候由ニ而致持参受取置候但鍛冶町横町ニ而中間拾候由也

一大目附ゟ廻状到来左之通

切手拾ひ候もの有之候落し候者有之候ハヽ下々迄遂吟味可被申出候

右之趣町中組中へ相触候

一（朱点）黒田要人殿ゟ家来内田儀助細工町ニ町宅為致候段紙面ニ而案内申来候

一借牢舎人元魚町大笹屋喜兵衛悴瀬助乱心全快ニ付出牢昼廻り文蔵利右衛門取計之

一倉敷村春名代次郎義今日御目見被仰付御目録頂戴仕候御礼罷出候

一年頭御礼差上候御太刀馬代銀壱両御時服被下右代銀弐両之由差引ノ銀壱両大納戸より相廻り頂戴仕且又悴其衛分御太刀馬代壱銭匁御時服被下右代弐匁之由差引シテ壱銭匁大納戸ゟ相廻り候

一八子村山平学抱屋敷戌ノ刻致出火候処自分義未相勝出役難仕指懸り候義故大目附中へ直手紙ニ而出役不仕候段相届右ニ付場所差図之義十郎左衛門へ頼遣し纔挑灯壱張幷同心組不残差出大年寄も三人共罷出候然ル所右屋敷一軒消失ニ而類火無之早速及鎮火不残引取候○堀内理右衛門不参当病也

二月二日　晴少風

一昨夜酉ノ中刻頃上紺屋町備前屋紋治悴直訴ニ罷出父紋治義同町伊勢十蔵ニ打擲ニ逢倒居候段申出候得共子供之義一向不相分候ニ付大年寄へ申達候所些之趣ニ者相聞候得共紋治と申もの兼而悪もの ニ而迚も内分ニ者不相済趣申出候間同心組差向手錠被仰付候様仕度申出候付火事場ゟ引取四半時頃藤四郎岩蔵差向候所紋治義兼々悪ものニ而近辺忍歩き立聞等いたし諸人悪ミ居候所昨夜も十蔵隣善兵衛と申ものヽ方ニ而立聞等いたし候内ゟ相咎彼是及口論人立候故十蔵義も罷越彼是申候内ニ紋治義十蔵宅へ罷越理不尽ニ十蔵妻を致打擲候段十蔵義聞付罷帰候処最早紋治義帰候付十蔵義割木を引提紋治方へ仕懸ケ参打伏候由右ニ付紋治と十蔵妻と両人疵付候由容躰書幷見分一札取之十蔵ニ者手錠懸ケ組合預ケ申付紋治義も同様可取計処疵所痛強起臥難出来趣ニ付其儘ニ而預ケ置今朝五ツ時罷帰り候ニ付右見分一札容躰書御用番中へ差出し候大目附へも相届候○右見分一札夜ニ入御差戻し候

一御蔵米六拾壱匁　町米五拾七匁

一（朱点）石田新治来家来北村類治（貼紙訂正）と申もの吹屋町父北村六右衛門と同居為致候段案内有之承り置町方ゟハ七日ニ届有之北村屋源右衛門同居也

一深信院様明廿三日四時御供揃ニ而 商田町通り泰安寺へ御仏詣被成
候段種村登門ゟ通用有之小頭并大年寄へ例之通申達ス
一大目附太田舎人ゟ三役連名ニ而 左之通申来候
明三日明好院様御法事ニ付御機嫌伺有之候間麻上下着用出仕
可有之候
二月三日 晴
一御用日并明好院様御一周忌御取越御法事ニ付御機嫌伺有之麻上下
着用登城可仕処拙者義未相勝候ニ付当病断并御機嫌伺名代并御用
向三浦へ頼遣
一御代官塩谷大四郎殿支配所当国吉野郡川西村茂兵衛義福渡町大工
吉左衛門養子ニ引受度人別入願御用番御聞済ニ付大目附へ差出候
段三浦士ゟ申来御聞届申達ス同九日住宅証文出
一新魚町灘屋治右衛門義龍野預り所当国勝南郡西吉田村神崎与三兵
衛へ肴代滞り八百三拾三匁弐分三厘同郡庄屋七郎右衛門へ肴代差
滞り百弐拾九匁八分五厘有之候付龍野役所へ出訴仕度去ル朔日添
簡願出下案差添三浦士を以御用番中へ伺置候処今日御聞済ニ而宜
取計候様被仰出候段三浦士ゟ申来候ニ付出立候ハヽ添簡可相渡旨
大年寄へ申達ス
一御領分林田村上之町喜介忰市之助義上紺屋町津島屋民吉役介ニ引
受度願下方引合相済候段申出承り届
一東新町広戸屋利兵衛家守岡屋源助姉政義林田上之町後藤道貞方へ
差遣度人別除願下方引合相済候段申出承り届
一黒田要人殿家来河野祐治義去戌歳ゟ美濃職人町鉄屋治兵衛借屋住
作人斧八方ニ同居仕候処今般暇出御持組二木武八養子ニ相成林田
上之町へ引越候届書差出
一美濃職人町財布屋平七持来候古道具屋株当亥閏正月ゟ来ル卯ノ十
二月迄五ヶ年之間元魚町藤屋治兵衛借り受商売仕度願承り届
一河原町高崎屋鶴治借屋住作人甚八義当正月廿一日下横野村左吉ゟ
綿入壱ツ被相頼林田町辰野屋兵助方へ五匁五分之質物ニ置遣候処
右之品小座村ゟ盗ものヽ由申参候付届候由双方ヨリ届書差出郡代
所へ相廻候
一堺町針屋宗一郎持来候古道具屋株西新町久米屋清助譲受度願差出
承り届株札名面認かへ相渡
一右門義格式之御礼申上候節干鯛一箱差上候代四匁三分大納戸へ相
納候
二月四日 雨
一斎藤孫右衛門養母今朝病死仕候付御定式之忌服引込候段源五兵衛
ゟ届出其段御用番并大目附へ相届候
一新魚町弓削屋多助致箱訴候由右訴大目附ゟ被相渡宜取計候様申来
遂一見候処御倹約御法度相守候様仕度軽もの共ハ度々御世話無之
ニ而猥ニ相成候趣并百性共御田地を捨置他領之田地を作廻甚心得
違不埒之旨申上御為筋計之義を申上候段志奇特之義ニ付右之段御
賞詞有之候而も可然奉存候然ル所百性取扱之義重々相見へ候間先
ツ郡代江御渡被成可然哉ニ奉存候間先ツ右訴状返上仕候段紙面ニ
而大目附へ差戻し候
一郡代所ゟ無宿盗人佐吉召捕候ニ付牢番預ケ申来庄蔵差向取計之

一橋本町年寄山形屋喜八義大坂大川町和泉屋六郎兵衛方へ廿五日計之逗留ニ而明五日出立願大年寄指出承り届同廿六日帰

二月五日　雨

一御用日登城之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣

一今日ハ松之間ニおゐて御嚙子被遊何れも拝見罷出候由

一備前和気郡藤野村市右衛門忰和兵衛義一人新職人町高角屋栄四郎借屋住宮崎屋利右衛門養子ニ引受度人別入例之通取計済候段三浦士ゟ申来御聞届申達候同晦日住宅証文差出

一掛合問屋御差留被下候様去年所々投文有之候ニ付下方願之通御差留被下候様申上候処御取用ニ不被成其儘被捨置候処去ル三日御用番中ゟ昨年申上候通御差留被下候方此節ニ而宜存候哉又ハ矢張被捨置候而可燃存候哉存寄申上候様被仰出候旨十郎左衛門ゟ伝達有之候ニ付矢張昨年申上候通御差留被成候様ニ今日三浦士を以申上候

一兵庫灘屋吉三郎来状御下ケ被成候由三浦士ゟ相廻り大年寄へ相返し候

一大目附太田舎人ゟ左之通被申聞候旨三浦士ゟ申来候

高畠生斎義下御屋敷御用ニ付種村登門ゟ申遣候ハ、罷出候様可達置候

右之通申付候様大年寄へ申達候

一川端幸治腹痛仕候付引込候段昨夜届出候三月六日ゟ出勤申付候

（朱点）、一大脇新左衛門義福渡町住居名代作人惣助迄案内有之候

一材木町近江屋瀬吉元魚町海老屋長右衛門二文字屋九兵衛代惣兵衛追込昨日迄ニ而七日ニ相成候ニ付今朝差免其段御両所へ紙面ニ而相届候

一佐久間兵右衛門殿家来村瀬与左衛門義暇出候付中之町香山屋勘兵衛引受度人別入願承り届

二月六日　早天大雨朝飯後晴

一明七日四ツ時御供揃ニ而泰安寺へ御仏詣被遊御道筋例之通と中奥目附出九太夫より通用有之小頭并大年寄へ例之通申付候

二月七日　快晴

一御用日登城之処自分義未相勝三浦士も当病不参ニ付近藤伊左衛門へ当病御断并御用向頼遣候

一泰安寺御仏詣無御滞相済候段御先払庄蔵利右衛門届出候

一材木町正木屋甚右衛門（ママ）役介周治義備前田原村善三郎方へ差遣度人別除願御用番御聞届ニ付大目附へ差出置候段近藤伊左衛門ゟ申来御聞届申達候

一脇坂淡路守殿預り所当国久米北条郡宮尾村治左衛門娘茂代義桶屋町水内屋半八（ママ）役介ニ引受度人別入願右同断取計済同九日住宅証文差出

一郡代所ゟ御年貢不相済内ニ御年貢米買取候もの御咎伺有之先日存寄申上候処尚又昨日近藤伊左衛門を以御不審有之伊左衛門迄答書差出委細ハ別帳ニ在之

一懸ケ合問屋之義去十月御差留被成候様申上置候処其節伺之通差留候様御用番中被仰出候段近藤伊左衛門ゟ申来候付御差留之段願主

両中買へ申達候様ニ大年寄へ申達取計済大目附へ相届候
一上紺屋町備前屋紋治義十蔵と喧嘩所も余程快趣ニ相聞候付昼廻藤四郎嘉七ゟ手錠預ケ申付其段御両所へ相届候
一明八日四時御供揃ニ而地蔵院泰安寺へ御仏詣被仰出御道筋例之通之由中奥目附後藤郷助ゟ通用有之小頭大年寄へ例之通申達し候又々五時御供揃ニ相成候追触有之夫々申達
一細工町年寄指物屋長左衛門義足痛仕候付忰平治義名代ニ差出度願承り届
一林田町北側ニ而上田屋久平所持之家屋敷表口弐間半裏行拾七間但六歩弐厘五毛役ナリ東隣ハ香々登屋六之助西隣ハ灰屋磯右衛門也右家屋敷代銀札弐百五拾匁ニ相極同町宮内屋源八へ売渡度願承り届同廿三日売券状差出
一安岡町古川屋大吉仕来候弐歩中買株戸川町紙屋平助譲受度願双方連印ニ而差出承届

二月八日　雨

一地蔵院泰安寺御仏詣無御滞相済候段御先払栄治源蔵届出候
一坂本勇叔母京町致町宅家名前勘平後家同居瀬島杢平ゟ相届候
一孝恭院様御法事当月有之御赦伺ニ付寺院歎書昨日三浦ゟ相廻り夫々致附札三浦へ相廻候
一大坂長沢清左衛門ゟ返書来着油方引受之もの共登坂日延断細井戸屋へ申聞置候段申来候

二月九日　雨

一御用日登城之処拙者義未相勝三浦士も不参ニ付近藤伊左衛門へ当病御断并御用向頼遣ス
一林田町香々登屋六之助借屋住茂一娘よね義土岐山城守殿領分当国勝北郡真加部村要蔵妻ニ差遣度人別除願御用番中御聞届ニ付大目附へ差出候段近藤ゟ申来御聞届申達候
一大目附廻状到来左之通尤組中へ相触候町方へハ不相触候
来月六日御発駕被成候筈ニ相極候此段為相知候様被仰出候
且御道中御条目虎之間へ被差出被置候間御供之面々何茂拝見可被得其意候
一右同断公儀御触左之通是又組中計へ相触候
此度東海道筋中山道宿々之内水難之分来亥正月ゟ来卯十二月迄人馬賃銭割増銭左之通可受取旨申渡候
東海道　庄野宿　草津宿　下地之割増共ニ五割増
枚方宿　守口宿　下地之割増共ニ四割増
淀宿　下地之割増共ニ三割増
中山道　守山宿　右同断
高宮宿　愛知川宿　下地之割増共ニ弐割半増
一御蔵廻状到来左之通
来ル十二日御役料御給米相渡候尤已来二月十日共定日相変義無之候得者不及通用候旨申来候
一今九時ゟ新左衛門藤四郎利右衛門岩蔵牢屋へ差遣盗人岩蔵周蔵為相糺岩蔵口書印形取之
一大坂長沢清左衛門ゟ昨日来着之返書近藤士を以御用番中へ差出候処即刻戻ル

一牢舎扶持三俵内貸証文差出奥印書取計之但三月へ弐斗七升七合五勺持越積也

一京都鞍馬大蔵院役僧正順坊例年之通通り懸一両日団扇屋甚兵衛方へ逗留仕候段大年寄ゟ紙面ニ而相届候

一桶屋町桶屋市右衛門役介市之丞義渡部相馬組福田与八渡屋敷へ為引越度人別除願承り届

二月十日　快晴

一新魚町灘屋治右衛門明十一日龍野へ之出訴罷立候段届出添簡相渡候

一目明孫兵衛申出候者浪人体之烏散成もの〇四人町内致徘徊其内三人召捕柳土手ニ而相糺候処当所ニ而致悪事候義無御座候ニ付追払可申哉と新左衛門并栄治を以伺出候ニ付伺之通宜取計候様申達ス尤右三人ハ因州鳥取内記播州宍粟郡頂賀村源次郎芸州おん戸瀬戸伊之助と申もの也右何茂他領新田村ニ小屋懸いたし居候由也

一三船藤四郎義実父方之祖母死去いたし候段備前ゟ申越候付忌中引込候段栄治を以届出候付加人壱人大目附へ申達候処梶間宗平来

一江戸神田加賀屋勘四郎上下三人御当所御用ニ付罷越候ニ付新魚町三沢屋与八郎方ニ逗留為仕度願承り届三月六日罷帰候

二月十一日　晴少雨

一御用日之処拙者義未相勝候ニ付当病御断并御用向三浦士へ頼遣

一茅町岡崎屋善吉後家家守金助借屋住太助義七拾弐歳相成候処去戌五月牛ニ被突手足不相叶親類も無之組合町内ゟも行届兼候付孤独扶持被下置候様歎書御用番中御聞済ニ付大目附へ差出勘定奉行へも達置候段三浦ゟ申来御聞届申達候

一三浦志摩守殿領分当国真島郡田原北野村源次郎悴弥助義一人伏見町徳島屋忠七引受度人別入願右同断取計済同十九日住宅証文差出候

一安岡町林友伯悴庄蔵義大久保安芸守殿領分久米北条郡油木下村是吉養子ニ差遣度人別除願右同断取計済

一札元山本三右衛門義大坂高麗橋四軒町油屋才助方へ廿五日計之逗留ニ而明後十三日出立願右同断取計済三月十三日廿日追願御聞済三月廿二日帰

一深信院様明十二日五半時御供揃ニ而蔵田町通り泰安寺へ御仏参被成候旨種村登門ゟ通用有之小頭并大年寄へ申達候

一林田町北側ニ而三増屋勘吉家屋敷表口弐間弐尺裏行六間壱尺但三歩役也東隣ハ舛屋藤右衛門西隣ハ作人喜六後家也右家屋敷代銀百三拾匁ニ相極舛屋藤右衛門へ売渡度願大年寄差出承り届同晦日住宅証文差出

一伏見町小坂屋善兵衛家屋敷三ヶ年已前酉四月十二日質物ニ書入銀札六百匁借受候処今般元利返弁受返し候届書承り届

一御領分西北条郡小田中村治右衛門娘亀義美濃職人町財布屋平七借屋住備前屋市右衛門悴茂兵衛妻ニ引受度人別入願下方引合相済候段申出承り届

一福渡町さだヤ長兵衛借屋住作人佐吉義四国遍路罷出度百五十日計之逗留ニ而来ル廿日出立願承り届

一新魚町紙屋元吉借屋住作人亀吉義右同断願百日計之逗留ニ而来ル

十五日出立承り届四月廿三日

一三船藤四郎義忌差免候間今日ゟ相勤候様可申達旨栄治へ申達候

一川部村庄屋九平次下男去ル五日夕盗賊被盗取候衣類拾九品代百拾匁六分五厘位右触流取計候様大目附ゟ達有之候由三浦ゟ相廻り町触取計本書ハ差戻し候同十七日町方ニ無之旨届出候

一京都吉田侍従三位殿家大角勘ケ由と申もの上下三人元魚町紙屋助右衛門方へ来り用事相済候迄致逗留候段申候ニ付如何様之用事ニ而被参候哉と相尋候処神祇道之義ニ付社方へ達候義有之罷越候旨申之着早々一ノ宮神主方へ人差遣候由届出候付其段御両所へ相届三浦士へも為相知候但宿ゟも逗留願差出承り届二月廿一日追願

一教信坊罷帰候付来ル十五日ゟ町講釈相始候段喜左衛門申出候付惣町へ家業之手透候ハヽ罷出候様聢と行届候様演達可取計并大年寄も壱人ハ是非出役候様ニ大年寄へ申付候但廿六日迄ニ而相済

二月十二日　雨

一深信院様御仏参御延引ニ相成候段種村登門ゟ申来夫々へ申達

一御蔵米六拾弐匁　町米五拾八匁

一御給米銀札ニ而六拾三匁相場ニノ相渡候由例年之通何茂御礼罷出候

一御奏者番伊達与吉郎ゟ京都吉田家使者明十三日四時使者相勤候様申出候間御使者宿申付其段稲垣惣兵衛へ申達候様申来此節斎藤孫右衛門忌中ニ付何方ニ而も見計申付候様大年寄へ申付候処左之通届出候ニ付其段稲垣惣兵衛并伊達与吉郎へ申達候

京都吉田家使者御取次宿申付候　三町目　川口藤左衛門

右之段稲垣惣兵衛へ申遣候所御取次ニて古谷嘉左衛門罷出候段申来其旨大年寄へ申達候

二月十三日　晴

一御用日登城之処自分義未相勝当病御断并御用向三浦士へ頼遣候

一雲州松江御城下末次茶町神戸屋与四郎悴岩次郎一人中之町大笹屋新兵衛引受度人別入願御用番中御聞済ニ付大目附へ差出候段三浦士ゟ申来御聞届申達候同十九日住宅証文差出

一橋本町徳島屋長十郎後家借屋住飯岡屋佐七後家義去戌十一月廿七日出奔仕百日尋被仰付相尋候得共行衛不相知最早百日余ニ相成候付除帳願右同断取計済

一龍野役人関口作兵衛平野七郎兵衛三沢清太夫ゟ飛脚差越造酒屋共拾分一役米囲置キ追而御差図之上置所可被仰出旨旧年従公儀被仰出候間先達而小瀬村吉右衛門ゟ譲渡候島屋文七へ右之段申渡以後冥加銀ハ免除被仰付候段申渡呉候様申来則返書下案を以右被仰出不詳候ニ付未申渡江戸表へ聞合申遣置候処未否不申越候ニ付当所造酒屋共へ者未申達候得共右文七へハ可申付旨相認御用番中へ相伺候処思召無之段被仰出候ニ付則大目附へも相達置其旨及返書右之段島屋文七へ申付候様大年寄へ申達候

一京都吉田家使者大角勘ケ由へ明十四日九時三浦十郎左衛門及応対候付応対宿之義同人ゟ申来大年寄へ申付候処矢張川口藤左衛門相勤候旨届出其段三浦へ申達候

一西新町沖屋庄助母はや同人娘きさ右二人西国ニ罷出度七十日計之逗留ニ而明後十五日出立願承り届五月廿二日三十日計之日延願

一東新町玉屋源右衛門娘いよ義右同断願但八十日計之逗留五月十二日卅日計之日延願承届

一東新町安長屋宇平次母その義右同断願但九十日計之逗留五月廿二日十日計之日延願

一元魚町西側ニ而亀屋定治家屋敷表口四間裏行拾七間但壱軒役也南隣ハ斎藤孫右衛門北隣ハ玉島屋吉右衛門也右家屋敷質物ニ書入一ヶ月壱歩四朱之利足ニ而銀札九百匁当十二月切ニ京町野田屋佐右衛門取次ニ而借用仕度願承り届翌十四日本証文差出文化五戊辰年十二月廿六日請戻し被届書差出ス

一槍術御覧一昨十一日御座間於御庭有之候由

二月十四日　快晴

一福渡町北側ニ而静虎屋利兵衛所持之家屋敷表口拾弐間裏行拾七間但三軒役也東隣ハ森原ヤ卯兵衛西隣ハ阿賀屋助五郎家守忠助也

右家屋敷之内表口十二間裏行七間ニ御役二軒半付候而代銀壱貫匁ニ相極宮脇町阿賀屋助五郎へ売渡度尤右裏行之内北ノ方ニ而東西十二間南北十間之処半役付差除此分ハ矢張静虎屋利兵衛所持仕度願承り届ル同廿五日売券状差出候

右間違ニ寄而孫左衛門差扣伺出不及其義段廿四日申達候

一坪井町北浜屋佐七他札取扱過料拾六匁新魚町油屋辰三郎右同断壱匁昨年上納可致処失念ニ付今日相納受取候

二月十五日　快晴

一式日并御用日ニ付登城拙者義快方ニ付今日ゟ押而出勤仕候例之通於宮島之間式日御礼申上畢而御用所へ罷出当日御祝義述之引続御用向申上之尤当日御祝義申述候事近来相止居候所当正月廿八日近例之通御用所へ不能出候処大目附ハ出候得共三奉行ハ致如何不罷出候哉と御用所御不審有之依之其以来ハ申述候由平井半平ゟ通用有之

一今日ハ昼後ゟ下御屋敷へ被為入候御沙駄ニ候

一因州知頭郡知頭宿伝次郎娘ふき義福渡町浜崎屋安兵衛妻ニ引受度人別入願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申達候同廿日住宅証文差出

一備前邑久郡上山田村権六忰権吉夫婦弐人当正月廿九日吹屋町山城屋善左衛門引受人別入いたし候父権六病気ニ付相続人無之ニ付差返度除帳願右同断取計済

一福渡町皆木屋甚助妻義去戌九月十四日出奔届出百日尋申付置候所当亥正月十三日五十日之日延願承り届置候所弥行衛(ママ)不相知除帳願右同断取計済

一戸川町作人文助後家方へ去ル十二日夕盗賊逗入衣類銀札九品合三百拾九匁計之品被盗取候届書并触流右同断取計済同廿五日町方ニ無之段届出候

一伏見町南側ニ而小坂屋善兵衛家屋敷表口五間裏行弐拾四間但大溝切也但本役也東隣ハ八出屋多助西隣ハ和気屋万吉也右家屋敷錦屋藤吉取次ニ而一ヶ月壱歩三朱之利足ニ而当十月切六百匁借受度願承り届三月十四日本証文差出文化五戊辰四月五日請返し断書出ス

一去戌歳闕所銀百七拾弐匁五厘六毛勘定奉行へ相渡御金奉行受取書取置候

(朱点)

、一佐々木主馬ゟ於御城別席役介万里歩義表向ハ下屋敷へ差置候伺済之処内分ニ而伏見町ニ為町宅致候段案内有之候

(朱点)

、一永見能登殿ゟ参り懸りニ而被申聞候者家来松本鍋四郎義京町戸島屋伝吉借屋ニ差置候段案内有之候

一京町原田屋嘉四郎義夫役ニ御作事へ罷出居候所病気ニ付今日ゟ引込候段届出候翌十七日出勤

一寺社取次三浦十郎左衛門ゟ明十六日大角勘ケ由へ応対ニ罷出候間川口藤左衛門ニ応対宿申付呉候様申来其段大年寄へ申付候

一牢屋下番中間乙吉義先月廿七日引込候所昨十四日出勤届出候但廿七日之処ニ認落し候

一四人之もの共呼出し左之通申付候

小頭場合之助已来ハ四人ニ而月番持ニいたし壱人ツヽ除切相勤可申候

三船藤四郎
神田栄治
本島庄蔵
堀内理右衛門

一明十六日四時御供揃ニ而一ノ宮へ御遠乗被仰出御道筋田町御門ゟ高石垣通りへ御出被遊候段中奥目附後藤郷助ゟ通用有之例之通元魚町二階町へ辻堅出候様大年寄へ申付候

二月十六日　快晴

一八時ゟ新左衛門小頭代栄治昼廻嘉七惣平牢屋へ差向盗賊周蔵口書印形取之

二月十七日　晴晩方雲

一御用日登城

一孝恭院様弐十五回御忌来ル廿四日御法事ニ付配頭場(マヽ)御布施頂戴願出御用番中へ相伺候処御聞済ニ付大目附へ相達置御聞届申達候○廿三日相渡候段申出候

一大目附廻状到来左之通　来ル廿四日孝恭院様廿五回御忌ニ付於地蔵院御供養被仰付候

右之通組中へ相触町方へハ前晩ゟ自身番いたし候様先格之通申付候

一明十八日九時御供揃ニ而二ノ宮辺院庄御茶屋迄御遠乗被為入御道筋表御門ゟ京橋御門夫ゟ本通り筋違橋へ為入候段中奥目附太田縫兵衛ゟ通用有之大年寄井小頭へ例之通申付候

一下田邑村川東庄八木綿わた入代拾四匁計之品去ル七日ゟ十二日迄之内被盗取候触流取計候様大目附中ゟ達有之町触取計本書ハ差戻し候同廿五日町方ニ無之段申出候

一坪井町南側ニ而塩屋清右衛門所持之家屋敷表口弐間裏行拾七間但半役也東隣ハ沢野屋伝六西隣ハ塩屋清右衛門居宅也右家屋敷代銀札六百匁ニ相極町内沢○野屋伝六へ売渡度願承り届ル同廿日売券状差出

一福渡町森原屋宇兵衛夫婦娘召連四国遍路罷出度百日計之逗留ニ而三月七日出立願指出し承り届六月六日帰ル

一吹屋町吹屋八左衛門借屋住和泉屋八百吉下人庄吉と申もの昨夜五ツ半戸川町作人惣七方へ銀札五百匁受取ニ差遣候所取逃仕今以不罷帰旨届出候右ニ付無宿清蔵と申もの同類之由後藤郷助長屋住嘉吉と申ものヽ方ニ清蔵義近来致同居候由ニ而内々郷助へ懸合候

一今昼後ゟ正木兵馬門人兵学御覧御座之間北之於御庭有之候

二月十八日　曇小雨

一今日二ノ宮江御遠乗御出御道筋二階町御門ゟ八百屋町元魚町二町目夫ゟ本通被為入候旨中奥目附出九太夫ゟ申来夫々江相達候然ル

所七ツ半時過無御滞御帰城被遊候段御先払文蔵嘉七相届候

一三町目依田屋与七義京都柳馬場錦上ル近江屋七三郎方へ四十五日計之逗留ニ而明廿日出立願大年寄承り届差出四月十一日帰

一無宿盗賊清蔵并吹屋町和泉屋八百吉下人元玉琳帳外庄吉右弐人召捕候段目明孫兵衛届出勿論主人八百吉銀五百匁盗取候内金銀ニ致両替四百目計致所持候ニ付取上ケ差出預り置候右之段御両所へ相届藤四郎差向入牢取計之（但吹屋町ゟ牢賄中付ル）

一加人梶間惣平不快ニ付代り山本治三郎来

二月十九日　晏小雨

一御用日登城

一無宿盗人周蔵御裁許伺御用番中へ差出候

一御用番中ゟ左之通被仰出候

町方盛衰之ヶ条御心得ニも可相成義当月末迄認可差出候（同廿六日差出）

一松之間孝教（ママ）御講釈大村成夫相勤御出座被遊拝聴仕候

一出火出馬之節之義聞と申送役伝等ハ無之候得共寺社并御家中朋輩内何方ニ而も騎馬ニ而門内へ乗込候而不苦義と何となく是迄相心得居候所蔵合孫左衛門咄ニ而承り候得者先年伊達与兵衛殿長屋焼失之節後藤守助騎馬ニ而門内へ乗込候処与兵衛殿被相咎早々致下馬断等もいたし候様ニ申聞候付万一左様之義ニ而ハ甚心得違ニ相成候間去ル十七日大目附太田舎人江右之段委細ニ申達不被乗込義ニ候哉又ハ不苦義ニ候哉聞と相伺置度勿論今ニも難計義ニ候得者早々御伺被下候様申達候所拙者共も御同様ニ相心得居候得共聞といたし候義不相覚候間何分同役共申談候上ニ而否御返答可申挨拶之処今日太田舎人ゟ左之通被申聞候

出火之節騎馬ニ而門内へ乗込候義同役談ニ而も難相決義ニ付御用番中へ相伺候処寺社ハ勿論之義朋輩中内山下たり共何方ニ而も門内へ乗込候而不苦義ニ候併何方ニ而も玄関前狭く所へ二三騎乗込候而ハ却而人足等之邪魔ニも可相成候間右体之処ハ見合門前ニ而致下馬這入候而可然其段ハ臨機応変見合ニ可被致候得共随分乗込候而不苦義ニ候由指図有之候ニ付右之段郡代へも可及通用旨相達置其段三浦十郎左衛門へも相達候

一明廿日九時御供揃ニ而川部（ママ）辺御遠乗被仰出御道筋京町御門ゟ町通り御通行被遊候段中奥目附後藤郷助ゟ通用有之小頭并大年寄へ例之通申付候

一本多左門殿ゟ家来町宅之断左之通有之尤去七月町方ゟ申出候分ハ爰ニ略之

（朱書）、水島正蔵一人美濃職人町美島屋勇治借屋住水島寸治同居尤町方ゟも届出候

（朱書）、野口喜平太　京町作人久助同居

右野口喜平太義ハ京町作人久助忰ニ而今般致帰参候付人別除願差出承り届

一後藤郷助ゟ家来町宅届左之通有之

（朱書）、中沢清治船頭町船本屋佐助同居同年三月十八日暇遣人別入承り届

一郡代所ゟ田邑帳外久五郎牢番預ケ申来理右衛門差向取計之但田邑ゟ牢賄いたし候

一戸川町古都後家娘久米義御使組真北岩蔵妻ニ差遣度人別除願承り
届

二月廿日　晴

一川部辺御遠乗被為入無御滞暮前時御帰被遊候段御先払藤四郎治三
郎届出候
一牢浚申付候処無別条旨理右衛門岩蔵届出候
一明廿一日五半時御供揃ニ而泰安寺へ御仏詣被遊候段中奥目附覧良
助ゟ通用有之大年寄井小頭江例之通申達候
一勝間田町浜野屋伴治義因州鳥取四町目有本屋伊三郎方へ十六日之
逗留ニ而明廿一日出立願大年寄承り届差出三月二日帰ル

二月廿一日　快晴

一御用日登城申上候御用向無之
一天崇院様証御忌日ニ付泰安寺へ御仏詣被遊御往来共拙者門前御通
行被遊無御滞相済候段御先払文蔵庄蔵届出候
一於御用所左之通被仰渡大目附出席

藤本伴右衛門長屋住岩蔵義御場所柄江　町奉行へ
忍入盗致不届至極ニ付死罪可申付之処今般御年回御供養ニ付
髪を剃助命追払被仰付候尤鳥目弐百文被下之候

右ハ来ル廿四日孝恭院様廿五回御忌御供養済御参詣被遊候付御参
詣後於地蔵院取計候様大目附被申聞諸事去戌十一月八日取計之通
ニ談置候尤今度ハ御法事詰之中奥目附致出席候由○且又下目附詰
所昨年者甚不束之義ニ付大目附へ達置候処太田舎人ハ下目附ハ板
縁へ不着と申義ハ無之義ニ付以来ハ御徒目附之前板縁へ下り候様
ニ申付候間其旨ニ相心得候様被申聞候ニ付其旨三浦十郎左衛門野
条金平井御徒目附山田新三郎へも及噂置候
右同断ニ而左之通被仰渡尤御法事後日取計候様ニ大目附ゟ被申聞
候

盗相働不届至極ニ付百敲之上　無宿盗賊周蔵
追払被仰付候

一今九時ゟ射術御覧有之
一大久保安芸守殿領分当国久米北条郡中北上村嘉四郎娘銀義安岡町
久米屋鶴蔵縁類ニ付手習ニ差越度相頼候付一両年逗留為仕度願承
り届
一上紺屋町南側ニ而渡部玄端家屋敷表口三間裏行十七間但本役也西
隣ハ幾野屋勘六東隣ハ平野徳敬也右家屋敷廿ヶ年以前辰四月質物
ニ書入下紺屋町紙屋音四郎取次ニ而銀札三百匁借用仕候処今般元
利返弁受返し候段届書差出し候
一京都吉田徒従三位家大角勘ケ由去ル十一日罷越候処未用事不相済
候間用事相済候迄逗留為仕度紙屋助右衛門追願差出承り届同廿六
日出立候段届出候
一船頭町川口屋庄次郎悴岩吉義割場中間ニ被召抱候ニ付人別除願御
中間頭江引合之上承り届ル
一牢屋下番中間久五郎不快引込届出候三月三日出勤届出候
一安岡町久米屋鶴蔵ゟ去戌十一月十九日届出候縮緬綿入壱ツ二ノ宮
村吉原屋佐七より言伝候由申越候処誰人之品哉不相知段届書指出
候処古川村茂八と申もの ゟ質物利銀ニ差越候旨ニ御座候由相知候

段届出候

二月廿二日　快晴

一大坂長沢清左衛門ゟ書状差越出訴ニ付致登坂候二ノ宮新蔵安岡町山田屋新七内済相整惣辻弐拾四両ニ而相済此処ニ而拾四両相渡残ハ証文ニ而相済右金子并仲ヶ間内連印取ニ新蔵壱人罷帰候由郡代所ゟ書状相廻り早々調達候様可申付旨大年寄へ申付右来書ハ郡代所へ差戻し候

一新魚町弓削屋多助義御為筋之義致箱訴奇特之段伺之通賞詞申渡候様昨日御用番中ゟ被仰渡候旨三浦士へ伝達有之候

一大坂山本町大坂屋忠兵衛手代孫兵衛庄八助十郎伊兵衛右四人例年之通小間物売来候段坪井町河原屋治助宿切手差出三月八日罷帰

一新魚町灘屋治右衛門義去ル十一日龍野へ之添簡相渡候処罷帰候上内済可致申談ニいたし引取候由返書取帰り差出候尤明日御用所へ可差出候○右返書廿七日御差戻し被成候

一明廿三日九時御供揃ニ而二ノ宮辺院庄辺御遠乗被仰出御道筋田町御門ゟ三浦十郎左衛門横前北郷門太夫前ゟ南へ真直ニ妙願寺前通り夫ゟ竹内要左衛門前稲垣惣兵衛前横金井長平前真直ニ秋元三左衛門前通り大番所今町夫ゟ御順路御出被成候旨中奥目附出九太夫ゟ通用有之大年寄并小頭へ例之通申付候然ル所御延引ニ相成候

二月廿三日　雨

一御用日登城

一茅町鉄山屋六太郎借屋住板屋伊助養子万吉義兼々孝行行届候義組合近隣之ものも感入候趣ニ候由行状書を以届出候ニ付先格之通白銀弐枚家屋敷代百五拾匁被下置候様伺書差添御用番中へ差出置候同廿五日伺之通被仰出大目附へも達置候

一船持共廿九人例歳之通壱艘ニ付五拾匁つゝ合壱貫四百五拾匁拝借願勘定奉行へ引合之上差出候所御用番御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申達候

一上紺屋町備前屋紋治伊勢屋十蔵喧嘩内済仕候ニ付願下ケ願書御用番へ差出相伺候処御受取被置候同廿六日伺之通被仰出候

一材木町山城屋重右衛門義御堀端建物崩取跡塀ニ仕度御堀へ足代下し願大目附へ差出相済候

一明廿四日四時御供揃ニ而地蔵院へ御仏詣被遊御道筋例之通之旨中奥目附後藤郷助ゟ通用有之大年寄へ申達候

一御発駕前ニ付明後廿五日ゟ御用日日勤ニ相成候段大目附ゟ達有之候段近藤伊左衛門ゟ演説有之

一草薙製法近日ゟ町会所ニおゐて取計度伺済候由近藤伊左衛門ゟ通用有之大年寄へ申達置候○右為挨拶佐右衛門へ銀壱両真北類蔵ゟ相送候由届出候

一造酒屋共ゟ十分一米取立方并右御届書等之取計方猶又従公儀被仰出候段御書付両通大目附ゟ被相渡何分右御役米造酒屋共へ触達置候而可然哉何分御用番中へ相伺候様大目附ゟ被申聞其段相伺候処何分以後造酒屋歎出可申其節御評議も可有之候間先公儀御触通造酒屋共へ申達置候様被仰出勿論是迄之冥加銀等免除之義ハ尚又追而御沙駄可有之候得共何れ二重ニ者御取立無之段内々移置候様被仰出則公儀御触之趣相認大年寄へ相渡造酒屋共呼出申達候様ニ申

付候右御触ハ正月三日十四日之処ニ有之ニ付爰ニ略之○大年寄方ニ而ハ廿五日申渡

一他所酒御差留被成可然旨閏正月九日伺置候所伺之通宜取計候様被仰出候ニ付町触差出右文段御触扣ニ有之ニ付爰ニ略之

一明廿四日御参詣後於地蔵院盗賊岩蔵御赦取計出役ニ付拙者供廻り之義大目附ゟ尋有之昨年者御法事御当日ニ而も無之ニ付若堂(ママ)一人草履取計ニ而罷出候所寺社取次も同様之義ニ而如何之もの哉ニも存候旨申達候所槍程ハ為持可然義と被申聞候付其段被仰達御取計被下候様ニ申達置候所承知ニ而槍持壱人被申付被呉候且又加人も壱人申達候所末沢折治来

△御参詣相済候ハ、寺社取次ゟ為知有之候様ニ談置候間盗賊井髪結共も其刻迄ニ役宅江罷出候様ニ大年寄井小頭共へも夫々手配申付置候

△右御赦ニ付寺院歎之者六人被差免候段夫々江申達候様大目附ゟ達有之右六人之もの共之親類名面書寺社取次野条金平ゟ被相廻候付右之もの共明廿三日役宅へ九時差出候様大年寄共へ達置候

一小野田為治義自分家来遠藤和四郎義番代ニ差出度願書差出候ニ付承り届明後廿五日目見取計候様ニ申達置候

一吹屋町和泉屋八百吉義下人庄吉井清蔵ニ被盗取候銀札相違も無之義ニ付口書印形不済内ニ而茂主人八百吉へ相渡可遣段御用番中へ伺済ニ付大目附へも相達置候

一役所書類入候箱三ツ六匁四分ニ而灰屋喜平治方ニ而相納代物相渡候

二月廿四日　晴

一地蔵院江御参詣相済候段寺社取次野条金平ゟ九時前案内有之囚人井出役之もの共一同地蔵院へ差出詰合町奉行増児右門寺社取次野条金平中奥目附出九太夫御徒目附高橋三郎太下目附土居左市同心小頭三船藤四郎同部屋目附神田栄治同出番本庄為蔵山本治三郎寺社下代植月元右衛門立会同心小頭左之通申渡之

其方義御場所柄江忍入致盗　藤本伴右衛門長屋住岩蔵

不届至極ニ付死罪可申付処今般孝恭院様御供養御赦ニ付助命髪を剃御領分追払申付候以後立帰り於令徘徊者可為曲事者也

右ハ去十一月取計之通御堂正面御縁座敷北を上席として町奉行寺社取次中奥目附三人東向列座御徒目附ハ南之方末席横座北向ニ着座下目附ハ板縁御徒目附之真下北向其次縁端少引しさり寺社下代着座板縁北之方町奉行前ニ同心小頭部屋目附相詰小頭読渡之但下代足軽迄麻上下着用

△右申渡相済囚人之縄を目明免之畢而和尚板縁薄へり之上江出戒を被授夫ゟ門内林之内ニ而髪結共囚人之髪を剃又御堂前南之方へ引出し弐百文被下之義寺社下代ゟ申渡之小僧相渡之何茂引取○右取計済藤本伴右衛門へ及通用候

△拙宅於白砂下役新左衛門小頭栄治部屋目附藤(ママ)大年寄源五兵衛諸吟味喜左衛門立合左之通直ニ申渡

Ⓐ　一其方親類増屋新助娘文義　林田町増屋藤右衛門

孝恭院様廿五回御忌御供養御赦ニ付寺院歎ニ寄而帰住居被差免候此段可申達候

一其方親類鈴鹿屋太兵衛義　小性町桶屋幸助
右同断ニ付帰住居被差免候
一其方親類伊勢屋長右衛門義　吹屋町吹屋八左衛門
右同断ニ付徘徊被差免候
一其方親類大黒屋藤七義　西新町大黒屋又七
右同断ニ付徘徊被差免候
一其方親類神喜屋梅之助義　上紺屋町神田屋清吉
右同断ニ付徘徊被差免候
一其方親類藤屋嘉右衛門義　鍛冶町川口屋喜七
右同断ニ付御構之町々徘徊被差免候
右之通取計相済候段御用番并大目附へ紙面ニ而相届候
△右門義地蔵院へ出役供立　若堂（石名源蔵　木吉折治）槍持（割場中間）草履取（手人）

（Ⓐ部に貼紙あり、左の通り）
「右之もの共本堂正面白砂へ筵を敷壱人ツヽ呼出し出役之面々北を上トして順席ニ本堂縁座敷江着座御徒目付者末席障子際横北向ニ着座下目附者敷居外次之縁座敷ニ離而相詰下代足軽之義者板縁之上ニ薄縁敷之北之方ニ郡代下代同心小頭部屋目付南之方ニ寺社下代相詰当役ゟ御才（ママ）許申渡候旨相達読渡候節郡代下代同心小頭代ル〳〵少し進出読渡之右申渡相済縄を目明し共ニ解傍ニ扣させ置又剃髪申渡之もの八人白洲江呼出し列座為致置法印板縁薄へり敷之上へ出戒を授畢而門内北松林之内ニ而髪結共ニ髪を剃セ候又其儘追払之もの共六人白砂へ呼出右之通ニノ法印戒を授候右剃髪相済髪を不剃もの迠（ママ）不残本堂之少し下之方白砂江呼出寺社下代ゟ鳥目弐百文ツヽ被下候段相達畢而小僧ゟ夫々江渡」

享和二戌十一月八日之日記

一深信院様明廿五日五半時御供揃ニ而泰安寺妙法寺へ御仏参藺田町通り之旨種村登門ゟ通用有之大年寄并小頭へ例之通申達候
一京都吉田侍従三位殿使者へ明廿五日四時御返答有之候間御使者宿川口藤左衛門へ申付候様御奏者番伊達与吉郎ゟ申来大年寄へ申達候所故障無之御受いたし候旨申出候但御返答古谷嘉左衛門也
一明廿五日九時御供揃ニ而二ノ宮院庄辺江御遠乗被仰出御道筋ハ此間被仰出候通田町御門ゟ三浦十郎左衛門横前北郷門太夫前ゟ妙願寺前南新座通り大番所夫ゟ町分御順路被為入候旨中奥目附筧良助ゟ通用有之大年寄并小頭へ例之通申達候
一右御出并明日者馬見分御道見分申付置候ニ付組致不足候ニ付昨日申達候当日切之加人末吉折治も明日一日留置其上今壱人加人被仰付候様大目附へ達候所小堀助四郎来
一永見能登殿家来戸田理庵義三町目草津屋虎五郎借屋ニ差置候所去戌八月三日致病死（ママ）役介ハ備前加茂江引越候所届延引之断書差出
一福渡町静虎屋利兵衛売家之義ニ付心得違有之孫左衛門差扣伺出不及其義申達候

二月廿五日　雨

一御用日登城但今日ゟ日勤ニ相成候
一雨天ニ付御遠乗御延引被仰出候段中奥目附仮役太田縫兵衛ゟ通用

有之夫々申達ス

一脇坂淡路守殿預り所当国勝南郡木知ヶ原村清蔵忰文蔵一人上紺屋町中津屋伊右衛門養子ニ引受度人別入願例之通取計済同晦日住宅証文差出

一橋本町吉田屋和助借屋住幸吉義去戌十二月七日出奔届出百日尋申付置候処行衛(ママ)不相知最早百日余ニ相成候付除帳願右同断取計済

一福渡町皆木屋甚助妻先達而出奔仕当月十五日除帳願伺済之処甚助義致病死候処右妻義勝山ニ罷在組合之もの見出相尋候処全狂気ニ而罷出候由先非を悔相歎候ニ付甚助娘芳引受度帰住居願右同断取計済

一下紺屋町平岡屋茂兵衛娘たか義脇坂淡路守殿預り所当国久米南条郡大戸村栄助妻ニ差遣度人別除願右同断取計済

一雲州神門郡浜村夫蔵娘もよ義桶屋町桶屋市右衛門借屋住備前屋喜助忰長吉妻ニ引受度人別入願右同断取計済同廿九日住宅証文差出

一孝恭院様御供養御布施配当場頂戴之受書御用番へ申上大目附へ差出

一桶屋町虎屋熊右衛門方へ去ル廿三日盗賊這入銀并銀札合壱貫四百匁并布子壱八匁位之品被盗取候届書御用番御聞済ニ而大目附へ差出置触流取計候同晦日町方ニ無之旨届出候

一人馬問屋共ゟ馬持共之歎書指出御発駕之砌出羽守様御同様ニ明石一駅通馬十六疋休息被仰付候様仕度勿論御定之賃銀ハ相払可申旨申出候付近藤伊左衛門へ及対談渡置候御取上ケ難被成旨同廿七日伊左衛門ゟ申来願書差戻候但宇田四郎兵衛へ相談之処右之通之由也

一茅町孝子万吉義去ル廿三日伺之通宜取計候様被仰出大目附へ差出置候追而被下物相廻り次第可申渡候同廿八日申渡

一今八時御供揃ニ而昨日被仰出之御道筋御遠乗被仰出俄事ニ付急ニ夫々申達候処漸御間ニ合御先払嘉七岩蔵差出候所御先払立帰違候段罷帰り届出候ニ付其段太田舎人江相伺候処何之御沙駄も無之嘸格別之御目障ニも不相成義と存候間拙者場合切ニ而叱置以来相慎候様ニ可申付旨被申聞候付其旨ニ取計之尤暮前時御帰被遊候

一於御用所御用番御年寄左之通申渡之大目附出席

武田七郎兵衛忰利左衛門義札元見習　町奉行へ

申付候此段可被申渡之候

右ニ付直奉書差遣父子共呼出於座敷新左衛門小頭大年寄諸吟味詰合ニ而申渡之畢而御両所へ相届候

一御発駕之砌御道筋等之取計諸事御先格之通可申付哉と太田舎人江相伺候処其通ニ而宜候旨被申聞候

一明廿六日四時御供揃ニ而泰安寺へ御仏詣被遊御道筋例之通之旨中奥目附太田縫兵衛ゟ通用有之大年寄并小頭へ例之通申付候

一一ノ宮市町之節博奕以前之通厳禁被仰出候間其旨申付候様郡代所ゟ通用有之仍之目明共へ急度申付候様小頭代栄治へ申付大年寄へも相達置候

一他所酒停止申付候付先例取調候処明和六丑三月廿四日同四月三日之日記ニ在方并一ノ宮市町等ニ而他所酒取扱候而ハ不相済候間在方も同様御触達有之候様并小桁番所ニ而酒差留候様御用番中伺之

上郡代と申談取計候様相見候間其段郡代江御達被下候様御用番中へ申上候処御承知ニ而直ニ御達有之候

一元魚町山口屋源治忰金助義今般往来中間ニ被召抱候ニ付人別離願書差出御中間頭北島唯七へ引合之上承り届

一駅馬見分御発駕前ニ付玉置源五兵衛宮田喜左衛門神田栄治三船藤四郎差出候処例歳之通毛附帳面差出昨年ゟ宜候旨申出候

一御発駕前ニ付御道見分小頭代神田栄治大年寄玉置源五兵衛諸吟味宮田喜左衛門差出候所大体ハ宜候所少々之破損所等有之夫々繕申付置候段申出候

一深信院様御仏参無御滞相済候段源蔵折治届出候

一上紺屋町南側ニ而渡部玄端家屋敷表口三間裏行十七間但本役也西隣ハ幾野屋勘六東隣ハ平野敬徳也右家屋敷代銀弐百匁ニ相極平野敬徳へ売渡度願承り届同晦日売券状差出

一上紺屋町南側ニ而平野敬徳家屋敷表口五間裏行十七間但本役也西隣ハ渡部玄端東隣ハ浅屋幸右衛門也右家屋敷代銀五百目ニ相極渡部玄端へ売渡度願承り届右同断

一元魚町刀屋善助義妻召連百日計之逗留ニ而四国遍路罷出度三月七日出立仕度願承り届六月八日罷帰

二月廿六日　雨

一御用日日勤之処拙者昨夜ゟ致耳痛候ニ付当病御断三浦士へ相頼并御用向頼遣候

一脇坂淡路守殿預り所当国勝南郡飯岡村兵七忰周兵衛壱人京町仕立屋新助(ママ)役介ニ引受度人別入願御用番御聞済ニ付大目附へ差出候由三浦ゟ申来御聞届申達候三月廿四日住宅証文差出

一上紺屋町紋治十蔵喧嘩内済願下ケ去ル廿三日差出置候処今日御下ケ被成宜取計候様被仰出候付大目附へ差出置候段三浦士ゟ申来内済願下ケ御聞届之旨大年寄へ申達昼廻源蔵治三郎ゟ手錠差免候様申付之

一京町加茂屋平左衛門義存寄書差出右ハ此節御質素被仰出候得共下方に行届兼可申候間蒙仰候上ハ人々江教諭仕度と申考ニ而奇特千万之存付尤成ル義ニ付申上候而申付度もの哉と存右平左衛門人物之処監察申付候処甚和之なき生質(ママ)ニ而常々人之不伏人物ニ候由迚も世話申付候而も下方気受不宜却而御権位振候而ハ害ニ可成程も難計哉之旨申出候付其段御用番へ申上奇特之段賞詞尚考之上可申付抔と申置可然哉と伺置候処伺之通宜取計候様被仰出候旨三浦ゟ申来其旨大年寄へ申達候

一町方盛衰之趣認差出候様被仰今日三浦士を以差出候

一明廿七日四時御供揃ニ而川辺(ママ)江御遠乗被仰出御道筋冠木御門ゟ主膳殿前通り宮川御門ゟ町通りへ被為入候段中奥目附仮役藤井嘉津馬ゟ申来大年寄并小頭へ申付候

一小性町瓜生原屋平吉義船荷割不埒いたし候付蔵元場合ゟ荷積差留置候所段々詫誤(ママ)入候ニ付差免候段蔵元申出候由大年寄申聞候尤差留候節も噂申出候但閏正月廿五日ゟ差止候

一西新町養楽院義讃州金毘羅参詣十日計之逗留ニ而来月七日出立願大年寄承届十三日

一下紺屋町一乗院右同断願右同断

一三町目福永屋常五郎所持之自国請酒株当二月ゟ来子ノ二月迄丸一ヶ年之間東新町出雲屋幸吉借り受度願承り届子三月四日追願差出
一泰安寺御仏詣無御滞相済候段御先払文蔵利右衛門届出候
一小野田為治番代和四郎義昨廿五日新左衛門栄治藤四郎詰合ニ而目見申付候昨日認落候ニ付爰ニ記

三本入扇子箱　　小野田和四郎

二月廿七日　晴

一今日も拙者義不勝候ニ付当病御断ハ御用向三浦士へ頼遣候
一久世御代官重田又兵衛殿支配所当国大庭郡古見村忠兵衛忰藤兵衛一人戸川町中屋庄兵衛引受度願例之通取計済三月朔日住宅証文差出
一因州鳥取かゐる(鮭)町岩井屋幸助忰久蔵夫婦娘一人右家内三人戸川町作人久米蔵引受度人別入願右同断取計済三月朔日住宅証文差出
一生野御代官布施孫三郎殿支配所当国吉野郡田殿村磯右衛門弟甚助一人戸川町斎藤孫右衛門家守作人文助借屋住小吉引受度人別入願右同断取計済右同断
一材木町大工忠五郎同町谷屋三六ハ大和屋熊蔵義御堀へ足代下し願二通大目附へ差出候段三浦士ゟ申来其段申達置候
一御国産取立候樫野屋茂一郎考之内質屋と美濃職人町ニ而釘いたし候義ハ早々御免被下候様仕度旨申上置候処上原彦蔵附紙之通被仰出候旨三浦ゟ申来候処上原附紙ニ時質屋之義ハ差支有之出来兼候付御見合被成可然釘之義ハ美濃職人町ニ而致度旨願出候者御許容可有御座と申義町奉行指含居候而大年寄以下之者得と相考望之もの願出候様ニ相成可然鍛冶町一統得心と申義者六ヶ敷ものと奉存候由附札ニ有之候ニ付其段大年寄へ申含置候
一御奏者番廻状到来左之通

来月三日御発駕前ニ付御目見被仰付候間御徒格以上且又御目見相済候十五才以下家督ハ部屋住将又小従人已上之隠居之面々麻上下或ハ十徳着用五半時登城可有之候

一小性町作人常蔵義今般江戸深川ニ居候中田藤吉方へ当亥蔵ゟ来ル丑歳迄三ヶ年之間奉公稼ニ罷越申度留主中家役等之義ハ親類同町山田屋長吉へ相頼置候段願書差出承り届文化七庚午年二月罷帰ル
一西新町樽屋勘右衛門借屋住平治後家セん同人娘亀右家内弐人林田上之町作兵衛方へ引越度人別除願下方引合相済候段申出承り届
一福渡町浜野屋嘉市家守久米吉借屋ニ居候増見屋藤吉役介友(ママ)ハ娘鶴右家内弐人此度林田村栄吉方へ引越度人別除願右同断ニ付承り届
一坪井町小倉屋百々吉伯母孝同人娘隼右弐人此度御領分西々条郡和田村伊伝治妻子ニ差遣度人別除願右同断ニ付承り届
一船頭町備前屋喜治郎弟辰蔵義此度往来中間ニ被召抱候ニ付人別除願差出御中間頭北島唯七へ引合之上承り届
一船頭町西村屋義助義四国遍路ニ罷出度百日計之逗留ニ而三月七日出立之願大年寄差出承り届六月廿七日五十日追願差出義助義当七月朔日予州ニ而病死八月十五日同人妻子罷帰ル
一上紺屋町円乗院義讃州金毘羅参詣十日計之逗留ニ而三月七日出立願大年寄承届差出同十三日帰ル
一吹屋町熱田数馬義右同断願承り届三月十四日帰届

一右同町持福院義右同断願承り届右同断
一堺町小林主水義右同断願承り届右同断
一同心組銀札場借り年賦納当春ハ例歳ゟ弐百五拾匁余分ニ都合壱貫目相納候様ニ銀札場奉行ゟ申来数度懸談候得共不相済依之御蔵奉行山野十郎兵衛へ相頼二百五拾匁拙者奥印ニ而漸借り受遣依之銀札場へ壱貫目栄治持参上納仕残り借高九百七拾八匁九分七厘一毛五糸之証文拙者奥書ニ而差出し候委細ハ別紙有之
一蔵合孫左衛門夜ニ入申出候者川奥之もの共兼而手船ニ而当所通り抜いたし度相巧候趣先年ゟも度々有之候処又候此節企居候趣相聞候処今日いさす宇右衛門幸七庄八森原岩太炭を積四艘通り抜いたし候所を船頭町之もの共兼而心懸ケ居見咎懸合居何れニも通り抜ハ御先家ゟ不相成義ニ付是非及断居候始終又々久世御懸合ニ可相成候旨勿論孫左衛門及差図懸合仕候旨申出先承り届候尤翌廿八日御用番中へ及御噂置候

二月廿八日　快晴

一御用日登城拙者義漸今日致出勤候
一久世手代曽根源次郎榎本宗八飯沼才次郎ゟ昨昼前飛脚差越奥津村源之助ゟ当町今津屋孫十郎方へ御年貢銀納五拾八俵差越備前ニ而売払呉候様ニ頼越候処右代銀滞候ニ付源之助致出訴度願書差出候処先懸合候様ニ申付候間右源之助訴状写相廻候間急ニ筋立候様申付呉候様申越候ニ付御紙面之趣致承知候早々呼出申付猶得と糺之上自是可及返書旨返書下案差添昨日即刻御用番中へ相伺置候処昨日ハ御出有之御伺不相済旨ニ而被仰出無之今朝伺之通及返書候様被仰出飛脚之者へ相渡今津屋後家義昼後呼出候所代人差出大年寄諸吟味小頭立合左之通申渡之

奥津村源之助ゟ米五拾八俵預り　今津屋孫十郎後家煩代
代銀差滞候段右源之助ゟ致出訴候段　福本屋新右衛門
久世役所ゟ右訴状写相廻候旨為読聞早々済方いたし候様申渡之

右申渡相済候段御両所へ相届右来書大目附へ差出候
右米代銀滞之義ハ先達而今津屋後家ゟ訴出備前船頭召仕居右之ものへ申付致川下候処西大寺ニ而売払右代銀取逃いたし候尤馴合之ものも有之由ニ而向方ゟも扱候ものも有之候得共下方ニ而懸合候而ハ不相済不得止事今津屋ゟ弁銀仕置候間備前へ出訴仕度添簡願出候得共何れ相手方出奔ニ而ハ懸合候而も迚も不相済義ニ付公料御年貢米と申もの二而源之助願出久世ゟ添簡ニ而為致出訴候ハ、少ハ筋立速ニも可有之哉と申含置候ニ付右之通申来候事ニ付其段も昨日十郎左衛門を以内々御用番中へ及御噂置候
一今日所々御社参御座候取沙駄有之候得共中奥目附ゟ不申来如何様之訳哉と出仕之上中奥目附筧良助へ承り合候処今日五時御供揃ニ而御玄関ゟ表御門馬場通北口御門古市横通り中筋一ノ宮御帰り上道通惣社高石垣柴田石右衛門横前望月定太郎横前真直ニ白神夫ゟ安国寺前通り中筋正(ママ)徳寺前荒神前ゟ安岡町御順路被為入候由ニ而先刻御出被成候旨当役へ通用落候事と相見候間乍不及急ニ夫々取計候様申聞候付其段大年寄へ申付并御先払差出候様ニ小頭へ早々

申遣候所藤四郎文蔵差出候処右両人出宅之砌最早高石垣迄被為入漸々懸ケ抜正徳寺横ゟ御先払仕候所町方も可也掃除も間ニ合候由ニ而安岡町ニ扣居尤御帰御道筋不相知候ニ付御用使末吉折治へ御帰御道筋相知候ハ、為知呉候様頼置候処御帰御道筋田野村ゟ笠松田中通と被仰出候ニ付引取候様申越候ニ付引取候段九ツ半時頃罷帰無御滞相済候段相届候尤今朝ゟ御帰道不被仰出候ニ付相知候ハ、被申越候様筧良助へ申置候所昼後同人ゟも右之通之御道筋北口御門へ御帰被遊候段通用有之候

一昨廿七日川(ママ)辺御遠乗御出御先払嘉七治三郎差出候所御滞無御座相済候段暮前罷帰り相届候昨日認落候ニ付爰ニ記置

一立合右同断ニ而左之もの共八時呼出左之通申渡取計済御両所へ相届候

養父伊助へ孝行尽候段　茅町鉄山屋六太郎借屋住板屋伊助養子

奇特之義ニ付為御褒美銀弐枚并　孝子　万吉

家屋敷代百五拾匁被下之候

一斎藤孫右衛門義忌中今日ニ而半減相済候間明廿九日ゟ忌御免被仰付候様仕度旨御用番中へ相伺候処早速御聞済ニ付大目附へ達置先格之通奉書を以申達候

一脇坂淡路守殿預り所当国勝南郡金井村林右衛門忰金蔵一人小性町若木屋甚吉引受度願御聞済ニ付例之通取計済同廿九日住宅証文差出

一拙者義左之通伺書十郎左衛門を以大目附へ差出候所即刻御聞届相済

私義心願御座候付当国木山寺へ一夜泊ニ而御発駕後参詣仕度奉存候此段奉伺候宜御差図可被下候已上

一大坂島之内大宝町万屋善治郎壱人例年之通皮足袋水のふ金とうし売来候段西新町山家屋利右衛門宿切手差出六月廿五日帰

一河原町熱田市正忰大蔵義金毘羅参詣三月七日立願大年寄聞届差出

一当町中之箕打共他国之笠御差留被下候様歎書差出候得共差戻候段大年寄申出候

一当町中之紺屋共郷中并以来新之紺屋職御差留被下候様歎書差出候得共差戻候段大年寄申出候

一御発駕ニ付勝間田駅ゟ宿馬廿壱疋借受度申越候付先格之通致承知候旨及返書候段大年寄申出承り置尤明日出仕之上大目附可及沙駄候

一昨夜蔵合孫左衛門申出候川奥ゟ炭積下ケ候船之義昨夜ゟ之懸合振承り候処船持とも至而柔弱成申方ニ而向方ゟ申候義ニ可也致迷惑候趣ニ而既ニ今朝ハ御蔵元へ懸り難題申懸ケ既ニ不及貪着(ママ)乗抜候抔と申趣之処蔵合初姫路屋抔も兎角銘々之差支ニ相成候間及断と申趣ニ而至而穏成懸合振ニ相聞候付向方ハ次第ニ申募候様子有之迚も左様之腰之弱義ニ而ハ承知も致間敷船方之もの共も急と大出入いたし候覚悟ニ而腰を居可懸合尤役所懸合ニ而ハ国法とも難申義ニも可有之候得共先家ゟ以来致不来義ニ候へ者下方ニ而ハ急度国法と申候而も可然義ニも候間一己之難義而已を不申往古ゟ之掟と申義を押張手強懸合候様孫左衛門へ申含候処姫路屋甚右衛門惣船持共呼寄同人下知ニ付候哉下知を不用ものハ此場可立去不同意之

ものハ急度存寄有之旨申聞候処小々目覚(ママ)候様子ニ付今般之取計不調法ニ相成候ハ、拙者壱人蒙御咎何茂難義ニ者懸ケ不申旨惣船持共へ申聞置四人之船頭共呼寄急と手荒ニ懸合候処致迷惑左様之義ニ候ハ、上御苦労ニ相成候而も恐入候義ニ付明早朝当所之船ニ積かへ差下シ川奥之船ハ是ゟ引上ケ可申旨申聞当所之船壱艘四拾五匁之運賃ニ相定明早朝積受候約束ニ相極さつと筋立候旨及深更大年寄ゟ申出候猶又此旨明日出仕之上可及御沙駄候

一大目附廻状到来左之通尤組中へ差出候

火之用心之義前々被仰出候得共猶又御発駕前堅申付御発駕当日ハ別而相慎可申事

一酒之義是又兼々被仰付候得共弥下々迄堅相嗜候様可申付候若酒狂なと有之候ハ、可為曲事事

一御発駕之砌御城内者不及申可為人込候間喧花口論無之様別而相慎可申事

一町方へハ例年之通町触差出候

二月廿九日　晴

一御用日登城

一備前和気郡田殿村紋右衛門忰吉三郎夫婦娘一人右家内三人東新町種屋伊助役介(ママ)ニ引受度願御用番御聞済ニ付例之通取計相済三月廿日住宅証文差出候

一大目附廻状到来左之通

御発駕前御用多ニ付今廿九日孝経講釈御延引被仰出候此段及演達候

一藤本伴右衛門長屋住盗賊岩蔵所持之家財闕所被仰付候間伴右衛門へ申談先格之通宜取計候様大目附太田舎人ゟ達有之藤本伴右衛門へ対談之上右家財明晦日八時同心組壱人差向立会相改候上受人江相渡受人宅ニ而古道具屋へ入札取計候上ニ而御払ニ可取計旨申談明晩右受人方へ古道具屋差遣候様大年寄へ申付小頭江も其旨申付候

一御発駕之砌宿馬四拾壱疋御入用右之内ニ而通馬拾六疋有之候間寄セ馬之義郡代江申談宜取計候様大目附太田舎人申聞候付人馬問屋へ申達寄セ馬員数申出候様大年寄へ申達候処拾九疋寄セ馬被仰付候様申出其段郡代所へ申遣候又壱疋増被仰出候

一明晦日服忌改ニ而五時御供揃ニ而地蔵院御宮八幡宮稲荷宮徳守宮秋葉泰安寺惣御霊屋本源寺へ御参詣被遊御道筋地蔵院迄例之御道八幡元之御道江御帰井口恵左衛門前東へ古市横前ゟ三枚橋手前稲荷へ元之御道柴山右平次前御堀端通り大橋殿角ゟ南へ三浦十郎左衛門横前西へ真直ニ山田九左衛門横ヲ南へ徳守宮元之通宮脇町今町中横町渓花院横ゟ長安寺泰安寺本源寺御帰り例之御道筋ニ候段中奥目附仮役太田縫殿兵衛ゟ通用有之候ニ付小頭へ御先払大年寄へ御道筋掃除井堅等之義例之通申付候

一御発駕ニ付町奉行御道見分之義太田舎人江申達置候所当役不及出旨被申聞候

一盗賊周蔵御裁許先日伺済ニ候得共御発駕可取計旨大目附へ及相談候処随分左様ニ而宜候由被申聞候

一加人山本治三郎今日ゟ差戻其段大目附へ相届候

一京町原田屋嘉四郎病気ニ付引込候段大年寄ゟ届出候
一いさす森原ゟ炭積下ケ候船四艘姫路屋甚右衛門取計宜故弥当所之船三艘ニ積受ケ今朝乗下し候段大年寄申出候尤甚右衛門格別致出精早速筋立候付為御酒代工面ものへ内ゟ銀弐両差遣度大年寄伺出承り届
一船頭町北側ニ而作人仲右衛門家屋敷表口三間四尺裏行六間半但本役也西隣ハ瓜生原屋平吉東隣ハ瓜生原屋六蔵也右家屋敷代銀百目ニ相極同町作人茂七へ売渡度願承り届三月四日売券状差出ス
一御発駕ニ付町方取計先格之通ニ申達候所先例之通ヶ条書認出ス右ハ寛政五癸丑年三月御発駕之例之通ニ付爰ニ略之

二月卅日　快晴

一御用日登城
一昨日被仰出通今日寺社御参詣有之俄ニ御道筋替り三浦十郎左衛門横ゟ元魚町美濃職人町鍛冶町上紺屋町徳守宮と御通行被遊候段稲荷へ御参詣懸ケ北御門ゟ被仰出候ニ付掃除等も可也ニ御間ニ合無御滞相済候段御先払文蔵岩蔵届出候
一備前赤坂郡小倉邑久兵衛忰元治郎一人美濃職人町団扇屋宇八引受度人別入願御用番御聞済ニ付例之通取計済三月三日住宅証文差出
一生野御代官布施孫三郎殿支配所当国勝北郡河面村五郎七娘いね同娘二人右三人西新町井筒屋源右衛門(ママ)役介ニ引受度人別入願右同断取計済三月八日証文差出
一此間川奥ゟ炭積下し乗抜候巧之いさす森原之船爰元之船ニ積かへ川下致相済候段御用所へ及御沙駄候
一惣社村円福寺へ去ル廿四日盗賊這入拾九品代ニ積り百三拾三匁八分位被盗取候触流取計候様大目附ゟ達有之町触取計本書ハ郡代所へ相廻候三月八日町方ニ無之段届出候
一関貫番賃銀例月之通相渡候
一牢舎扶持三俵之内貸証文差出奥書取計之但是ニ而四月へ壱斗弐升三合七勺五才持越候積也
一京都烏丸通六角下ル所二文字屋清四郎妻ひさ義用事有之来候付当年中逗留為仕度願元魚町海老屋長右衛門出承り届
一堺町三津屋平右衛門所持之他国受酒株去戌三月朔日元魚町吉屋清蔵借受候処猶又来子ノ二月迄借受度願継承り届尤已来ハ地酒商売可仕旨也翌子三月二日追願
一戸川町八木源治義讃州金毘羅参詣願承り届三月十二日帰
一信州筑磨郡籔原宿古屋善吉一人例年之通木櫛卸売来候段宿林田町福屋安右衛門ゟ宿切手指出候六月廿九日帰
一八時左之もの呼出下役小頭代栄治部屋目附藤四郎大年寄孫左衛門諸吟味喜左衛門立会左之通申渡之但取計済御両所へ相届候

市郷之事共御為筋之義致箱訴　新魚町弓削屋多助

奇特之事ニ候此段御賞詞申達し候
一盗賊岩蔵諸道具受取為立合部屋目附藤四郎藤本伴右衛門宅へ差向相改受人江引渡伴右衛門ゟ目録書相廻受取書相廻候右品入札申付候処九匁之札高直ニ付相渡候様大年寄へ申付候
一龍野役人関口作兵衛平野七郎兵衛三沢清太夫ゟ添簡ニ而倉敷村春名猶右衛門ゟ当所堺町稲野屋徳左衛門并清兵衛へ古手売渡候代銀

八貫六百弐匁七分六厘幷右之外ニも七貫目滞有之都合拾三貫六百弐匁七分六厘差滞致出訴然ル所右訴状ニも添簡ニも春名猶右衛門と計有之代人之義無之ニ付致察度候処甚不調法ニ付一先願書差戻候様翌朔日申出差戻候右願書翌朔日御用所へ差出し聢と定例ハ存不申候得共大坂御呼出候も少々之差滞ハ大体六十日限と被仰渡候処郡代所御呼出し候内ニて拾壱貫匁余幷拾三貫匁余之差滞ハ両度共百五十日限り済被仰付候付右之例を以百五十日限済方可申付旨御用番中へ相伺候処宜取計候様被仰出候ニ付猶又返書下案を以伺候処同二日伺之通被仰出候

三月　小

月　番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　黒田要人殿

大目附　小須賀貢

大年寄　玉置源五兵衛

諸吟味　宮田喜左衛門

三月朔丙申旦　快晴

一式日御礼被為請例之通惣登城諸事例月之通御用所ニ而も当日御祝義申述之畢而御用向申上之

一龍野ゟ添簡之義相伺候委細者昨日之所ニ記置候付略之

一札元妹尾平兵衛義大坂今橋壱丁目油屋彦三郎方へ廿日計之逗留ニ而明二日出立願御用番御聞済ニ付例之通取計済同廿日罷帰

一今日御首途御祝義有之御供之面々麻上下着用登城八時ゟ御対面御出有之御沙駄ニ候

一来ル六日御発駕被遊候ニ付当役出役幷前夕町方関貫開立番付置事迄諸事一切寛政五丑年御発駕之通取計候様大目附小須賀貢ゟ達有之御貸人馬之義も申達候所申付置候由被申聞候

一明二日正五時御供揃ニ而表御門ゟ宮川御門大橋林田町山本屋横土手通り清水場ゟ御渡船被遊天神宮へ御参詣被遊元之道へ御帰被成土手通り平岡屋横町ゟ本町通り井崎屋十右衛門横丁ゟ大隅宮へ御参詣被遊夫ゟ野介代高倉川(ママ)辺御殺生被為入御帰道ハ未被仰出旨中奥目附後藤郷助ゟ通用有之大年寄幷小頭江例之通申付候○御波戸(ママ)場ハ郡代所取計御船ハ小勘者ニ而取計候由也

一小頭代当月ハ本島庄蔵相勤候段届出候

一御中間頭内山洞太夫ゟ戸川町定吉船頭町幸助新魚町三沢屋内岩(虫損)」右三人往来中間相勤居候所今般依頼番代申付差障無之段案内有之

一元魚町指屋平三郎義此度小川兼助供ニ而江戸表へ罷越来子五月迄奉公仕度留主中家役之義ハ南屋孫三郎へ相頼置候段願書差出承り届十二月十五日帰

一倉敷春名猶右衛門代人善治郎庄屋大次郎代人庄蔵義今般堺町稲野屋徳左衛門同清兵衛へ懸り合有之来候付逗留為仕度願元魚町大庭屋善兵衛差出し承り届同三日罷帰候段届出候

三月二日　晴風

一御用日登城申上候御用向無之

一御奏者廻状到来左之通

来ル六日御発駕被遊候ニ付御徒格巳上且又小従人巳上嫡子之面々并二男三男十六歳以上之面々暁七時登城可有之候尤先格之場所へ可被罷出候

一新魚町海布屋源治借屋住金島屋市右衛門忰重吉夫婦去戌十月太田村仙蔵方へ引越候処父市右衛門病気ニ付右重吉夫婦共引戻度人別入願下方引合相済候段申出承届

一福渡町静虎屋利兵衛家守金谷屋佐助借屋住作人豊治夫婦忰作治右家内三人今般広原分鉄砲町文助方へ引越度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一大坂大和屋弥三郎ゟ市郷十一人之ものへ出訴先日致内済金子取ニ帰候付町方之為惣代西今町松田屋佐助義明三日立ニ而金子持参仕候段届出候ニ付郡代所へ及通用候処明後四日立ニ申付呉候様申来其旨申付候

一播州姫路大津屋文蔵と申もの内縁ニ付来候間三十日計逗留為仕度願中之町福茂屋武兵衛差出承り届四月九日三十日之追願

一龍野ゟ左之もの共添簡持参ニ付伺済之上新左衛門庄蔵利右衛門源五兵衛喜左衛門立合左之通申渡之○右取計済御両所へ相届来書願書大目附へ差出候

一倉敷村春名猶右衛門売懸ケ滞

出訴之願為読聞候処無相違旨

（堺町稲野屋徳左衛門
同町同　清兵衛

申候ニ付百五十日限急度済方可致候

加判人　釘屋宗十郎煩代
倉敷屋忠兵衛

一百五十日限済方申付候間其旨

出訴人　倉敷村百性　春名猶右衛門
煩代　善次郎

相心得可申若又不相済ニおゐてハ

同村庄屋代庄蔵

早々可申出候

一今日之御出御帰道ハ本町通り京町御門へ御帰被遊候段中奥目附寛良助ゟ通用有之大年寄并御先払へ申達候処御先払藤四郎和四郎罷帰東新町ゟ御挑灯ニ而御帰被遊無滞相済候段届出候

三月三日　快晴

一上巳御祝義登城之処御発駕御目見ニ付麻上下着用御徒格巳上部屋住隠居迄五半時惣登城○有役之面々芥子之間ニおゐて群居御目見○無役之面々松之間ニおゐて群居御目見○御用所檜之間大目附三奉行ハ御発駕前日御目見有之ニ付今日ハ御目見不被仰付七間廊下ニおゐて御小性頭上巳之御祝儀例之通申上之畢而御用所へ罷出上巳之御祝義申上之続而御用向申上之但当役申上候御用向無之

一大目附ゟ左之通演達有之候

一御発駕後ハ御用日三八ニ相成候

一松之間講釈相止於山吹之間三日十八日孝経講釈被仰付候

一御飛脚八日廿三日被仰出候

一同心組木杖代三年目ニ相渡候処当年被下候順年ニ付先格之通壱人へ壱匁五分合拾五匁御渡被下候様大目附へ申達候但小頭ゟ大納戸へ受取書差出代物ニ而受取候先格也右受取候様小頭へ申達ス但早縄苧代ハ七年目ニ受取候先格也

一材木町万屋与三兵衛家守清兵衛義御堀へ足代下し候願大目附へ差

出

一大坂出訴ニ付西今町松田屋佐助義出坂之義郡代所へ申遣候所明四日立ニ延呉候様申来「(虫損)」旨昨日申付置候所今度ハ在方ゟハ人不差出松田屋佐助へ頼遣候間書状差遣候様連名ニ相認来大年寄へ相渡候様申達ス

一御発駕節風廻り石田新治罷出候間京町ニ立宿申付候様頼来大年寄へ申達ス

一牢屋下番中間久五郎今日ゟ出勤届出候

一西今町中野屋太郎兵衛箱訴壱通御用所ゟ御下ケ被成考付相伺候様大目附ゟ被相渡右ハ年賦銀御免被下候様歎書と相見へ御取上ケ無之筋之ものと致附紙差出候

三月四日　快晴

一御用日登城

一豆腐直段正月廿三日ゟ十七文売之処十八文売仕度願御用番御聞済ニ付例之通取計

但大豆五十五匁相場ニ紙差引メ手間代三分三厘

一仏事之節酒停止之義市郷へも御家中同様ニ被仰付度旨郡代連名ニ而伺書御用番中へ差出候所即刻伺済ニ付町方へ左之通相触候

新喪并法事都而仏事ニ者市郷共酒御停止被仰出候間堅相守り可申尤僧へも右之旨可及断候但下々江酒代として少々つゝ遣候義ハ勝手次第之事

一伏見町小坂屋善兵衛忰斎吉義四国遍路四十八日計之逗留ニ而来ル七日出立願大年寄承り届差出候四月廿六日三十日日延願差出承届

五月廿六日帰

一明五日御暇乞之御目見有之候間麻上下登城候様大目附被申聞候

一西新町今屋庄兵衛妻義四国遍路百日計之逗留ニ而明五日出立願承り届五月廿一日帰

一新魚町淀屋弥兵衛忰金右衛門義身延山参詣百日計之逗留ニ而明後六日出立願承届

一藤本伴右衛門長屋住盗賊岩蔵闕所物入札払代銀札九匁并紙入中ニ有之候銀札合而拾匁五分四厘大年寄ゟ差出候

一作州真島郡河内村庄屋井手三郎左衛門伯州河村郡橋津村庄屋亀右衛門へ兵庫津岡方惣代高井喜一ゟ病人之義申遣候由村送り状来り継送り候段届出候

一勝間田福井屋市右衛門并弟乙吉と永瀬屋勘九郎と致喧嘩勘九郎へ少々疵付候由幾之義故内済ハ可仕候得共先ツ福井屋兄弟ニ手錠被仰付被下候様大年寄申出夜廻り栄治源四郎ゟ為取計候内済同十二日願出承り届

一土居駅ゟ宿馬五疋なくてハ無之候間御発駕之砌其余之員数馬差越借し呉候様先月末申越致承知候旨及返書候所届出候義失念仕候段蔵合孫左衛門申出候但佐用ゟ例歳不申越旨申聞候

一林田弓之町子ノ中刻出火ニ付致出馬候処組屋敷二軒致焼失無程及鎮火引取引懸ケ御用番中へ相届大目附へハ馬脇ゟ以使相届候但大目附太田舎人郡代出役也

三月五日　晴

一御暇乞御目見ニ付御用所檜之間大目附三奉行麻上下着用四時登城

式日御目見之通宮島之間ニおゐて例之席ニ而御目見申上之御家老中御取合御機嫌克御発駕被遊候恐悦申上候と被申上平伏仕是江と御意有之左へ向キ脇指を脱御上段際へ摺寄り御手熨斗頂戴之元之席へ復座シ脇差を帯シ平伏仕候節又御家老衆御手熨斗頂戴仕難有仕合ニ奉存候旨御取合有之引取

右畢而御用所江罷出例之通御用向申上之候

右畢而御用所大目附三奉行御使番御座之間へ被為召一役ツ、御人払ニ而御用向被仰付候

一中之町品田屋甚助娘かつ義土屋但馬守殿領分当国勝北郡田熊村市之丞妻ニ差出度人別除願御用番御聞済ニ付例之通取計済

一中之町福茂屋武兵衛方へ先月十四日夕同十七日夕生野御代官所作目附之由止宿風呂敷包壱ツ内ニ古袷壱ツ股引脚半古こり一晒腰帯一古雪駄一有之外ニ傘一本古焼灯一ツ預ケ置今以不罷帰旨届書差出右ハ在方をかたりを言廻り候もの有之由先日郡代所ゟ御用番中へ被申上候由ニ付御用番中へ差出候所無程御差戻被成候

一備前津高郡中山村百性幸八弟岸右衛門義茅町今出屋庄助養子ニ引受度人別入願御用番中御聞届ニ付例之通取計済同十一日住宅証文差出甲子年五月十三日離縁除帳

一御発駕之砌伏見迄通馬十六疋被仰付置候処又壱疋増被仰付通馬十七疋ニ相成候間寄馬壱疋被仰付候様人馬問屋ゟ申出早々郡代所へ申遣候所間ニ合指出候馬数都合四拾弐疋ニ相成候

一御発駕ニ付左之通書付大年寄ゟ指出候

一御奉行所御立宿　東新町　茂渡藤右衛門

下宿　同　島屋伊助

一風廻り御物頭石田新治立宿　京町　小豆屋与平治

一御先払同心組立宿　同　戸島屋伝吉

一右同断ニ付同心組役割左之通申付候

一掃除見分神田栄治 荒木源四郎　但立付自分羽織着用

一御先払平組堀内利右衛門 荻野嘉七　大文字付黒羽織竹杖　小頭本島庄蔵　小文羽織着用

一京町人留江原文蔵　一供番三船喜四郎 小野田和四郎

一屋敷番朝泊川端幸治　夕番中山勇蔵　夜廻り石名源蔵 小野田和四郎

一川端幸治義先月五日ゟ引込居甚心得違不埒之事候処小頭代庄蔵を以誤(ママ)入候段詫言申出候ニ付明六日ゟ出勤候様申付ル

一御発駕之砌自分供焼灯持ニ牢屋下番中間非番之者先格之通差出候様小頭代へ申付ル

一明六日御発駕御供揃暁七半時と被仰出候旨中奥目附後藤郷助ゟ通用有之右ニ付諸出役七時之出宅と相触候

一西今町中野屋太郎兵衛箱訴致附紙差出候所御勝手方被相糺借銀証文等差添猶又考付被差出候様大目附小須賀貢ゟ被相渡候

一美濃職人町福佐屋宇助夫婦四国遍路仕度百廿日計之逗留ニ而来ル八日出立願承届五月廿日帰

一橋本町作人又平義右同断百日計逗留来ル七日出立願承り届五月廿四日帰

一西今町角屋吉兵衛忰宇兵衛義今般御厩中間御雇ニ而出府六十日計之逗留願承届五月十五日 疑帰似

一安岡町久米屋鶴蔵義金毘羅参詣廿日計逗留ニ而来ル七日出立願承

り届同十四日帰

一福渡町阿賀屋助五郎家守忠助借屋住福島屋庄吉義先月十八日出奔仕相尋候得共相知不申段届出例之通百日尋申付候

一美濃職人町作人市兵衛借屋住勘治義此度島崎栄碩弟子ニ相成針術修行仕田辺養吾と相改度旨願書差出

右勘治と申ものハ寛政十一未年七月赤野村丈之助方ゟ徳山朴也養子ニ引受候処同十二申年致離縁十一月ニ差戻候ものニ候処其後同郡西原村幸右衛門役介(ママ)ニ相成去ル酉十一月林田町福吉屋安右衛門方へ引受致人別入美濃職人町ニ致借宅居実ハ矢張惣髪ニ而内分ハ苗字等も名乗候哉之趣ニ相聞甚不埒之義ニ付致察度候処右之通改名いたし勿論外方差故障ハ無之旨申出候付承り届

三月六日　曇暮前ゟ少雨

一御発駕ニ付暁七時出宅東新町茂渡藤右衛門方へ罷越相扣居六半時頃御発駕被為遊左之処ニ而御見立申上之御供頭島田宇右衛門名披露

玉琳南側舛形之内　増児右門

但供之もの二間程引込順ニ列置候事

大年寄蔵合孫左衛門

同南側舛形外　斎藤孫右衛門

但下人ハ人家へ入置候　玉置源五兵衛

風廻り物頭中ハ大年寄ゟ東之方ニ而御目見也

一御供押大橋十太夫殿通行迄其儘扣居相済直ニ立宿へも不立寄其儘引取引懸ケニ御用番中へ罷越相届大目附江者馬脇ゟ以使相届四時前帰宅仕

但御発駕被遊候得者詰合之諸出役へ御跡富者被下置頂戴後早々被引取頂戴物之御礼申上計ニ而御発駕恐悦申上ハ無之事之由寛政五年ニも引取懸ケ登城仕候処最早御用所御退出ニ付其旨大目附小須賀貢江及対談候処登城ニ者及間敷候間直ニ帰宅可然旨被申聞候付不致登城引取候

一安岡町三倉屋平兵衛妻義四国遍路六十日計逗留ニ而来ル七日出立願承り届五月十二日日延願六月七日聞帰

三月七日　雨

一川端幸治出勤ニ付加人荒木源四郎今日ゟ指戻其段大目附へ相届候

一牢番上野団助病気引込届出候ニ付加人壱人大目附へ申達候所石井金治中谷孫右衛門両人来

一堺町宮田喜左衛門家守芦田屋善兵衛義四国遍路七十日計之逗留ニ而来十一日出立願承届四月廿五日聞帰

一西新町木屋与次右衛門義甲州身延山へ参詣七十日計之逗留ニ而来ル十二日出立願承届五月十六日帰

三月八日　快晴

一御用日登城

一吹屋町安田屋六郎右衛門義去ル四日夕裏折乗下ニ煙草五拾五斤差置被盗候届書御用番へ申上大目附へ差出置候

一下紺屋町紙屋庄五郎借屋住備前屋仁助夫婦孫栄次郎右家内三人土井大炊頭殿領分当国久米南条郡金堀村亀次郎方へ引越セ度人別除

願右同断取計済

一勝間田町栄屋与三左衛門下人安兵衛井西新町奈良屋治助後家他札取遣り一件夫々相糺御裁許書差添大目附へ差出置候同十八日伺済

一西今町中野屋太郎兵衛拝借銀一件箱訴御裁許伺書大目附へ差出候

一同心組木杖代拾五匁請取手形大目附御勝手懸り上原彦蔵上印取之小頭代庄蔵へ相渡候

一御領分東南条郡一ノ宮村里方十治妹倉義九年以前卯十月西新町大黒屋源右衛門妻ニ引受居候所今般離縁仕親元へ差戻度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一新魚町亀屋源助悴平太郎義四国遍路百日計之逗留ニ而来ル十日出立願承届四月廿五日帰

三月九日　快晴

一新左衛門庄蔵藤四郎源五兵衛喜左衛門立合九時ゟ左之もの共呼出遂吟味候

白状いたし候

牢舎人盗賊　清蔵
同　庄吉

但盗取候金子之内五両弐歩弐朱計致所持居候付其分壱大八百吉へ　立合　庄吉主人吹屋町和泉屋八百吉相渡候

町役吹屋八左衛門

一伊達与兵衛殿ゟ使ニ而家来町宅名面付被指出候

、福田善助河原町常沢屋清兵衛同居（朱点）

右之外ハ去戌七月十一日之処ニ有之

一、西尾隼太ゟ家来町宅届有之尤名面ハ去戌七月十一日之処記有之（朱点）

一中之町綿屋勘兵衛義雲州大社へ参詣廿日計之逗留ニ而明十日出立願大年寄承届出同廿二日帰

一伊勢山田御秡屋四郎太夫内柏木庄右衛門御師壱人用事有之来候ニ付三十日計逗留為仕度願新職人町松の屋十右衛門差出承り届四月五日帰

一西今町永野屋安兵衛義大坂大川町玉子屋九郎兵衛方へ三十日計之逗留ニ而明十日出立願大年寄承り届差出候同廿八日帰

一久世ゟ添簡ニ而奥津村源之助ゟ今津屋へ相懸り米五拾八俵代銀差滞今津屋後家へ済方申付置候処右備前船頭取逃致候付備前へ出訴仕度添簡願下案相認御用番中へ相伺候処翌十日伺之通宜取計候様被仰出候

一勝間田町永勢屋勘九郎福井屋市右衛門喧嘩不致内済候由ニ而今日届書指出候ニ付部屋目附藤四郎差向疵見分為致候所最早全快いたし候由改一札井医師容躰書取罷帰差出候

三月十日　曇

一勝間田町永勢屋勘九郎義疵所平愈（ママ）之旨昨夜申出候ニ付今早朝昼廻り嘉七幸治差向手錠申付候

一大目附廻状到来左之通尤町中組中へ早々相触候

従江戸表飛脚到来千霜院様（前藩主斉彬の姑・太田原直）御病気之処御養生不被為叶去ル二日巳ノ下刻被成御卒去太守様御伯母之御続ニ付御定式之御忌服被為請候右ニ付従今日来ル廿一日迄鳴物高声停止之事ニ候

尤普請ハ来ル十三日迄五日之内相慎可申候

一御奏者番廻状到来左之通尤大年寄へも廻勤候様ニ申達候

千霜院様御病気之処御養生不被為叶去ル二日御卒去之旨申来依之為伺御機嫌明十一日御徒格已上并御目見相済候部屋住ニ至迄麻上下着用四時登城可有之候

一一昨八日御用番要人殿へ罷越先日いさす并森原ゟ船乗抜可致処を差留候取計委敷申上且又右ニ付姫路屋甚右衛門考書指出以来ハ諸色当町へ不差出船ニ而積かへ川下へ差出候含之旨考書差上置候

三月十一日　雨

一千霜院様御卒去ニ付為伺御機嫌麻上下着用御徒格已上五半時惣登城御用所槍之間大目附三奉行例之通御小性頭謁奉伺御機嫌表方ハ御奏者番謁有之候右之外廻勤并申上等無之御用所退出後引取

一深信院様御出之節御先払本股立ニ而指出来候所御使組御先払ハ半股立ニ而罷出候由ニ付栄治伺出候得共鳳厳院様泰涼院様等之御例相覚候もの無之ニ付大目附小須賀貢江申達候所半股立ニ而可宜旨被申聞候付其段小頭代庄蔵へ申達候

三月十二日　快晴

一深信院様御仏詣御先払文蔵幸治差出候所無滞相済候段届出候尤今日ゟ半股立ニ而相勤候事

一勝間田町福井屋市右衛門同人弟岩治乙吉と永勢屋勘九郎と去ル二日夕致喧嘩同四日届書指出候同九日疵所見分指出一札取置候処内済仕願下ケ願書差出承り届願書差戻夜廻源蔵和四郎差向手段差免候

一板倉周防守殿城下備中松山下町新屋治郎左衛門次男久米次郎と申者斎藤孫右衛門内縁之もの ニ而商売体見習ニ罷越候間当年中逗留為仕度願承り届

一京町小豆屋与平次忰安五郎義兼而白銀細工仕候付江戸深川御屋敷中田藤吉方へ細工修行ニ差遣来ル丑歳迄三ヶ年之間差遣置度願承り届

一永見能登殿家来小林延四郎義暇出候処西今町万屋市右衛門孫ニ付引受度願承り届

一船頭町高瀬屋四郎兵衛忰幸助義御中間相勤居候処御滞なく御暇被下候付人別入願差出右ハ去ル朔日御中間頭引合相済候ニ付承り届

一中之町粟井屋茂市父善吉義西国順礼百日計之逗留ニ而明十三日出立願承り届（六大寺一カ）丹波国阿納寺ニ右病死仕候段七月四日届出

一美濃職人町茂七右同断願承り届尤十五日出立七月十六日帰

一勝山金田万右衛門義斎藤孫右衛門親類ニ付用事有之来候間廿日計逗留為仕度願承届同廿九日追願

三月十三日　曇

一御用日登城

一坪井町塩屋清右衛門義病気ニ付和談之上夫婦共実家小倉屋へ罷帰り度塩屋家ハ乍幼少養父八郎右衛門実子直之助へ相譲相続為仕度願差出役筋切ニ而可承届義ニ候得共彼義ハ門松御免之もの ニ付其段及伺候処門松ハ清右衛門切ニ而直之助へハ不被指免候段御用番中被仰出其旨大目附へも達置清右衛門実家へ罷帰候義承り届直之助へハ門松不被指免候段大年寄へ申達候

一札元山本三右衛門義先月十一日大坂へ罷出候処未用事不相済ニ付今廿日計之逗留追願御用番中御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申達候

一大久保安芸守殿領分当国久米北条郡里公文中村藤蔵兄源蔵一人安岡町生綿屋喜右衛門役介（ママ）ニ引受度人別入願右同断取計済同廿六日住宅証文差出

一柘植又左衛門殿支配所備中小田郡元堀村新蔵忰徳兵衛義一人福渡町阿賀屋助五郎家守万五郎引受度人別入願右同断取計相済同十七日住宅証文差出

一吹屋町川口屋吉右衛門忰熊吉義兼而不所存ものニ而親類組合異見を加候得共不相用其上先月中旬罷出行衛（ママ）不相知右体之ものニ付何方ニ而如何様之変義仕出候程も難計ニ付親類組合打寄義絶勘当仕度願右同断取計済同廿二日証文差出

一美濃職人町作人登之助借屋住百助役介（ママ）かね義重田又兵衛殿支配所当国西々条郡西屋村親類弁吾方へ為引越人別除願右同断取計済

一三浦十郎左衛門義伺之通差扣被仰付纔之義ニ者改而仮役被仰付候ニも及間敷差向候義者拙者引受候心得ニ而居候様ニ大目附小須賀貢被申聞候但翌朝御免被成候

一沢田村藤左衛門方へ先月廿八九日頃盗賊這入品々十四被盗取候触流取計候様御用番中被仰出大目附へ達置町触取計本書ハ大目附へ差戻し同廿一日無之段届出候

一牢番足軽上野団助義明日ゟ出勤仕候段届出候ニ付加人両人差戻候段大目附へ相届候

一戸川町作人松出屋喜作娘熊義兼而病身ものニ而不相分候処最早妊娠六ヶ月計ニ相成届延引之旨断書差出例之通出産之上叱取計候様申達

一下紺屋町長江朝庵義播州龍野川原町茜根屋勘十良方へ四十五日計之逗留ニ而来ル十四日出立願大年寄承届差出四月廿八日帰

一大目附廻状到来左之通町中組中へ御触面之通相触候

ユキ君（将軍徳川家斉の娘・前年五月七日に出生）舒姫○様御病気之処御養生不被為叶去ル四日午上刻御逝去ニ付今十三日ゟ明後十五日迄三日之内鳴物停止被仰出候（ママ）尤普請ハ不苦候

右御触書写取内々郡代所へ差遣宜御取計候様ニ申達候所廻状三通ニノ拙者名面ニ而被触出候

三月十四日　晴

一美濃職人町吉田屋平蔵義西国順礼百日計之逗留ニ而来ル十六日出立願承届六月廿八日追願聞届（八月十一日帰ル）

一美濃職人町登之助借屋住橋野屋百助夫婦京参百日計之逗留ニ而明十五日出立願承届（六月十五日帰）

一札元川口藤左衛門改印願印鑑差出承り届

一御奏者番廻状到来左之通

御朦中為伺御機嫌来ル十八日御徒格已上井御目見相済候部屋住ニ至迄麻上下着用四時登城可有之候

一船頭町今津屋孫十郎後家義備前江之出訴明日出立仕候段届出候ニ付添簡相渡候

一目明孫兵衛義不快ニ付去ル七日引込届出候所今日出勤届出候

三月十五日　快晴

一神田栄治不快引込届出候四月六日致出勤候

三月十六日　晴

一勝間田町浜野屋伴治義因州鳥取四町目有本屋伊三郎方へ廿日計之逗留ニ而明十七日出立願大年寄承り届差出四月廿三日帰

三月十七日　雨

一奈良今井町墨屋伊兵衛手代源助一人例年之通墨筆白粉売来候段京町美濃屋平五郎宿切手指出四月十九日帰

一西新町樽屋勘右衛門借屋住文蔵一人林田上之町作兵衛方へ引越度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一千本隼之丞長屋住南屋茂七夫婦忰市太郎右家内三人右ハ元来戸川町住居之もの二而九年已前寛政七卯年四月十八日戸川町ゟ千本長屋へ引越候もの二候所今般西今町元屋佐吉引請度又候人別入願承り届

三月十八日　雨

一御朦中御機嫌伺ニ付麻上下着用并御用日旁ニ付惣登城三奉行例之通七間廊下ニおゐて御小性頭代謁有之奉伺御機嫌候

一元魚町村元屋万吉借屋住松尾屋源之丞義祖母八十三歳相成兼而老病之処源之丞義去戌九月ゟ熱病相煩近来甚指重り危篤ニ相成候所同人妻壱人九才之小児召連看病仕罷在必至困窮ニ付組合近隣ゟも世話仕候得共永々之義行届不申時之御救被成下候様歎書指出候付八木弐俵被下置候申上候所即刻御聞済ニ付大目附へ相達置御聞届被成弐俵被下置候段申渡米切手相渡候

一材木町徳屋多三郎借屋住要助并娘一人右家内二人脇坂淡路守殿預り所当国久米南条郡塚角村小重郎方へ引越度人別除願右同断取計済

一下紺屋町智教坊有髪之処剃髪仕度願差出寺社取次引合之上承り届

一船頭町船本屋佐助忰中沢清次義後藤郷助へ出入奉公いたし居候所今般首尾能暇出候ニ付帰住人別入願後藤郷助へ引合之上承り届

一御領分東南条郡林田上之町作人久六夫婦二人下紺屋町鳥屋利兵衛引受度人別入願下方引合相済候段大年寄申出承り届

一御領分東南条郡押入下村伊三右衛門弟幸三郎義西新町奈良屋源兵衛後家養子ニ仕度人別入願下方引合相済候段大年寄申出承り届

一桶屋町東側ニ而大工屋藤吉家屋敷表口三間裏行十弐間但半役也南隣ハ大谷屋新蔵北隣ハ虎屋佐助也右家屋敷代銀札百匁ニ相極町内虎屋熊右衛門へ売渡度願承り届同廿二日売券状差出

一桶屋町大坂屋彦市義町作庄屋相勤居候所病身ニ相成候付忰京右衛門へ跡役被仰付候様願出候間願之通承届度旨郡代所ゟ案内有之候御代官大久保正三郎ゟも同廿九日案内有之

一大坂大和屋弥三郎出訴ニ付内済ニ出坂いたし候西今町松田屋佐助罷帰り長沢清左衛門ゟ之返書差出候所在方之証文間違候ニ付認かへ来ル廿五日迄ニ罷登候約束ニ而差返し候段申来右返書披見之上郡代所へ相廻し候山田屋新七も罷帰り候

一子ノ刻前致出火古市隼人裏在分ニ而御中間九兵衛と申ものゝ明家之由致出馬候処類焼無之一軒致焼失候処火消人足も一向不罷出下火ニ相成候而山北村沼村林田町橋本町計出役所出人抔も一人も不来漸馬計来罷出候所及鎮火候ニ付引取引懸ケニ例之通御用番へ相届大目附へハ馬脇ゟ以使相届八時過帰宅仕候尤郡代も不罷出大目附ハ太田舎人出役也

三月十九日　快晴

一橋本町目明弥助義先格之通役中ハ水火ニ付出入被差免呉候様大年寄申出承届

一金毘羅参詣止宿弐百七拾九人在之候由旅籠屋頭後藤屋佐一改帳差出候

三月廿日　快晴

一備中倉敷浜村徳兵衛と申もの因州岩井郡湯村ニ而行倒快気之上同所ゟ送り出シ野村へ送り来候付糺之上継送り申付候段郡代所ゟ申来大年寄へ申付候

三月廿一日　快晴

一大坂大和屋弥三郎ゟ市郷十一人之ものへ相懸り致出訴右為内済山田屋新七松田屋佐助罷上り内済相調候処在分証文間違ニ付去ル十八日両人共罷帰候所今般ハ在方ゟハ二ノ宮村義兵衛罷出候得共町方ゟも壱人罷出呉候様相頼候ニ付又々松田屋左助同道仕明廿二日致出立候旨届書指出承り届郡代所へ相廻候所郡代所ゟ御用番中へ伺済之上返書致し被呉候

三月廿二日　雨

一於御用屋敷新左衛門庄蔵藤四郎源五兵衛喜左衛門出番源蔵和四郎立合左之通申渡之

一酒代ニ備前札弐匁七分受取不埒　勝間田町栄屋与三左衛門下人安兵衛

至極ニ付其員数取上ケ手錠懸ケ追込但日数十日

一銭目附下働日雇ニ罷出見咎賄賂　桶屋町倉敷屋金五郎

取り内分ニ而相済又候雇ニ無之節も目附と偽り銀札揺り取重々不届至極ニ付右貪り取候銀札為差戻咎牢舎申付候但日数五十日

一安兵衛義他札取扱被見咎候挨拶　勝間田町浜田屋茂兵衛之風情ニ而実ハ供之銀札揺り取候心底不届至極ニ付咎牢舎申付候但日数廿日

一下人へ舟方不行届処ゟ右体之不　同町栄屋与三左衛門

埒出来不届ニ付追込申付候但日数五日

一他所札不受取義ニ候ハヽ其旨強　西新町奈良屋治助後家

而可申述処却而送り物等いたし候段心得違之事ニ候此段急度叱置候

一奈良屋後家ゟ被相頼候迚実否も　同町岸田屋伊三郎

不相糺送り物等為致候段心得違之事ニ候此段急度叱置候

右取計済御両所へ相届候

両人とも口書印形取之候

牢舎人盗人　和泉屋八百吉下人　庄吉

同断無宿　清蔵

一新職人町瀧本屋庄蔵借屋住菊義甲州身延山へ百五十日之逗留ニ而来ル廿八日出立願承届　十月廿七日日延願

一桶屋町桶屋伊助母義関東廿四（ママ）霜遍路二百日逗留ニ而来ル廿八日出立願承り届右ハ一向宗旧跡之由也　十月廿一日日延願

一三浦志摩守殿領分当国真島郡勝山中町神代屋小兵衛忰好五郎義京町田原屋伊兵衛養子ニ引受度人別入願翌廿三日御用番へ申上伺済之上大目附へ差出御聞届申達候　四月二日住宅延文差出

一右吟味ニ付同心組致不足加人壱人当日切ニ大目附へ申達候所福島

為助来

一東新町年寄橋本屋茂右衛門義播州能勢妙顕宮江参詣廿日計逗留ニ而明後廿四日出立願承り届四月十五日延願差出同十七日届

一松田屋佐助義今朝出立候哉と御用番中御尋有之候由郡代所ゟ申来候処町方之もの共ハ私用ニ而他国へ罷出候義ハ着発共ニ御用番へハ不相届先例ニ付大年寄ゟも不届出候ニ付大年寄へ相尋候所今朝致出立候段申越候ニ付御用番中へ罷越其段相届且当役ニ而着発共ニ不相届先例ニ候段申上候所二ノ宮村義兵衛出立届有之候ニ付被相尋候事之由ニ候旨被仰聞候

一病犬薬用切候段斎藤孫右衛門ゟ申出候ニ付大目附へ相尋候処国島栄庵ゟ受取候様差図有之同人ゟ受取相渡候

三月廿三日　雨昼後晴

一御用日登城

一西今町井ノ口屋六右衛門借屋住米子屋伊助後家義三浦志摩守殿領分当国真島郡乗水村(ママ・「桑水」の誤り)同人甥勘三郎方へ引越度人別除願例之通取計済

一船持共銘々随意申募蔵元舟行届兼候ニ付今般仲ヶ間申談以後之取締書相認印形取置度尤蔵元以下之申合ニ付当役場迄伺出候程之義ニ者無之候得共今般改而連印取候義ニ付内々申聞候段大年寄ゟ差出尤右ヶ条之内ニ惣船持ゟ米弐俵取立組頭四人之筆墨紙料ニ為仕并用向ニ而呼出候節不罷出ものニ者弐匁ツヽ之過料申付候と申ヶ条新法ニ而其余ハ先規ゟ之ヶ条を堅相守候様之示合也右書面内々御用番中へ差出勝手次第為仕候而可然旨昨日申上置候所思召無之宜取計候様被仰出其段申達候

一船持共ゟ歎書差出候者御家中江戸出立之節船賃弐拾弐匁之処以前ゟ諸色高直ニ相成当時ニ而ハ引合不申迷惑仕候ニ付以後ハ廿八匁ニ御上ケ被下候様願書差出候得共駅場同様之義ニ付容易御許容も難被成筋之ものニ而古来ゟ定ニ候得者私ニ上ケ下ケ可相成ものニも無之駅場抔ハ年中格別之損失有之候得共惣町ゟ相勤居候事ニ候得者格別毎度之義ニも無之候得者船持共之内欠ニ可取計義ニ被存尤勘定奉行へも願書差出候旨ニ付平井半平江も遂内談候処其旨同意ニ付御用番中へも内々及御噂置願書差戻し候

一当国大庭郡久世村菊地(ママ)正因(ママ)役介松岡主膳と申もの用事有之京町大村屋源右衛門方へ来候ニ付用事相済候迄同人方ニ逗留為仕度願承り届

一新魚町灘屋治右衛門義龍野預り所勝北郡(ママ・「勝南」の誤り)西吉田村与三兵衛へ相懸り肴売懸ケ差滞出入去月三日添簡願出相渡候所内済仕相済候間其旨明日立ニ而龍野へ罷出相届候ニ付右之段届候由届書差出候ニ付承り届候追而御両所へ可及御沙駄候同廿八日差出候処翌日御戻し被成候四月二日届

一同心組へ渡り合羽五ツ損候ニ付小頭代ニ為持差出候所引替相済候段届出候

三月廿四日　晴

一牢舎人元五郎義郡代所ゟ呼出申来出番幸治文蔵出入取計之

一深信院様明廿五日五半時御供揃ニ而蔵田町通り泰安寺御仏詣夫ゟ妙法寺江御参詣被成候旨種村登門ゟ申来例之通双方へ申付候

一新魚町村元屋太四郎方へ去ル廿二日夕盗賊逗入銀札百七八拾匁被盗取候段届書差出候追而可及御沙駄事同廿八日差出候処翌日御差戻被成候ニ付四月三日大目附へ差出候

一大坂北久太郎町堺筋松屋甚兵衛手代文兵衛一人例年之通小間物卸売来候段新職人町松の屋十右衛門宿切手差出七月十日帰

一二階町作人長八借屋住山田屋徳治郎夫婦今般大坂新町之内吉原町大工岩右衛門方江当亥歳ゟ来ル丑歳迄三ヶ年之間罷越渡世仕度願承り届

一三丁目太刀屋久治義雲州松江八軒屋町三好屋庄八方へ四十八日計之逗留ニ而来廿八日出立願大年寄承届指出五月六日帰

一牢屋下番中間久五郎義不快引込昨廿三日届出候

三月廿五日　快晴

一郡代所ゟ一ノ宮村新七忠兵衛九兵衛忠右衛門四人牢番預ケ申来昼廻文蔵幸治取計之

一勘定奉行三人并三浦十郎左衛門地方下ケ札之義ニ付不調法有之差扣伺頼来大目附へ相伺候処勘定奉行ハ不及其義十郎左衛門ハ伺之通差扣被仰付候但翌朝御免被成候

一作目附佐藤郷左衛門伊丹健左衛門本沢郡兵衛差扣伺平井半平ゟ頼来御用番中へ相伺候処三人共伺之通被仰付候且又大庄屋土居与三兵衛大谷茂左衛門差扣伺植月杢助伺出御用番中へ相伺候処明朝可被仰出旨被仰聞候

三月廿六日　雨

一西新町玉木屋伝吉義昨年御年貢米買取候御咎手錠追込十日と先日伺置候処伺之通被仰出候

一京町田原屋伊兵衛義備後福山大黒町庵屋宇兵衛方へ四十五日計之逗留ニ而明廿七日出立願大年寄承り届差出五月六日帰

一林田上之町一平并忰龍蔵右家内二人中之町作人虎蔵引受度人別入願下方引合相済候段申出承り届

一元魚町作人与吉借屋住中野屋忠吉家内母妹四人右六人林田村藤四郎方へ引越度願下方引合相済候段申出承り届

一福渡町板屋幸助後家娘のせ義播州鵤村平井八良右衛門方へ当年ゟ来ル丑二月迄奉公ニ差遣度願承り届

一元魚町豊屋喜兵衛義大坂西横堀船町橋備前屋孫三郎方へ廿五日計之逗留ニ而明廿七日出立願大年寄差出承届四月廿七日今十日日延追願承届五月朔日罷帰

三月廿七日　曇少雨

一勝間田町栄屋与三左衛門追込昨日迄ニ而五日ニ相成候ニ付今朝差免其段御両所へ相届候尤与三左衛門追込ハ差免候得共下人安兵衛追込中ニ付小門計開置全躰相慎居候様ニ申達候

一郡代所ゟ吉原村弥兵衛出牢帰村手形相廻り出番文蔵差向為取計候

一牢舎人一ノ宮村新七忠兵衛九兵衛忠右衛門四人郡代所ゟ呼出申来出番利右衛門夕番幸治差向出入取計之

一牢舎扶持三俵之内貸証文指出奥印書取計之尤五月へ弐斗六合弐勺五才持越積也

一今津屋孫十郎後家義昨日岡山ゟ罷帰り添簡持参願書差出候所支配之郡奉行他出留主ニ付来月朔日後ニ罷出候様被申聞受取書被相渡

候由ニ而差出候此段明日可及御沙駄候

一福渡町福崎屋弥七持来候旅人旅籠屋株西新町飯綱屋源兵衛へ相譲度願承届

三月廿八日　快晴

一御用日登城

一備前盤(ママ)梨郡田原下村嘉右衛門弟治三郎一人美濃職人町作人登之助引受度人別入願例之通取計済同廿九日住宅証文差出

一西新町井崎屋十右衛門借屋住弥七役(ママ)介富義一人土岐美濃守殿領分当国英田郡川北村幸吉方へ為引越度人別除願右同断取計済

一西新町高松屋忠右衛門娘並義御代官重田又兵衛殿支配所当国大庭郡久世村田中安右衛門嫁ニ差遣度人別除願右同断取計済

一脇坂淡路守殿預り所当国久米北条郡南方中村辰五郎娘かた義美濃職人町財布屋平七借屋住龍田屋栄助養女ニ引受度人別入願右同断取計済同廿九日住宅証文差出

一造酒屋共十分一役米石代納ニ仕度井右ニ付甚難渋仕始終可立行考も付兼候得共以来酒直段下方勝手次第被仰付候様仕度左候而も諸方並も有之義ニ候得者爰元計高価ニ仕候得者弥売捌悪敷相成候故不相当之義ハ決而不仕御定直段ゟ弐分上ケニ仕井一切懸売相断現銀売ニ仕度歎書差出候ニ付御用番中へ差出置候処翌日御戻被成追而差出候様被仰出候

一尾州島崎神職吉田左右上下三人例年之通来候段堺町西川屋善助宿切手出

一河原町作人佐七義去ル廿二日出奔仕相尋候得共行衛(ママ)不相知段届出百日尋申付候七月十八日除帳

三月廿九日　雨

一郡代所ゟ一ノ宮村岩右衛門夫婦召捕入牢申来切手差遣幸治差向取計之

一西今町中野屋太郎兵衛義宗永寺と田地質入差滞出入致内済候段届書指出候

一中之町秋田屋宗兵衛所持之自国受酒株去戌四月二日西新町久米屋清助借受居候所尚又来子三月迄借受度追願承り届子四月二日追願差出

一勝山金田万右衛門義去ル十二日斎藤孫右衛門方へ来廿日計逗留之処猶又来月中旬迄逗留追願承届四月十三日帰

一御蔵米六拾壱匁　町米五拾七匁

一関貫番賃銀百三拾九匁五分真北類蔵ゟ相廻受取候

一関貫番賃銀例月之通相渡候

四月　小

月番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　黒田要人殿

大目附　上原彦蔵

大年寄　斎藤孫右衛門

諸吟味　宮田喜左衛門

四月朔ゝ丑旦　快晴

一右門義今朝木山宮参詣一夜泊ニ而罷越候段三浦士を以相届ㅂ留主中之義同人江相頼置候

一新魚町灘屋治右衛門龍野ゟ罷帰り関口作兵衛平野七郎兵衛三沢清太夫ゟ之書状差出右治右衛門出訴一件下済相整候段申出候付承り届候段通用申来候追而伺之上可及返書事

四月二日　曇

一牢浚申付候処無別条旨昼廻嘉七庄蔵届出候

一茅町池上流滴義先月廿五日致出奔相尋候得共行衛(ママ)不相知段届書差出百日尋申付候

一元魚町糀屋伊助忰幸吉義大坂大川町綿屋義兵衛方へ三十日計之逗留ニ而今日出立願大年寄承り届差出同廿九日罷帰

一橋本町東側ニ而畳屋文右衛門家屋敷表口弐間半裏行拾弐間但半役也南隣ハ作人又平北隣ハ佐賀屋勘右衛門也右家屋敷代銀弐百三拾匁ニ相極林田町中之屋宇之助へ売渡度願大年寄差出承り届同九日売券状差出

一右門義八時過木山宮ゟ罷帰其段三浦士相頼大目附へ相届候

四月三日　快晴

一御用日登城

一龍野ゟ来書下案差添御用所へ差出候所右灘屋治右衛門出訴下済申来候義ニ付預世話忝段加書致差遣候様被仰出候ニ付大目附へ相達明朝立飛脚被仰付候様申達候処荻野勘十郎来相渡同七日朝受取届帰り候

一神田栄治義久々引込罷在難病之趣迚も急ニ出勤難仕ニ付加人壱人大目附へ申達候所吉田藤太来

一勝間田町栄屋与三左衛門下人安兵衛義手錠追込昨日迄ニ而十日ニ相成候付大年寄宅へ小頭代利右衛門出番庄蔵差向手錠追込指免其段出仕之上御両所へ相届候

一林田村筏屋甚七義手船拵船稼我儘ニいたし候段蔵元共ゟ願書指出候ニ付被指留候様郡代所へ申遣候所即刻承知ニ而急度指留候段今日申来大年寄へ申達候

一小頭代月番当月ハ利右衛門相勤候段申出候

一大目附上原彦蔵ゟ一ノ宮田植祭来ル十八日取計候段申出候ニ付例歳之通出役取計候様申来候ニ付小頭へ申付候

一笋之町触例歳之通差出候

一深信院様来ル六日二ノ宮ゟ院庄迄御出被成御道筋御出懸ケハ田中通り御帰り筋違橋ゟ安岡町大番所竹之馬場下町(タ)通之由種村登門ゟ通用有之大年寄ㅂ小頭へ申達候

一安岡町江川屋太郎市忰六兵衛義正月廿日出奔仕候段届書差出百日尋申付候

一孤独扶持百四拾四匁七分三厘六毛真北類蔵ゟ受取指越大年寄へ相渡候

四月四日　快晴

一御蔵米六拾匁　町米五拾六匁

一札元見習武田利左衛門印鑑差出書役へ渡置候

一宮脇町広瀬屋安治義当三月十九日斧壱挺吉原村藤三郎と申もの〻買取候処盗もの丶由ニ而古川村之もの来申聞候段届書指出郡代所へ相廻し候

一勝間田町栄屋与三左衛門下人他札取扱候過料弐匁七分相納受取置候

一油方之もの灘屋吉三郎へ之文通往返書差出右ハ当所之義ニ者無之久世淀川屋清治一件之事ニ而当所不入用之義ニ者候得共喜左衛門差出候故御用番へ持参差出候

四月五日　快晴

一御奏者番廻状到来左之通尤時役之者廻勤申達并組中へも為相知候

太守様益御機嫌克被遊御旅行御道中無御滞先月廿二日御着府被遊候仍之為御歓明六日五半時御徒格以上御目見相済候嫡子之面々登城可有之候

一郡代所〻一ノ宮村岩右衛門忰義右衛門召捕入牢手形相廻り則認かへ出番文蔵差向取計之

一新魚町研屋万兵衛義伯州米子仕立屋伝兵衛方へ四十日計之逗留ニ而明六日出立願大年寄承届ケ指出候七月廿六日帰

四月六日　晴

一御着府恐悦申上ニ付麻上下着用御徒格以上部屋住迄五半時惣登城三奉行ハ例之通於七間廊下申上之畢而御用所へ罷出恐悦申上之大目附へも恐悦自分及挨拶畢而檜之間へ罷出恐悦申上之

一郡代所〻林田上之町源吉出牢帰村申来嘉七差向取計之

一宮脇町関貫破損届書指出候ニ付大目附へ差出候

一大年寄宅へ小頭代利右衛門部屋目附助栄治出番嘉七差向左之通申渡之

一去冬林田上之町源吉〻　西新町玉木屋伝吉

御年貢米買取不届至極ニ付手錠懸ケ追込申付候但日数十日

一帳外もの源吉へ宛作為致　同町　英田屋新治

不埒之段急度叱置候

右取計済御両所へ相届候

一久山勘八義甥久米屋友七病死ニ付御定式之通三日忌服引込候段届出御両所へ相届候

一郡代所ニ而西新町英田屋新治へ林田上之町源吉〻米四俵半受取八出村陶政右衛門へ不残相払候様申渡候段通用有之候

一郡代所〻一ノ宮村新七忠兵衛九兵衛忠右衛門出牢帰村申来当番和四郎差向取計之

一郡代所〻一ノ宮村岩右衛門夫婦并忰義右衛門三人右小児死骸見分ニ付呼出申来和四郎差向出入取計之

一東新町橋本屋茂右衛門下人平治義太田村林之丞方へ借銭乞ニ昨夜罷越候処及口論帰り懸ケ途中ニ而林之丞〻打擲ニ逢玉琳ニ倒臥居候旨庄屋〻町役へ注進申越候旨申出候ニ付町役組合差遣被引取候様之様子ニ候ハ丶早々東新町茂右衛門方へ可引取左様も難致容躰ニ候ハ丶近辺之人家へ引入医療可相加旨及差図置候所昼後申出候者疵所ハ不相見袋打之趣ニ而軽き事之様ニも相見へ候得共痛強趣ニ而無言ニ罷在候義ニ付宿元江ハ難引取近辺之家へ引入医療相加へ置候得共何れ疵所見分被仰付候様仕度旨大年寄申出候ニ付郡代申談立合吟味申付利右衛門栄治差向候所疵所見分一札并容躰取及

深更罷帰候ニ付翌朝御用番へ差出大目附へも相届置候

四月七日　雨

一郡代所ゟ牢舎人義右衛門へ牢越尋之義有之下代差向候段申来立合出番幸治差出候

一神田栄治出勤ニ付加人吉田藤太今日ゟ差戻候段申達大目附へも相届候

一播州高砂本町伊勢屋喜十郎一人例年之通小間物売ニ来候段新職人町松野屋十右衛門宿切手差出七月廿日帰

一小性町屋根屋源太郎借屋住徳島屋忠助忰善七義三十九才ニ罷成候所先日駈出不本心趣ニ而福渡辺ゟ連帰り候処弥不本心趣ニ付心を付居候所去ル五日夕裏ゟ抜出行衛(ママ)相知不申全狐狸之仕業と奉存候付御城下近辺ヱ在々迄鐘太鼓ニ而相尋度旨願書差出候ニ付御用番中へ紙面ニ而差出相伺候処御聞済ニ付其段大年寄へ申達置右願書御戻ニ付大目附へ差出候

右鐘太鼓ニ而尋候願寛政十一未年三月晦日認方之義ニ付甚引縺六ヶ敷相成大年寄共迄差扣相伺候事故右年月遂吟味候処在々之文字可認入義と有之御察度有之其通ニ而相済候処其後之御沙駄ニ御城下近辺と認候而可然旨被仰聞候方も有之候ニ付右日記ニ者無之候得共相覚居候事故本文之通為相認候

一稲荷山草刈相始候段三軒屋番清八昨六日届出候

四月八日　雨

一御用日登城

一大久保安芸守殿領分当国久米北条郡宮部下村仙治伯母豊義二階町出雲屋与治右衛門役(ママ)介長十郎妻ニ引受度人別入願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申達候六月朔日住宅証文差出

一脇坂淡路守殿預り所当国久米北条郡宮尾村平七夫婦ヱ娘壱人右家内三人林田町角屋又七借屋住小松屋源蔵引受度人別入願右同断取計済同十九日住宅証文差出

一船頭町瓜生原屋伝吉忰豊吉義寛政十一未四月廿八日当国西々条郡薪森原村松太郎養子ニ差遣候所此度離縁仕度罷帰候ニ付人別入願右同断取計済

一雲州神門郡久村町伊左衛門忰左兵衛義壱人福渡町阿賀屋助五郎家守忠助引受度人別入願右同断取計済同十四日住宅証文差出

一酒改共弁書差出先日歎書差出候所未御沙駄無御座右歎之趣御聞届御延引ニ相成候而ハ覚悟違拾分一役米難差上候間何卒御早く御聞済被下候様願出尤成義ニ付御用番中へ差出し江戸御聞合申来候上ハ始終御議定之被仰出も可有御座候得共右歎出之趣思召も無之義ニ候ハヽ先ツ当分江戸ゟ申来候内右歎之趣御聞届被下候様ニ申上候処御聞済ニ付大目附へも達置左之通大年寄へ申達候

造酒屋共拾分一役米差出候様今般従公儀被仰出候付歎書差出候所御評決之上追而被仰出可有之候得共延々ニ相成候而ハ銘々覚悟違難渋之旨相歎候ニ付追而御議定之上被仰出有之候内願之通酒直段以来下方勝手次第被仰付先当時之処定直段ゟ弐分上ケ御聞届被成候且又現銀売之義ハ元来下方相対之義ニ付勝手次第可致候

一院庄川留り辰刻申来大年寄へ申達候翌九日川明申来大年寄へ申達

候

一東新町橋本屋茂右衛門下人平治義自分宿京町若松屋借屋へ連帰り療養仕度願出候付郡代所引合之上承り届候

一一ノ宮市町之町触例歳之通差出候

一京町大村屋源右衛門義大坂ゟ出訴ニ付六十日限済方申付置候処未相済限日過候故可罷登処此節不相勝候ニ付日延願昨夜差出最早限日十日計過甚不埒等閑之義ニ付其段先叱置右日延願先格之通奥書仕長沢清左衛門へ可差遣旨御用番中へ相伺候処宜取計候様被仰出尤大坂へも其段申遣候様被仰出候付長沢清左衛門へ右限日過候段当座場合切ニ而叱置候得共猶追而伺之上御咎可申付并自分義も不調法ニ付差扣相伺可申旨申遣候尤今晩之御飛脚ニ差遣候

一盗賊周蔵御仕置明九日可取計ニ付御徒目附立合被指出候様大目附へ相達諸事手配り小頭へ申付候

一玉琳大商売之御裁許被仰出候間委細郡代ゟ可承旨御用番中被仰郡代へ承り候処都而大商売御指留御定法草履わらし小商物計御免ニ而過料又ハ手錠追込御叱等夫々被仰付も有之候右之段大年寄へも達置候

四月九日　快晴

一於牢屋六半時揃御徒目附中村定蔵下目附土井左市同心組小頭利右衛門部屋目附仮役庄蔵出番嘉七源蔵立合小頭ゟ左之通申渡之

盗相働候ニ付百敲追払申付候　無宿盗賊周蔵

一上紺屋町高砂屋金四郎義右周蔵為泊候ニ付追込三日可申付呼出候処昨晩罷出行所相知不申旨申出候付帰次第可届出旨申付置候

右取計済御用番并大目附へ紙面ニ而相届候

一右盗賊周蔵ゟ盗物質ニ取候ニ付　二階町紙屋兵助

其品取上ケ代物損失申付候　元魚町黒坂屋太兵衛

一郡代所ゟ牢舎人岩右衛門夫婦義右衛門久五郎呼出申来昼廻文蔵和四郎出番源蔵出入取計之

一播州姫路久長町大津屋文蔵三月二日中之町福茂屋武兵衛方へ来り逗留願候処今卅日計之逗留追願差出承り届五月十四日帰届

一船頭町今岡屋熊吉姉岩義小田中村権七悴定治妻ニ差遣度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一一ノ宮村義右衛門義小児之死骸を覗河原へ掘埋候節戸川町久蔵と申もの手伝いたし候段義右衛門申口ニ付為相糺候様郡代所ゟ申来夜廻り栄治和四郎ゟ為相糺候所義右衛門申口之通相違無之段申候ニ付組合預ケ申付其段郡代所へ申遣候

一川端幸治義不快引込届出候

四月十日　快晴

一上紺屋町高砂屋金四郎義罷帰候段届出候付小頭代利右衛門差向左之通申渡之

盗賊周蔵度々為泊御定法相背　上紺屋町高砂屋金四郎

不届至極ニ付追込申付候但日数三日

右取計済御用番并大目附へ相届候

一郡代所ゟ覗河原ニ而義右衛門小児之死骸掘候ニ付戸川町久蔵指出呉候様申来出番庄蔵指添今四時ゟ指出候所得掘り不当候旨暮時罷

帰相届候

四月十一日　雨

一小性町屋根屋源太郎借屋住徳島屋忠助忰善七義鐘太鼓ニ而三日三夜相尋候得とも得不尋出候ニ付鐘太鼓相止所々手分いたし相尋候段届書指出承り届置

一公料ゟ造酒株譲受候ものハ冥加米銀譲主へ相納来候処今般十分一役米被仰付候ニ付以来冥加米銀不及相納旨在方造酒屋へ久世領ゟ申来十分一役米之義ハ一向不申越候ニ付郡代所ゟ久世手代へ尋遣候所矢張十分一役米も冥加銀之通譲主へ相納候様返書有之段郡代所ゟ通用有之候左候ハヽ龍野預り所ゟ島屋文七へ譲受候造酒株役米も同様之事ニ候

四月十二日　雨

一牢屋下番中間久五郎義弥病身ニ而難相勤旨番代願出無余義趣ニ付承り届候

一堀内利右衛門小野田和四郎義今日請状致差出し候判元見届藤四郎庄蔵

一一ノ宮村義右衛門小児死骸覗河原へ掘埋候由ニ付一昨十日戸川町久蔵ニ同心組庄蔵差添出候処庄蔵義罷帰相届候者武田七郎兵衛方ゟ人足三人差出供々為掘候由申聞甚不審之義ニ付大年寄へ相糺候様申付候処七郎兵衛義ハ一向不存義忰利左衛門委敷存居趣夫々口書取指出候付御用番中へ口上ニ而申上七郎兵衛他参留利左衛門禁足可申付哉と相伺候処其辺宜取計候様被仰出候付其段申付置大目附へ相届勘定奉行へも及通用置右口書不残郡代所へ相廻し候尤久蔵組合預ケ申付候義も御両所へ相届候

一一ノ宮村義右衛門小児死骸覗河原へ掘埋候一件引合ニ付吟味中他参留申付候　札元　武田七郎兵衛

右同人忰札元見習　武田利左衛門

一右同断ニ付禁足申付候

一右同断ニ付組合預ケ申付候（四月廿五日他参留申付候）　戸川町久蔵

一此三人之もの共去ル十日久蔵ゟ相雇小児死骸掘候ものニ付口書取他参留申付置候　（元魚町辻屋義助　京町勇助　戸川町勘太）

一銀かんさし買来居町方徘徊いたし候哉之趣喜左衛門申出急々追立候様及差図候

四月十三日　曇

一御用日登城

一勝間田町浜田屋茂兵衛咎牢舎昨日迄ニ而廿日ニ相成上紺屋町高砂屋金四郎追込昨日迄ニ而三日ニ相成候ニ付今朝呼出差免候段申渡其段出仕之上御両所へ相届候尤金四郎へハ大年寄申渡之但立合新左衛門利右衛門栄治孫右衛門喜左衛門出番嘉七也

一田中幸助へ造酒屋石代納願出候義并公料ゟ譲受候株ハ石代銀向方可納義歎并休株起かへし之義并今般十分一役米御取被成候ニ付弐分上ケ当分承り届候段郡代連名ニ而下案相認御用番中へ相伺候処思召無之申遣候様被仰出今夕御便ニ差遣候尤大目附へも下案差出候

一東新町五明屋文吉義諸国大社順拝ニ三ヶ年之逗留来ル五月十日出

立願承届

一中之町玉置卯左衛門家守佐助借屋住作人佐太郎忰定治郎義御領分本郷西村彦九郎養子ニ差遣度願下方引合相済候段申出承り届

四月十四日　快晴

一中山勇蔵本島庄蔵石名源蔵今日請状いたし差出判元改利右衛門藤四郎栄治

一牢舎人岩右衛門夫婦忰三人郡代所ゟ呼出申来昼廻栄治庄蔵出番源蔵出入取計之

四月十五日　曇

一同心組萩野嘉七本島庄蔵川端幸治中山勇蔵堀内利右衛門石名源蔵小野田和四郎右七人江神文申付候立合新左衛門藤四郎栄治

一西今町松田屋佐助二ノ宮義兵衛昨夜大坂ゟ罷帰金子証文相渡相済候段届出長沢清左衛門ゟ書状差越左之通申越右来書御用番中へ差出し候

一大和屋弥三郎家内麻疹相煩懸ケ合出来不申受取渡障取漸相渡相済候段届出候付右両人差戻候段申来尤右ニ付御両所ハ未相届一両日之内ニ訴状返上可仕旨申来候○翌十六日大目附へ相届候

一大坂豊島町油屋新兵衛ゟ当所西今町直屋市郎左衛門へ相懸り油代差滞五百九拾四匁八分四厘御屋敷へ致出訴候由訴状差越候尤当二月訴出其節書状認置候所其後懸ケ合も有之旨ニ付致延引置候所不筋立ニ付又々訴出候付申越候段申来候右来書翌十六日大目附へ差出し候

一京町大村屋源右衛門へ相懸り出訴日限切候段催促申越候

一油方三人之もの未致出坂甚等閑之旨最早可訴出と年行司共申出候付今一左右相備候様押置候間壱人成共差出候様申来候

一下紺屋町河内屋佐吉忰宇兵衛義大坂阿波座古金町亀屋弥兵衛方へ去ル申十一月ゟ去戌十月迄奉公ニ差遣度旨寛政十二申十月廿二日願差出候処限月来候而も継願不申出然ル所一昨夕罷帰り去十月三日罷帰処致足痛延引之旨届出甚不埒之義ニ付大年寄場合ニ而急度叱置候様申付候

一御蔵米五拾九匁　町米五拾五匁

一勝間田町栄屋与三左衛門義大坂大川町綿屋義兵衛方へ十五日計之逗留ニ而明十六日出立之願書大年寄差出承り届同廿九日帰

一船頭町今津屋孫十郎後家義去ル五日又々備前へ罷出候所強而糺も無之返簡出来候間持帰り候様被申聞裁許相願候得共先返簡持帰り候様達而申聞候由ニ而罷帰り返簡差出候処向方ニ而相手方之もの不残口書取相廻り向方無拠義ニ付宜様ニ奉頼候段申越候ニ付先御用番中へ差出尚御下ケ被成候上考付可奉伺旨申上置候翌十六日大目附へも相達候

四月十六日　曇

一西新町玉木屋伝吉追込昨日迄ニ而十日ニ相成候付昼廻り栄治和四郎差向大年寄宅ニおゐて手錠追込指免其段御両所へ相届候

一三浦十郎左衛門差扣伺大目附へ申達候所伺之通差扣被仰付且又左之通上原彦蔵ゟ達有之候

郡代三浦十郎左衛門差扣中仮役被仰付候　増児右門

一長沢清左衛門ゟ昨日申来候出訴於大年寄宅左之通申渡之

大坂豊島町油屋新兵衛ゟ油売懸滞　西今町直屋市郎左衛門

五百九拾四匁八分四厘大坂御蔵屋敷へ致出訴候

無相違候ハヽ急ニ済方可然申分有之候ハヽ登坂可申披候

右申渡候段大目附へも相届候

一一ノ宮市町ニ付候而ハ例年廿五日ゟ目明仮役申付候所当年ハ弥吉不案内之義ニ付御田植当日ゟ仮役被仰付度目明孫兵衛相願候趣利右衛門申出承り届候所平助へ申付候段申出候

四月十七日　快晴

一一ノ宮市町ニ付例年之通大目附廻状到来組中へ相触候

一一ノ宮市町ニ付参り懸り拾弐人連芝居来候付世話役之義神主中ゟ被相頼候ニ付彼地へ参込世話仕度旨船頭町倉敷屋音松願書差出承り届尤引受一札も差出候

一西今町永野屋安兵衛姉駒義石田新治組村瀬七兵衛養女ニ差遣度人別除願聞届

一大目附上原彦蔵ゟ左之通紙面ニ而申来下方へも相移置可申旨申遣候

痢疾御薬当年者御仕込無之旨御医師ゟ申聞候定而何れか間違と被察候間其旨被申聞候由

一一ノ宮村義右衛門小児死骸相顕候段申出候付死骸見分ニ岩右衛門夫婦義右衛門覗河原へ差出候付牢屋立合源蔵差出候

四月十八日　曇入梅

一御用日登城

一宇治橋之間孝経講尺(ママ)有之候

一大久保安芸守殿領分当国久米北条郡宮部上村庄兵衛忰藤吉義去ル酉ノ十二月十二日二階町田原屋武兵衛後家養子ニ引受候処今般離縁仕度人別除願例之通取計済

一新職人町瀧本屋庄蔵借屋住作人利吉義旧臘廿八日致出奔閏正月朔日届出百日尋申付候処弥行衛(ママ)不相知最早百日余相成候付除帳願例之通取計済

一大久保安芸守殿領分当国久米南条郡押渕村武助役(ママ)介紋蔵壱人鍛冶町因幡屋亀太郎引受度人別入願右同断取計済同廿一日住宅証文差出

一石名源蔵義今以未熟ニ相見へ候ニ付一ノ宮市町中当番相勤候様仕度旨利左衛門伺出承り届

一一ノ宮田植祭○ニ付為警衛小頭代利右衛門平組藤四郎庄蔵差出候処夜ニ入罷帰り別条無之旨届出候

一京町原田屋嘉四郎義博奕為御咎夫役申付置候処不快ニ付引込届出候

一東新町綿屋忠兵衛方へ昨夜盗賊這入木綿壱束余銀札六七匁被盗取候段届書差出触流難取計品ニ付追而之御用日之節可及御沙駄候○同廿三日差出し候

四月十九日　快晴

一牢舎人岩右衛門夫婦義右衛門三人小児死骸見分一札爪印取候ニ付牢屋立合昼廻藤四郎庄蔵差向取計

一三浦十郎左衛門差扣今朝御免ニ付此間中之書類引渡候
一一ノ宮市町出役栄治幸治暮前時罷帰り無別条旨届出候
一西今町寿屋市右衛門孫延四郎義大熊靱負殿家来西川善平役介ニ差遣度人別除願差出靱負殿へ引合之上承り届

四月廿日　曇

一牢舎人岩右衛門夫婦義右衛門郡代所ゟ呼出申来昼廻栄治幸治当番庄蔵差向出入取計之
一一ノ宮出役文蔵和四郎見習勇蔵暮前時罷帰無別条引取候段届出候

四月廿一日　快晴　北白雨

一惣町溝見分小頭代利右衛門部屋目附助栄治大年寄孫右衛門諸吟味喜左衛門差出候処浚悪敷所ハ即刻申付其外別条無之旨何茂届出候尤例歳両日ニいたし候処当年ハ一日ニ而仕廻候
一玉琳大商売差留并咎今日申渡有之候段郡代所ゟ通用有之大年寄へ申達ス
一一ノ宮出役藤四郎嘉七暮時罷帰無別条引取候段届出候

四月廿二日　曇夜雨

一郡代所ゟ盗人伝蔵入牢申来昼廻藤四郎嘉七差向取計之
一牢舎人岩右衛門妻義郡代所ゟ呼出申来昼廻藤四郎嘉七当番和四郎差向出入取計之
一一ノ宮市町ニ付参懸り八人連大坂島之内曲馬乗芝居船頭町中村屋政兵衛世話仕度願承り届続而一札差出候
一東新町橋本屋茂右衛門下人平治義去ル五日太田村林之丞と致喧嘩打擲ニ逢候処疵平愈(ママ)仕候段届出郡代所へ引合之上先其儘ニ承り置候
一一ノ宮出役庄蔵幸治差出候所無別条引取候段夜ニ入罷帰り届出候
一孤独京町筆屋六郎兵衛後家病気差重候段届出為見分利右衛門差向候所無別条趣ニ而例之通一札取罷帰り無程落命届出勝手次第葬いたし候様及差図候明日出仕之上御両所并勘定奉行へ可相届候

四月廿三日　雨

一御用日登城
一京町孤独筆屋六郎兵衛後家病死之段三ヶ所へ相届候
一三浦志摩守殿領分当国真島郡垂水村弥吉姉むめ并忰左吉右二人小性町茂渡庄右衛門家守若木屋甚吉借屋住竹屋左助役介(ママ)ニ引受度人別入願御用番中御聞済ニ付大目附へ差出御聞届申達候同廿九日住宅証文差出
一重田又兵衛殿支配所当国西々条郡至孝濃(ママ)村六助弟伊兵衛一人福渡町増見屋茂吉引受度人別入願右同断取計済同廿七日住宅証文差出
一土井大炊頭殿領分当国久米南条郡上籾村新助忰勘兵衛一人安岡町古川屋多七引受度人別入願右同断取計済五月十三日住宅証文差出
一造酒屋共去秋被仰出後半石造ニ仕居候ニ相違無之当春本高造被仰出候而も時節後候故本高ニ造込候もの無之旨并造酒株石高ハ玄米ニ而白米ニ者無之旨一札差出候付御用番中へ差出候
一盗賊庄吉清蔵御裁許伺御用番へ差出候
一林田町島屋文七龍野預り所小瀬村吉右衛門ゟ譲受候造酒株之義ニ付同村庄屋久五郎ゟ彼是揺候趣ニ而度々入用共申越并右株半高造酒仕居候所造酒人吉右衛門弐拾石造酒仕候旨龍野へ届書指出候由

申越甚不埒之義ニ付其旨龍野表へ出訴仕度勿論文七代人勝左衛門差出候段願書差出御用番御聞済ニ付大目附へも指出御聞届申達候

一吹屋町川土手石垣殊之外損居候旨大目附小須賀貢ゟ沙駄有之拙者義も昨日及見候所甚損し居危様子ニ付貢へ於別席右損御繕之義最早御役筋御心付も有之義ニ候得者不申立候而も御差図可被下哉又ハ改而可申達哉と遂相談候所不及御沙駄候間自是勘定奉行へ可申達旨被申聞候

一御領分西々条郡二ノ宮村茂作忰庄兵衛義一人林田町河田屋忠助引受度人別入願下方引合相済候段申出承り届

一孤独京町筆屋六郎兵衛後家孤独扶持渡過五月六月両月分七匁三分三厘四毛大年寄ゟ返納いたし類蔵へ差戻し候

一種油直段壱升ニ付三匁九分売ニ仕候届書差出し候

一坪井町塩屋直之助義御用順番宿相勤来候所困窮ニ付住居替等仕候ニ付順番宿断申出承り届

一一ノ宮出役天気ニも相成趣ニ付昼頃ゟ栄治和四郎差出候所芝居も不仕由其外無別条引取候段七半時前罷帰り届出候

四月廿四日　雨

一雨天ニ付一ノ宮へ同心組不差出候

一中山勇蔵不快引込届出加人申達候所赤田平治来五月朔日ゟ出勤

一深信院様明廿五日五半時御供揃ニ而泰安寺へ御仏詣夫ゟ妙法寺へ御仏参御道筋蔵田町通り御帰り細工町三浦十郎左衛門前へ御通り被成候段種村登門ゟ申来例之通大年寄并小頭へ申付候且又右ニ付同心組致不足候ニ付加人壱人当日切大目附へ申達候所植月宇四郎来

四月廿五日　雨

一深信院様今日御仏詣御延引明廿六日御参詣被成候段種村登門ゟ申来大年寄并小頭へ申達候尤御先払最早罷出居候付大年寄ゟ相返し候様ニ申達ス

一深信院様御出ニ付当日切加人受取置候所明日ニ相成候ニ付明日迄留置候段大目附へ相届候

一戸川町久蔵義一ノ宮義右衛門引合ニ付預ケ申付置候所頼候利左衛門ハ禁足被頼候久蔵者却而番等付不平等之致沙駄候由孫左衛門申聞依之十郎左衛門へ遂相談候処最早小児死骸出候義ニ付他参留ニ申付可然旨申来其段御用番中へ伺済之上組合預ケ指免他参留ニ申付候様大年寄へ申達其旨大目附へも相届候

一町方拾七町ゟ万人講被仰付被下候様歎書差出候ニ付御用番中へ持参差出願書差戻可然旨申上置候○同廿八日被仰出候

一江原文蔵妻妊娠仕候段小頭ゟ届出候

一一ノ宮出役藤四郎庄蔵夜ニ入罷帰り無別条引取候段届出候

一江州多賀成就院使僧玄乗坊当正月五日新職人町松の屋十右衛門方へ来候所病気ニ付得不罷帰候段断書差出承り届

一大坂長沢清左衛門ゟ返書来着大村屋源右衛門義限日過候得共病気ニ付得不罷登候段去ル十三日御番所へ御届相済候段申来候翌廿六日御用番中へ差出候即日戻り後大目附へ差出

四月廿六日　雨暁雷雨

一深信院様御仏詣無滞相済候段藤四郎和四郎届出候

一雲州大原郡下河用村ゟ西国順礼ニ罷出候内りをはなよふ右三人御代官石原庄三郎殿支配所摂州有馬郡名塩村ニ而病気付養生相加へ候上送り出し川部(ママ)村へ送り来候段郡代所ゟ通用有之継送り候様大年寄へ申達候

一伏見町小坂屋善兵衛忰斎吉義三月四日四国遍路罷出候処足痛仕候付今卅日日延願大年寄差出承り届

一目明弥吉麻疹相煩引込届出依之仮役明石屋庄七へ申付度伺出承り届

一一ノ宮出役栄治幸治五時過罷帰無別条引取候段届出候

四月廿七日　白雨雷鳴

一牢舎人岩右衛門夫婦郡代所ゟ呼出申来非番源蔵当番庄蔵差向出入取計之

一元魚町豊屋喜兵衛義先月廿六日致出坂候処今十日計之日延追願承り届

一牢舎扶持四俵之内貸証文差出奥書取計之是ニ而六月へ三斗一升八合七勺五才持越候積也

一一ノ宮出役文蔵平治(弟脱)暮前時罷帰り無別条引取候段届出候

四月廿八日　晴

一御用日登城大目附中も三日ニ者揃出候節当日御祝義申述候上ニ而御用向被弁候由小須賀貢被申聞候付三奉行も揃候節当日御祝義申述候上ニ而御用向弁之以来此通ニ可致事

一鍛冶町鍛冶頭又市郎姉そへ義脇坂淡路守殿預り所当国勝南郡長内村奥田源四郎妻ニ差遣度人別除願例之通取計済

一出羽守(松江藩主松平治郎)様来月十三日当所御通行被成候段御家老中へ申来候間例之通取計可申旨大目附ゟ達有之小頭并大年寄へ申達ス

一大目附ゟ左之通演達有之候

御結納被進当月朔日之思召ニ候処御故障ニ付当月廿二日御結納御婚礼一日ニ被為済候ニ御治定被成候段申来候間右恐悦申上三奉行已上有之候間来月三日麻上下登城可有之候

一町方為御救万人講被仰付被下候様京町林田町新職人町東新町吹屋町西今町新魚町中之町元魚町河原町二階町福渡町坪井町橋本町材木町桶屋町戸川町十七町ゟ歎書差出候段大年寄共内分伺出去ル廿五日頃御用番中へ差出置候所御取上ケ無之筋ニ付場合切ニ而指戻候様御用番中被仰出大目附へも相届置候上ニ而差戻し候

一船方取扱不締ニ付樫野屋茂一郎考書ニ蔵合孫左衛門弁書添差出御用番中へ差出置候処伺之通被仰出尤小桁番所江も御達被成候間右日限大目附へ致対談候様被仰出大目附へ対談之上大急左之通ニ申達候

一樫野屋茂一郎義船方吟味役受前之義ニ付以来蔵元同様ニ諸荷物相改通切手ニも繰綿同様連印可致候

一是迄米俵壱弐俵ハ船頭扶持米と号し改を不受致抜荷不埒之義ニ付以来相改可申尤小桁御番所へも右半下俵以来ハ切手無之候ハ、差留候様五月朔日ゟ被仰付置候

一船持共荷物不致融通候ニ付地船計申合順番積ニいたし度旨内々申出尤之様ニも相聞候得共全左様之筋ニ者無之当所船持共ハ雇船頭計ニ付荷主共不慥ニ存荷物不相渡候処ゟ荷物

無之趣ニ付以来ハ銘々自身ニ船稼上乗等いたし候得者荷物
ハ沢山ニ相成候事故順番積ハ承り不届候間自身相稼可申候
一西新町英田屋新治下人常蔵と申もの百間藪笋盗取候付引渡可申旨
郡代所ゟ申来同心組無之ニ付加人両人大目附へ申達候所河村藤兵
衛吉田藤太来
一御使組小頭各務又平忰春治義橋本町塚角屋伝吉養子ニ引受度人別
入願承り届
一御飛脚仕廻ニ付大坂長沢清左衛門へ返書両通并江戸田中幸助へ懸
ケ質聞合催促之書状認置候所御飛脚延候
一大目附廻状到来左之通尤組中へ相触候
御結納当月朔日被進候御積之処御故障ニ付当月廿二日被進即
日御婚礼被為済候御治定ニ候此段為相知候
一一ノ宮出役藤四郎嘉七五時罷帰り無別条引取候段届出候
一立合例之通ニ而英田屋新治下人(抜脱)笋盗人常蔵義郡代所ゟ受取新治も
呼出置相糺候処英田屋下人ニ而ハ無之出生落合之もの(運ぶの意か)ニ而先月廿
一日当所へ来り即日林田上之町瓦屋喜七方へ奉公仕八月迄約束い
たし候得共瓦持歩ひ難義仕候ニ付去ル廿五日暇貰候得共廿五日廿
六日夕瓦屋方へ罷帰り臥し候尤廿六廿七日両日共ニ英田屋新治方
へ日雇ニ参り作仕事仕廿七日百間藪際之作場へ参り居候所英田屋
小児笋をほしかくれ候ニ付取帰り可遣と存七本折取候所被見咎被
召捕候旨申之英田屋日雇ニ召仕先之悪事とハ乍申地所も郡代所構
之義并瓦屋喜七ゟ暇差遣候由ニ者候得共暇差遣三日之内之義殊ニ
暇(出相)[　]両夕共罷帰り臥候義ニ候得者旁以郡代所取計之もの(運ぶの意か)ニ可有
之候間差戻し可申旨郡代へ懸合候処彼是詞を餝り不承知之趣申越
段々及深更詰ル所取調等ニ障取今夕ハ難返答候間先今夕之所ハ常
蔵手当取計置呉候様申越依之先今夕之所ハ常蔵を英田屋新治へ預
ケ差返し候

落合出生英田屋新治日雇
常蔵

手錠懸ケ英田屋新治へ当分預ケ置候

四月廿九日　雨

一例月之通番賃銀夫々相渡し候
一伏見町備前屋彦四郎義五拾七才ニ罷成候所今度牢屋中間ニ被召抱
度人別除願差出御中間頭北島唯七へ引合之上承り届
一常蔵取計之義昨夜之返答可有之哉と相待居候得共返答不申来漸昼
後返書来り矢張昨夜之通在方へ引受候筋とハ不存旨申来候付左候
ハ、拙者方ニ而伺之上取計可申旨申遣置大目附上原彦蔵へ委細申
談軽重取計之義申談候処軽く当座取計ニいたし可然様ニ者存候得
共何れ共難申趣之挨拶ニ付直ニ御用番要人殿へ罷越思召相伺置候
而取計ニ懸り申度旨相伺置候処後刻紙面ニ而当座払ニ取計候様被
仰出候ニ付夫々手配申付猶又大目附へも相届其段三浦士江も及通
用置候且又右ニ付加人両人当日切ニ申立候所植月宇四郎植月清蔵
来

五月　大

月　番

御家老　安藤丹後殿
御年寄　黒田要人殿
大目附　佐々木主馬
大年寄　蔵合孫左衛門
諸吟味　宮田喜左衛門

五月朔甲午旦　雨

一小頭代月番藤四郎相勤候段届出候
一今六半時出宅小頭代藤四郎部屋目附仮役利右衛門出番庄蔵平次牢屋へ差向左之通取計之○取計済御用番并上原彦蔵へ相届候
去ル廿七日百間藪笋盗取不届　西新町英田屋新治日雇
至極ニ付急度可申付処元ゟ相巧候義　元落合出生　常蔵
無之子供之任望取可遣と存盗取候趣ニ付
格別之憐愍を以其儘追払申付候
一牢屋下番中間久五郎番代彦四郎義久三郎と相改今日目見相済候段藤四郎召連来於台所先格之通謁之
一小野田和四郎麻疹相煩引込届出候
一一ノ宮出役文蔵幸治暮時罷帰り無別条引取候段届出候

五月二日　雨

一林田町島屋文七代人龍野へ出訴添簡先月廿六日差遣候所今日罷帰り返書差出此節植付時分ニ付急ニ難呼出ニ付暫相待可申哉又ハ引取追而罷出候様ニ申聞候処追而可罷出旨申候ニ付差戻候様申来尤勝左衛門へ十日後ニ罷出候様被申聞候由申出候
一林田町北側ニ而作人治吉家屋敷表口三間裏行十七間但半役也西隣ハ橋本屋和助東横丁通り也右家屋敷五年已前去ル未年東新町綿屋忠兵衛へ弐百目之質物ニ書入候所今般元利返弁受返し候届書差出し候
一一ノ宮出役栄治平治暮過時罷帰り無別条引取候段届出候
一牢舎人久五郎病気申出大年寄へ申付候処藤木良全へ申付候段届出候十七日ゟ岩佐孝順へ転薬

五月三日　雨昼前ゟ晴

一御用日并御結納御婚礼御日限御治定被成恐悦三奉行以上申上有之ニ付麻上下着用登城例之通於七間廊下恐悦申上之畢而御用所へ罷出恐悦申述之畢而御用向弁之引懸ケ大目附於役所恐悦自分挨拶申述之
一船頭町瓜生原屋弥吉借屋住作人藤助義八十五歳ニ罷成候処近年老衰仕手足不相叶外ニ親類も無之永々之義家主組合町内ゟも世話行届兼候ニ付孤独扶持被下置候様歎書指出御用番御聞済ニ付大目附へ申達置勘定奉行へも及通達置御聞届申達候
一船頭町今津屋孫十郎後家義奥津村源之助ゟ久世添簡を以致出訴右引合ニ而当三月十四日備前へ致出訴候処不筋立候ニ付又々備前へ再出訴仕度願書并備前へ之訴状差出御用番中御聞済ニ付大目附へも差出候上御聞届申達尤出立前日申出候ハ、添簡可相渡旨申達置候右ニ付白木大状箱小勘者内山藤太夫ゟ受取
一西新町英田屋新治義風来もの常蔵日雇ニ召仕候御咎伺書口書ニ添

御用番へ差出

一林田町島屋文七代勝左衛門龍野へ出訴添簡返書御用番へ差出即刻戻り候ニ付大目附へ差出置

一御大名様御通行之砌東西渡川場へ船年寄仮役隣町年寄之内差出来候所不案内ニ而不用立候ニ付以後ハ船組頭四人之内ゟ船年寄仮役差出度下方ゟ申立候段大年寄伺出承り届其段為念御両所へ及御噂置候

一出羽守様近々御通行被成候所御本陣玉木(ママ)源五兵衛義当時逼塞仕井家屋敷及大破御本陣不相勤候ニ付無拠御断申上候段申出相紛候所上ゟ御取繕被仰付被下候ハヽ随分家敷ハ御用立候旨申候ニ付其段大目附へ申達候所何分御作事役人差向為見改取繕御間ニ合候ハヽ矢張源五兵衛へ可被仰付若又失墜多御間ニ合兼候趣ニ候ハヽ茂渡庄右衛門へ可被仰付候間両人江申達可置尤庄右衛門方ハ勝手狭く難相済趣ニも候ハヽ隣家を合セ仮用候様可取計且又源五兵衛義右躰之義ニ候得者前以可申出処無其義差懸り申出不束ニ付当役場合ニ而叱置候様被仰聞左之通大年寄へ相達候

一出羽守様近々御通行之所居宅及　玉置源五兵衛

大破御本陣難相勤趣申出左様之義ニも候ハヽ前以可申出処差懸り断申出不束之事ニ候此段叱置候

一出羽守様近々御通行之処御本陣　茂渡庄右衛門

差支ニ付品ニ寄御本陣ニ可被仰付義も可有之候間御作事方役人差向見改被仰付候間其旨可相心得候

一出羽守様御先触院庄へ来り四月廿六日七日八日江戸御発駕当所御通行五月十六日十七日十八日三日之内ニ申来候由郡代所ゟ通用有之

一西今町松田屋佐助義大坂御役人ゟ拝借仕罷帰り候金子壱両上納仕大年寄ゟ差出し今便可相廻旨郡代所へ懸合候所在方ゟハ未差出今便之間ニ合兼候間重便迄相待呉候様申来候付預り置候同九日御便之節差返し候

一今晩御飛脚仕廻ニ付認置候大坂長沢清左衛門へ返書山手屋理兵衛出坂井松田屋佐助金子借用罷帰候義井大村屋源右衛門義申遣候且又田中幸助へも懸ケ質井造酒屋十分一役米取立方聞合催促申遣候

一一ノ宮市町明四日切ニ而相済候ニ付例之通町触差出し候

一小性町屋根屋源治借屋住徳島屋忠助忰善七義四月五日不斗罷出行衛(ママ)不相知候付鐘太鼓ニ而相尋其後方々へ手配いたし相尋候得共弥行衛(ママ)不相知旨届書差出候ニ付永尋申付置候来ル八日御両所へ可及御沙駄事但五日御両所へ差出し候

一院庄川留り九時前申来大年寄へ申達翌四日五半時川明申来右同断取計之

一玉置源五兵衛義御叱申付候付恐入差扣伺出大目附へ対談之上不及其義已来入念候様ニ申達し候

一一ノ宮出役文蔵利右衛門見習勇蔵五時まへ罷帰り無別条引取候段届出候

五月四日　晴

一右門義明日被為召一名之御奉書到来

一龍野預り所小瀬村庄屋久五郎ゟ林田町島屋文七へ書状差越今般造

酒屋共半石造ニいたし居候ニ無相違何茂拾分一役米石代納ニ可仕
と申請書龍野役所へ差出候由ニ付右写差越近日申遣次第右拾分一
米石代銀差越候様昨日書状差越候所昨日ハ三右衛門義一ノ宮出役
留主ニ付差置帰り候由今日大年寄ゟ差出当時出訴中之義ニ候得者
不及返事捨置可申旨申出候右書面明日御用番中へ可差出候即刻御
下ケ差戻し候
一一ノ宮出役小頭代藤四郎平組庄蔵嘉七六半過頃罷帰り無別条引払
相済引取候段届出候ニ付其段大目附へ相届候

五月五日　晴夜大白雨

一端午御祝義ニ付御徒格已上惣登城但五半時揃勿論右門義ハ被為召
候付同刻登城仕候処御奏者番伊達与吉郎ゟ左之通演達有之
（雁上坊丸の弟、後の秀孝・慈賢）
怡丸様寿丸様先月六日御袖留御祝儀被為済候ニ付今日三奉行
已上申上有之候間其旨類役へ致演達候様被申聞候
一御奏者番ゟ三奉行迄一同七間廊下へ罷出御小性頭代謁有之上席御
奏者番ゟ端午御祝義申上之続而怡丸様寿丸様先月六日御袖留被為
済候恐悦申上之引取畢而三奉行一同御用所へ罷出右同断申上之引
懸ケ大目附へ右同様及挨拶
一於焼火之間伊左衛門右門十郎左衛門悴武芸出精之蒙御意候ニ付三
人同道ニ而御用所へ罷出右御礼申上之
一龍野預り所小瀬村庄屋久五郎ゟ林田町島屋文七へ差越候書面御用
番へ入御覧出訴中之義故返書ニも及間敷申出候得共返書ハ致置可
然旨申上候所即刻御差戻被成何分返書ハ可致置義ニ付宜取計候様
ニ被仰出候ニ付其段大年寄へ申達候
一小性町善七義弥行衛（ママ）不相知段申出候付永尋申付置候段御用番へ申
上大目附へ右届書差出し候
一鍛冶場ゟ追廻し迄之枕土手願昨年言散計ニ相成候付先日大目附へ
差出尤之筋ニ付御考被下候様ニ申達差出置候所今日主馬ゟ被申聞
候者昨年も町方ゟ手伝可仕筋太田舎人江被仰出夫切ニ相成居候所
右之願書之儘ニ而ハ如何ニ付右等之意味書加可差出筋哉ニ被存候
間其段今一応相考差出候様被仰聞被差戻候
一小頭月番三船藤四郎麻疹ニ付引込届出候右ニ付加人大目附へ申達
候所梶間宗平来
一萩野嘉七右同断相煩候ニ付引込届出候右同断加人申達候所福島為
助来
一端午ニ付旧格之通昼廻り不差出候
一札元山本三郎左衛門義一ノ宮出役無滞引取候段昨日届出候認落候
ニ付爰ニ記
一目明仮役明石屋庄七仮役可差免旨栄治伺出承り届
一小頭代月番藤四郎引込ニ付栄治相勤候段届出候

五月六日　晴

一来ル八日之御用日九日ニ繰替ニ相成候段大目附ゟ三奉行連名ニ而
申来候
一郡代所ゟ牢舎人佐吉呼出申来出番平治当番庄蔵出入取計之

五月七日　曇

一川端幸治麻疹相煩引込届出候同十二日出勤届出候
一御奏者番廻状左之通到来町方へ廻勤并組之者共へ相触候

大守様益御機嫌能被成御座先月廿二日御参勤御礼首尾能被仰上并同日御結納被進即日御婚姻御首尾好御整被遊恐悦之御事ニ付為御歓明後九日御徒格已上部屋住迄登城候様被仰出候

一安国寺義来ル七月中町方夜念仏執行願御聞届之旨寺社取次三浦十郎左衛門ゟ申来大年寄并小頭へ申達候

一目明弥吉義出勤届出候付仮役平助差免候様小頭へ申達候

一郡代所ゟ昨夜一ノ宮へ組差出候所美土路豊前於長屋博奕致参会居候所逃散り参会之もの共相知不申右長屋ハ市中伏見町久保屋周助借り受居候由仍而右周助遂吟味候ハヽ相知不申候間致吟味呉候様申来出番文蔵為助差向候所未家内とも一ノ宮ゟ不罷帰旨ニ付急ニ呼遣候様申付置罷帰候然ル所無程大年寄ゟ届出候者右周助召連ニ組合共一ノ宮へ参相尋候所夜前何方へ欺立去り候由ニ而居不申候段申出候ニ付尋申付置候而其段郡代所へ申遣候

一加人赤田平治引込ニ付石井金治来

五月八日　雨昼後晴

一大目附廻状到来左之通組共へ相触大年寄へ為知申達候

先月廿六日御老中御連名之御奉書以浅草火之御番丹羽左京太夫殿御代被為蒙仰候旨為御知申来候（陸奥二本松藩主丹羽長祥）

一御奏者番廻状到来左之通組中へ相触町方へ廻勤申達候

一先月廿五日御婚礼之御礼首尾能被仰上候恐悦

一同日皆子餅御取替被為済候恐悦

一先月廿六日浅草火之御番被為蒙仰候恐悦

右恐悦申上ニ付明九日四時御徒格以上部住迄登城候様申来候（原一次）

一船頭町今津屋孫十郎後家義明後十日出立備前へ出訴仕度届出添簡相渡候

一林田町島屋文七代人勝左衛門義明後十日龍野へ罷出候段届出承り置

一鍛冶場ゟ追廻しへ懸ケ而枕土手被仰付被下候様願去ル五日大目附中ゟ被差戻尚又昨年被仰出候下方ニ而手伝等いたし候様之考付差出候様被申聞候処昨日安藤丹後殿江見廻ニ参候処洪水防之義共段々御尋ニ付右枕土手願之義申候処右願書ハ御年寄衆へ差出候様被仰聞候付其段大目附佐々木主馬へ相断置御用番中へ持参差出候

五月九日　雨

一御用日并御参勤御礼済并御結納被進并御婚礼済并御婚礼之御礼済并皆子餅御取替済并浅草火之御番被蒙仰右六ヶ条之恐悦申上ニ付御徒格已上部屋住迄麻上下着用四時惣登城例之通御奏者番ゟ三奉行迄一同於七間廊下御小性頭代謁上席御奏者番ゟ江戸表恐悦何茂申上候段申上之続而御前様江も右恐悦御同様申上之候旨申上ケ引取三奉行計一同御用所へ罷出右之通恐悦申上之引懸ケ大目附へ右同様自分及挨拶畢而檜之間へ罷越右恐悦御同様申述之候事

一御奏者番伊達与吉郎ゟ左之通演達有之類役中へ申達候

以来ハ年始八朔五節句等御機嫌伺之節ハ三奉行以上ハ御前様へ御同様申上候間其旨可相心得候

一御婚姻被為済候御祝配当場へ可被下ニ付先格取調候処御家ニ而ハ御縁談済御結納済御祝ハ不被下御婚礼被為済候御祝壱ツ被下候迄之御先格ニ而隆照院様（前々藩主長孝）之節も右之通御結納済之被下ハ無之候間近

領座頭共へ不罷出候様飛脚を以申遣候様被仰出右飛脚賃弐拾匁被下相済顕徳院様（霞屋主遠敬）之御祝之節も右同様被仰付候処御近領座頭共押而罷出不被下候而ハ路用等差支難義之旨段々押而相願仍之格別之御評議を以他国引並を申立候者公儀御吉凶被下之義ニ候他国ハ兎も角も御家之義ハ御家格之通被仰付候間他国之義引当ニ者不相成候御家ニ而ハ御先格無之義ハ決而不被下御建ニ候得共押而罷出候座頭共路用等ニも差支難義至極之旨相歎候ニ付今般限り格別之御評議を以御縁談済御結納済兼而壱ツ分被下置候旨有之ニ付其段大目附へ遂相談候上ニ而御用番中へ委細申上候処逐一御承知被成候上ニ而先ツ御家格御定之通御婚礼済御祝壱ツ分差遣候様被仰出其段大年寄へ申達候

一大坂へ市郷ゟ返納金郡代所へも相納候由申来候ニ付町方ゟ之壱両郡代所へ差遣大坂へ相廻し被呉候様頼遣候

一孤独扶持弐拾四匁茅町太助船頭町藤助分真北類蔵ゟ相廻し受取候所茅町太助義ハ当月二日最早病死いたし候趣ニ付藤助分計七匁大年寄へ相渡し太助分ハ追而返納可致事

一二階町山手屋理兵衛大坂湊橋木屋与兵衛方へ廿日計之逗留ニ而明後十一日出立願大年寄差出承り届右ハ大坂油屋共ゟ呼ニ来候付罷出也翌十日御用番へ相届候（六月八日罷帰ル）

一東新町佐伯屋与惣兵衛右同様願大年寄承り届差出右ハ油方年行司ニ付山手屋理兵衛同道ニ而罷出候由也右同断右同断

一郡代所ゟ他領足ノ山村ニ而曲馬致興行候段申出候付触書等之義御用番中へ相伺候処其義ニ者及間敷旨被仰出候段通用有之

五月十日　雨

一院庄川留り六半時申来大年寄へ申達し同日七半時川明申来同断取計

一三軒屋番中尾清八実父日下民助死去ニ付忌服引込届出候

一深信院様明十一日五半時御供揃ニ而藺田町通り泰安寺へ御仏参被成候旨種村登門ゟ通用有之小頭并大年寄へ申達候

一京町原田屋嘉四郎博奕御咎夫役昨九日迄ニ五十日相済候段御作事奉行金井長平ゟ通用有之

一石名源蔵麻疹之趣引込申出加人壱人大目附へ申達候所福田政助来

五月十一日　雨

一深信院様御仏参無御滞相済候段御先払庄蔵金治届出候

一出羽守様御通行ニ付御道為見分去ル六日小頭代栄治大年寄源五兵衛諸吟味喜左衛門差出候所無別条少々之破損ハ直ニ申付置候段届出候六日之処ニ認落候ニ付爰ニ記ス

一戸川町大工庄兵衛弟定吉と申もの目明孫兵衛受人ニ而尼子数右衛門長屋ニ差置候所存寄ニ不相叶暇差遣右両人ニ引取候様申付候得共不引取不埒之旨数右衛門留主ゟ付届有之候ニ付大年寄へ申達候所右両人呼出し早々引取候様申付候所御受仕候由申出候

五月十二日　雨

一出羽守様今般御通行之砌ハ差懸り之義故上ゟ御繕被仰付御本陣為御勤可被成旨去ル九日大目附ゟ噂有之其段申達置候所以後〳〵不相勤候ニ付土居駅江罷出爾来御本陣御断申上度口上振認差出大目附へ持参指出置候尤此段も去ル九日大目附ゟ御移有之候義ニ候

但御本陣相勤候濫觴遂吟味候処宝暦七年十月御止宿被成候節
ゟ御本陣相勤候趣ニ相見へ其節も相対御頼之趣ニ者候得共実
ハ申上候上ニ御受仕大目附已下諸役人見分有之実ハ上ゟも被
仰付候様之振合ニ被察御湯殿等も御作事ゟ出来之事ニ候其以
前之義ハ一向不相知候

一出羽守様当所十七日之御通行ニ相極候御関札来候由郡代所ゟ通用
有之大年寄へも為心得申達候

一郡代所ゟ無宿盗人十吉入牢申来手形相認小頭代栄治差向取計之

一安岡町三倉屋平兵衛妻義三月六日四国遍路罷出候所廿日計之日延
願承届六月七日帰

一東新町玉屋源右衛門娘いよ義二月十三日西国順礼罷出候所今卅日
計日延願承届同廿四日帰

一新職人町高畠生斎家守出雲屋権七借屋住大坂屋利兵衛夫婦去月十
八日之夕出奔仕相尋候得共行衛(ママ)不相知旨届書差出候ニ付百日尋申
付候八月廿八日除帳

一新魚町三巴初五郎義先達而百日尋申付候所限日来候得共不相知依
之猶又百日尋仕度追願差出承り置候所限日来候得共弥行衛(ママ)不相知
旨届出候ニ付先格之通組合過料取之永尋申付候様申達候同十四日
過料弐拾三匁余相納候

五月十三日　晴

一御用日登城

一茅町孤独太助義二月十一日御救扶持歎御聞届ニ付其段申渡置候処
其節自分義引込中ニ付三浦相頼同人計ニ而勘定奉行へも通用いた
し置候段申来候処近藤失念ニ而不相渡自分始大年寄共も不心付居
候所先月中旬頃下方ゟ申出候由ニ而斎藤孫右衛門申出取調候処全
失念之処何も不心付旨ニ新左衛門ゟ勘定所下代江為懸合漸去ル九
日真北類蔵ゟ相廻り大年寄へ相渡懸候所右太助義ハ去ル二日病死
仕候所心得違未御救扶持不相渡内之義故不届出取葬いたし候段届
書差出候ニ付左之通御裁許今日伺済ニ付大年寄宅へ小頭へヤ目附
兼栄治壱人差向左之通申渡之大年寄三人ハ取計相済候上呼出直ニ
申達候

一組合孤独太助病気并死去不届出　茅町孤独太助組合八人
葬いたし不埒至極ニ候依之追込　金助 治兵衛 佐十郎 根右衛門 庄助 其兵衛 藤助 利兵衛
申付候但日数五日
一右同断ニ付追込申付候但日数三日　同町年寄　与八郎
浜吉

一右取計心付薄候段叱　大年寄三人
右ニ付三人共差扣伺出候所孫左衛門源五兵衛不及其義以来
可入念旨申達
孫右衛門義ハ差扣伺之通被仰付候段申達但日数三日
右取計相済候段御両所へ相届置右門義不念之段三浦十郎左衛門を
以差扣相伺候処不及其義以来入念候様被仰出候

一出羽守様へ御本陣玉置源五兵衛御断之内意昨日大目附へ出置候所
今日同意之旨ニ付御用番中へ相伺候様被申聞候付御用番中へ差出
候所御断申候と申上候而者如何成もの二付並々之通不相勤候間御
手当被成下候様可相願筋勿論御途中ニ而相済候義ニも無之先此度

ハ御繕被下相済候義故御通行之砌ハ不申上雲州へ追而罷出相歎候
様可仕旨被仰出其段申達置候
一院庄清眼寺へ去ル三日盗賊這入十品凡四拾匁計之もの被盗取候触
流取計候様大目附中被申聞三浦ゟ写相廻り町触取計候同廿二日町
方ニ無之段届出候
一出羽守様御通行ニ付御堀石垣草取候間杖突被差出候様大目附へ申
達済
一二階町久美屋忠右衛門義御堀石垣弐間計崩候段届書差出大目附へ
差出候
一二階町塗師虎吉義御堀端塀修覆(ママ)ニ付御堀へ足代下し候願大目附へ
差出候
一大目附ゟ茅町孤独太助被下物ハ先格之通当月分迄死後たり共相渡
候様被申聞候
一林田弓之町房被盗ものゝ義右盗賊与吉義久世ニ居候風聞ニ相聞候
所又々立去り候趣ニ付最早被盗もの質屋ゟ取上ケ可相渡哉と大目
附へ相達置候
一細工町孤独市平義閏正月廿九日御聞届之処何茂失念仕不相渡尤自
分引込中ニ而三浦ゟ勘定奉行へ通達も有之候処無其義是迄下方ゟ
も不申出今般太助一件ニ付孫右衛門取調候処右之通市平義落有之
候段昨夜申出候付今日勘定奉行へ相達内貸拾八匁受取大年寄へ相
渡候
一出羽守様近々御通行ニ付先格之通町触差出候
一出羽守様御通行ニ付諸事先格之通取計候様猶又今日も大目附佐々
木主馬より達有之候ニ付御貸人馬之義申達候
一京町田原屋伊兵衛義播州龍野上原町小豆屋治右衛門方へ十五日計
之逗留ニ而明十四日出立願大年寄承届差出し候同廿六日帰

五月十四日　時雨

一小頭代栄治部屋目附利(ママ)大年寄孫左衛門諸吟味喜左衛門立合左之通
申渡之但出番幸治

牢舎人桶屋町倉敷屋　金吾

咎牢舎差免候已来急度可相慎候
右取計相済候段御両所へ相届候
一久世手代曽根源次郎榎本宗八飯沼才次郎ゟ昨日書状差越今般因伯
作州造酒屋共拾分一役米相納候分右三ヶ国之分久世ニ郷蔵被仰付
取納候様被仰付候付右郷蔵普請受負入札ニ申付候処当所材木町大
工惣兵衛彦左衛門両人廿七貫計之入札落札ニ候間申付候処右ハ大
数之金子相渡候事故受人并地面質入ニ致所役人印形入候間其段申
付呉候様申来尤右書状ハ右大工弐人持帰り候由ニ而大年寄ゟ差出
仍而ハ右大工呼出質地面并受人等之有無相糺右口書取相廻し可然
哉と昨日御用番中差出伺置候処今朝伺之通取調尚又申聞候様被仰
出候ニ付其段大年寄へ申付候
一三船藤四郎義明十五日ゟ出勤届出候ニ付加人石井金治明日ゟ差戻
候段申達大目附へも相届候
一御船奉行稲垣惣兵衛ゟ来ル十七日出羽守様御通行ニ付院庄川へ御
船被差出候間御蔵元船年寄下裁許申付候様申来大年寄へ申達候
一京町舛屋文蔵ゟ歎書差出例歳一ノ宮市中美土路長屋借受商内ニ罷

出候所当年茂右之手段仕置候所家内病人出来得不罷出候ニ付周蔵と申もの頼差出置候所同人義致出奔売物諸道具共御預ケニ相成迷惑仕候間何卒御渡被下候様歎書差出候ニ付郡代所へ相廻候

一西新町英田屋新治御咎伺去ル三日伺置候所伺之通宜取計候様昨日御用番中ゟ被仰出郡代申談十六日取計ニ可致事

五月十五日　雨

一久世手代ゟ申越候請負普請受人質地面之義大工両人共大年寄共相糺候処右引当地面幷請人等も無御座候間明後十七日久世へ罷出御断申上度旨申候由口書取差出依而返書下案相認御用番中へ相伺候処思召無之宜取計候様被仰出候清書取計明日可相渡候尤下案大目附へ差出候処翌日戻ル

一尾州和田郡島崎之内寺元村陰陽師高橋伊豆上下弐人例年之通来候段新魚町三沢屋与八郎宿切手差出六月廿四日帰

一菜種石数御届ニ付員数取調書喜左衛門差出郡代所へ相廻候

一出羽守様御先触到来文段昨年之通ニ付略之

四月廿七日江戸御発駕　継馬三拾弐疋　継人足弐百三拾人

四月廿三日　雲州人馬方　伊原権内　渡部治郎平　平井幸三郎

佐伯栄太郎　片山良平

右御先触幷手配帳差出候処手配帳ハ急ニ入用之由ニ付早速差戻し先触計御用番中へ差出大目附へも相届郡代所江も申通候

△右ニ付在方寄セ馬拾弐疋申出郡代所へ申達候

△御本陣玉置源五兵衛義出羽守様へ歎之義去ル十三日記置候通思召之趣奉畏候然ル所大目附中心付ニ者雲州へ罷越相歎候共御通行之砌発端不仕置候而者向方へ参候節取付端有之間敷何れ土居御泊へ罷出申上置候方可然哉之旨被申聞候付其段も内々相移候処至極御内意ニ奉存其趣ニ可仕候旨申居候所又々今日申出候者御通行前夕土居へ罷出候而ハ宿元之取計出来不申候間久世御泊へ罷出相願置可申旨申出候付勝手次第いたし候様及差図置其段御用番中へ申上大目附へも紙面ニ而申達候

△土居御泊聞合明朝人足差遣候段申出承り置

△右ニ付同心組加人弐人当日切大目附へ申達候所（ママ）

五月十六日　雨暁大雨

一斎藤孫右衛門差扣昨日迄ニ而三日ニ相成候間今朝奉書を以御免取計其段御用番幷大目附へ相届候

一茅町年寄与八郎浜吉追込右同断ニ付差免右同様相届候

一大年寄宅へ小頭代藤四郎部屋目附栄治差向左之通申渡之取計済御両所へ相届候

風来者常蔵と申もの日雇ニ召仕右常蔵　西新町英田屋新治

義百間藪ニ而笋盗取不埒之事候依之追込申付候但日数三日

一出羽守様御通行之義勝間田七里ゟ久世七里へ相送り候状箱持問屋ニ而申聞候者来ル廿三日土居御泊廿四日当所御通行ニ相成候由申聞候趣申出甚不慥之義ニて候得共御両所へ申達郡代所へも申通候

一久世手代江之返書材木町大工惣兵衛彦左衛門へ相渡候

一牢舎人久五郎未相勝候ニ付明日ゟ中島宗元へ申付候段申出候六月朔日ゟ藤木良全へ転薬

一牢舎人岩右衛門病気申出大年寄へ申付候所中島宗元へ申付候段届

出候同廿九日休薬

一大石半治来り三町目一文字屋万助不届有之ニ付追込申付呉候様被申聞致承知置大年寄へ紛申付候所又々半治来り段々詫言いたし誤入候間承り届相済候由挨拶有之相済

一出羽守様御義大井川御差支有之候由相聞何れ廿二三日頃土居御泊ニ可相成由ニ候旨七里飛脚ゟ人馬問屋へ紙面ニ而申越候由申出候ニ付御用番井大目附郡代所へ申達候

一院庄川丑刻留り申来翌十七日未ノ中刻明キ申来前後共大年寄へ申達候

五月十七日　晴

五月十八日　雨

一御用日登城

一茅町孤独太助組合追込日数昨日迄ニ而五日相成候付今朝差免御両所へ出仕之上相届候

一御婚礼御祝被下配当場御請書差出御用所へ申上大目附へ差出候

一生野囚人止宿之先触左之通申来先格之通申付置御両所へ相届候

覚

一人足三人但山駕籠壱挺分持壱人　外ニ人足弐人是ハ囚人目籠之分

右ハ我等義明十八日四ツ時作州久世村ゟ囚人壱人召連但州生野迄帰陣いたし候条書面之人足御定之賃銭受取之無滞差出可被継立候且川越渡船等有之場所者前宿ゟ及通達是又無差支様取計於止宿者囚人番人等手当可被致候此先触不限昼夜早々順達森垣村ゟ御役所へ可被相届候已上

亥五月十七日　布施孫三郎手代　森山繁蔵

十八日泊津山　十九日泊佐用　右宿々問屋中

追而囚人之義ハ別宿可被申付置候已上

右取計先格保頭先立同心組弐人廻り之躰ニ而跡を堅メ警衛止宿隣家ニ夜中出張度々相越番之者へ心付候尤向方役人江及挨拶候事但大文字高張挑灯出之

町方取計不寝番人足四人問屋ゟ差出弐歩中買弐人　同町年寄夜中度々見廻　旅宿前後立番　隣町夜回り　大年寄手代へ挨拶ニ相越髪結壱人申付　通り筋故障無之様ニ廻状差出

囚人宿二町目竹本屋卯兵衛　差添役人宿元魚町大庭ヤ善兵衛

同心組出張宿二丁目高尾屋万吉

一於御用所御用番御年寄左之通申渡之大目附出席

一吹屋町和泉屋八百吉下人庄吉義　町奉行へ

丈先ニ而取逃いたし不届ニ付剋之上御領分追払被仰付候

一盗人清蔵義右同断被仰付候　右之通取計可被申候

一茅町孤独太助御救扶持内貸先日相渡候得共相果候付差戻当月迄之分ハ先格之義相渡遣候様大目附中被申聞候付其段真北類蔵へ申達置候所当月迄之分拾三匁七分五厘相廻候付大年寄へ相渡候

一右剋被仰付候和泉ヤ下人庄吉井清蔵義後藤郷助中村源助長屋ニ為泊候由ニ付御裁許済之節ハ両人共差扣伺入候間拙者ゟ相通置候様大目附被申聞候ニ付右両人江口書相廻し為見置候

一大村成夫不快ニ付宇治橋之間御講釈御延引ニ相成候

一加人福島為助引込ニ付代り堀内又助来

五月十九日　雨

一生野囚人昨夜夜ニ入止宿いたし今朝五時前無滞出立相済候昨日之
警衛幸治利右衛門夜半ゟ文蔵庄蔵代り合候右出立御両所へ相届候
一西新町英田屋新治追込昨日迄ニ而三日ニ相成候間今朝差免御両所
へ相届候
一去ル七日寺社取次ゟ通用有之候安国寺夜念仏修行ハ此節ゟ七月中
迄之御聞届ニ候由寺社取次三浦十郎左衛門ゟ申来小頭并大年寄へ
申達候
一牢浚申付候処無別条旨昼廻幸治惣平届出候
一大坂長沢清左衛門ゟ去ル十五日出之返書到来市郷ゟ返納金慥受取
候由証文戻ル則三浦へ相廻候
一久世へ去ル十七日罷出候材木町大工惣兵衛彦左衛門両人罷帰り大
工共受負普請御糺之趣致承知候由再答来候付翌廿日御用番中へ差
出候

五月廿日　雨

一院庄川留卯中刻申来廿二日辰ノ中刻明申来前後共大年寄へ申達ス
一大目附廻状到来左之通但町中組中へ相触候
民部卿様御簾中御逝去被成候付来ル廿一日迄三日之内鳴物高
（徳川斉昭正室保子）
声御停止ニ候尤普請ハ不苦候
一小野田和四郎今日ゟ出勤ニ付堀内又助差戻其段大目附へ相届候
一摂州有馬辻堂茂兵衛一人例年之通墨筆白粉卸売来候段中之町甲屋
幸助宿切手差出八月七日帰
一宗旨奉行稲垣惣兵衛ゟ去ル十八日宗旨証文之案詞被相渡大年寄へ
相渡候
一出羽守様来ル廿三日土居御泊之御先触致到来候由土居御本陣ゟ川（ママ）
部大庄屋へ為知越候旨郡代所ゟ通用有之大年寄へ申達候

五月廿一日　雨朝飯後晴

一出羽守様御通行聞合之土居へ遣置候人足昨夜御本陣へ追触廻状飛
脚者坂本弁と申もの致同道罷帰り弥廿四日当所御通行之旨申聞候
付其段惣町へも相触出役之ものへも夫々相達可申旨大年寄申出其
段御両所へ相届候

五月廿二日　（ママ・書漏れ）

一東新町種屋伊助義八出村河原ニ畑作廻居候所近来三方共ニ田ニい
たし候故透水逼入畑作出来不申依之近隣同様田ニ可仕と存候所分
水いたし不呉下方ニ而懸合候得共相調不申難義仕候間御見分之上
分水仕候様願書指出郡代所へ相廻し候八月廿八日難聞届旨申来候
一勝間田町年寄豊野屋七左衛門義病身ニ付役免願出無余義趣ニ付指
免跡役者林田町年寄不残兼帯申付勝間田町年寄栄屋与三左衛門ニ
も林田町年寄兼帯申付度大年寄伺出承り届候
一御使組荒木十助後家鶴義七拾才ニ罷成候所中之町二月屋弁右衛門
引受度人別入願承り届
一伯州倉吉光明院と申修験夫婦当国中旦那廻りニ年々来候所最寄宜
候付元魚町大庭屋善兵衛方ニ六月廿四五日迄逗留為仕度願承り届
六月廿三日追立候
一一ノ宮村三太郎妻銀此度離縁仕候付新職人町板本屋曽七役介（ママ）ニ引

受度願下方引合相済候段申出承り届
一東新町安長屋宇平次母義当二月十三日西国順礼罷出候所足痛仕候付今十日計之日延願承り届同廿三日帰
一西新町沖屋庄助母娘当二月十三日西国順礼罷出候所美濃船附村と中所ニ而熱病相煩候ニ付今卅日計之日延願承り届同廿四日帰
一水野出羽守殿領分駿河国沼津下本町伊勢屋権兵衛母常下人壱人召連西今町福本屋伊右衛門方へ用事有之来候付六月中逗留為仕度願承り届七月二日追願承届
一下紺屋町長江朝庵義大坂梶木町八丁目玉子屋九兵衛方へ百廿日計之逗留ニ而明廿三日出立願大年寄指出承り届九月十八日帰
一安岡町年寄久米屋友七相果候付跡役大坂屋浜吉ニ申付是迄相勤候茅町年寄ハ兼帯申付度旨大年寄伺出承り届

五月廿三日　曇時雨雨

一御用日登城
一播州姫路下片町明石屋庄太夫忰庄吉義四ヶ年已前申九月中之町玉茶屋喜七後家養子ニ引受候処此度離縁仕親元へ差戻度人別除例之通取計済
一脇坂淡路守殿預り所当国英田郡倉敷村布屋藤治郎娘りふ京町宮田喜左衛門家守古金屋三之丞借屋住柳屋三治郎妻ニ引受度人別入願右同断取計済
一桶屋町田邑屋茂兵衛忰鉄治義去ル寛政四子四月割場御中間ニ相成人別相離其後番代仕安藤丹後殿家来ニ相成居候所今般暇貰候ニ付人別入仕度願承り届
一御召船中ニ有之候御唐紙戸井御挑灯其外御船ニ差添候諸道具是迄蔵元預り居候処年々之出水ニ付損多候間已来ハ御作事預りニ被仰付候間御船出入之人足共へ右御道具御作事方之持歩(運び)ひも申付候様大目附方達有之大年寄へ申付候
一出羽守様今夕土居御泊ニ而明廿四日御通行之手配ニいたし置候所土居へ差遣置候遠見人足未ノ刻頃罷帰り昨夜千本御泊ニ相成今廿三日津山御止宿被成候由ニ相聞候旨申出候ニ付即刻大目附へ相届御用番へ罷越右之趣申上兼而御本陣差支之義ニ付旁以御手筈も必定合兼可申候間御本陣代人御途中へ差遣御断申上候様可申付尤途も御出懸ケハ被成候事ニ候得者是非御止宿可被成候得共手つかへ之義委敷及御断御承知之上御請仕候様勿論御家中末々迄右之段御達置被下候様ニ可申述旨急度及断候様可申付旨井諸事先格之通ニ取計可申旨申上候処諸事其旨ニ宜取計候様被仰出夫々手配申付候然ル所申刻頃御宿割追触到来廿二日千本廿三日津山廿四日勝山御宿とくりかへニ相成候段申来其段御両所へ相届候右ニ付左之通大目附へ申達候

一御本陣拝借道具一切　一馬桶馬盥飼葉　一御本陣前箱番所
一使者屋敷ニ仮厩御作事方拵　右急ニ御達候様ニ申達ス
一加人三人申達候所日下勇助飯沼清治郎三森八十吉来ル

△町方取計左之通

一町方へ御止宿之追触書差出候
一御関札伏見町坪井町
一御奉行所立宿林田町山本三右衛門　御着後出張宿二町目福

永屋藤助
一御先乗物頭出張宿元魚町豊屋喜兵衛　立宿東新町高松屋平左衛門
一御徒目附下目附立宿東新町鍛冶六右衛門　出張宿二階町豊屋辰次郎
一御先払同心組立宿東新町鍛冶屋太兵衛　出張宿（ママ・氣記載）
一在分御先払御持組立宿安岡町鍛冶屋長右衛門
一右之外諸事先格之通取計之

△同心組役割左之通

廿三日御先払江原文蔵 小野田和四郎 三船藤四郎　馬駅神田栄治 本島庄蔵　供番中山勇蔵 飯沼清次郎　使番兼 堀内利右衛門 日下勇助
当番福田政助 堀間惣平　昼廻り川端幸治 三森八十吉　夜廻り無之

廿四日御先払堀内利右衛門 三船藤四郎　馬駅江原文蔵 川端幸治　供番中山勇蔵 飯沼清次郎 神田栄治 小野田和四郎
当番三森八十吉 堀間惣平　昼廻り本島庄蔵 川端幸治　夜廻り小野田和四郎 福田政助

△自分義申ノ中刻出宅林田町山本三右衛門方へ相越扣居候所八ツ時御本陣へ御止宿被成先格之通林田町横町へ罷出御出迎仕候処御駕籠脇ゟ松御名様町御奉行増児右門殿と披露有之御目見仕候近年向方様ゟ御断ニ付御機嫌伺ニも不罷出候ニ付左之通御本陣ゟ申通候様申付候尤御着被成候段御用番ハ大目附へ相届候

非番之備之為御関札内ニ足軽番所二ヶ所申付町奉行も御関札内ニ出張仕居候間此段兼而及御案内置候

△辻々非人之固麻疹ニ而人数引足り不申旨申出候付壱人ツヽニ而も差置候様申付候

△御馬六疋之由ニ而六疋之仮厩問屋場ニ御作事ゟ出来候

△明六ツ半時御立被成候旨御供触有之候

五月廿四日　晴

一出羽守様ゟ御目録金弐百疋被下候旨ニ付御本陣詰之もの立宿へ致持参最早御供相揃候御様子ニハ候得共右御礼可罷出間承り合呉候様御本陣詰へ申付候処相移候得者手狭之義ニ者候得共御出候ハヽ御取次可致候間唯今御出候様ニと挨拶ニ候旨申聞候付即刻罷出候所御取次和田多二平二と申仁罷出候付左之通申述候但和田多二平二と申者御供頭之由

出羽守様益御機嫌克被成御旅行昨夜当所御止宿被成恐悦奉存候此度御止宿之義ハ差懸り候御義ニ而諸事不行届甚以不手都合之事共ニ而別而御不自油（ママ）可被成御座恐入候事共ニ御座候早速御機嫌伺可罷出処兼而堅御断被仰進候ニ付御機嫌伺者指扣候様御役人共申聞候間差扣罷在候然ル所唯今ハ不存寄御目録頂戴仕難有仕合奉存候右御礼参上仕候間御序之砌御役人中迄可然様奉頼候段申述候処

御取次和田多二平二挨拶左之通

出羽守様弥御安泰被成御旅行候今度ハ差懸り御止宿ニ相成候所稠敷被仰付候而御道筋御馳走段々御案内等被仰付段々入御念候御厚キ御取向之段甚御大慶思召候此段御序ニ御役人中迄可然様御沙駄可被下候

右畢而御玄関敷台迄送り出候最早御供廻り居候事ニ付直ニ西今町妙法寺前へ罷出御見送り仕候処（五ツ時御出立被成）○御駕籠脇ゟ来昨日も御出役被成今日ハ御見送り哉と相尋其通相答候処御駕籠脇○ゟ申上有之躰ニ而

名披露ハ無之候町分御離被成即刻引取引懸ケニ御用番へ相届大目附へハ馬脇ゟ以使相届候

△左之通被下有之候段大年寄ゟ届出井小頭ゟも申出候

廿三日御先払小頭へ三百文平組へ弐百文ツヽ

廿四日御先払右同断

廿三日問屋出役同心組両人江銀弐匁ツヽ

廿四日問屋出役同心組両人江右同断

院庄御船江壱貫文

御蔵元へ　三百文

船年寄へ　弐百文

下裁許人へ百文

御本陣へ御宿料銀三枚

右同人献上物仕候付金百疋

右同人江御料理被下候由ニ而為目九拾弐文半旅籠被下候由

町奉行へ　金弐百疋

右之通大目附へ相届候

△出羽守様差懸り御止宿ニ相成候所御本陣詰六人之もの殊之外致出精骨折相勤宜御間合いつニ而も同人共相勤余り度々之義殊ニ此度ハ格別之出精ニ付為御酒代工面ものヽ内ゟ二拾匁計も遣度旨大年寄伺出尤之義ニ付承り届大年寄場合切之取計ニいたし候様申達候尤御本陣詰名面樫野屋茂一郎平野屋助左衛門野々口屋七郎右衛門福永ヤ林右衛門美濃出屋清右衛門大村屋源右衛門也

△出羽守様御通行ニ付人足請負左之通相極候旨宮田喜左衛門届出候

一乗物壱挺ニ付　拾壱匁宛

一法泉寺壱挺ニ付　六匁三分宛

一分持人足平人共平均壱人ニ付　壱匁八分ツヽ

一惣社村円福寺義今廿四日ゟ来ル十月中町中夜念仏御聞済之旨寺社取次三浦十郎左衛門ゟ通用有之大年寄井小頭へ申達候

一深信院様明廿五日五半時御供揃ニ而蔵田町通り泰安寺妙法寺へ御仏参申来大年寄井小頭へ申達候

五月廿五日　晴

一郡代所ゟ牢舎人十吉呼出申来出番和四郎政助差向出入取計之

一深信院様御仏参無滞相済候段御先払和四郎政助届出候

一痢疾除御薬当年ハ時節後れ候得共御用意致出来勿論痢疾ニ臨候而致服用候而も宜御薬之由ニ付望次第可被下候間大年寄へ相達候様

大目附ゟ一昨日達有之候ニ付其段大年寄へ申達候処其旨可相触候

間先御渡被下候様申出候付久原甫雲ゟ五千四百貼(ママ)受取大年寄へ相渡し不足之分ハ追々受取可相渡事○国島栄庵ゟ千六百貼請取都合(貼恐)七千貼請取組中へ相渡候分百貼残置六千九百貼大年寄へ相渡し又千九百貼相渡

一出羽守様御止宿之節人馬問屋へ本内順左衛門被差出一夜相詰候由右ハ先年有之候形ニ候処其後相止ミ居候所大目附中心得違調違ニ而被仰付候由ニ相聞候

五月廿六日　白雨

一戸川町打穴屋長七方へ一昨廿四日夕盗賊這入銭箱取出し内ニ有之候銀札壱匁計盗取其余紛失もの無之候段届書指出承り置

一出羽守様御止宿之節御本陣江御賄被下候由達有之壱人分旅籠代九

拾弐文被下候由届出候右ハ当年初而有之候義ニ而他駅ニ而も右同
様之趣ニ相聞候由申出候

五月廿七日　晴

一戸川町佐和屋孫四郎家守茂七借屋住多蔵妻米義雲州松江茶町和田
屋藤右衛門方へ四十日計之逗留ニ而明廿八日出立願大年(ママ)承届差出
七月十一日帰
一西今町直屋孫四郎父市郎左衛門義大坂阿波座手島町油屋新兵衛方
へ油代差引算様ニ罷出度三十五日計之逗留ニ而明廿八日出立願大
年寄承り届差出七月九日帰
一昨夜更廻り栄治幸治庄蔵和四郎井椿高下関貫改藤四郎差出候処無
別条旨届出候
一多賀就(下ヒ)成院使僧玄乗坊義未不相勝申遣候而も迎之人も来不申候ニ
付今日宿松野屋十右衛門親類之もの差遣候段届書差出候
一出羽守様御止宿ニ付御本陣入用差引百九拾目八分七厘御馬宿入用
不足四匁五厘有之候由帳面差出候
一郡代所ゟ沖村幾右衛門忰磯五郎入牢手形来出番栄治差向取計之

五月廿八日　白雨

一御用日登城
一大久保安芸守殿領分久米北条郡奥山手村下分幸治郎忰万治壱人福
渡町福本屋藤七引受度人別入願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置
御聞届申達候同晦日住宅証文差出
一出羽守様ゟ諸出役江御目録被下之書付去ル廿四日認置候通大目附
へ差出且又拙者罷出候時分御取次和田多二平二挨拶之趣御用番中
へ申上候
一孤独扶持是迄勘定奉行下代相頼先役已来受取来候所先日失念有之
勘定奉行ゟも及断候様被申候由ニ而勘定場下代真北類蔵ゟ新左衛
門へ断申出尤成義如何様役筋ニ而も引受可取計筋之義ニ無之大年
寄可引受筋之義ニ候得共是迄致来候義ニ付其儘ニ取計来候所此度
類蔵及断候故以来ハ大年寄へ引受申付自分義致奥書可申旨勘定奉
行近藤伊左衛門平井半平へ申談候処存寄無之旨ニ付其旨大年寄へ
申付候
一関貫番賃銀も先役已来右同様之致来之処是迄当役直取計ニ可致筋
之もの ニ も無之小頭場合ニ而も可然処幸当時ニ而ハ下役有之候間
已来大脇新左衛門へ引受可申付尤是迄ハ四ヶ月切之仕切ニ致来候
得共一ヶ年ニ壱度勘定為致候へ者可相済道理ニ候間已来ハ九月壱
度之勘定ニ申付間々之内貸受取ハ是迄之員数程ツヽ受取候様申付
度旨右両人江懸合候所是又承知ニ付其段新左衛門江申達候
一西今町中野屋太郎兵衛銀札場拝借金歎之箱訴不筋之旨申達願書差
戻可然候旨先達而申上置候所其通ニ取計候様御用番中被仰出候ニ
付大目附へ申達候所勘定奉行江懸合置候上取計候様被申聞依之平
井半平へ及通用井勘定奉行ゟ被差出候算様書等差戻候近々呼出可
申渡事
一林田弓之町房被盗物衣類七品質屋ゟ取上ケ今日房代人ニ相渡候尤
右之段昨日大目附へ懸ケ合代人差出候様申達置候事
一大目附廻状到来左之通町中組中へ相触候
御前様御名於穀様と奉唱候間差合候名面可相改候(伊勢侍従主藤堂高嶷の娘)カヂ

一公儀御触大目附廻状到来左之通組中へ相触候
道中川支有之候節先渡相争候故不束之義も出来候間川役人之
差図ニ随ひ順々ニ可致渡川候
一痢疾除御薬都合八千九百貼受取大年寄へ八千八百貼相渡組中へ六
十五貼相渡候
一出羽守様御止宿ニ付左之通書付差出候
一本馬三拾壱疋　軽尻五疋　〆三拾六疋
一人足三百九拾六人
一人馬問屋入足入用七百九拾四匁七分弐厘
一出羽守様当年ハ差懸り候御止宿ニ付御本陣拝借道具左之通ニ而相
済候由届出候
一白木三宝
一御膳台
一御水こし但布共
一御刀掛
一大文字付高張御挑灯四張但台共
一燭台十五
一ことく大小五
一御まな板二面
一水荷弐荷
一御手洗水桶三
一御家具五十人前
一縁取五拾枚
一手燭五
一馬桶十
一馬盥五
一畳四畳
一手長桶弐拾但杓とも
右ハ指懸り候義とハ乍申例歳右之通拝借仕候事
五月廿九日　晴少雨
一江州多賀成就院使僧玄乗坊当正月五日例歳之通旦那廻りニ新職人
町松野屋十右衛門方へ来候処水腫病相煩追々差重り候趣ニ付其旨
先達而態飛脚を以申遣候所近日ニ者人差遣可申候得共其内急変も
有之候ハヽ宜取計呉候様頼越一向誰も参不申候ニ付又々此間十右
衛門親類之もの差遣急ニ誰ニ而も差越候様申遣置候所右玄乗坊昨
晩方致落命候段昨夜半過届書差出先例取調候処的例も無之候得共
寛政十戊午年十二月廿日雲州杵築大社多久十太夫下人勘蔵と申も
の致病死其節先例取調候得共的例も無之候得共其節ハ同道人并親
類も有之候事ニハ候得共見分も不差出其節之趣宿切手差出逗留之
ものハ兼而受人も有之町役等も致印形何等之義出来ニ而も御役介
ニ者懸ケ申間敷と云受合之ものニ候得者同道人之有無ニ不抱死骸
見分不差出筋之様ニも認有之候ニ付其旨御用番中へ相伺尤右玄乗
坊ハ天台宗ニも候得共宿松野屋十右衛門旦那寺光厳寺へ仮葬仕度
旨願出候付其段被仰付被下候様申上置候所無程伺之通宜取計候様
被仰出候ニ付其段大目附へ相届右書類差出光厳寺へ御達被下候様
致度旨申達置并寺社取次三浦十郎左衛門へも及通用置大年寄へ宿

切手指出逗留之旅人ハ右之通之義ニ付死骸見分不差出候間光厳寺へ懸ケ合勝手次第仮葬いたし候様申達候尤宿切手不差出一夜泊ニ而致病死候ものハ死骸見分可差出事也勿論親類又ハ聟といたし候同道人有之候ものハ差別も可有之事也

一二階町石松院義先月十四日ゟ廿日迄七日之間門中相集五穀成就之致祈禱候処石松院義町法不相守町方へハ願書も不差出町役ゟ彼是申候処我儘申募候由ニ而漸相始候後届書差出候位之義ニ而甚不埒之義ニ付下方ゟも段々届出候付寺社取次野条金平へ其趣懸ケ合石松院義ハ徳守宮妙願寺抔とハ訳違堀内たり共町地面五人組付之ものニ候得者以来途も町法不相守候而ハ不相済諸事地面ニ付候義者両願ニ可致筋之義ニ付以来急度町法相守候様御達有之候様致度旨懸ケ合置并三浦十郎左衛門へも具ニ談置候処石松院呼出し昨日相達置候旨通用有之候ニ付其段大年寄へ申達候

一小野田為治義致番代当時ハ転宅いたし居候由ニ候得共未屋敷不差上候ニ付早々受取候様申付候所右屋敷ハ建出し有之並々ゟ弐間広候間足シ譲渡し候節内々ニ而少々ツヽ出銀いたし候由ニ付為治へ切為取可申哉と伺出候付随分其旨可然間建出と申方聟と遂吟味候様申付候所不相分為治義ハ南之方弐間可切取旨申候由左候而ハ家並も違ひ如何ニ付幸右家建候福田甚蔵居候事ニ付新左衛門方へ甚蔵呼出承り候様申付候所昨晩新左衛門方へ甚蔵呼寄承り候得者元来弐間ニ三間之並之渡屋敷有之候処手狭ニ而難暮右家崩取新ニ弐間ニ五間之家ニ建かへ候由尤南ハ以前之場所ニ而北へ弐間建出候由切取候得者北之方弐間切縮可申存寄ニ有之候処番代人ニ其儘譲候由新左衛門承り候趣申出候ニ付今更切取候得者却而迷惑之筋ニ付其儘ニ而受取和四郎へ相渡候様藤四郎へ申付候処切取相渡度旨申出候付北之方二間切取候様申付候

一播州網干塩屋伊兵衛一人例年之通塩物荒物卸売来候段中之町津田屋伝助宿切手指出八月十三日帰

一播州網干余陸屋惣七一人例年之通八百屋物卸売来候段右同人宿切手差出八月十三日帰

一下紺屋町喜助悴喜太郎義不埒ものヽ風聞有之候付左之通申付候

父喜助へ預ケ申付候　　下紺屋町喜太郎

一江州多賀成就院使僧玄乗坊病死死骸光厳寺へ仮葬取計相済候段晩方届出候付其段御用番并大目附へ相届候

一元吹屋町住当時無宿熊と申もの所々盗相働候哉之旨ニ付召捕候様目明へ申付置候ニ付昨日林田ニ而見懸ケ追廻り候処川へ這入逃去り候由右之節平岡屋前ニ而三徳落候由ニ而目明弥吉差出尤一昨夜元魚町糀屋方ニ而盗取候銀札ニ而可有之四拾匁計[出相]ニ付利右衛門へ対申付当分当番預りニ申付置候

五月晦日　白雨

一関貫番賃銀例月之通相渡候

一萩野嘉七致出勤候ニ付加人梶間宗平指戻其段大目附へ相届候

一龍野へ致出訴候林田町島屋文七代人勝左衛門罷帰り郷宿両人嘱ニ而以来右酒株一件之義ハ双方ゟ倉敷庄屋代二郎ニ諸事引受貫今般之十分一役米も代二郎方へ差出同人ゟ宜取計候様ニ可致旨ニ而致内済罷帰候旨済書并龍野役人ゟ右之通内済承り届候段書状取帰り候付御用番中へ差出候処即日御戻被成候

六月　小

月番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　海老原極人殿

大目附　太田舎人

大年寄　玉置源五兵衛

諸吟味　宮田喜左衛門

六月朔甲子旦　雨

一林田町島屋文七造酒株役米十分一明二日迄ニ倉敷村世話人庄屋代二郎方へ相納候様申越候旨蔵合孫左衛門ゟ伺出右ハ江戸御留主居田中幸助へ聞合申遣置候義ニ者候得共未返答不申来候得共否とも難申筋ニ付勝手次第と可及差図哉之旨御用番中へ相伺候処思召無御座旨被仰出候ニ付其段申達候

六月二日　快晴

一新左衛門栄治藤四郎源五兵衛喜左衛門立合左之通申渡取計済御両所へ相届候

一銀札場拝借銀之歎ハ其筋へ　西今町中野屋太郎兵衛

幾度も可歎出候処心得違致箱訴不埒之事ニ候依之願書差戻候

一風聞不宜候ニ付親喜助へ去　下紺屋町作人喜助忰喜太郎ル廿九日預ケ置今日呼出し遂吟味候処博奕并盗等いたし候義毛頭無之申口ニ而其外手懸りも無之ニ付預ケ差免候

一小頭月番栄治相勤候段届出候

一石名源蔵今日ゟ致出勤候ニ付加人福田政助差戻其段大目附へ相届候

一戸川町松井手屋喜作娘出産月取間違ニ付先格之通七夜後御叱可取計旨大年寄伺出承り置候

一中之町粟井屋茂市妻妊娠之処痢疾相煩死去いたし候ニ付容躰書一札差出候

一二階町石松院義例歳之通来ル七日ゟ十四日迄護摩修行願承り届

一下紺屋町智教坊義右同断願承り届

一牢屋扶持仕切証文差出且又四俵之内貸証文差出奥印書取計之是ニ而来月中晦来月へ壱升五合持越候積也

一久世手代曽根源次郎榎本宗八飯沼才次郎ゟ夜半過頃飛脚差越林田町播磨屋文蔵娘ぬいと申ものを京町錦屋文兵衛忰伊三郎と申もの久世阿波屋平吉方へ先月廿日連来相頼候ニ付右女を平吉方ニ相雇置候所去ル朔日昼頃七之助と申もの来ぬいと申談候趣ニ而罷帰候所同夕九時頃縫義酒調ニ罷出候所七之助縫を切懸ケ候ニ付ぬい義内へ逃込候得者七之助追駈這入候処へ亭主平吉相支候得者平吉ニも手疵負セ自身ニも腹切并喉へ疵付候段申出候付早速遂見分候処正気正敷言舌も相分り右之趣申口ニ付播磨屋文蔵錦屋文兵衛ニ町役差添立会役人差出可申并縫七之助へ一同藤井嘉津馬方ニ被相雇

居候由ニ付藤井嘉津馬相糺申遣へく井播磨屋文兵衛義ハ親子共関十治方ニ被相雇居候由申口ニ候旨申来候ニ付即刻御用番中へ罷越申上藤井嘉津馬関十治御糺被下候様申上置町方も相糺可申旨申上置大年寄呼出し急ニ相糺候様ニ申付候

六月三日　快晴

一暑中御機嫌伺井御用日ニ付例刻平服ニ而登城例之通七間廊下ニおゐて御奏者番ゟ三奉行迄一同御機嫌奉伺続而御前様へも御同様御機嫌奉伺候

一久世ゟ昨夜申来候町方之もの相糺候所林田町播磨屋文蔵と申ものハ先年林田町香々登屋六之助借屋ニ作人文蔵と申而罷在候所寛政十一未年五月聞届之上柴田由郎長屋へ引越除帳ニ相成京町錦屋文兵衛と申ものハ当時辰巳屋文兵衛と申同人悖伊三郎義ハ当閏正月勘当仕御聞届之上除帳ニ相成候ものニ而町方懸り合無之段申出其段御用番井大目附へ申達候所藤井嘉津馬関十治御糺有之候所両人共ニ長屋者ニ相違無之旨ニ候得共御家中家来ニ而ハ御代官所捌ニ不相成江戸表へ被差出候ニ付向方ゟ申越之趣ニ随ひ両人共雇ニ而差置候ものニ而町方ニ引受人井請人有之町方之住人ニ候段申遣候様伺之上被仰出万端右之振合ニ取計藤井嘉津馬関十治ゟ内々町役之ものへ可相頼候間致承知候様ニ役筋ゟも可相移旨大目附ゟ被申聞其段申聞置候所嘉津馬ゟハ斎藤孫右衛門を呼相頼十治ゟハ源五兵衛を呼相頼候右入用も町方ゟハ不致筋ニ付其段御両所へ申達候所御承知ニ付其段も内々相移置候所銘々一己之用意程ハ仕可参候得共七之助入用も可有之義ニ付拝借仕罷越度旨願出候ニ付急度表立上ゟ御払被下候と申筋ニも無之先ハ主人ゟ相頼候筋ニ候得者主人〳〵ゟ可差出道理ニも可有之候得共過分之義ニ候得者難及筋ニも可有之候得共何れニも町方之損失ニ者為仕申間敷候間当然之所ハ何方ニ成共致借用可参候旨申付置候○右ニ付立合役人大脇新左衛門可申付哉と御用番へ相伺候処伺之通宜取計可申尤支度出来次第出立為致候様被仰出其段大目附へも相達置勘定奉行へも及通用渡方等之義も懸合置候

△新左衛門差出候付御貸人之義大目附へ申達候

△同心組弐人差遣候間加人弐人大目附へ申達候所三森八十吉寺坂兵治来

△新左衛門差出候付書役代大目附へ申達候所中谷孫右衛門来

△同心組利右衛門嘉七両人呼出久世へ差遣候段申付候

一今六半時揃於牢屋御徒目附山本弥七下目附（ママ・衣カ）来助小頭藤四郎部屋目附神田栄治出番文蔵利右衛門立会左之通藤四郎ゟ申渡之

一使先ニ而無宿清蔵と馴合　吹屋町和泉屋八百吉下人庄吉銀札五百匁取逃いたし不届至極ニ付剛之上追払申付候

一和泉屋下人庄吉と馴合銀　無宿盗人清蔵札五百匁盗取候ニ付剛之上御領分追払申付候

右取計済御両所へ相届後藤郷助中村源助引合ニ付及通用候

一祇園会ニ付来ル七日ゟ十四日迄二階町元魚町関貫開立番付置候義御両所へ相届候

一元魚町糀屋伊助方へ去ル廿七日夕盗賊這入銀札五六拾匁盗取候届書御用番へ申上大目附へ差出右ニ付元吹屋町熊と申もの盗賊相働

候ニ付去ル廿八日林田辺追廻り候処三徳落拾上候所銀札四拾匁余
有之全糀屋ニ而盗取候銀札と相見へ候へ共熊義取逃候義ニ付取上
ケ置候段及御沙駄置候
一牢屋破損書大目附へ差出候
一牢舎人左吉義右衛門病気申出大年寄へ申付候所吉武修格へ申付候
段申出候十五日休薬
一二町目三谷屋与三左衛門義摂州能勢郡妙見宮へ参詣仕度廿日計之
逗留ニ而明後五日出立願承り届同廿二日帰ル
六月四日　雷雨
一久世へ差出候もの共左之通今暁八時過出立仕候付其段御両所へ相
届候
藤井嘉津馬長屋住七之助引受人　二階町備前屋三之助
右町役塗師虎吉
右七之助受人　新職人町唐松屋久治
右町役塗師喜平治
文蔵
関十治長屋住縫実父
右文蔵引受人　林田町香々登屋甚之丞
右町役栄屋与三左衛門
右文蔵受人　林田村六助
右組合壱人
右村役壱人
縫養父　神戸村助右衛門病気付代人
右組合壱人
右村役壱人
右立合役人　大脇新左衛門
同心組　萩野嘉七
同　堀内利右衛門
郡代足軽　飯島文治
一今夕二町目ニ而百万遍執行届出夜廻り同心組へ申達候
一林田町島屋文七代人勝左衛門龍野へ致出訴候処内済相整去ル晦日
書状取帰候付右返書下案を以御用番中へ昨日相伺候処即刻思召無
之段被仰出候ニ付大目附へ飛脚之義申候処昨晩村上吉右衛門相廻
候付返書相渡今朝立申付候同七日帰
一雲州能儀郡清水村四郎右衛門娘きよ并同村乙右衛門娘わき右両人
西国いたし播州筈崎并新田村ニ而病気付送り来候段郡代所ゟ申来
大年寄へ申達候
一院庄川戌刻留り申来翌五日辰刻明申来前後共大年寄へ申達候
一牢舎人源次郎病気申出大年寄へ申達候所吉武修格へ申付候段届出
候同十五日休薬
（貼紙）
六月五日　雷雨
一郡代所ゟ牢舎人勘兵衛左吉呼出申来出番幸治差向出入取計之
六月六日　快晴少白雨
一御用番中ゟ捨子有之郡代所ゟ郷中触有之申達置候間町方同様触達
取計候様被仰出左之通町触并組之者へも相触候然ル所大目附ゟ捨
子有之先例年月承り度旨申来取調候処安永四年七月十一日ニ妙法
寺ニ捨子有之同年十二月十九日稲荷山ニ捨子有之候段申遣候

林田上之町浄円寺門前ニ古島単物を着セ男子之捨子有之出生
ゟ日数凡五六十日程相立候趣ニ相見へ候段申出候間町方裏借
屋之もの迄遂吟味疑敷義も有之歟又ハ及見聞候ものも有之候
ハヽ早々可申出候
追而右之趣得と遂吟味有無共来ル十二日迄ニ可被申出候
一左之通大目附廻状到来
今朝林田上之町浄円寺門前ニ出生ゟ日数凡六十日程相立候趣
ニ相見へ候男子捨有之候右捨候もの及見聞候ハヽ其段可申出
旨町在江相触候間御家中召仕長屋者等遂吟味疑敷義も有之候
ハヽ可被申出候
一院庄川亥刻過留り申来翌朝辰中刻明申来前後共大年寄へ申達ス
一浄円寺門前之捨子西新町中島屋伊兵衛忰与次兵衛貰度旨望出候段
大年寄申出其段大目附へ申達候所御用番中へ相伺可申旨申来候
六月七日　快晴少白雨
一龍野へ指遣候飛脚受取書取之罷帰り其段御両所へ相届候
一大目附ゟ昨日被仰聞候捨子貰度旨伺候処可被下候得共市郷へ触達
も有之候事故両三日見合候上ニ而差遣候様被仰出候旨且又産養等
可被下筋ニも可有之考申上候様申来左之通申達候
安永四年未十二月十九日稲荷山捨子ニ当分乳ヲ与へ候ものニ
者奇特之段御賞被成八木壱俵被下之并孤独扶持被下置候翌年
正月加茂百姓貰申候由
一三軒屋番中村清八病気引込届出候
一越中富山板屋理兵衛役介惣助平三郎二人例年之通罷越候間十月迄
逗留為仕度願大年寄差出し承り届
一茅町広原屋善吉借屋住作人栄治義戌四月博奕参会仕右為御咎五十
日之夫役被仰付候処久々病気ニ而相勤不申漸夫役四日相勤候処当
閏正月出奔仕所々相尋候得共行衛(ママ)不相知候段届書永尋申付候
六月八日　快晴
一御用日之処自分義不快ニ付三浦士を以当病御断仕候
一備前津高郡神瀬村医者軽部道英忰城之助義名越十郎右衛門へ随身
仕学文執(ママ)行ニ来候間来ル十二月迄上紺屋町備前屋庄兵衛方ニ逗留
為仕度願承り届
一新職人町年寄塗師喜平次久世行留主中桶屋町彦市へ兼帯申付候段
申出候
一祇園会ニ付下紺屋町辻ニ石碑行灯差出候段届出承り置
一油方引受之もの共兵庫へ登セ種割付之義ニ付妹尾平兵衛丸亀屋勘
治及異義油方引受之もの届出候由ニ而弁書并答書等取之差出候ニ
付大年寄存寄書も取之当役考書差添紙面を以御用番中へ差出同十
日伺之通取計候様被仰出即日申達候
一宮田喜左衛門妻出産ニ付血忌引込候段届出候
一山手屋理兵衛佐伯屋与三兵衛大坂ゟ昨晩罷帰候段届出候ニ付大坂
懸ケ合之趣認出候様ニ大年寄へ申達候
一久世出役大脇新左衛門ゟ書状差越日々立会吟味罷出候処手代共穏
成掛合振ニ而吟味詰も双方申口符合いたし安堵之旨并日雇ニ請人
ハ不入ものニ付下請之もの共差返し候様申聞候付新職人町唐松屋
久治林田村六助町役村役差添差戻候ニ付書状差越并昨七日迄之懸

ケ合勤書差越大躰口書も出来寄候処内済いたし度趣ニ相聞候処折節真加部村幸太郎参合居内済取計度旨申ニ付手代江遂内談候上ニ而任其意候処向方ゟも[出相]被申付今朝ゟ懸ケ合候趣ニ御座候得共入用等も多六ヶ敷趣ニ候ハ、早速破談為仕候積ニ候由且又用意金も大躰十日計之積ニ而三百匁持参仕候処内済等相整候得者猶又入用等有之義故何れ不足可仕井宿忠平ゟ町役之者へ相咄候者手代江御挨拶等被致候積ニ候ハ、爰ニ而被致候方可宜哉ニも申候由伺出候付此度ハ御役人中差添之義ニ候得者銘々共ゟ左様之義者決而不相成旨返答ニ為及置候得共如何様今般之御挨拶御座候義ニも候ハ、爰ニ而被遣候方も可然哉之旨伺越郡代連名之書状ニ付郡代所へ相廻し直ニ御用番中へ被差出候様申遣候

六月九日　快晴

一大脇新左衛門ゟ昨夜申越候手代福田作右衛門へ挨拶之義郡代と申談候処年々差定り被下有之義故分而今般之為御挨拶被下ニ者及間敷左候ハ、新左衛門ゟ自分為挨拶三百疋計り相送り可然哉ニ申談井用意金も三百匁計も為持差遣可然旨三浦士より御用番中へ被相伺候処無程伺済ニ而同人ゟ勘定奉行平井半平へ被懸合同人ゟ金三百疋銀三百匁相廻り候ニ付飛脚者大目附へ申達候所杉山源蔵来明暁七ツ立ニ而罷越候様申付銀子相渡受取書取之置右新左衛門ゟ差越候書類大目附へも差出候

一郡代所ゟ和田村周助牢番預申来出番八十吉差向取計之

一林田町山形屋才之丞義博奕咎夫役去ル三日迄ニ而相済候段御作事奉行ゟ通用有之井町方ゟ茂届出候

一二階町山手屋理兵衛東新町佐伯屋与三兵衛大坂ニ而油屋共と懸ケ合之手扣帳差出及見候処呼出之趣意聢々不相分候様ニ相見へ候得共詰ル所者油余分ニ(ママ)挍立大坂へ相廻し候様之趣意ニ相聞其義ハ決而不相成義とさっぱりと申放候故甚不機嫌ニ而不正之油取扱候様察度致候得共左様之義ハ決而不致と強而申切候故先方致方も無之趣ニ而始終言散ニいたし立分り罷帰候趣ニ相見へ候尤帰り懸ケ兵庫へ立寄懸ケ合振灘屋吉三郎へ相咄候処応対振至極宜旨吉三郎致挨拶候由ニ相見へ候右帳面御用番中へ差出大目附へも相届候

六月十日　快晴白雨

一銀札場奉行栗原衛守ゟ贋札出来ニ付宮部村迄目明孫兵衛相頼差遣度案内有之承知候旨及返書○孫兵衛義十四日帰

一坪井町塩屋方へ向高山ゟ酒売ニ贋札致持参銀札場へ相届候旨届出候

一菜種兵庫へ積登石数割附之義ニ付妹尾平兵衛丸亀屋勘治と油方引受之三人と及争論右両人弁書出し右答書等差添差出候所甚入組候義ニ付蔵合孫左衛門玉置源五兵衛宮田喜左衛門存寄承り候所何茂考申出候者元来兵庫ゟ仕向之義ニ付爰元ニ而彼是存寄可付筋之義ニ無之両人之願聞届候得者追々同様我儘之義申出後ニ者菜種登候事ハ不相成様ニ可相成ニ付及異背候者ハ油商売差留候ゟ外ハ無之旨三人共同意ニ申出候付拙者添書いたし此一件ハ大年寄見込之通宜取計候様被仰付候様仕度旨去ル八日御用番中へ差出し伺置候処伺之通宜取計候様被仰出候ニ付即刻蔵合孫左衛門玉置源五兵衛両人呼出し各見込之通取計候様申達候

一久世大脇新左衛門方へ差遣候飛脚夜ニ入罷帰り銀子受取候旨并急ニ内済いたし候様又兵衛殿ゟ御取向有之候由風聞申越右返書翌十一日御用番へ差出候（同十二日大目附へ差出候）

六月十一日　曇晴少雨

一宮田喜左衛門血忌差免候間今朝ゟ出勤候様大年寄へ申達候

一妹尾平兵衛丸亀屋勘治へ昨日被仰付候一件申渡候ニ付小頭差出候様申出候ニ付九時ゟ為立会栄治壱人大年寄宅へ差出候処両人共御受仕候由ニ候

一深信院様明十二日五時御供揃ニ而藺田町通泰安寺へ御仏参被成候段種村登門ゟ通用有之大年寄并小頭へ例之通申達候

一江州多賀成就院内光円坊上下弐人来候間新職人町松野屋十右衛門方ニ十日計逗留為仕度願大年寄差出承り届同十四日帰ル

六月十二日　快晴

一深信院様御仏参無御滞相済候段御先払文蔵兵治届出候

一一ノ宮村岩右衛門夫婦并義右衛門口書郡代所ゟ相廻候所武田利左衛門并戸川町久蔵口書と不引合候ニ付右三人之口書を以利左衛門久蔵再糺候様大年寄へ申付候

一坪井町塩屋直之助裏土蔵ニ石立懸ケ有之候間ニ小倉島三徳外家有之相改候処内ニ贋札弐拾匁有之候右ハ昨日向高山ゟ来候もの入置候事と相見へ候段届書指出候ニ付右贋札銀札場へ指出候様申付置届書も栗原衛守方へ相廻候

一郡代所ゟ和田村周助母牢番預ケ申来文蔵差向取計之

一新魚町魚屋庄右衛門借屋住児島屋久太郎義子供弐人召連去ル四月中旬罷出候所不罷帰候付相改候処出奔之躰ニ相見へ所々相尋候得共行衛（ママ）不相知段届出例之通百日尋申付候（九月廿六日日延願出）

一上紺屋町津島屋栄吉借屋住作人伊八義当三月御届も不仕江戸表へ持ニ罷出候所大病相煩今以快気不仕逗留仕罷在御届不仕罷出恐入候段家主ゟ届書差出不束之段叱置候様ニ申付候

六月十三日　快晴

一御用日登城之処拙者義今以不相勝当病届三浦士へ頼遣尤申上候御用向無之

一大目附ゟ此間之捨子貰度と申もの来ル十八日願書差出候様可取計旨申来大年寄へ申達候

六月十四日　快晴

一京町畳屋伊兵衛借屋住勘兵衛と申もの女房致離縁候上ニ而相障り可及凶事ニも程之勢ニ付大年寄共方へ呼出致教諭候間不相用節者手錠ニ而も被仰付被下候様大年寄申出出番兵治差出候処致納心不及手錠罷帰候

一上紺屋町津島屋栄吉借屋住作人伊八義江戸表ニ而大煩金子五両申越先日壱両壱歩差遣候処其余出来不申候間右伊八実父仲右衛門と申もの院庄ニ罷在候付右仲右衛門助力仕候様被仰付被下候様歎書差出郡代所へ相廻候

一牢舎人磯五郎周助十吉郡代所ゟ呼出申来昼廻幸治八十吉出番和四郎差向出入取計之

一石州迩摩郡佐久間村幸三郎娘みよ義参宮ニ罷出播州佐用郡林崎村ニ而病気付同所ゟ送り出し川辺（ママ）村へ送り来候段郡代所ゟ申来継送

り申付候
一右膳と申易者勝左衛門方へ来りぐづり候趣ニ付目明へ申付追立候段大年寄届出候
一徳守宮納涼初日ニ付例年之通出番藤四郎和四郎差出候所無別条引取候段翌朝届出候

六月十五日　晴雷

一大脇新左衛門義去ル四日懸り合之町人共召連久世へ罷出候所致内済七之助并ぬい受取今四時罷帰り内済料五両差出済候由尤門三と申もの格別骨折致出精至而入用少ニ而相済候旨ニ候右罷帰候段御両所へ相届右書類ハ一見之上郡代所へ相廻し郡代所ゟ御用番へ被指出候様ニ申遣且又内済之義ニ者候得共七之助義爰元ニ而之御裁許も可有之もの ニ付手錠之儘受人両人江預ケ置候ぬい義者神戸村人別之もの ニ付郡代所へ連帰候且又関十治長屋文蔵も他参留申付候段受人江申渡置候
一多賀成就院使僧玄乗坊病死之段申分無之候旨光円坊一札差出候由松野屋十右衛門ゟ写差出候
一桶屋町金吾義銭目附相勤候節ゆすり取候銀札弐拾匁差出候付夫々江引渡候様申付大年寄へ相渡候
一二階町山手屋理兵衛大坂ニ而懸ケ合候手扣御用番中御下ケ被成大目附へ差出し戻ル
一大目附廻状到来左之通町中組中へ差出候

（輪王寺宮公延法親王）
安楽心院宮様薨去ニ付今日ゟ来ル十七日迄三日之内鳴物停止被仰出候普請ハ不苦候

六月十六日　快晴

一船頭町今津屋孫十郎後家義先月十日備前へ致出訴添簡差遣候所右滞銀七百目余之処四百匁受取致内済昨夜罷帰り返書差出御用番中へ差出大目附へ相届候即日御用番中ゟ御下ケ被成候付翌日大目附へ差出候

六月十七日　快晴

一久世へ差遣候同心組出勤ニ付加人三森八十吉寺坂兵治書役代中谷孫右衛門差返候段申達大目附へも相届候
一愛染寺勧音（ママ）ニ付例歳之通宮脇町関貫開立番付置候段届出御両所へ相届候
一武田七郎兵衛所持之自国受酒株去戌六月同町若本屋新助へ貸置候所限月来候ニ付取戻候届書差出承り届
一東新町玉屋伊右衛門自国受酒株去申六月町内船本屋兵助へ貸置候処此度取戻し西新町三原屋定七へ来ル寅六月迄丸三ケ年之間貸渡度願承り届
一勝間田町浜野屋伴治義因州鳥取四町目有本屋伊三郎方へ十五日計之逗留ニ而明十八日出立願大年寄承り届差出七月四日帰

六月十八日　快晴

一御用日登城之処拙者不快ニ付当病御断三浦士を以申達并御用向頼遣ス
一牢浚申付候処無別条旨昼廻藤四郎利右衛門届出候
一昨夜徳守宮警固出番藤四郎利右衛門罷出候所無別条引取候段今朝届出候

一茅町広原屋善吉借屋住作人仲之助一人土井大炊頭殿領分当国久米南条郡種村忠助方へ差遣度人別除願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置候段三浦ゟ申来御聞届申達候

一雲州神門郡杵築大土地村和兵衛忰勝助義三年已前酉十月下紺屋町鳥屋利兵衛借屋住杵築屋吉助引受候処此度差帰度人別除願右取計同断済

一御代官柘植又左衛門殿支配所小豆島之内豊島唐櫃(ト)村大黒屋勇助妹梅義元魚町福永屋宇三郎借屋住松田屋善右衛門役介ニ引受度人別入願右同断取計済同十九日住宅証文差出

一西新町中島屋与治兵衛義今般林田上之町浄円寺門前ニ有之候捨子貰受養育仕度願御用番中御聞届被成為産養当役場ゟ八米(ママ)三俵差遣候様被仰出候段三浦ゟ申来其段大年寄へ申渡候尤右八木ハ追而拙者ゟ証文差出受取可相渡事

一二階町藤野屋嘉四郎家守嘉兵衛借屋住治助義去ル十五日朝五ツ時近辺へ日雇ニ罷出候留主へ盗人這入蚊屋単物銀札三分都合代ニ積り廿匁三分計之品被盗取候届書差出市郷触流し伺済申来相触候同廿五日町方ニ無之段申出候

一池田仙九郎殿当分預り所勝北郡勝加茂東村安井分与左衛門忰与市義吹屋町山伏持福院養子ニ引受度人別入願右同断取計相済候処未寺社方へ不願出候間御聞届申渡ハ見合置候様三浦ゟ申来

一東西新町勝間田町ゟ例歳之通悪水抜溝浚右同断申渡候

一西新町南側ニ而美濃屋平左衛門裏土手下雁木両角腰石垣損届大目附へ差出候段三浦ゟ申来候

一林田町梅屋卯介娘かめ義去戌六月林田村万吉妻ニ差遣候処此度致離縁罷帰候ニ付帰住願下方引合相済候段申出承り届

一御使組日下勇助役介(ママ)伝八并同人姉しほ右二人美濃職人町作人治助引受度人別入願差出承り届

一京町畳屋友十郎借屋住古見屋是吉義割場中間ニ罷出度人別除願御中間頭北島唯七江引合之上承り届

六月十九日　快晴

六月廿日　快晴

一自分義今日ゟ致出勤候

一小頭代月番神田栄治腫物気ニ付引込候段届出候十月廿六日ゟ出勤いたし候

一江戸御留主居河内志津馬ゟ造酒屋共拾分一役米相納候付他領ゟ譲受候株之もの共役米納様之義御勘定所へ相伺候所譲受候領主へ相納候様申来候ニ付右御達書写取龍野へ相廻し仍而ハ島屋文七役米此方へ相納候様可申遣旨下案相認御用番中へ相伺候処同廿三日伺之通取計候様被仰出候付同廿四日立ニ而飛脚差遣候

一今般久世ニ而門三と申もの内済懸ケ合殊之外骨折夫故早く相済候ニ付幸太郎和兵衛ゟ為挨拶銀弐拾匁差遣させ度旨大脇新左衛門弁書指出尤之義ニ付当役添書仕御用番中へ相伺候処同廿二日伺之通被仰出翌廿三日大目附へ相達飛脚之もの被仰付候様申達候

一今般久世ニ而殊之外役介(ママ)ニ相成候段為挨拶手代方へ書状差遣可然奉存下案相認御用番中へ相伺候処右同断被仰出右同様大目附へ相達取計候

一今般久世引合藤井嘉津馬長屋住七之助懸り合入用之義ハ去ル二日三日認置候通元来町方之もの＝無之＝付右入用町方へハ不被懸天明九酉年七月高田嘉三長屋住伝助と申もの久世へ差出候先例＝任セ上ゟ御払被下候様申達御両所御承知候義＝付町方へ引受＝申付取計候事故直＝右入用御勝手へ可差出処上原彦蔵心付＝而上ゟ御払被下候共嘉津馬ゟ可相弁筋＝付内々拝借＝而も可被仰付筋哉之様＝被申聞候間右入用書取調大脇新左衛門ゟ差出尤右ハ受人共一己之入用井在方之入用相除残而

壱貫弐百六拾六匁七分六厘六毛

右書付大目附へ差出置候

六月廿一日　晴

一牢舎人岩右衛門夫婦井義右衛門右三人郡代所ゟ呼出申来出番藤四郎和四郎出入取計之

六月廿二日　時雨

一郡代所ゟ無宿盗賊松之助入牢手形相廻り出番庄蔵差向取計之

一神戸村七太郎牢番預ケ郡代所ゟ申来右同断取計之

一元魚町細工町百万遍執行届出夜廻り組之者へ申達候

六月廿三日　快晴

一御用日登城

一馬持共廿五人例歳之通大豆壱俵ツ、拝借願勘定奉行へ引合之上御用番中へ差出御聞済＝付大目附へ差出置御聞届申達候

一林田町島屋文七造酒拾分一役米此方へ相納候様御勘定所ゟ被仰出候段伺之通申遣候様御用番中被仰出明朝立飛脚之義大目附へ申達候所萩野勘十郎来相渡候

一今般久世へ挨拶書状差遣候付明朝立飛脚之義大目附へ相達候所山本惣兵衛来相渡候且又扱人真加部村幸太郎ゟ門三江挨拶書状も頼遣候

一今般久世懸ケ合入用之義御両所共御承知＝付取計仍而ハ上原存寄も有之哉＝相聞候＝付大目附へ差出置候所大目附ゟ及差図候例も無之抔と今更不承知之趣＝而大目附ゟ右書付被差戻候付其段委細御用番中へ別席＝而申達置候所御承知之由＝候

一御堀掃除料弐百八拾九匁壱分四厘大年寄ゟ差出御作事奉行へ相廻受取書取置候

一大目附廻状左之通到来

御婚礼被為済候為御祝来ル廿八日御赤飯御吸物御酒被下置候間中奥組以上五半時大番組以下九半時嫡子面々迄登城可有之候

一船頭町今津屋孫十郎後家届書差出今般御蔭を以岡山＝而内済相整表向ハ四百匁取内済仕候体＝候得共又内分＝而百匁受取都合五百匁落手仕難有奉存候段届書差出候＝付追而御両所へ可差出候同廿四日御用番へ差出

一船頭町籾村屋伊助妹いく義御領分林田村栄助妻＝差遣度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一堺町佐伯屋藤兵衛借屋住久仁屋義兵衛役介(ママ)喜助義山根宗四郎と相改大橋十太夫殿へ住込奉公仕度人別除願差出井十太夫殿留主ゟも御案内有之承り届

一安岡町南側ニ而扇屋久米治家屋敷表口五間裏行拾七間但本役也東隣者岡崎屋伊兵衛西隣ハ江川屋太郎一也右家屋敷之内ニ而東之方ニ而表口弐間弐歩五厘裏行拾七間御役四歩五厘相添代銀四百匁ニ相極岡崎屋伊兵衛へ売渡度願承り届七月十日売券状出

一伯州倉吉光明院と申山伏元魚町大庭屋善兵衛方ニ逗留願五月廿二日承り届置候処盗賊筋疑有之もの丶由加茂ゟ捕ニ来候段孫兵衛申出急ニ立去申付候様大年寄へ申達尤右ハ先達而二町目竹本屋へ来居目明共追立候段申出甚不吟味之段急度遂吟味候様大年寄へ申付候

六月廿四日　快晴

一一ノ宮村岩右衛門義右衛門引合ニ付京町原田屋嘉四郎差出呉候様郡代所ゟ申来候ニ付今八時町役差添郡代所へ差出候様大年寄へ申付候

一林田町島屋文七江造酒拾分一役当役所へ相納候様被仰出候付其段龍野へ申遣置候間倉敷村代治郎へ懸ケ合取戻相納候様可申付旨此間大年寄へ申付候認落候ニ付爰ニ記置候

六月廿五日　曇少雨

一久世へ差遣候飛脚今朝罷帰り返書差越候ニ付御用番中へ差出候且又幸太郎ゟ門三江肴代差遣候所猶又銀子入返書差越二階町年寄虎吉へ相届候様申遣候

一牢舎人岩右衛門磯五郎郡代所ゟ呼出申来出番和四郎庄蔵出入取計之

一京町原田屋嘉四郎義昨日郡代所へ差出候所故障ニ而吟味無之尚又今日差出呉候様申来差出候様大年寄へ申達候○不及白状候ニ付手錠組合預ケ申付候段案内有之候

一土井大炊頭殿領分当国久米南条郡西幸村六郎兵衛忰岩吉義一人上紺屋町津島屋民吉役介(ママ)ニ引受度願去ル十八日御聞済之様ニ相覚候所致如何候様認落有之今日住宅証文差出候ニ付爰ニ記置候

六月廿六日　晴

一御蔵米五拾七匁五分　町米五拾三匁五分

一宗旨証文取計ニ付当年之頭銭五文ツ丶取立今日迄ニ印形取相済候段孫右衛門喜左衛門届出候

六月廿七日　晴

一西新町中島屋与治兵衛捨子貰候付八木三俵被下当役ゟ受取証文差出勘定奉行裏印取之御蔵へ為持遣切手三俵受取之大年寄へ相渡候

一船頭町田原屋稲蔵借屋住西村屋義助夫婦忰右家内三人二月廿七日願書差出四国遍路罷出候所今五十日日延願承り届○義助ハ病死妻子ハ八月十八日帰

一船頭町北側ニ而瓜生原屋平兵衛家屋敷表口弐間六尺弐寸裏行八間壱尺九寸但半役也東隣ハ作人喜治郎西隣ハ米屋藤右衛門也右家屋敷代銀三拾匁ニ相極町内米屋左吉江売渡度願承り届同廿九日売券状差出

一吹屋町釜屋孫三郎義大坂上町(本)四丁目同心小路津山屋清助方へ罷越当亥才ゟ来ル辰年迄六ヶ年之間相稼度尤家役之義ハ親類金屋市郎右衛門へ相頼置候旨願書承り届文化二丑年十月廿八日帰届ル

一二町目道具屋兵吉所持之古道具屋株今亥六月ゟ来ル卯六月迄伏見町和気屋万吉借受三町目福谷屋伝助受人ニ相立商売仕度願承り届

一大熊靱負殿家来西川善平役介(ママ)延四郎義西今町正田屋平兵衛養子ニ引受度人別入願承り届

一伏見町年寄田邑屋宇左衛門義忰善三郎義年寄役名代ニ差出度願承り届

六月廿八日　晴小雨

一御婚礼被為済候御祝被下ニ付麻上下着用并御用日ニ付中奥組以上五半時登城三奉行例之通坊主部屋前於御廊下御赤飯御酒御吸物(両老茄子)猪口(鰹作り身酢生)皿(厚焼玉子)頂戴之且又御兄弟様方無御残御麻疹被為済候ニ付右恐悦申上之候様大目附ゟ達有之七間於廊下御奏者番ゟ三奉行迄一同御小性頭代謁有之方々様御麻疹被為済候恐悦并頂戴もの丶御礼申上之畢而御用所へ罷出方々様御麻疹被為済候恐悦申上之続而御用向申上之

一内藤山城守殿領分当国久米北条郡中北上村源助後家娘つき義宮田喜左衛門家守二階町長八借屋住三国屋幾蔵妻ニ引受度人別入願例之通取計済同廿九日住宅証文差出

一藤井嘉津馬長屋七之助右懸り之もの迄御裁許郡代両名ニ而差出□(貼紙)

一久世郷宿塚谷屋忠平ゟ大脇新左衛門方へ今般之一件相済候ニ付懸り之ものへ御挨拶入可申旨内々申越候書面御用番へ差出候七月四日極人殿ゟ伺之通被仰出候

一大目附上原彦蔵ゟ左之通達有之候

今般藤井嘉津馬長屋者於久世変義諸入用之内在方之入用并町方受人一己之入用程相除其余町方諸入用上ゟ御払被下候間其旨取計可申尤已後右躰之義有之候ハ丶入用出方相考候様ニ被仰出候旨噂有之候

一東新町橋本屋茂右衛門下人平治義先達而太田村林之助と及口論打擲ニ逢御届申上置候処内済仕願下ケ差出郡代引合之上承り届御両所へ相届候○四月六日之事

一美濃職人町吉田屋亀之助弟平蔵義三月十四日西国罷出候所今五十日計之日延願大年寄差出承り届八月十二日帰

一美濃職人町財布屋平七借屋住金沢屋助七夫婦忰四人右家内六人隅田勇助長屋へ引越度人別除願承り届

一牢舎扶持四俵之内貸証文差出奥書取計之尤是ニ而八月へ壱斗弐升七合五勺持越候積也

一孤独扶持受取証文大年寄差出奥書取計之

六月廿九日　曇

一龍野へ差遣候飛脚罷帰り造酒役米取立之義向方へハ未御達無之候間尚御達有之候ハ丶猶又可申越旨返書差越候ニ付御用番中へ差出右ニ付今日之御便ニ者御届相成り不申候間延引仕候段申上候尤其段大目附へも相届候且又生野へハ御達有之承知之旨申来候段郡代所へ申来候由通用有之候

一番賃銀例月之通相渡候

一播州網干余陸屋武兵衛一人例年之通八百屋物并鰹節売ニ来候段林田町福吉屋安右衛門宿切手差出十月廿三日帰

一播州網干平松屋惣九郎一人例年之通小間物晒蠟売来候段右同人宿切手指出右同断

一造酒役米御届書今夕之御便ニ江戸表へ可差遣之処久世生野ハ向方

へも被仰出有之候間造酒株譲渡候もの共之役米此方ニ而取立候様郡代所へ申来候所龍野ゟハ未向方江者御達無之候間被仰出有之候ハ、自是返答可申旨申越右之通不承知ニ而ハ御届相成不申仍之御留主河内志津馬へ右之通故不得止事今便御届書相廻候義致延引候段郡代連名ニ而申遣候勿論其趣御用番大目附へも相届候

一御留主居田中幸助御役御免河内志津馬御留主居本役被仰付候段為知有之候ニ付郡代連名ニ而及返書候

七月　大

月　番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　黒田要人殿

大目附　小須賀貢

大年寄　斎藤孫左衛門

諸吟味　宮田喜左衛門

七月朔日　曇

一小頭月番本島庄蔵相勤候段届出候

一萩野嘉七義父方伯父病死忌中引込尤右ニ付在所へ罷越度願出承り届

一萩野嘉七引込ニ付加人壱人大目附へ申達候所荒木源四郎来

一御家老組豊福左十郎弟鶴吉義材木町島野屋惣兵衛養子仕度人別入願承届

七月二日　曇

一西今町坪屋藤十郎妻死躰出産例之通吟味書差出

一大目附所ゟ呼ニ来登城候所左之通御達有之候

京町大村屋源右衛門へ相懸り播州太子領鵤村大村屋市左衛門当閏正月大坂致出訴御番所ゟ御達有之候所未相済今般再出訴いたし候ニ付御留主居御呼出ニ而急ニ相済候様御達有之候間其段申付候様御達有之

依之早刻呼出立合例之通ニ而左之通申渡其段御両所へ相届候

播州太子領揖東郡鵤村大村屋　京町大村屋源右衛門煩代市左衛門ゟ借銀出訴未相済候ニ付致再出訴大坂

御番所ゟ御渡ニ付急度早々可相済候此段　小豆屋与平次

申達候

一水野出羽守殿領分駿河国沼津駅伊勢屋権兵衛母常義五月廿二日西今町福本屋伊右衛門方へ来逗留願出候所八月迄逗留仕度追願差出承り届同廿五日罷帰候段届有之

七月三日　曇晴時雨

一御用日登城

一福渡町阿賀屋助五郎家守忠助借屋住福島屋庄吉義当二月十八日出奔仕御届申上「虫損」百日尋被仰付相尋候得共行衛(ママ)相知不申最早百日余ニも相成候ニ付除帳願差出御用番御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申達候

一久世引合一件ニ付真加部村幸太郎ゟ銀弐拾匁為挨拶差遣候所門三不致受納差戻候段返書差出候付御用番へ差出門三義不致受納差戻候途其分ニいたし置候義も難致もの ニ付追而幸太郎和兵衛久世表へ罷出候節面談ニ而差遣候様尚又可申付旨伺置候

一元魚町大庭屋善兵衛二町目竹本屋宇兵衛義伯州光明院と申烏散成山伏之宿いたし候御咎伺差出候所思召被仰出再考差出候様被仰出候則附紙ニ而差出候

一於御用所御用番御年寄左之通申渡之大目附出席

無宿盗人佐吉義所々ニ而盗相働　町奉行へ

其上博奕参会いたし不届ニ付百敲之上御領分追払申付候

此段取計可被申候○右之段被仰渡候ニ付郡代相談之上来ル九日取計可申旨大目附へ相届候

一盆中之町触例歳之通差出候

一吹屋町和泉屋八百吉義下人庄吉并無宿盗人清蔵ニ被盗取候銀子都合五百匁処先達而ゟ追々相渡右残銀此間郡代所ゟ相廻候付今日呼出不残相渡候尤右之内ニ而四拾匁計不足相成候事

一播州網干余陸屋利兵衛一人例年之通荒物塩物卸売来候段中之町津田屋伝助宿切手指出候九月二日帰

一当国勝南郡百々村浄休と申法心者病気ニ付伯州汗入郡前谷村ゟ新田村へ送り来候段届出郡代所へ懸合之上継送り候様申付候

一萩野嘉七義忌差免候間明朝ゟ出勤候様小頭へ申付候

七月四日　快晴

一大目附廻状到来左之通則町中組中へ相触候

越前守様御嫡子本之丞様御病気之処御養生不被為叶去月廿日酉上刻御卒去被成候尤御七歳未満ニ付今一日相慎可申候但昨三日出之御触也（越前福井藩主松平治好）（実は一橋治済の九男）

一京町大村屋源右衛門へ大坂ゟ再出訴ニ付済方登坂申付候所未病気ニ付今少日延猶予歎書差出候ニ付先格之通奥書仕大坂へ可差遣段御用番中へ持参相伺置候処翌五日伺之通被仰出候

一中之町粟井屋茂市父善吉義三月十二日西国罷出候所丹波国阿納寺と申寺ニ而病死仕候段届出候

一久世一件ニ付懸り之役人江挨拶入候段郷宿ゟ新左衛門へ申越候ニ付懸り之四人江盆後ニ弐百疋ツヽ被下可然旨御用番中へ伺置候処伺之通取計候様極人殿ゟ被仰出候

七月五日　快晴

一京町大村屋源右衛門日延願伺之通取計候様被仰出候

一元魚町大庭屋善兵衛二町目竹本屋宇兵衛御咎伺伺之通盆後取計様被仰出候

一牢舎人勘兵衛源治郡代所ゟ呼出申来出番文蔵利右衛門出入取計之

一京町原田屋嘉四郎義郡代所ゟ差出候様申来差出候所及白状候ニ付手錠預ケ差免他参留申付候旨申来候

一越中富山船橋町松井屋源兵衛手代文三郎一人例年之通反魂丹売来候段京町美濃屋平五郎宿切手指出翌年子二月五日帰

一鍛治町年寄山形屋与治兵衛義近来病身ニ相成候付忰佐市良義名代ニ差出度願承り届

一二階町山手屋理兵衛家守高野屋石右衛門借屋住南屋藤右衛門夫婦

忰万吉右家内三人四国遍路罷出度百五十日之逗留ニ而明後七日出立願承り届十二月廿二日日延願

一安岡町籾屋伊兵衛方へ去八月盗賊源次郎這入盗取候脇差鍔紙ニ包籾ヤ伊兵衛裏へ投込有之旨届書差出郡代所へ相廻候

一佐々木主馬長屋ニ而昨四日暮過時脇差壱腰紙入壱ツ致紛失候間目明共へ監察可申付旨大目附ゟ申来注文書認目明へ相渡遂吟味候様小頭へ申付候

一川部村長蔵方へ先月廿七日盗賊這入白木綿浅黄木綿二反代拾壱匁五分位之品被盗取候触流取計候様大目附ゟ達有之町触取計本書ハ差戻候（同十七日町方ニ届之段届出候）

一上田邑北村平三郎方へ去月廿八日盗賊這入衣類何角六品被盗取代ニ積廿三匁七分位之ものゝ由右同断町触取計候右同断

七月六日　晴

一昨夜九時過新屋敷荒神之辺出火ニ付致出馬候処五軒焼失ニ而致鎮火無滞引取引懸ケ御用番へ相届大目附へハ馬脇ゟ以使申達候

一京町畳屋伊兵衛借屋住備前屋勘兵衛と申もの離縁之妻ニ遺恨有之由ニ而刃物取扱致乱心同様之義ニ付先日已来大年寄共場合ニ而彼是取扱候処治り兼候ニ付手錠被仰付候様仕度大年寄申出候付出番嘉七差向手錠組合預ケ申付候尤内々取鎮之事故不及届（同廿六日依願差免候）

手錠組合預ケ　京町備前屋勘兵衛

一無宿盗賊左吉昨年安岡町籾屋伊兵衛方ニ而盗相働候始末郡代所ゟ尋有之口書取之郡代所へ相廻候

一八朔割惣町入用帳面例歳之通大年寄差出及一見候処別義無之候ニ付差戻候但左之通

三貫百六拾七匁八分（但去戌ゟ拾弐匁弐分相増）

但壱貫文ニ付百弐拾目六分七厘八毛

七月七日　白雨

一七夕ニ付麻上下着用五半時揃惣登城三奉行例之通七間於廊下御小性頭代謁大守様并御前様江七夕御祝儀申上候畢而御用所へ罷出同様申上之引懸ケ大目附於役所自分及挨拶

一藤井嘉津馬長屋七之助関十治長屋文蔵御裁許郡代連名ニ而伺置候所伺済之由郡代ゟ通用有之

一造酒役米石代銀相場生野ニ而も当所十月平均相場を以取立候由先達而郡代所へ申来久世并龍野預り所ゟ譲受候造酒屋共も右之平均相場ニ而相納候事故当所ニ而右相場ニ而取立可然と存右之通ニ取計置候所勘定所詰役人井口恵左衛門ゟ新左衛門へ申聞候者他領へ相廻候平均相場ハ壱石弐升之相場当地之米ハ壱石五升之相場故同様ニ者難取計ものゝ由申聞候段申出候ニ付勘定奉行へ及相談候得共難相決依之大目附月番并御勝手懸り上京彦蔵へ及対談候処公料同様之相場ニ而取立候而可然哉之様ニ申趣ニ付其段御用番中へ相伺候処是迄取調置候通之公料同様之相場ニ而取立可然右口米之義申候ハゝ種々訳合出来米ニ而ハ余米有之切手ハ三斗三升ニ候得者不足有之相場も委敷申候得者右之通壱石弐升相場壱石五斗相場と申様ニ相成甚以六ヶ敷難取扱もの二相成候間右口米等ニ不抱壱石何拾匁と申大意ニ而取計候様被仰出候ニ付是迄之取調之儘ニ而差置候様新左衛門へも申達候

一吹屋町北則ニ而釜屋藤治持分之家屋敷表口六間裏行拾七間但半役也東隣ハ釜屋藤治持之家屋敷西隣ハ桶屋町分也右家屋敷四百目ニ相極同町吹屋善太夫江売渡度願承り届

一吹屋町東側ニ而高瀬屋助八家屋敷表口四間裏行拾間但壱軒役也又外ニ船頭町分東端ニ而東西三間弐尺三寸五歩南北弐間三尺六寸但弐歩五厘役也南隣ハ沢屋惣左衛門北隣ハ大溝堺町境也右家屋敷代銀五百目ニ相極河原町作人平蔵へ売渡度願承り届

七月八日　雨

一御用日登城

一因州知津郡用ヶ瀬村長右衛門娘ぎん義二階町三保屋十右衛門家守伝治借屋住吉本屋友治妻ニ引受度人別入願例之通取計済九月廿九日住宅証文差出

一中之町粟井屋茂市父善吉義西国ニ罷出丹波国穴太寺ニ而病死仕候ニ付盆後早々墓参礼旁罷越度届書御用番中へ指出尤町役ゟ村役へ挨拶書状指遣候様可申付旨申上候処思召無之大目附へ指出候

一大熊靱負殿小者当二月朔日米切手弐俵拾候由大目附ゟ受取置候様達有之預り置候処市郷触流有之候得共落人不申出最早当月切之切手之義故差延置候義も難仕依之拾候ものへ被下可然旨御用番中へ相伺候処宜取計候様被仰出其段大目附へ相届置靱負殿家来福井小平次呼寄口上申達相渡候

一盆中之御触例年之通大目附ゟ到来写取組中へ差出候

一寺院宗判取例年之通御領分寺院十八日ゟ廿日迄他領寺院廿一日ゟ廿三日迄町会所へ罷出候様ニ書付指出例年之通寺社取次三浦十郎左衛門へ相渡候

一無宿盗賊左吉御裁許明日可取計ニ付夫々手配申付且又右左吉ゟ河原町高島屋鶴次借屋住作人甚八質物致取次候ニ付右代弁銀申付受返し差出候様大年寄へ申達候

一牢屋諸入用三拾五匁九分七厘之内貸証文小手形添小頭差出奥印書取計候

一目明仮役非人他所行非人小屋預ケ者賄代合弐拾三匁六分之証文右同断差出奥印書取計候

一盆中町方関貫例歳之通開立番付置候段御用所へ申上大目附へも相届ル

一来ル十四日例歳之通町方為示廻町仕候段御用番へ相届右ニ付御貸人馬之義大目附へ相届候

一京町大村屋源右衛門義大坂出訴日延願致奥書大坂長沢清左衛門へ差遣候

七月九日　曇

一六半時揃於牢屋御徒目附山本弥七郎下目附中村政兵衛小頭本島庄蔵部屋目附堀内利右衛門出番萩野嘉七小野田和四郎立合左之通取計之但小頭ゟ申渡候

所々ニ而盗相働其上博奕致参会　無宿盗賊左吉

不届至極ニ付百敲之上御領分追払申付候

右取計済御留所へ相届候

右盗賊左吉ゟ綿入壱ツ質物致取次　河原町高島屋鶴治

右ハ盗ものニ付質代弁銀申付取上ケ候　借屋住作人　甚八

右盗物郡代所へ相廻候受取書取置候

七月十日　曇

一札元玉置卯左衛門義妻病死仕候付御定式之忌服廿日引込候段届出御両所へ相届候

一牢屋取計御仕置候節之酒左之通牢番へ相渡候

拾六匁壱分

七月十一日　雨

一元魚町東側ニ而糀屋伊助家屋敷表口六間裏行十七間但本役也北隣ハ大庭屋善兵衛南隣者往来横町也井裏ニ東西三間南北弐間半之土蔵壱ヶ所其外横町通裏行建物不残相添京町野田屋佐右衛門取次ニ而質物ニ書入来子正月切銀札弐貫目借り受度尤利分之義ハ勝手ニ付百六拾八匁払置可申願承り届候処無程願下ケ申出指戻候

一坪井町河原屋治助所持之旅人宿屋株此度中之町小山屋与三右衛門へ譲渡度願承り届八月五日猶又借受候

七月十二日　晴

一船頭町年寄米屋藤右衛門義和州大峯へ廿日斗之逗留ニ而来十五日出立願承り届八月六日難帰候

一深信院様明十三日五時御供揃ニ而薗田町通り泰安寺妙法寺へ御仏参被成候段種村登門ゟ通用有之大年寄井小頭へ例之通申付候

七月十三日　快晴白雨

一深信院様御仏参無御滞相済候段嘉七幸治届出候

一関貫番賃銀昨十二日例年之通相渡候

七月十四日　晴

一西今町浅島屋茂兵衛義大峯参詣廿日計之逗留ニ而明十五日出立願大年寄承届差出八朔罷帰

一例年之通七半時出宅町廻り罷出無別条引取懸ケ御用番へ相届大目附へハ馬脇ゟ以使相届四前時帰宅但供之者藤四郎和四郎且又小頭代庄蔵義見習ニ罷出度申候ニ付袴撮袋ニ而馬之跡へ召連仍而火之元之申渡井年寄へ引取之挨拶同人ゟ申達候

七月十五日　晴白雨

七月十六日　雨

一大坂長沢清左衛門ゟ返書到来大村屋源右衛門病気ニ付登坂断之御届去ル十二日佐久間備後守殿へ相届候由申来ル追而御番所へ可差出事

一坪井町山際屋平六義大峯参詣廿日計之逗留ニ而明後十八日出立願大年寄承届指出八月三日帰

七月十七日　快晴

一戸川町久米屋新七義大峯参詣廿日計之逗留ニ而明十八日出立願大年寄承届指出八月三日帰

一小性町百万遍届出夜廻りへ申達候

一安岡町坪屋与八郎義病身井困窮ニ而町役勤兼退役願差出無余義趣ニ付大坂屋浜吉茅町年寄兼帯差免安岡町年寄ハ鶴蔵浜吉両人ニいたし岡崎屋伊兵衛へ茅町年寄申付度大年寄伺書承り届

一三町目古道具屋頭太刀屋久治義頭役免之義数度願出無余義趣ニ付指免跡役下紺屋町原田屋利兵衛へ申付度旨大年寄伺出承り届

七月十八日　快晴

一御用日登城宇治橋之間孝経講尺(ママ)有之拝聴之
一大年寄宅小頭庄蔵部屋目附利右衛門差向左之通申渡之出仕之上御
両所へ相届候
伯州倉吉光明院と申山伏不吟味ニ而　元魚町大庭屋善兵衛
願出差置不埒ニ付追込申付候但日数三日
右同断無願留置其上大庭屋ゟ相尋候　二町目竹本屋宇兵衛
処不申送重々不届ニ付追込申付候但日数十日
一河原町作人佐七義三月廿二日出奔仕同廿八日百日尋申付候処弥行
衛(ママ)不相知除帳願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申達候
一新魚町浜屋弥兵衛忰金右衛門義当三月身延山参詣願ニ而御発駕之
砌出立仕候処江戸表へ罷出松平遠江守(摂津尼崎藩主松平忠告)殿屋敷へ住込候段申越候ニ
付除帳願右同断取計済
一安岡町江川屋太郎一忰六兵衛義三月廿七日出奔仕同廿九日百日尋
申付候処弥行衛(ママ)不相知除帳願差出右ハ博奕差口之もの二者候得共
右同断取計済
一茅町池上流滴義右同断ニ付除帳願差出右同断取計済
一大目附ゟ左之通達有之牢番へ申渡
牢舎人和田村周助義永く牢舎被仰付候もの二付牢賄被仰付
候同廿一日ゟ牢賄申付候
一関十治長屋住文蔵忰三吉義伺落ニ付父御裁許之砌一緒ニ立去り可
申付御用番中へ相伺候処即刻御聞済ニ付大目附へも相達候
一藤井嘉津馬長屋七之助一件之もの共明後廿日御裁許可取計ニ付関
十治長屋住文蔵父子当役へ引渡候様御達被下候様大目附へ相達候
一院庄村市三郎義日雇ニ召仕候無宿源吉と申もの二脇差何ヶ六品ニ而
代七拾五匁計之品被盗取候触流取計候様大目附ゟ達有之町触取計
本書ハ差戻し同廿六日町度ニ無之段申出候
一広原分新七先月八日衣類五品代四拾五匁位之もの被盗取候触流右
同断取計右同断
一細工町南側ニ而屋根屋亀吉家屋敷表口弐間裏行拾壱間但弐歩五厘
役也東隣ハ板屋弥吉西隣ハ大工多七也右家屋敷代銀札百弐拾五匁
ニ相極上紺屋町鶴亀屋弥四郎へ売渡度願承り届八月四日売券状差
出
一御蔵米五拾五匁五分　町米五拾壱匁五分
七月十九日　曇
一近々御用所武芸一覧并素読被聴候旨大目附廻状到来
一細工町南側ニ而和能屋熊吉所持之家屋敷表口四間裏行拾壱間但半
役也東隣ハ指物屋平次西隣ハ大工治助也右家屋敷五年已前未才種
屋嘉兵衛取次ニ而質物ニ書入銀札三百目借り受候所今般元利返弁
受返し候段届書出ス
七月廿日　快晴
一六半時揃於役宅新左衛門庄蔵藤四郎出番嘉七幸治立会左之通新左
衛門ゟ読渡之
一於久世表縫并外壱人江手疵　藤井嘉津馬長屋住七之助
為負不届至極ニ付急度可申付所一件致内済候ニ付不及其
義候然ル所其方義者元来神戸村勘当除帳もの二付御領分
追払申付候

一神戸村致出奔他領ゟ贋送り　関十治長屋住文蔵
手形を以町方へ致入帳不届至極ニ付御領分追払申付候
一父文蔵義追払申付候付其方義　右同断文蔵忰三吉
御領分立去り申付候
已下大年寄申渡之小頭部屋目附諸吟味立会
一右文蔵義入帳之節不吟味其上親類　勝間田町西屋清八
と偽之義申立不埒至極ニ付追込申付候但日数十日
一右文蔵入帳之節町役相勤庄蔵非番月　同町豊野屋七左衛門
之義とハ乍申不吟味之至ニ付急度叱置候
右取計相済候段御用番井大目附へ相届候且又藤井嘉津馬関
十治へも及通用候
一札元山本三郎左衛門妻出産いたし候段届出血忌引込候旨御両所へ
相届候
一牢舎人岩右衛門周助井母沖村磯五郎勘兵衛源治郎六人郡代所ゟ呼
出申来出番嘉七幸治呼出入取計候
一牢舎人周助母義呼出ゟ直ニ出牢ニ相成候
一西新町備前屋卯兵衛妻妊娠五ヶ月之処麻疹後願聢々不相勝候処今
朝頓死いたし候旨容躰書井一札等差出無別条趣ニ付葬送取計候様
ニ申達候
一林田町北側ニ而田辺屋茂左衛門家屋敷表口四間裏行十七間四本役
也東隣ハ和田屋清六西ハ横町通也右家屋敷代銀壱貫弐百目ニ相極
同所鍵屋儀右衛門へ売渡度願書差出承り届八月七日売券状出

七月廿一日　晩

一元魚町大庭屋善兵衛追込昨日迄三日ニ相成候ニ付今朝差免其段御
両所へ相届候
一玉置源五兵衛申出候者昨日斎藤孫右衛門義山本三郎左衛門血忌引
込御届申上候所右ハ間違ニ而山本三右衛門妻出産仕候付三右衛門
引込申候段届直申出右ニ付孫右衛門義恐入差扣奉伺候旨申出候ニ
付御用番中へ罷越其段委細申上伺之通今日一日計差扣被仰付可然
旨奉伺置候処無程伺之通差扣被仰付候間明朝差免候様御紙面ニ而被
仰出其段源五兵衛へ切紙ニ而申達ス
伺之通差扣被仰付候　斎藤孫右衛門
右取計候段大目附へ罷越申達候且孫右衛門引込中源五兵衛月番相
勤候段届出候
一船頭町馬持板屋八十兵衛持馬鶴毛当月初旬ゟ相煩候所今暁落候段
届出別義無之趣ニ付取捨候様及差図

七月廿二日　雨

一御蔵米五拾四匁　町米五拾匁
一勝間田町浜野屋伴次義因州鳥取四町目有本屋伊三郎方へ逗留ニ而
明後廿四日出立願大年寄承り届差出
一斎藤孫右衛門差扣今朝差免候段御両所へ相届候
一加人荒木源四郎引込ニ付代り山本治三郎来

七月廿三日　快晴

一御用日登城
一備前国児島郡宇野津村八右衛門忰勇治夫婦二人橋本町後藤屋佐市
役介(ママ)ニ引受度人別入願御用所御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申

達候八朔住宅証文差出
一大目附廻状到来左之通写取町方へ先格之通自身番并慎相触組中へも相触候
信源院様（信濃上田藩主室）来ル晦日廿七回御忌御相当被成候ニ付於泰安寺御法事被仰付候
一信源院様廿七回御忌ニ付配当場御布施願出御用番中御聞済ニ付大目附へ相達御聞届申達候
一深信院様明廿四日五半時御供揃ニ而西今町通り妙法寺へ御参詣被成候段種村登門ゟ通用有之大年寄并小頭へ例之通申達候
一種油三匁九分壱之処四匁壱分壱ニ仕度段願書承り届
七月廿四日　晴
一牢浚申付候処無別条段嘉七利右衛門届出候
一京町大村屋後家借屋住升屋文蔵義当四月一之宮市町之砌美土路音三郎納屋借り受割煙草店差出候処故障有之代人伏見町作人周蔵差遣諸道具不残預ケ置候処博奕御詮義ニ付右周蔵義其場ゟ致出奔候ニ付右諸道具美土路音三郎へ預ケニ相成候ニ付右諸道具ハ文蔵所持之品ニ付御渡被下候様歎書差出其段郡代所懸ケ合候処右周蔵不尋出候得者難相渡候得ども相違も有之間敷義ニ付当分預ケ之姿ニ而可相渡候間右周蔵罷帰候上ニ而否有之候ハ、可差返旨一札預ケ手形差出候様申来其段申付候処右諸道具拾三品受取候由預り手形差出候付郡代所へ相廻候
七月廿五日　晴
一勝間田町西屋清八追込昨日迄ニ而五日ニ相成候付今朝差免其段御両所へ相届候
一西新町ゟ願書差出此節土手下腰石垣御普請被仰付難有奉存候然ル所先達而も奉願候通美濃屋平右衛門裏通雁木両角損居候付序ニ御繕被下候様尤此節御普請中ニ付相願候様御普請方ゟ噂も有之候ニ付願書差出候旨申出今日ハ要人殿御他行ニ付極人殿へ差出候処即日御聞届被成候段被仰出其段大目附へ相届御聞届申達候
一林田町岩佐屋鉄治義去戌七月下高倉ニ而備前大工を致打擲右一件内済ニ相成右入用割合可差出処今以不差出候ニ付在方ゟ願書差出郡代所ゟ相廻り候ニ付糺之上相違も無之義ニ候ハ、早々差出候様可申付旨大年寄へ申達候
一深信院様昨廿四日御仏参無滞相済候段藤四郎幸次届出候昨日認落候ニ付爰ニ記置
七月廿六日　快晴
一京町畳屋伊兵衛借屋住備前屋勘兵衛義狂気之趣ニ付内々取鎮之為手錠懸ケ置候処誤出候付夜廻り嘉七幸治差向手錠預ケ差免候
一小性町北側ニ而鳥屋与市所持之家屋敷表口弐間半裏行拾間但半役也東隣ハ倉敷屋吟蔵西隣ハ境町分也右家屋敷代銀札弐百目ニ相極新魚町笹岡体意売渡願承り届八月五日売券状出
一牢舎人岩右衛門病気申出大年寄へ申付候処岩佐孝順へ申付候段申出候
一望月定太郎方へ昨夜盗賊這入衣類廿三品盗取候由ニ付目明へ申付吟味為仕候様御用番中被仰出候旨大目附ゟ申来右品書写取目明へ相渡致吟味候様ニ申付候

七月廿七日　快晴

一牢舎人勘兵衛源次郎十吉郡代所ゟ呼出申来昼廻り嘉七利右衛門出番幸治出入取計之

一御蔵米五拾壱匁五分　町米四拾七匁五分

七月廿八日　（ママ・脱れ）

一御用日登城

一布施孫三郎殿支配所当国西々條郡久田下原村治六後家いそ義一人材木町万屋与三兵衛家守清兵衛役介（ママ）ニ引受度人別入願例之通取計済八月九日住宅証文差出

一布施孫三郎殿支配所当国勝北郡下野田村藤吾娘ちか三町目福永屋林右衛門養女ニ引受度人別入願右同断取計済八月二日住宅証文差出

一二町目竹本屋宇兵衛追込昨日迄ニ而十日ニ相成候ニ付今朝差免其段出仕之上御両所へ相届候

一上田邑東分銀蔵方へ去ル廿日盗賊逗入廿五品代銀弐百目計之もの被盗取候触流取計候様大目附ゟ達有之町触取計本書ハ大目附へ差戻し八月六日町方無之段届出候

一深信院明後晦日九時御供揃ニ而繭田町通り泰安寺へ御仏参被成候段種村登門ゟ通用有之小頭大年寄へ申達候

一林田町岩佐屋鉄治義ニ付下高倉村ゟ願書差出郡代所ゟ相廻り候ニ付去ル廿五日相渡置候処林田町年寄ゟ答書指出郡代所へ相廻候

七月廿九日　快晴

一元魚町西側ニ而米屋伊助家屋敷表口四間半裏行八間但本役也北隣ハ虎屋市右衛門南隣者豊屋喜兵衛持家也并右裏続美濃職人町ニ而同人家屋敷南側ニ而表口七間裏行拾壱間但本役也西隣ハ三笠屋伊右衛門持家東ハ元魚町境也右両町家屋敷并美濃職人町分ニ裏ニ弐間四方三間四方之土蔵弐ヶ所共不残質物ニ書入壱ヶ月壱歩半之利足ニ而来ル子正月切相極元魚町海老屋長右衛門取次ニ而銀札壱貫目借受度願承届八月二日証文差出

一中之町秋田屋宗兵衛所持之自国受酒株去戌十月十七日西今町松田屋佐助へ借置候処取戻候届承届

一三町目余田屋与七所持之自国受酒株去ル巳七月ゟ西今町米屋利助借り受候処限月来候間猶又当亥七月ゟ来ル巳ノ七月迄丸七ヶ年之間借り受度願承届文化六巳年七月限月ニ付猶又延願書出ス

一信源院様御法事ニ付組致不足加人壱人当日切申達候所寺坂兵治来

七月晦日　昼夜大雨

一信源院様御法事ニ付西今町橋詰固メ嘉七利右衛門差出候所無御滞相済四半時頃罷帰届出候

一深信院様御仏参無御滞相済候段御先払和四郎兵治届出候

八月　大

月番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　海老原極人殿

大目附　上原彦蔵

大年寄　蔵合孫左衛門
諸吟味　宮田喜左衛門

八月朔癸巳旦　曇

一八朔ニ付麻上下着用五時惣登城三奉行例之通於七間廊下御奏者番大目附一同御小性頭代謁御二方様へ御祝儀申上之
一五節句之通組之者不残罷出出仕前謁何茂見送罷出候
一小頭代月番堀内利右衛門相勤候段申出候
一小野田和四郎義遠藤と改性仕度旨口上書差出諸組之例相糺候所何分ニ而も勝手次第承り届候事之由ニ付承り届候
一坪井町福恵屋伊兵衛大坂梶木町玉子屋九郎兵衛方へ卅日計逗留ニ而三日出立願大年寄承り届差出同廿一日帰

八月二日　晴

一牢舎扶持内貸四俵之証文差出奥印書取計之尤是ニ而壱斗八升三合七勺五才九月へ持越積也
一二町目福寿屋吉右衛門義京都二文字屋彦太郎方へ三十七日計之逗留ニ而明三日出立願大年寄差出承り届九月十二日日延願承り届
一橋本町山形屋喜八義大坂大川町和泉屋六郎兵衛方へ廿五日計之逗留ニ而明三日出立願大年寄指出し承り届同廿二日帰

八月三日　晴

一御用日登城
一信源院様御法事御布施頂戴之受書配当場差出御用所へ持参申上畢而大目附へ差出
一玉置源五兵衛義困窮仕御本陣難相勤依之雲州へ御歎ニ可罷出兼而内済ニ付此節罷出可申所新城ニ居候七里飛脚原弥四郎と申もの及承雲州へ罷越候義差留右歎書同人取次可差出申候ニ付相頼度旨伺出右歎書草稿差出候付御用番へ差出候
一上紺屋町津島屋栄吉借屋住作人伊八義当三月江戸表へ罷越大病相煩金子申越候付院庄罷在候実父仲右衛門致助力候様被仰付被下候様之歎書六月十四日差出郡代所へ相廻置候所得助力不致旨及断候由郡代ゟ願書返り候ニ付其旨申達大年寄へ差戻候
一藤井嘉津馬長屋もの七之助義久世ニ而及変義手代共預世話候ニ付右為挨拶御目六差遣候様伺済ニ付下案去ル廿八日差出候所文法思召被仰出相戻候右ニ付翌四日認置猶又差出候
一町方宗門帳差出例歳之通致奥書宗旨奉行へ差出

一天台宗　九百五拾五人　一真言宗　弐千百九拾四人
一禅宗　四百三拾弐人　一浄土宗　六百三拾三人
一浄土真宗四百五人　一日蓮宗　弐千百五拾九人
惣人数合六千七百七拾八人内男三千五百七拾弐人女三千弐百六人○去戌年ゟ百九拾四人減ス

一川崎村庄屋弥市下人去月廿七日夕被盗もの五品代ニ積拾三匁位右触流取計候様大目附より達有之町触取計本書ハ差戻候同廿五日町方無之段届出候

八月四日　晴

一昨日被仰出候久世手代江奉文案伺認かへ差出候

一堺町稲野屋徳左衛門清兵衛へ相懸り倉敷村春名猶右衛門出訴百五拾日限済方申付置候所得不相済段届書差出候井倉敷村春名直右衛門代人善次郎義限日来候付元魚町大庭屋善兵衛方へ来候段大年寄届出依之御用番へ罷越右之段相届双方呼出し身代限り相渡候様可申付旨伺置候

一牢舎人神戸村七太郎義昨夜及深更届出候者俄ニ致卒倒言舌不相分急病ニ付医師申付候様届出候ニ付昨夜即刻郡代所へも通置医師申付候所牢を不明候而ハ診察難成由ニ付出番和四郎差向候所藤木良全罷越左脈絶候故卒中風ニ而ハ無之癲狂之類ニ而も可有之哉之由申候由申出候付其段今朝郡代所へも申遣置候所猶又今朝も同篇之由届出其段も郡代所へ申達候所出牢伺済之由ニ而立合申来今晩方出番幸治差向郡代所へ引渡さセ候

八月五日　快晴

一境町稲野屋徳左衛門清兵衛義倉敷村春名直右衛門へ身代限引渡之義昨日伺置候所今朝伺之通宜取計候様被仰出候ニ付左之もの共呼出新左衛門利右衛門庄蔵孫右衛門喜左衛門立合ニ而左之通申渡之

滞銀出訴ニ付百五十日限済方申付置候処　境町稲野屋徳左衛門
不相済不届之至ニ付依之身代限り　同　同　清兵衛
引渡申付候勿論外ニも借銀有之趣申出　倉敷村春名直右衛門
候得共未願出義ニ付不及貪(ママ)着候尤質入　代人　善次郎
之分相除其余ハ不残可引渡候

右之通申渡候所稲野屋両人ハ奉畏候段及御受候所直右衛門代人善次郎義御請難渋之趣彼是申訳いたし不埒之義ニ付利(ママ)解申聞候上不埒之段叱候得共弥難渋仕代人之義故一ト先ツ罷帰り直右衛門へ申聞候上御請仕度旨達而相願候ニ付其段承り届為引取候

右之段御両所へ相届候

一中之町小山屋与三右衛門所持之宿屋株当亥八月ゟ来子十二月迄坪井町河原屋治助借受商売仕度願承り届

一船頭町板屋八十兵衛所持之米買宿屋株戸川町井口屋庄蔵へ相譲度願承り届

一稲荷山草苅去ル二日相始候段届出候所今日相済候由猶又届出候

一江原文蔵妻出産男子出生ニ付血忌引込候段届出加人申達候所加藤新右衛門来九月廿二日出勤

八月六日　快晴

一倉敷村春名直右衛門代人善次郎と申もの稲野屋徳左衛門清兵衛へ懸り合ニ而来候間右一件筋立候迄元魚町大庭屋善兵衛方ニ逗留為仕度願承り届同十三日帰届出候

一元魚町紙屋茂右衛門家屋敷本町通り南側西詰表口六間裏行四間但三歩三厘役也東隣ハ藤屋治兵衛西隣ハ弐町目境也右家屋敷之内東之方ニ而表口三間裏行四間御役壱歩六厘五毛相添同人弟永吉へ相譲度願承り届同十四日譲証文差出

一戸川町作人惣七家守新兵衛借屋住伊助後家義四国遍路罷出度百五十日之逗留ニ而明七日出立願承り届甲子三月十日日延願

後

一元魚町武田七郎兵衛所持之自国受酒株今亥八月ゟ来子ノ七月迄丸壱ヶ年之間三丁目南屋利兵衛借り受度願承り届

前

一二階町山本屋周右衛門所持之自国受酒株去戌八月ゟ三町目南屋利

兵衛へ貸置候処取戻候届書差出
一中之町秋田屋宗兵衛所持之自国受酒株当亥八月ゟ来子八月迄壱ヶ年之間西新町奈良屋源兵衛借受度願承り届
一牢舎人伝蔵義郡代所ゟ呼出申来出番嘉七治三郎出入取計候

八月七日　快晴
八月八日　快晴

一御用日登城
一玉置源五兵衛義去ル三日ニ認置候通雲州様へ歎之義七里飛脚へ相頼度趣何之思召も無之右願文へ少々思召被仰出其趣認かへ差出候所勝手次第取計可申勿論御通行之砌雲州へ御歎ニ可罷出旨御道中役人へ申談置候義故其ものへ添状いたし七里飛脚達而指留候間不罷歎書計頼差遣候様申遣可然旨御沙駄有之候付其段大年寄へ申達願文草稿差戻候
一久世手代共へ先日之為挨拶金弐百疋ツヽ手代四人へ差遣候義思召無之尤奉文ニ而ハ不宜候間役筋ゟ時候見廻ニ遣候様被仰出右下案差出候所段々思召も有之認かへ差出候所其通取計候様被仰出候付大目附へ申談明後十日可差遣候間飛脚被仰付候様申達并小勘者内山藤太夫へ被下ものヽ義御懸ケ合向方ニ而御目録熨斗包迄拵貫状箱も受取候
一右同断久世庄屋門三へ挨拶之義段々思召も有之是迄延候処下方存寄承り候而も一旦差返候事故又々目六（ママ）ニ而者難致受納もの哉ニ付廿匁ニ而酒肴相調二階町塗師虎吉持参候様ニ仕度旨申出其段相伺候処思召無之ニ付其段大脇新左衛門へ宜取計候様申達候
一召捕もの他領懸ケ合御定書御用番中ゟ為御見被成役筋致候処太田定右衛門混帳張紙ニ有之拙者部類分帳ニも写有之引合之上郡代所へ相廻候
一惣牢屋根かへ明九日ゟ取懸り候段御作事奉行ゟ申来候ニ付昼廻庄蔵新右衛門へ入替取計候様申付候
一安岡町ニ而明九日夕百万遍いたし候届有之小頭へ例之通申達候
一林田町北側ニ而鍵屋儀右衛門家屋敷表口弐間裏行拾六間但四歩役也東隣ハ作人文平西隣ハ松田屋平七也右家屋敷代銀弐百弐拾匁ニ相極町内田辺屋茂左衛門へ売渡度願承り届売券状同十九日差出
一御年貢米買取間敷御触例年之通大目附ゟ相渡町方へ相触候様申達ス
一大目附廻状到来為替米取間敷旨例年之通御触出組中へ相達候

八月九日　雨

一野介代村作兵衛牢番預ケ郡代所ゟ申来出番和四郎差向取計之十月五日ゟ上賄相成
一御作事ゟ牢屋御繕ニ付南路次明ケ呉候様申来昼廻藤四郎幸治取計之
一牢舎人十吉病気申出大年寄へ申達候所植月友甫へ申付候段申出候
一久世へ差遣候飛脚萩野勘十郎罷越候由代人中谷孫四郎来相渡明朝立申付候
一牢舎人岩右衛門代り医師申出大年寄へ申達候所植月友甫へ申付候段届出候

八月十日　晴

一吉原村太兵衛義謀書謀判様之義有之郡代所ゟ御裁許伺有之候所思召ニ不叶当役存寄御尋被成候ニ付先例ハ無御座候得共御城下壱里四方構払以上之もの ニ 而可有御座旨弁書認御用番中へ差出候

一倉敷村春名直右衛門代人善次郎罷出候由大年寄届出申聞候 者 善次郎昨晩罷出稲野屋ゟ身代限り受取候様御裁許之趣直右衛門へ申聞候所御受不仕 者 恐入候事ニ 者 候得共稲野屋家財迚も不残質入ニ相成残候ものハ指 而 可受取程之ものも無之趣ニ相聞大数之銀子之義ニも候得 者 甚心外ニも奉存即刻御請も難仕右ハ加判人有之義ニ候処加判人 江 者 御懸ケ不被成義哉又ハ御懸ケ被成候事哉此段承り候上ニ 而 御請申上度奉存候間此段相伺度 并 右滞銀 者 段々訳合も有之義ニ 而 出訴之節添書ニいたし差上候通之義ニ候共御糺も不被下御吟味御呼出も有之候ハヽ口達ニ 而 も申上度指含候所其義無之ニ付得不申上候併最早御裁許済之義故御吟味御願ハ不申上候得共直右衛門義も指含有之品ニ寄又候支配役所へ可相願義も可有御候間此段御噂申上置候由申候ニ付右訳合委細弁書ニ認差出候様孫左衛門申付置候処猶又今朝善次郎罷出右弁書可差出処今朝庄蔵と申もの跡ゟ追駈ニ来同人義ハ出訴之節庄屋代ニ罷出候もの ニ 而 元来稲野屋と直右衛門と売買之仲人ニ 而 委細之訳能存候ものニ付同人ゟも御聞被下候様ニ申両人同道ニ 而 大年寄所へ罷出候ニ付猶又庄蔵ゟも承り候所大意ハ善次郎ゟ申候通之義ニ候処聊稲野屋へ懸ケ合候砌代品物もいまた致所持居候得共不差戻候ニ付可受取申候処御公物引当ニ御封印付ニ相成候由ニ 而 不相渡其後御公物之方ハ家屋敷引当ニいたし相済候様之趣ニ承り候ニ付尚又可受取申候得 者 右之代品物ハ小倉屋忠兵衛方へ借銀之方ニ被押候抔と申誠ニ直右衛門を謀り取借銀之肩替いたし候振合ニ 而 甚不埒不実至極之義ニ御座候所御吟味も無御座 者 如何之義哉ニも奉存候由申候ニ付何分可及御沙駄之由申聞置候段孫左衛門申出候右出訴之節之小書付ハ有之候得共代品物取扱フチヤウ同様成もの ニ 而 一向不相分義故此方ニ心付も可有之義ニ 而 も無之滞銀惣辻借り受候所無相違旨稲野屋申ニ付申分無之事と存不及糺ニも其儘済方申付候事ニ 而 左様之義ハ願書ニ無之事故一向不心付義且又加判人之義済方申付候節 者 呼出候所代人倉敷屋忠兵衛罷出一同申渡候処今般引渡申付候節 者 加判人之義一向不心付達落候然ル所当所ニ 而 ハ加判人へ懸ケ候取計無之他所出入ニ 而 加判人へ懸ケ候先例有之哉と遂吟味候処役所ニ先例不相見仍之郡代所聞合候処彼方ニ 而 も右躰之義ハ大躰内済ニ相成候事故加判人へ懸ケ候先例無之由ニ付律令及見候得 者 証文ニ加印人於有之 者 当人加印人両方ゟ済方申付候と有之且又江戸表ニ 而 も他借ハ加判人相弁候由及承候義ニ候得 者 何れ加判人 江 も身代限り相渡候様可申付処全達落ニ付其段御用番中 江 委細申上何分明日倉敷ゟ罷出候両人呼出委細之訳直ニ承り候上ニ 而 稲野屋方可遂吟味候且又加判人 江 ハ同様ニ可申付所此間達落候段可申聞旨相伺候処翌朝伺之通宜取計候様被仰出候ニ付夫々呼出申達候

一桶屋町倉敷屋金吾義四国遍路百日斗之逗留ニ 而 明十一日出立願（十二月十二日帰）承り届（十一月廿七日追願承り届）

八月十一日　晴

一九時ゟ新左衛門利右衛門藤四郎孫左衛門喜左衛門立合左之もの共

呼出遂吟味候

一此両人相糺候処至極尤成申　出訴人倉敷村春名直右衛門代人
述方ニ付委細承り届候付遂　善治郎
吟味遣可申候間下宿ニ相扣　庄屋代人
可罷在并加判人へ懸候義相　矢掛屋庄蔵
尋候段承り度旨加判人江可懸筋ニ付済方申付候節ハ既ニ
加判人釘屋宗十郎呼出候処代人差出一同申付候所此度ハ
達落ニ候間其旨ニ相心得候様申達候所御吟味被下候段難
有奉存候由申引取

一出訴人申口を以相糺候所　相手方境町稲野屋徳左衛門
色々申訳も有之趣ニ候所　同　同　清兵衛
段々申聞候得者甚困入申　加判人同町釘屋　宗十郎
訳も無之風情ニ相見へ代
品物取捌口之義ニ差詰り何分引取相考候上ニ而申上度旨
相願候ニ付承り届差返候

右古手買取代物押候ものゝ由庄蔵指口之ものニ付二丁目小倉屋忠
兵衛伏見町錦屋藤吉同町田原屋左助呼出置候得共右ニ付不及糺為
引取候

一深信院様明後十三日四時御供揃ニ而蔵田町通り泰安寺へ御仏参被
成候旨種村登門ゟ返用有之小頭并大年寄へ申達候

一町方宗門帳直申来相直候又々宗旨奉行へ為持遣

一久世へ差遣候飛脚之者今朝罷帰目六(ママ)致受納候段返書来御用番中へ
差出候

一江原文蔵義血忌今日切ニ而明日ゟ出勤之処腫物出来難相勤旨ニ而
引込届出候九月廿二日出勤

一玉置源五兵衛義雲州様へ歎書差出候付明十二日立ニ而新庄七里飛
脚原弥四郎方へ四五日之逗留ニ而罷越度口上ニ而届出承り届同十
六日夕帰

一橋本町嵯峨屋勘右衛門借屋住定蔵宅今朝五ツ半時少々手過出火有
之候処火之手あかり候義ニも無之近隣打寄もみ消候段申出候付先
格之通以来別而入念候様申達候様申付候

一摂州大坂島之内大宝町万屋善次郎一人例年之通革足袋水漉金とう
し売ニ来候段西新町山家屋利右衛門宿切手指出候十二月廿九日
帰

一御代官下代後藤定治妹滝義橋本町中屋忠七借屋住平井屋源助妻ニ
引受度人別入願承り届

一大熊靭負殿へ出入奉公仕候渡辺八十助義伏見町作人万四郎同居仕
度願大熊殿ゟも申来候付承り届

一上紺屋町北側ニ而畳屋利七家屋敷表口四間裏行九間壱尺五寸但本
役也東隣ハ金川屋多吉西隣ハ形岡屋清兵衛也右家屋敷質物ニ書入
三丁目高雄屋藤助取次ニ而銀札百匁借り受当亥ノ八月ゟ来ル卯十
一月迄五ヶ年之間壱ヶ月壱歩八朱之利分ニ而借り受度願承り届同
十九日証文出

八月十二日　晴

一境町稲野屋徳左衛門清兵衛并倉敷村春名直右衛門代人善次郎連印
ニ而身代限受取渡被仰付候処右懸ケ合当月中日延被仰付候様願書

差出候ニ付承り届左之通申達候様大年寄へ申付候

古手代滞銀出入出訴百　倉敷村春名直右衛門代人善次郎
五十日限済方申付置候　境町稲野屋徳左衛門
所当日中日延願差出承　同　同　清兵衛
届此段龍野へも可申遣
処出訴方ゟも願候義ニ
付追而可申遣候間其旨
可相心得候

右之段申達置候所善次郎義一先引取度願出候付勝手次第之旨申達候

一倉敷村春名直右衛門使庄蔵と申もの一昨日来候付元魚町大庭屋善兵衛方ニ逗留為仕度願書差出承り届翌十三日帰候段届出候

一元魚町西側弐町目通筋南側ニ而紙屋茂三郎家屋敷表口三間裏行四間但壱歩六厘六毛五役也東隣ハ紙屋永吉西隣ハ弐町目堺也右家屋敷代銀百弐拾匁相極同町海老屋長右衛門へ売渡度願承り届同十四日売券状出

一郡代所ゟ林田村庄助牢番預ケ申来出番和四郎差向取計之

八月十三日　快晴

一御用日登城今日ハ進藤流一覧有之御用所ゟ先ニ引取候

一茅町池上流滴家屋敷残置候段届出候付先格之通入札払ニ取計可申旨御用番中江申上候処宜取計候様被仰出願書ハ御留被成候処無程御下ケ被成大目附へ差出置御聞届ニ付入札申付候

一境町稲野屋徳左衛門清兵衛と倉敷春名直右衛門と之出入日延願承り届候処一先引取度願出候付勝手次第と及差図候段并一昨日取計之趣委細ニ御用番中へ申上大目附江も及噂置候

一御領分西北條郡田邑見内儀八娘かね義中之町藥屋兵蔵養女ニ引受度願下方引合相済候段申出承り届

一備中都郡早島金田屋伝蔵手代栄八例年之通雲斎紋羽足袋卸売来候之段新職人町松の屋十右衛門宿切手指出十二月廿七日帰

一揚り屋繕ニ付昼廻藤四郎和四郎へ申付入替取計候

八月十四日　曇風

一牢舎人庄助伝蔵二人郡代所ゟ呼出申来出番庄蔵新右衛門取計之

一御領分西北條郡下田邑川東村平助妻いよ義此度致離縁候付鍛治町鍛治六太郎役介ニ引受度人別入願下方引合相済候段申出承届

八月十五日　風雨夜ニ入風烈

一院庄川留申刻前郡代ゟ申来同戌刻過明申来前後共大年寄へ申達候

八月十六日　時雨晴

一院庄川巳ノ刻過留申来翌十七日辰ノ中刻明申来前後共大年寄へ申達候

一昨夜風烈ニ付惣町へ火之用心可相触旨昨夜及深更大年寄伺出承り届

一中之町坂原屋甚兵衛後家義林田村庄助ゟ麻上下袴質物取次被相頼玉置卯左衛門方へ六匁之質ニ置候処右庄助義郡代所へ被召捕候由ニ付御届申上候旨届書差出郡代所へ相廻候

八月十七日　快晴

一中之町米屋善右衛門裏木納屋今暁少々ふすもり候処近辺打寄即刻

消留候段申出候付先格之通以来念入候様申付候段大年寄申出承り置

八月十八日　雨

一御用日登城宇治橋講釈大村成夫相勤拝聴之

一船頭町田原屋稲蔵借屋住西村屋義助夫婦忰右三人当三月七日四国遍路罷出候処六月ニ日延願差出承り届候所右義助義予州桑村郡楠村ニ而七月朔日病死仕段々世話ニ相成妻子看病仕候義故無心残養生仕右一礼役人中へも得と申述置去ル十五日妻子共罷帰候段届書差出御用番中へ申上大目附へ差出候

一大久保安芸守殿領分当国久米北條郡上打穴村平右衛門娘豊義材木町万屋与三兵衛借屋住大坂屋庄助妻ニ引受度人別入願右同断取計済九月廿六日住宅証文差出

一伯州米子内町後藤屋幸助忰兵三郎義材木町万屋与三兵衛家守清兵衛借屋住福原屋はる夫ニ引受度人別入願右同断取計済九月十七日住宅証文差出

一久世懸り合藤井嘉津馬長屋住七之助一件久世庄屋門三世話ニ而内済いたし候ニ付為右謝礼其砌銀弐拾匁真加部村幸太郎ゟ差遣候様取計候所差戻候ニ付二階町年寄塗師虎吉へ申付名酒三升（波儀（鰹か））鱈二尾（二尺計）去ル十二日持参為致謝礼申述候所門三義折節他出ニ付相渡置

同十六日罷帰候段大脇新左衛門ゟ届出今日御両所へ及御沙駄候

一於御用所御用番御年寄海老原極人左之通申渡之大目附出席

一上田邑村東帳外源次義安岡町籾屋　町奉行へ

伊兵衛方へ忍入品々盗取不届ニ付百敲之上御領分追払被仰付候

一右同人父勘兵衛義同居之忰源次盗取候品々取捌候始末不届ニ付五十敲之上御領分追払被仰付候

右之段可被取計候

一大目附上原彦蔵ゟ左之通一昨日達有之候ニ付今日認差出候別帳扣有之

当時町方之様御聴被遊度旨被仰出候間認可被差出候

一元魚町紙屋茂三郎義日本回国仕度六ヶ年之逗留ニ而明十九日出立願組合ゟ差出承り届同人義此間迄家持ニ候処半分ハ弟永吉へ相譲半分ハ売払人別之もの二者候得共当時住所無之姿之もの二付組合ゟ願書差出如何之もの二も候得共右組合之内永吉と申もの則家を半分譲候弟也仍而承り届

一京町田原屋伊兵衛義播州明石樽屋町わさひ屋伊右衛方へ三十五日計之逗留ニ而明十九日出立願大年寄承り届差出九月十四日帰

八月十九日　快晴

一惣牢御普請出来ニ付入替揚り屋明渡候様御作事奉行ゟ申来昼廻幸治新右衛門差向取計之

一野介代村藤八方へ去ル十日盗人這入衣類五品代廿三匁五分位之品盗取候触流例之通取計候様大目附ゟ申来町触取計本書ハ差戻候同廿五日無之段届出候

一材木町関貫破損申出翌廿日大目附へ差出候

一備前岡山小畑町鼠屋甚八忰清蔵手代文十郎二人例年之通元結卸売来候段新職人町松の屋十右衛門宿切手差出十二月廿七日帰

一船頭町今津屋孫十郎後家義久世支配所奥津源之助ゟ米売払代銀差滞候段久世役所へ致出訴候段久世手代ゟ申来済方申付置候所源之助へ相払相済候段源之助受取書取差出候ニ付右之段久世へ申遣候下案相認昨日伺置候所思召無之伺之通宜取計候様今日被仰出仍之明朝立指遣度飛脚之者被仰付候様大目附へ相達候所御飛脚萩野勘十郎来相渡候廿一日帰

一町方宗門帳猶又直し稲垣惣兵衛ゟ申来大年寄へ申付候

八月廿日　快晴

一昨夜更廻り利右衛門藤四郎嘉七和四郎治三郎差出候所無別条旨今朝届出候

一牢舎人伝蔵庄助郡代所ゟ呼出申来嘉七治三郎出入取計之

八月廿一日　快晴

一久世へ差遣候飛脚今五半時受取書取之罷帰ル返書ハ不差越候同廿三日及御沙駄候

一材木町河内屋武兵衛義林田上之町藤蔵と丹後山町作地所出入可遂吟味候間明廿二日差出候様郡代所ゟ申来大年寄へ申達候所武兵衛義父子供痢疾相煩罷在候付明日ハ得不罷出候旨断申出候段大年寄申出郡代所へ申遣候

一雲州大社中臣西村神太夫御師上下四人例年之通旦那廻り来候段坪井町川原屋治助宿切手差出翌年子正月廿九日帰

八月廿二日　晴

一和泉国堺筆屋武兵衛と申もの西新町山家屋利右衛門方へ卅年已前迄参候処不勝手ニ付得参り不申依之同人親類越中富山二番町菜種屋兵右衛門と申売薬師差越度頼越候ニ付当所へ御出入為仕度願承り届

一林田町南側ニ而石原屋甚蔵家屋敷表口三間裏行十七間但半役也東隣ハ西新町妹尾平兵衛借屋家守升屋勘兵衛西隣ハ岩佐屋善七也右家屋敷代銀弐百七拾匁ニ相極同町喜多屋利兵衛へ売渡度願承り届九月二日売券状差出

一播州加古川ゟねちわく細工手伝ニ九郎兵衛長治二人例年之通呼寄候ニ付当十二月まて逗留為仕度願承り届十二月廿三日帰

一一ノ宮村儀右衛門娘を手ニ懸ケ殺候一件浄瑠璃(ママ)ニ作り□□□非人共語り廻候由右本取上ケ大年寄差出未御裁許も無之内之義差留可申哉と去ル六日申出右之本及一見候之処差障り候文句も無之義故捨置候而も可然思召相伺度御用番中へ差出置候所左之通今日被仰出候

伺之通随分捨置候而も可然哉ニ存候乍去り孫左衛門申出之通未御裁許も不相済内ニ有之候得者晴而語り廻り候而も如何之もの哉ニも被存候町奉行場合切ニ而大年寄手前ニ而遠慮も為致候位ニ而も可然哉ニも被存候何分強而之存寄ニも無之候間猶御考次第宜御取計可被成候

則右之旨大年寄へ申達候右本差戻候

八月廿三日　快晴

一御用日登城

一三浦志磨守殿領分当国真島郡上市瀬村政吉妹菊義戸川町久米屋新七借屋住伊兵衛妻ニ引受度人別入願例之通取計済同晦日住宅証文

差出

一中之町粟井屋茂市義父善吉西国罷出丹波穴太寺ニ而病死仕候付墓参井所之役人江挨拶旁盆後早々罷出度申上置候処足痛仕候ニ付急ニ得不罷出全快迄日延仕候段届書差出御両所へ及御沙駄候

一於御用所御用番御年寄左之通申渡之大目附出席

妹尾平兵衛義札元御免被成候　町奉行江

此段可被申渡之候

右ニ付切紙を以呼出於座敷下役新左衛門小頭利右衛門大年寄孫右衛門諸吟味喜左衛門立合申渡之取計済御両所へ相届候

一南新座町臭橘摘込相済候段一昨日喜左衛門届出候

一盗賊源治井同人父勘兵衛敲取計明後廿五日可取計ニ付立合被指出候様大目附へ相届ケ郡代江も懸ケ合置尤郡代所構帳外ものニ付申渡等も郡代下代取計追払差添之組も向方ゟ被差出候付役筋ゟハ出番不差出敲取計立合ニ小頭部屋目附計可差出旨ニ談置候其段小頭へ申付候

一牢舎人岩右衛門十吉未相勝候ニ付明廿四日ゟ藤木良全へ申付候段双方ゟ届出候

八月廿四日　晴時雨

一芸州高田郡有田村助右衛門と申もの諸国順礼罷出勝南郡福田村ニ而病気付送り出川部(ママ)村送り来糺之上継送り候段郡代所ゟ通用有之継送り候様大年寄へ申付候

一深信院様明後廿六日五半時御供揃ニ而薗田町通り泰安寺へ御仏詣被成候旨種村登門ゟ通用有之候ニ付例之通御先払差出候様小頭へ申付ル大年寄へ申達ス

一境町ゟ吹屋町へ出抜候通筋土橋今朝石橋ニ御懸ケ替被仰付候様及承候然ル所石橋者砂溜り水抜悪敷大雨之時分難渋仕候ニ付右橋御懸ケ替中御差支無之様ニ浚度願新魚町年寄ゟ差出承り届大目附へ差出候

一元魚町福永屋宇三郎父源吾義甲州身延山へ参詣二百日計之逗留ニ而明廿五日出立願大年寄差出承り届甲子三月十八日帰

一元魚町山手屋弥太郎家守弥兵衛借屋住塗師屋平吉義大熊靭負殿家来福井小平次養子ニ差遣度人別離願承り届ル

八月廿五日　快晴

一於牢屋御徒目附藤田十兵衛下目附土井左市小頭利右衛門部屋目附藤四郎郡代下代足軽立合左之通郡代下代申渡之

一所々盗相働不届至極ニ付百敲追払　盗人田村帳外源治

一悖源治盗取候品売捌不届至極ニ付　右源治父勘兵衛

五十敲追払

右ハ郡代所構帳外之ものニ付申渡井追払も郡代所取計ニ付出番不差出候右敲取計済候段御両所へ相届候

一船頭町今津屋孫十郎後家久世懸り合ニ付備前へ致出訴内済いたし罷帰候所備前ゟ返書ニ此方ニ存寄も無之候ハ、内済承り届可申候間今一応否申越候様申来此方へも奥津村源之助手前相済候段申出候付久世へ申遣候処返書ハ不差越候得共相済候事ニ付備前へ可申遣勿論御聞届御達も可有之ニ付孫十郎後家尚又差出候付及再答候段下案相認昨日御用番中へ相伺置候所端書ニ御加筆被成其余ハ思

召無之段今日被仰出候ニ付孫十郎後家又々備前へ罷出候様可申付
出立日限届出候ハ、添簡相渡可申段大年寄へ申付候然ル所及深更
久世ゟ飛脚差越右返書申越承知之旨申来候右返書翌廿六日御用番
中へ差出ス
一安岡町籾屋伊兵衛方へ盗賊源治忍入盗取候脇差明後廿七日可相渡
候間伊兵衛義郡代所へ差出候様申来其段大年寄へ申付候
一深信院様明日泰安寺ゟ妙法寺へ御仏参被成候段猶又種村登門ゟ申
来出番和四郎へ直ニ申達ス大年寄へハ翌日申達ス
一一ノ宮牛馬寄ニ付町触可差出所致失念今日差出ス

八月廿六日　快晴

一久世ゟ昨夜差越候今津屋一件之返書御用番中へ差出候所無程御差
戻ニ付大目附へ差出候所即刻戻ル
一龍野ゟ飛脚差越先達而懸ケ合置候島屋文七造酒役米取納之義江戸
表へ相伺候所当方へ被仰出候同様之御達ニ付其旨ニ相心得候様申
来返書下案を以御用番中へ相伺候所思召無之旨被仰出候ニ付承知
候旨及返書候大年寄へも申達候
一深信院様御仏参無御滞相済候段御先払藤四郎和四郎届出候

八月廿七日　曇

一船頭町北側ニ而田原屋稲蔵家屋敷表口拾間五寸裏行七間五尺但三
軒役也東隣ハ山家屋せい西隣ハ山家屋九兵衛也右家屋敷質物ニ書
入銀札弐貫目安岡町大黒屋利兵衛取次ニ而来ル子三月切壱歩三朱
之利足ニ而借り受度願承り届九月四日証文差出文化六己巳九月廿
七日請戻し断書出ス
一小桁村次右衛門年来所持仕候船株壱艘此度船頭町倉敷屋長五郎へ
相譲度願承り届株札認替相渡候
一備前邑久郡長船村作右衛門忰平吉夫婦弐人奉公持ニ罷越候ニ付来
子ノ二月迄二階町宮田喜左衛門屋守長八方ニ逗留為仕度願承り届
一安岡町(休脱)南側ニ而橋留屋喜代松家屋敷表口五間裏行拾弐間但六歩弐
厘役(ママ)五毛役也東隣ハ三原屋八蔵西隣ハ鍛冶長右衛門也右家屋敷之
内東方ニ而表口弐間裏行拾弐間質物ニ書入同町(結紙)籾屋伊兵衛ゟ銀札
六百匁壱ヶ月壱歩半之利足ニ而来子五月切ニ借り受度願差出承り
届同晦日証文差出卯八月廿日請返候

八月廿八日　風

一御用日登城当日御祝義申上置御用向申上之
一新職人町高畠生斎家守出雲屋権七借屋住大坂屋利兵衛夫婦二人四
月十八日出奔仕五月十二日届出百日尋申付置候所弥行衛(ママ)不相知最
早百日余ニ相成候ニ付除帳願例之通取計済
一造酒屋共拾分一役米取立御届書龍野ゟ島屋文七役米此方へ取立候
様申来候ニ付取調置候書類并御留主居へ返書郡代両名ニ而近便江
戸表へ可差遣ニ付御用番中へ差出伺置候
一今津屋孫十郎後家備前へ罷出候様申付候所病気ニ付代人宗兵衛と
申もの差出度尤明廿九日立届出候ニ付其段御両所へ及御沙駄置添
簡相渡候九月五日罷帰候
一二階町久美屋忠右衛門義御堀へ足代下し候願大目附へ差出候
一東新町種屋伊助義八出村持分之畑へ水這入候ニ付田地ニ仕度所水
不呉論ニ付願書差出五月廿二日郡代所へ相廻置候所今日返答有之

遂吟味候処水払底ニ而引足り不申昨年試ニ田ニ申付候地面も又々畑ニ申付候位之義ニ付水分ケ遣候義不相成旨申来其旨大年寄へ申達種屋へ得と申聞候様申達ス

一豆腐屋共近在之豆腐屋御差留被下候様先達而歎書郡代所へ相廻置候所又々催促願書差出候ニ付郡代所へ懸ケ合候所右一件取調御用番中へ伺置候由ニ付其段申達願書差戻候

一下之御藪番中間宗助方へ去ル廿五日昼盗賊這入銀札五匁六分白米弐升わらぢ一足被盗取候届有之当役江及噂置候様御用番中御差図之旨平井半平ゟ申来目明へ申付置候様小頭へ申付則書付相渡候

一盗賊田邑帳外源次義安岡町籾屋伊兵衛方ニ而盗取候木綿坪井町福江屋伊兵衛林田屋辰の屋喜助鍛冶町山形屋宗兵衛西今町福本屋伊右衛門方へ売渡候ニ付引上ケ相渡候様郡代所ゟ申来右四軒ゟ木綿代都合三拾四匁六分引上ケ大年寄へ相渡籾屋伊兵衛へ相渡候様申付候

八月廿九日　晴風

一広原分住盗賊松治郎盗銀札壱匁安岡町渋屋茂吉へ菓子代ニ相渡候旨松治郎申口ニ付相違も無之候ハヽ取上ケ相廻候様郡代所ゟ申来大年寄へ糺申付候所無相違ニ付銀札壱匁取上ケ指出し郡代所へ相廻候

一同心組勤方并被仰出事并小頭役取計等之義先役已来度々申渡書付等相渡置候得共小頭役相勤候もの後役へ不申送候由先規ゟ之規矩一向不存趣ニ付今般取調先規ゟ之御達事并勤向之事共一切書綴小頭へ相渡候

八月晦日　快晴

一牢浚申付候処無別条段昼廻藤四郎幸治届出候

一倉敷春名直右衛門代人今日元魚町大庭屋善兵衛方へ来り稲野屋懸り合弥内済いたし候ニ相極候間取調次第可申出候旨届出候段大年寄申出候

一牢舎人磯五郎病申出大年寄へ申達候処吉武修格へ申付候段届出候

一牢舎人穢多甚吉今日ニ而丸三日致絶食候段届出郡代所へ及通用候

一関貫番賃銀例月之通当番ゟ為相渡候但当月ゟ新左衛門取計

九月　小

月　番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　黒田要人殿

大目附　赤見類助

大年寄　斎藤孫右衛門

諸吟味　宮田喜左衛門

九月朔癸巳旦　快晴

九月二日　快晴

一林田町南側ニ而宇田屋和助家屋敷表口三間半裏行六間三歩役也西隣ハ入江屋十兵衛東隣ハ通筋也右家屋敷代銀弐百匁相極橋本町柳

屋太七へ売渡度願承り届同廿七日売券状差出

一菜種積廻し大坂へ御届書左之通郡代所ゟ相廻り致連印明日大目附へ被差出候由ニ而相戻候

覚

七拾五ヶ村菜種作り高

一百八拾八石五斗

内

百拾弐石六斗　油屋共手作手絞

残而　七拾六石四斗四升

外ニ穀種　拾九石壱斗壱升

合　九拾五石五斗五升

右者兵庫問屋へ積登申候

右之通ニ御座候以上

亥九月　増児右門印

三浦十左衛門印

一牢舎扶持弐俵之内貸証文差出奥印書取計但是ニ而十月へ五升六合弐勺五才持越積也

一小頭月番三船藤四郎相勤候段昨日届出候

一宮脇町松井屋伊助倅万吉義当亥ノ年ゟ来丑ノ十月迄三ヶ年之間三浦志摩守殿領分当国真島郡勝山河内屋嘉兵衛方へ出職仕度願承り届丑十二月廿二日寅ノ年迄追願

一倉敷村春名直右衛門代人庄蔵義一昨晦日来候付宿仕度願元魚町大庭屋善兵衛差出承届

一元魚町藤野屋嘉四郎借屋住原屋太助倅平之助義今亥年ゟ来ル丑年迄三ヶ年之間備前岡山妙雲寺町妙福寺へ奉公ニ差遣度願承り届

一播州揖東郡鵤村大村屋市左衛門ゟ当所大村屋源右衛門へ預ケ銀差滞壱貫三百匁当閏正月十八日并六月廿一日追訴仕候処不相済候ニ付又々急ニ被召出急度相払候様追出訴大坂御番所ゟ御留主居御呼出ニ而御渡被成候段大目附ゟ被相渡候付明三日六半時罷出候様可相達之旨大年寄へ申付置候

九月三日　快晴夜雨風

一御用日登城宇治橋之間講尺(ママ)大村成夫不快ニ付無之

一今六半時揃左之もの呼出新左衛門藤四郎利右衛門源五兵衛喜左衛門立合左之通申渡之出仕之上御両所へ申渡済相届候

大坂御番所へ御留主居御呼出ニ付　京町大村屋源右衛門煩ニ付

播州鵤村大村屋市左衛門ゟ三度目　代人小豆屋与平次

之訴状御渡被成急ニ登坂仕候様被仰渡候間源右衛門義押而登坂可仕若又病気ニ而難罷登候ハ、一両日之内代人差出急度済可申候

段々等閑之致方ニ付三度迄出訴致候様相成不届至極之事ニ候間急ニ相済可申候

一下紺屋町大工藤助弟福五郎義五年已前未ノ二月廿三日勘当仕候処当時宮尾村辺ニ罷在心底相直り先非を悔相歎候付勘当差免度願御用番御聞届ニ付大目附へ差出置御聞届申達候

一重田又兵衛殿支配所当国大庭郡社村平左衛門娘ゆき義西今町磯屋勘治養女ニ引受度人別入願右同断取計済九月廿六日住宅証文差出

候

一札元玉置卯左衛門弟広助義重田又兵衛殿支配所備中小田郡笠岡胡屋小十郎養子ニ差遣度人別除願右同断取計済

一一ノ宮村西山方清右衛門義先月廿六日袷壱ツ被盗取候触流取計候様大目附ゟ達有之町触取計本書ハ差戻候同十一日町方ニ無之段届出候

一久世懸り合ニ付庄屋門三江二階町年寄虎屋挨拶ニ久世へ酒肴持参候入用都合拾壱匁八分六厘新左衛門ゟ証文差出勘定所ゟ受取相渡候段新左衛門ゟ一昨日届有之候

一御廻米昨二日初積取計候段御蔵元昨二日届出候

九月四日　曇少時雨

一坪井役人吉井要助ゟ飛札致来例年之通同役瀧口儀右衛門為交代致参着要助義罷帰候段案内申来及相答候

一南新座町臭橘摘迄不置候付直し候様喜左衛門へ申付候処昨日ゟ取懸候段届出候

一一ノ宮牛馬寄ニ付銀札小売場へ札元出役いたし今日迄ニ而引取候段玉置卯左衛門届出候

九月五日　曇

一倉敷春名直右衛門ゟ堺町稲野屋徳左衛門清兵衛へ相懸り古手代差滞出訴先月中日延願差出承り届置候処致内済以来聊申分無之ニ付願下ケ願書差出御用番中へ伺済之上承り届候段申達訴状差戻龍野へ之添簡返書相渡候様大年寄へ申達取計済大目附へ相届候

一盗賊林田村庄助口書郡代所ゟ相廻り盗物町方ニ質取候旨引合之もの共相糺候様申来処東新町佐伯屋与三兵衛同町松屋吉兵衛中之町坂原屋勘兵衛後家相糺候処庄助申口之通何茂相違無之口書取差出郡代所へ相廻候

一船頭町今津屋孫十郎後家代人惣兵衛岡山へ罷越昨夜罷帰り内済承り届ケ候段再返書差出御用番中へ差出候

一京町大村屋源右衛門大坂御呼出ニ付明後七日出立仕候段届出候付翌六日御両所へ相届長沢清左衛門へ添状相渡候

九月六日　曇

一京町大村屋源右衛門明七日出坂仕候段御両所へ相届候処大目附ゟ町役差添出候様大坂ゟ申来候間其旨取計候様被申聞其段大年寄へ申付候所河原町出雲屋太兵衛町役代ニ差添出候段届出候

一西今町中野屋太郎兵衛義昨夜西大番所前ニ而柳大籠裏壱ツ拾候旨届書指出候付先格之通張紙仕候様申達置其旨御両所へ相届候

一牢舎人穢多甚吉義最早十日計も致断食候ニ付下代差向候由郡代所ゟ由来其段昼廻庄蔵新右衛門ゟ牢番へ申達候夜ニ入少々給候由届出郡代所へ申達候

一大年寄申出候者此節実綿沢山ニ入込兼而申付置候通何も致出精早速売払手を抜手段専要ニ取計居候処追々下リ口ニ相成別而指急川下ケ仕候所此節御廻米ニ而売荷物積候船壱艘も無之田原船申遣候得共急ニ者間ニ合不申然ル所追々致下落候ニ付兼而約束之綿買共も急ニ川下ケ不相成候得者可及断抔と申趣ニ而甚手支金銀不相廻候付買込さつぱり〳〵相止候様ニ相成甚歎ケ敷義ニ付御廻米御用船日々弐艘ツ、綿売船ニ御渡被下候様ニ者相成間敷哉と歎出候付

勘定奉行平井半平へ頼遣候所明日出仕之上同役遂評義返答可申越旨返書来候

一堺町南側ニ而稲野屋徳左衛門家屋敷表口五間半裏行十七間但壱軒役也東隣ハ同人持家西隣ハ三津屋平右衛門也右家屋敷ニ土蔵壱ヶ所納屋蔵壱ヶ所立物不残相添代銀札六貫目ニ相極組合芦田屋善兵衛へ売渡度願承り届同十一日売券状差出

九月七日　晴少時雨

一原口村和吉下人銀蔵と申もの昨六日詰米御蔵通元魚町辺ゟ大田村之間ニ而落候段届出候間町触取計候様御用番中ゟ申来町触取計候尤届書ハ郡代江差戻候様被仰出翌八日出仕之上差戻候

一上紺屋町今屋栄蔵義近来不勝手ニ相成候付親類江戸小網町大黒屋利兵衛方へ今亥歳より来子ノ歳迄奉公稼ニ罷出度尤当月十日出立仕度同人母願書承り届十二月十七日帰

一京町大村屋源右衛門義今朝大坂へ出立候段届出候

一平井半平ゟ昨日申遣候船之義此節渇水旁以御廻米はか不取指支ニ者候得共下方之義も無余義筋ニ候間八艘以下之所ニ而ハ不相成候得共其余船数有之候日ハ壱弐艘之処ハ綿為積候様御登方役人江可達置旨申来其段大年寄へ申達候

一二階町宮田喜左衛門家守作人長八借屋住作人源蔵養子十蔵義六月十六日不斗罷出不罷帰相尋候得共行衛(ママ)不相知旨届書差出候付百日尋申付候十二月廿三日除帳

一牢舎人岩右衛門十蔵義未相勝代り医双方ゟ申出申達候所岩佐孝順へ申付候段届出候

一牢舎人穢多甚吉義弥食餌給出候段清右衛門届出候

九月八日　晴少時雨

一御用日登城申上候御用向無之

一黒田要人殿詰江戸霜月中出府被仰付候大目附ゟ演説有之三奉行一同罷出御悦申達候

一平井半平へ昨日懸ケ合候御廻米船数之義大年寄へ申達置候所今朝申出候者御廻米船此間中漸四艘又ハ六艘致出船候様子ニ付中々八九艘出船ハ一向無之由ニ付其段平井半平へ懸ケ合候所壱度切之義ニ候ハヽ振かへ可相成哉と申義ニ付随分先壱度切ニ而宜候間貸被呉候様相頼候処左候ハヽ先ツ明日壱艘可貸渡旨ニ付其段大年寄へ申達候処折節田原船も壱艘来右弐艘ニ而ハ此間之差支急難程ハ相凌候由ニ而くり屋共殊之外難有かり候由孫右衛門御礼罷出候付其段半平へ申通候

一福渡町ニ古酒袋井抜手綿落有之候段届出指出然ル所へ同町次田屋善右衛門家守文左衛門借屋住作人勘七と申もの先月三日蒲茵(ママ)大柳籠裏被盗取候処兼而馴染之雲州もの三治と申もの盗取候哉ニ被相察致折檻候処無相違旨致白状右蒲茵(ママ)ハ解分ケ裏表地ハ大番所前御藪之内へ投込置綿と柳こりハ捨候由申候処直ニ致出奔候故御届不申恐入候段届書差出昨日之柳籠裏も全無相違旨ニ付右届書御用番中へ指出右捨もの被盗主勘七へ為引渡井勘七義届延引之段叱置可申旨御用番中へ相伺候処宜取計候様被仰出候付其旨大年寄へ申達置大目付へも相届候

一大隅宮宵祭ニ付林田六町例年之通挑灯差出候段大年寄届出承り置

一造酒屋共拾分一役米取立御届書大目附へ差置今日御便ニ江戸へ相廻候付御留主居河内志津馬へ致添状右之訳委細ニ申遣大目附ゟ被相廻候通御届被成候様申遣候

一御留主居へ兼而申遣置候掛質之問合催促も河内志津馬へ申遣候

一大坂長沢清左衛門へ大村屋源右衛門も昨日出立候処参り懸ケ金主方へ立寄度願出候ニ付一両日延着之程難計哉之旨為念申遣候

九月九日　快晴

一重陽ニ付五ツ半時揃麻上下着用御徒格已上部屋住迄五時惣登城三奉行例格之通於七間廊下御小性頭代謁有之御奏者番ゟ三奉行迄一同罷出重陽御祝儀御二方様江申上之畢而三奉行計席順ニ御用所へ罷出御祝儀申上之引懸ケ大目附江当日自分及挨拶御用所御下り後退出仕候

一播州加藤(ママ)郡三木町形屋与兵衛手代藤兵衛一人例年之通紺屋形売来候段西新町山家屋利右衛門宿切手差出十二月廿九日帰

一越中富山二番町菜種屋兵右衛門と申売薬商人一人先月御許容之ものニ而当年初而来候段右同人宿切手差出右同断

一重陽ニ付組中不残登城前罷出謁先格之通

一重陽ニ付旧格之通昼廻り不差出

一大隅宮祭礼ニ付嘉七幸治庄蔵利七右衛門警固差出候所無別条相済引取候段届出承置

九月十日　晴

一倉敷春名直右衛門ゟ稲野屋徳左衛門清兵衛へ相懸り出訴内済承り届候段申遣候返書倉敷庄屋ゟ相届候由大年寄差出御用番へ差出大目附へ相届候

一札元山本三郎左衛門祖父播州蔵垣内村絹田四郎右衛門病死申越候付三郎左衛門義御定式之忌服廿日引込候段大年寄ゟ届出御用番并大目附へ相届候但母方之祖父之由也

九月十一日　雨

一深信院様明十二日五半時御供儀ニ而藺田町通り泰安寺へ御仏参被成候段種村登門ゟ通用有之大手寄并小頭江例之通申達候

一銀札場奉行清水覚右衛門ゟ銀札手代新魚町野屋(田)孫三郎差免同人弟宗蔵義見習候処手代ニ申付候旨案内有之候

一今津屋橋損候付繕いたし候得共往来故障ニ者不相成旨大年寄届出候右橋之義者以前者役筋ゟ取計候様ニ相見江今以右橋之義ハ役筋ゟも纔之義ニ而も届来ニ而郡代所と両方ゟ相届来候所当時之役筋ゟ之取計一向無之受負人町家之者と申計之義ニ候間以来ハ当役ゟハ相届間敷旨兼而郡代と談置折も有之候ハヽ其段御用番中へ可申達置と示合置候所其後橋之義無之ニ付未申達候所右橋繕申出候付翌十二日要人殿江罷越候所極人殿御頼御他出之旨ニ付極人殿へ其段申上御承知ニ而相済

九月十二日　快晴

一深信院様御仏参無御滞相済候段御先払庄蔵新右衛門届出候

一京町大村屋源右衛門義去ル七日致出坂候処参り懸ケ播州金主方へ立寄懸ケ合候処内済相整滞銀壱貫三百目之処当時百五拾匁相渡残ハ五年賦ニ相払可申旨談極候処右百五拾匁さへ当時難差出依之右百五拾匁之証文ニ樫野屋茂一郎加判致させ相渡候筈ニ申極右証文

十六日迄ニ相廻候ハヽ、即刻致出坂十八日之御用日ニ大坂御番所へ御届申上候筈ニ申談置候旨届書弁書等差出候ニ付其段極人殿へ申上折節明晩仕廻御飛脚立候由ニ付右届書写大坂長沢清左衛門へ可相廻旨申上置候

一二町目福寿屋音右衛門義先月二日上京願差出候所今十五日計之日延願承届（廿九日又日延願）

一茅町池上流滴（ママ）家屋敷御払入札差出新左衛門藤四郎孫右衛門立合致開封候所茅町永岡屋久治弐百拾匁之入札高札ニ付同人江遣候様ニ申付候

九月十三日　曇

一御用日登城

一町中惣質屋共歎書差出当所質取定一ヶ年之約束ニ而も三ヶ年迄ハ流され不申仕来リニ相成甚金廻り悪敷致難義勿論三ヶ年之利分を積取候事故置主も却而迷惑ニも相成候義故以来ハ約束之通一ヶ年切ニ而流質ニ取計度歎書差出尤備前因幡等と承り合候所因州ハ一年切ニ流ニ取計備前ハ一ヶ年見合候由申来候書状差添出御用番中へ差出候（同廿八日不承届差戻候段申渡候）

一京町大村屋源右衛門届書昨日申上置候通大坂へ申遣候様御用番中被仰出其段大目附へも達置大坂長沢清左衛門へ今晩仕廻之御便ニ写相廻候

一国分寺村庄八義去ル三日綿入二ツ被盗取候触流取計候様大目附ゟ（同十七日聞之旨申出候）達有之町触取計本書ハ差戻候

一戸川町久米屋新七方へ先月廿三日三浦志摩守殿領分上市瀬村ゟ引受候菊義懐妊ニ御座候旨先月届落候由届書差出候

九月十四日　曇夜雨

一河原町小桜明神宵祭ニ付挑灯差出候段届出候

一牢舎人磯五郎療治明日ゟ中村易庵ニ申付候段届出候同廿五日休薬届出候

九月十五日　雨

一御蔵米五拾匁　町米四拾六匁

一鍛冶町宗道宮宵祭ニ付挑灯差出候段届出候

一伏見町小田屋伊平治御堀江足代下し候願大目附へ差出候

一林田町北側ニ而川島屋十兵衛家屋敷表口四間裏行拾七間但半役也東隣ハ鍵屋茂助西ハ横町通也右家屋敷代銀七百目ニ相極同町鍵屋茂助へ売渡度願書承り届同廿七日売券状差出

一林田町宇田屋和七井娘右家内弐人此度上田喜内長屋へ引越度願承り届

九月十六日　快晴

一先年三町目罷在弐歩中買相勤候若本屋十兵衛義先年居町払被仰付今以居所無之ニ付弐歩中買株仲ヶ間之もの共預り居候所此度右株を新魚町松屋為八江為相勤度旨弐歩中買惣仲ヶ間ゟ願出承り届

九月十七日　曇

一徳守宮宵祭ニ付明十八日夕内町八町関貫明ケ立番付置候段届出翌十八日御両所へ相届候

一右同断ニ付内町西町例歳之通挑灯差出候段届出承り置

九月十八日　曇

一御用日登城

一玉置卯左衛門義弟広助を備中笠岡胡屋小十郎方へ召連参度来ル廿一日出立十五日計逗留仕度願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申達候十月朔日帰

一御留主居河内志津馬ゟ返書致来造酒役米拾分一取立之義段々御並も有之候得共越前守様ニ而ハ甚困窮難取立候得共厳命之義昨年之分程ハ是非可取立候得共以後〳〵ハ難取立旨御届有之候間此方様ニ而も右御同様御届被成候御含ニ候段申来御届書写相廻り御用番中へ差出候

一大坂長沢清左衛門ゟも返書来大村屋源右衛門差出候旨被仰下候得共未致着候旨八日ニ遣候返書来ル

一於御用所大目附出席御用番ゟ左之通被仰渡候

林田村庄助義盗相働不届至極ニ付五十敲之上御領分追払被仰付候此段可被取計候

右ニ付郡代申談候上来ル廿五日可取計旨大目附へ相届置候

一御代官柘植又左衛門殿手附増井左門太手代内藤伍三右衛門ゟ例歳之通米相場書頼之書状御役人宛ニ而大坂御蔵屋敷ゟ相廻り大目附所ニ而開封候而被相渡宜取計候様被申聞候右ハ池田仙九郎殿跡役と相見へ候重役大坂御屋敷へ返書可相廻事

一大目附廻状到来左之通

来ル廿日被仰渡之義有之○候間四時御徒格已上登城可有之候

一徳守宮宵祭ニ付警固小頭藤四郎出番嘉七治三郎昼廻り利右衛門和四郎昼頃ゟ罷出候段届出候

一繰屋共又々船差支綿川下ケ出来不申差当三艘程差支候由ニ而船之義願出勘定奉行平井半平へ懸ケ合候所明朝壱艘猶又三四日ツ、過候而壱艘ツ、都合三艘可貸渡旨被申聞其段大年寄へ申達候

一京町大村屋源右衛門ゟ播州銀主方へ差遣候飛脚昨夜罷帰り今十八日大坂御番所江済口御届可仕旨談置候所播州筋出訴願下ケハ相手方連印ニ而差出候事故来ル廿三日御用日ニ可差出候間致同道可罷出候間夫迄ニ参り可申夫共作州辺ハ遠国御取扱ニ而当人江直ニ御達も無之御蔵屋敷ゟ御届有之相済来候義ニ候ハ、参候ニ不及候而申越候付此方ニ而者御屋敷ゟ御届有之済来候先格ニ付不罷出及可申遣哉と伺出候ニ付宜取計候様申達置其段御両所へ及御沙駄候

九月十九日　曇朝時雨夜雨雷

一徳守宮祭礼警固小頭藤四郎出番庄蔵新右衛門昼廻り嘉七幸治差出候所無別条相済戌ノ刻前引取其段御両所へ相届候尤先格之通弁当酒差遣候且又御徒目附藤田十兵衛下目附土井左市也昨十八日ハ御徒目附山本弥七郎下目附古川来助也

九月廿日　時雨

一被仰渡有之ニ付御徒格已上四時惣登城尤臨時御用日ニ相成申上候御用向無之三奉行御用所へ御呼出大目附月番出席ニ而御家老丹後殿ゟ被仰渡左之通

御勝手向必至之御差支ニ付無御拠今般格別之御省略被仰付候付御意之趣別紙之通申達候段御達有之御小性頭太田舎人御意之書面被読候処左之通

何茂存候通家格不相応之成箇ニ付何角不都合成事而已有之候所ゟ終ニ者勝手向不如意ニ相成勝ニ候然ル所御先代様思召を以厳敷御省略被仰出一先取続も致能振合ニ相成居候所家督以来三ヶ年之防火相続且又乗出前後事ニ多分之入用相懸り其上初入并婚姻打続無拠莫大之物入差重り候ニ付近年之処勝手向漸々ニ差詰上方筋借物弥相増別而去歳以来誠ニ必至之差閊ニ候乍然是迄之義者公務をはしめ何も無拠筋内へ可成丈勝手向種々遂勘弁致差繰取続来候得共此上ハ誠ニ術計ニ難及此儘ニ差置候而ハ公用も無覚来家中扶助も難相成程之次第ニ及候依之中々一通之省略筋ニ而ハいつ迄も上下安心之期も不相見候間家老共初精々遂相談候処何れ法外之省略いたし候外者無之ニ付何等ニ不限内外諸入用等迄及減少并厄介共暮方等も厳重ニ致省略令艱難候義ハ勿論ニ候得共家中引方等申付候義ハ先年ゟ引米も有之時節柄一統困窮之上ニも候得者此上之所者甚気之毒ニ存何卒取計方も可有之哉と種々令煩念候得共下地過分之借物有之上去歳之凶作旁以後々之取続容易之事ニ而ハ決而手段ニ可及様無之候心外之至ニ候得共不得止事当亥ノ十月ゟ去ル安永五年之通万端省略引方申付候呉々も気之毒不本意ニ存候得共誠ニ無余義事ニ候間年限中如何様ニも令艱難取続相勤候様偏ニ相頼候尤来ル丑ノ十月ゟ擬作無相違相渡候様可申付候

九月

右畢而左之通御書付大目付ゟ於役所被相渡候

覚

一御勝手方必至御差支ニ付不被得止事今般格段之御引米被仰出候義候間銘々随分致艱難両年之内如何様共取続御奉公相勤候心得専要ニ候尤家内人数多御擬作人別扶持ニも不相当類ハ其様子ニ寄御評義も可有之候取米人別扶持ニ相当候以上ハ難渋申立候而も決而御取上無之筋ニ候間兼而其段可被相心得事

一右之通被仰付候ニ付両年之内御家中生死有之節者相応少々之御手当可被仰付事

一御家中足軽中間ニ至迄病難有之節者薬礼上より御取計可被下候間暮ニ至服薬員数医師名面等可申出候事

但俗医針医之分并丸散人参代之類御貪(ママ)着無之事

一稽古場講釈場諸入用并稽古道具修覆(ママ)等共両年之内者従上御貪着無之候夫とも銘々心懸ケ致稽古候義者勝手次第之事

一作事方両年之内可相心尤差懸り格別無拠義少計之事ハ可取計事

一御厩御馬不残両年之内在中へ御預ケ如何様共飼置候様可申付事因是中間共割場中間打込ニ可相勤事

一諸御門之事左之通

一裏鉄御門〆切無番人

一裏下御門〆切無番人

一表鉄御門無番人

一冠木御門只今迄之通

一二階町御門冬中御蔵米納有之内昼分計通行但無泊番

右両所御家老両組御城代組打込相勤

一北口御門〆切

一宮川御門右同断

一京橋御門　田町御門

右両御門物頭六組ニ而可相勤

右何茂出火之節御城近火ニ候ハヽ只今迄之通相詰通行無滞様可取計事尤諸組とも臨時勤方者大目附差図次第為相勤可申事

一出火之儀縦御城下たり共遠方出火ニ候ハヽ罷出候ニ不及候御城近辺之節者是迄之通可相詰尤役筋ニ寄請持之場所向寄出火之節者勿論之事

一年頭八朔者格別五節句月並等不及廻勤事

一炭薪之義少々宛以割合被下置候事

一今般格段之御引米被仰付候ニ付御家中諸借物差引両年之内者米主へ断申置丑十月ニ至差引可取計事

一御年限中御家中渡り方之内安永五年之通十月壱歩通り其余月渡り之事

右之通十月朔日ゟ諸事相改候以上

九月

引方覚

一千五拾石ゟ七百五拾石迄　下地引方共七割半引

一五百石　同　七割弐歩引

一四百五拾石ゟ三百三拾石迄　右同　七割引

一三百石　同　六割八歩引

一弐百六拾石ゟ弐百石迄　同　六割半引

一百七拾石ゟ百六拾石迄　同　六割引

一百五拾石　同　五割引

一百四拾石ゟ百三拾石迄　同　五割五歩引

一百弐拾石ゟ百拾石迄　同　五割弐歩引

一百石ゟ七拾石迄　同　四割八歩引

但高百五拾石幼年半知七拾五石

一六拾五石ゟ六拾石迄　同　三割半引

一五拾石　同　四割半引

但高百石幼年半知五拾石　同　四割引

一高七拾五石幼年半知三拾七石五斗同　弐割半引

一四拾五俵　同　弐割半引

一四拾俵　同　三割半引

一三拾七俵　同　三割引

一三拾五俵　三拾四俵　同　弐割八歩引

一三拾壱俵　同　弐割七歩引

一弐拾八俵　同　弐割半引

一拾五人扶持　同　弐割三歩引

一拾人扶持　同　五割半引

一高拾五人扶持幼年半知七人半扶持同　四割四歩引

一七人扶持　同　三割引

一高拾人扶持幼年半知五人扶持同　弐割八歩引

一諸下代足軽擬作半減　中間給米御引上　弐割三歩引

江戸京大坂井詰江戸引方

一千石　同　七割引

一三百七拾石ゟ三百石迄　同　六割半引

一弐百拾石　同　六割引

一百六拾石ゟ百五拾石迄　同　五割六歩引

一百四拾石　同　五割四歩引

一百三拾石　同　五割弐歩引

一百弐拾石　同　五割引

一百石ゟ七拾石迄　同　四割半引

一五拾石　同　四割引

一三拾三俵四人扶持　同　四割弐歩引

一四拾五俵　同　三割半引

一四拾俵　同　三割引

一三拾七俵　同　弐割八歩引

一三拾四俵　同　弐割七歩引

一拾八俵弐人半扶持　同　弐割半引

一三拾壱俵　同　右同

一弐拾人扶持　同　四割七歩引

一拾五人扶持　同　四割半引

一拾人扶持　同　四割引

一師役被下米不残引

一東西部屋住勤御擬作　六割引

但江戸詰之面々　五割引

一東西御役料井書役三歩弐引

但是迄役高ニ而被下候分ハ左之通被下

四拾六俵高　御奏者番

四拾四俵高　大目附

四拾俵高　勘定奉行
地方引受

三拾七俵高　物頭

三拾六俵高　御使番

三拾四俵高　寺社取次
大番組頭
御蔵奉行
銀札場奉行
中奥目附
御作事惣呑込

三拾三俵高　御蔵目附
御代官

三拾弐俵高　御祐筆

一東西付人不残引

但御家老御城代御年寄付人江戸三歩弐渡津山三歩一渡被下之

一御近習御手当三歩弐引

一寺社御寄附米東西共五割引

但三ヶ寺井妙法寺三分壱引

左之通黒田要人殿御申之由演達書大目附ゟ被相渡候
厳敷御省略ニ付場合不相応之勤向被仰付候義も可有之候尤兼
而右之趣被仰出候得共御年限中猶以其旨相心得可罷在候
右ニ付左之もの共呼出立会例之通ニ而左之通夫々申渡
同心組　拾人
牢番足軽　弐人
三軒屋番　弐人
御年限中御擬作半減被仰付候
大年寄　三人
札元　七人
久山勘八
宮田喜左衛門
御年限中御擬作不残御引上ケ被成候
木屋太兵衛　同忰定吉
中川五左衛門
畑勘平
稲実屋義七郎
美濃出屋清右衛門
屋根屋棟梁嘉兵衛
右之通諸吟味迄ハ於座敷申渡之太兵衛已下ハ於小座敷申渡之屋根
屋へハ大手寄申渡候様申付ル右申渡相済候段御両所へ相届候
一種油四匁壱分売之処四匁三分売仕度届出承り届
一加人御使組加藤新右衛門代り三森八十吉来
九月廿一日　曇
一奈良今井町墨屋伊兵衛手代源助一人例年之通墨筆白粉売来候段京
町美濃屋平五郎宿切手指出翌子二月五日帰
一米中買綿屋佐助病死届出候
一大目附ゟ昨日左之通達有之候
先年之御年限中ハ諸役所火鉢不被下候得共此度ハ被下置候
一牢舎人岩右衛門義致休薬候段双方ゟ届出候
九月廿二日　晴風
一大坂豊島町油屋新兵衛ゟ当所西今町直屋市郎左衛門へ相懸り油売
懸ケ代五百九拾四匁八分四厘差滞御番所へ致出訴候由御留主居御
呼出六十日限済方被仰付訴状御渡被成候旨大坂御留主居ゟ申来候
段大目附ゟ御達有之依之孫右衛門喜左衛門藤四郎庄蔵立合呼出左
之通申渡右取計済御両所へ相届候大坂へハ明晩便ニ可申遣候
大坂豊島町油屋新兵衛ゟ油売　西今町直屋市郎左衛門
懸ケ五百九拾四匁八分四厘差　煩代　宮脇町武田屋録郎兵衛
滞御番所へ致出訴候ニ付六十
日限滞方被仰付候間早々相済
可申若又申分も有之候ハヽ
早々致出坂可申披候
一桶屋町孤独新兵衛後家さん母病気差重り候趣届出部屋目付庄蔵見
分ニ差遣候処不束之義も無之旨見分一札并医師容躰書取差出候所
無程落命之旨大年寄ゟ届出勝手次第葬取計候様申付候尤明日出仕
之上可及御沙駄候
一江原文蔵今日ゟ出勤ニ付加人三森八十吉差戻其旨大目附へ相届候
一同心組小頭月番相勤候四人之ものハ部屋目附場合之ものニ付月番

相勤候間ハ平組之上席いたし候様去ル十九日申渡候

一因州岩井郡暗見村禅休と申道心者四国遍路ニ罷出当国久米南条郡福渡村ニ而歩行不相叶同村ゟ送り出古城村へ送り来候段郡代所ゟ通用有之継送り候様大年寄へ申付候

一御省略ニ付足軽一統へ御擬作半減被下申達候所御給米計御引被成候而半減ニ相当り組中間ハ同様御給米不残御引上ケニ相成候事ニ候由然ル所三軒屋番ハ御給米七俵故御扶持方之内をも被引取候事哉と大目付へ相尋候所三軒屋番も御給米計御引取被成候由被聞候ニ付其段申達候様小頭へ申付候猶又勘定奉行平井半平へ承り候所右之類間々有之弐人扶持以下之ものハ御給米計被引取弐人扶持余之ものハ扶持米をも足し半減ニ相成候由申聞候

九月廿三日　曇夜雨

一御用日登城

一桶屋町孤独かね病死之義御両所へ及御沙駄勘定奉行へも及通達候

一関備前守殿領分備中阿賀郡水田五明村徳兵衛弟与左衛門并母右二人戸川町播磨屋七左衛門引受度人別入願例之通取計済十月三日住宅証文差出

一御飛脚仕廻ニ付西今町直屋市郎左衛門へ懸り出訴申渡候段大坂長沢清左衛門へ申遣候

一御代官柘植又左衛門殿手代ゟ米相場書頼越候返書大坂長沢清左衛門へ頼遣

一江戸御留主居河内志津馬ゟ先日迄酒役米納御届候義郡代連名ニ而来候ニ付郡代所ゟ返書取計候

一御年限御省略被仰出御意書并御取計書共下方へ拝見為仕候様大目附ゟ達有之候由郡代所ゟ演達有之候ニ付不残大年寄へ相渡候

一今夕秋葉宵祭明後夕関守宵祭ニ付例年之通西今町焼灯出候段大年寄届出候

九月廿四日　雨

九月廿五日　晴晩時雨

一於牢屋御徒目附山本弥七郎下目附古川来助小頭藤四郎部屋目附庄蔵郡代所足軽木村左吉岩佐文治真北岩蔵立合左之通取計之但郡代所下代申渡之

所々盗相働不届至極ニ付五十敲之上　盗賊林田村庄助

御領分追払申付候

右ハ郡代所人別之ものニ付申渡追払共郡代所取計也依之出番不差出敲相済候段御両所江相届候勿論昨日牢屋手配申付置候事

右庄助ゟ盗物資ニ取或取次候ニ付　東新町佐伯屋与三兵衛

代物損失申付取上候　同町　松屋吉兵衛

追而松屋ゟ差出候単物一袷壱ハ　中之町坂原ヤ甚兵衛後家庄助所持之品之由郡代所ゟ戻候

付吉兵衛へ相渡候

右取上候品郡代所へ相廻候○但廿七日相廻し受取書取置

一伏見町玉屋源太郎借屋家守林兵衛借屋住作人周蔵義当四月一ノ宮市町江出商売いたし其場ゟ出奔仕行衛(ママ)不相知候段届出百日尋申付候甲子正月十三日除帳

九月廿六日　晴

一御代官竹内要左衛門大久保正三郎ゟ例歳之通御年貢取立ニ町方へ入込候付不埒有之候ハヽ手錠等申付候義可有之旨案内手紙来

一新魚町魚屋庄右衛門借屋住児島屋久太郎義出奔いたし六月十二日百日尋申付候処最早百日余ニも相成候得共行衛(マヽ)不相知候ニ付今五十日之日延願差出承り届十二月八日除帳

一牢浚昨廿五日申付候所無別条旨利右衛門和四郎届出候昨日認落候ニ付爰ニ記

九月廿七日　快晴

一鍛冶町山形屋与治兵衛義大坂大川町和泉屋六兵衛方へ廿五日計之逗留ニ而明廿八日出立願承り届十月十九日帰

一材木町南側ニ而河内屋武兵衛家屋敷表口五間半裏行拾七間但本役也西隣ハ村本屋伊兵衛東隣ハ三家屋猪太郎也右家屋敷質物ニ書入当亥ノ十月ゟ来子十一月切壱ヶ月壱歩半之利足ニ定伏見町小田屋伊平次取次ニ而銀札八百目借受度願承り届十月三日証文差出文化六巳年八月元利返済受戻し届出ス

九月廿八日　曇時雨

一御用日登城申上候御用向無之

一町方惣質屋共流質ニ相成候而三ヶ年之間囲置候義相止度願去ル十三日御用番中へ差出置候処右願之趣ニ而双方共可宜筋哉ニ付差出置候処今般御年限被仰出候付質物受返し候義不相成御家中へハ甚迷惑之筋ニも可相当井町方之もの共も余り不好風聞ニも相聞候付今般之御省略被仰出ニ付而ハ差障も可相成哉ニも相聞候付先爰ニ而ハ差戻置猶又宜筋ニも候ハヽ追而御年限明之節差出候様可申付哉と此間御宅へ罷越申上候処其通取計候様被仰出願書御下ケ被成候付其旨申達大年寄へ差戻候

一昨年質素之風俗厳重被仰出其節ハゞり候様ニ相見へ候所此節甚甘之候様相聞候間急度相慎候様可申付旨於別席御用番中へ相伺候所其段ハ先日大目附へ相達置候義ニ而今般之御省略之趣下通り為聞依之尚以已来奢侈之風俗致間敷旨市郷共へ相達置候間其通宜取計候様被仰出候付大年寄共へ町々年寄呼出し今明日之内左之通申渡候様ニ申達ス

今般別紙御意御書付之通格別之　惣町年寄共へ

御省略御家中へ被仰出候ニ付町家之もの共昨年被仰出候通弥堅相守少も奢侈之義仕間敷如何ニも質素相守候様被仰出候尤衣服等奢侈之もの見当候ハヽ早々申出候様今般ハ分而厳敷同心組へも被仰付候間何茂其段相弁不埒無之様ニ急度可申付候

右ニ付同心組へも見当次第無用捨見咎届出候様申渡候

一御年限中同心組召仕方井取扱之義先日大目附へ伺書差出置候所伺之通左之趣被仰出候段附紙を以御聞届被成候

一同心組昼夜之町廻り御年限相止不時廻り可申付旨相伺候所昼夜之内見計壱度ツヽ相廻り候様被仰付候

一牢屋ニ而取計もの有之節御徒目附初組之者へ酒差出来候所伺之通御年限中ハ勿論此義ハ已来共相止候様被仰出候

一徳守宮祭礼之砌警固之ものへ当役ゟ弁当酒差遣来候所御年限中相止度旨相伺候所以来共自分弁当被仰付候段被仰出候

一一ノ宮市町警固出役之ものへ当役ゟ弁当代遣来候所昼扶持被

下候事故以来自分弁当可申付哉と相伺候所伺之通以来自分弁当ニ申付候様被仰出候

但此ヶ条ハ先日伺書ニ認落候ニ付今日相認赤見類助へ申達候所如何ニも其通ニ而宜候間伺済之趣ニ取計候様申聞候

右ニ付同心組江左之通御年限中之勤書相渡候　○右之通御徒目附へ大目附ゟ達も有之筈者殺も山本嘉四郎へ有之段於御城及挨拶候

一昼夜廻之義御年限中ハ昼夜之内見計壱度ツヽ差出候様被仰出候事

一小頭役所詰差免候

一惣而出役之もの壱人江昼弐合五勺夜弐合五勺ツヽ昼扶持被下之候尤昼後ゟ出役いたし夜ニ入候共其分ハ弐合五勺ツヽ被下之候事

一役所当番并惣出役自分弁当但徳守宮祭礼当日弁当ハ以後共自分弁当被仰出候

但町方之義ハ是迄之通

一役所夜中有明行灯御用向無之節ハ五ツ時限しめし可申事

一御仕置取計之節牢屋ニおゐて酒差出候義以来相止候様被仰出候事

亥九月廿八日

一御年限中ハ先格之通町奉行諸出役并出火之節共ニ草履取壱人御貸渡被下候段大目附ゟ達有之候且又出火并洪水出役之節ハ挟箱持不被下旨赤見ゟ演達有之三浦へも申達候

一於御用所御用番御年寄左之通申渡之大目附出席

山東村伝蔵義干稲盗取不届至極　町奉行へ

ニ付百敲之上御領分追払被仰付候此段可被申渡候

右ニ付郡代申合来月五日可取計旨大目附へ届置候

一久世手代曽根源次郎榎元宗八飯沼才二郎ゟ米相場書之義例歳之通頼来及相答候

一橋本町西側ニ而作人長助家屋敷表口弐間裏行拾五間但四歩役也北隣ハ山形屋喜八南隣者売主作人長助居宅也右家屋敷代銀弐百七拾匁ニ相極隣家山形屋喜八へ売渡度願差出承り届十月五日売券状差出

一深信院様例月十三日御仏参有之候処御年限中ハ十三日ハ御証月計御仏参有之候段種村登門ゟ案内有之候（前藩主康哉との間に生まれた仙千代（秋香院・藩主康又の兄）の祥月命日が八月十三日）

九月廿九日　晴

一関貫番賃銀例月之通当番ゟ為相渡候

一茅町南側ニ而池上流滴家屋敷表口五間裏行拾七間但弐歩役也西隣ハ吹屋甚兵衛東隣者今出屋庄助也右家屋敷今般御取上ケ入札払ニ相成同町永岡屋久治弐百拾匁落札ニ而買取買券状差出則代銀受取置候

一二町目福寿屋音右衛門義去月三日上京相願去ル十日日延願いたし候所尚又廿五日計之日延願差出承り届十月廿八日帰

十月　大

月番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　海老原極人殿
大目附　佐々木主馬
大年寄　玉置源五兵衛
諸吟味　宮田喜左衛門

十月朔壬戌旦　快晴

一御省略中大年寄諸吟味式日罷出候義相止
一同心組小頭月番本島庄蔵
一大目附廻状到来左之通
今般御省略被仰出候ニ付当十月ゟ来ル丑九月迄両年之間諸御礼式左之通被仰出候
御在城
正月元日
御用所檜之間之面々始其外御家中御徒格已上有役無役共五時揃登城左之通御礼被為請
柳之間御定之御畳目ニ而　有役無役共　御家老　御中老　大年寄
御目見被仰付
御熨斗被下之
右独礼御家老御取合申上之
紫陽花之間東御縁　右同断　御奏者番以下
座敷御定之御畳目ニ而　御使番格迄
御目見被仰付
右独礼御奏者番名披露之
松之間群居　右同断　番外以下
御目見被仰付　小従人組迄
松之間南御縁座敷群居　右同断　大役人
御目見
金鷲之間群居御通懸ケ　右同断　月並小役人
御目見　小役人
焚火之間群居御通懸　右同断　御徒目附
御目見　御徒
御徒格
右何茂御奏者番披露之
正月三日
一御家中隠居之面々御省略中御見無之
一大年寄大庄屋札元町医師御用達町人等右同断
一御謡初御規式御省略中相止
正月六日
一寺社之面々御省略中御目見無之
正月七日
一若菜御祝儀申上御省略中相止
正月十六日
一御具足御祝儀御用所始其外御徒格以上五時登城御祝被下新御礼式之通
但御目見無之

一五節句八朔御用所始其外御徒格已上五半時登城御目見無之
御祝義申上謁方例之通
一朔望廿八日諸士登城相止
三月
一御発駕前之御目見新御礼式御定之通
但隠居之面々御目見無之
一御発駕前日御家老御中老御年寄有役無役ハ御奏者番大目附
三奉行新御礼式御定之通御目見被仰付
但御手熨斗被下相止
一御発駕御城着御当日諸士登城新御礼式御定之通
但十六歳已上次男三男登城相止
一御城着後御目見新御礼式之通
但隠居之面々御目見無之
十月
一玄猪御祝被下御省略中相止
十一月朔日
一御吉事日ニ付御用所檜之間之面々其外御譜代之面々四時登
城御祝義申上謁ニ相成
但御省略中被下物無之
一暑寒伺御機嫌新御礼式御定之通
但四時登城
十二月廿八日
一歳暮御祝義ニ付御用所檜之間之面々ハ御奏者番大目附三奉
行四時登城御祝義申上謁ニ相成
御留守年
正月元日
一御用所始其外御徒格已上五時登城年頭御祝義申上新御礼式
御定之通
正月七日
一若菜御祝義相止
正月十六日
一御具足御祝義御在国年之通
一五節句諸士登城相止
一八朔御用所始其外御徒格以上五半時登城謁方例之通
十一月朔日
一御吉事日御在国年之通
一暑寒伺御機嫌御在国年之通
十二月廿八日
一歳暮御祝義登城無之
一家督番代役義役替格昇進等諸御礼被為受候義ハ是迄之通
但御省略中差上物無之
一今般御省略ニ付勤向被成御免候部屋住之面々諸御礼ハ伺御
機嫌等是迄之通相心得登城可有之候
右之趣同役同列組合ハ支配方へも可被相達候已上
九月廿九日　上原彦蔵
赤見類助

佐々木主馬
太田舎人

一大目附廻状到来左之通
御家中之面々御代々様御仏詣之義御省略御年限中御証日者格別毎月不及御仏詣候
九月廿九日　大目附

一大目附廻状到来左之通
今般被仰出候通両年被下之炭於御用屋敷是迄之定日通薪代者下勘定所ニ而毎月三八夫々掛リ御役人ゟ相渡候之間可被申談候
九月廿九日　大目附

十月二日　快晴

一御蔵米五拾三匁　町米四拾九匁
一鍛冶町鍛冶頭又市郎義市郎右衛門と改号願承り届
一二町目松田屋五郎左衛門父片山孫市義七ヶ年以前巳ノ九月十日栗田辰右衛門へ出入奉公仕御蔵下代見習相勤除帳仕候処今般御省略ニ付御暇被下候付帰住願承り届
一徳守宮祭礼当日役筋ゟ警固弁当酒差出来候所今般御年限中可相止旨伺候所右ハ御年限明候而も以来自分弁当被仰付ニ而赤見類助ゟ昨日達有之候
一南新座町御藪之内ニ烏散成もの臥居候付見咎候処早速逃去り得召捕不申右跡ニ古羽織様之もの并古莚等相見へ候段目明孫兵衛申出大目附へ申達ス尤大目附ゟ見分可有之ニ付其内非人番付置候様大年寄へ申達ス

十月三日　雨

一御用日登城申上候御用向無之
一牢舎人野介代村作兵衛義上賄被仰付候旨大目附ゟ達有之猶又郡代所ゟ申来同五日昼ゟ上賄申付ル
一牢舎扶持仕切証文指出并内貸弐俵之証文右両通奥書印形取計尤右ニ而壱斗壱升五合十一月へ持越候積也
一御払米正銀五拾四匁五分四厘　落札　高瀬屋勘右衛門
町米正銀五拾匁五分四厘
一御蔵米五拾三匁　町米四拾九匁
一元魚町縫屋清助方へ昨夜九ツ半時ゟ七ツ半時分迄之内裏座敷やね越ニ盗賊這入売溜銀札七八拾匁計被盗取候段届書差出御用番中へ紙面ニ而差出候目明ゟも届出極而熊と申もの二而可有之哉と申出候付急ニ召捕候様申付ル

十月四日　快晴

一町方も昨年来甚衰微寝食を安し兼居候所当秋八在方豊作八木下直ニ相成綿も余程入込且又御貸付も余程出候趣ニ而綿質等之差支も無之趣ニ相聞町方少ハ色を直し候様子ニ相見へ軽きもの共食ニ有付候様ニ申少悦候趣ニ相見へ候段蔵合孫左衛門認出候ニ付御用番中へ差出上ニも殊之外御心配被遊候趣ニ而先頃も御尋も有之上原彦蔵へ差出候義も有之候間此趣重便江戸表へ申上候而も可然哉と申上置候
一真加部村幸太郎一ノ宮村和兵衛ゟ先達而久世一件之為答礼二階町

塗師虎吉へ肴一種相送リ候由新左衛門へ申出候由同人ゟ申聞候

十月五日　（ママ・書漏れ）

一於牢屋御徒目附仮役坂井万平下目附安井網治小頭庄蔵部屋目附藤四郎郡代下代作介立合下代ゟ左之通申渡之追払も郡代足軽相勤之右取計済御両所へ相届候

千稲盗取不届ニ付百敲之上　山東村　伝蔵

御領分追払

一西今町永延屋彦右衛門方へ昨昼後下原村弥市と申もの来足袋調懸ケ候処へ二ノ宮村長吉と申もの参りばんぞういたし候と申彼是申候内及口論長吉義泥わらしニ而座敷へ上り及狼藉候ニ付引おろし候処打擲ニ逢呼吸ニ懸り歩行不相成と申膏薬抔取寄大分付甚どうたれ居候所へ朋友組合之由安治藤三郎千助と申もの三人来供々ゆすり懸ケ取ものハ六ヶ敷申下方ニ而難相済旨届出勿論本主下原村弥市ハ即刻罷帰候旨届出郡代所へ懸ケ合立合吟味可然哉ニも存候得共左程之義ニ而も有之間敷哉ニ付昨夜四時過夜廻リ藤四郎和四郎差向候所勿論打擲ハ不存旨疵所も無之処痛強難勤駕籠ニ而も申付候様ニ申甚とうたれ不届至極之様子ニ付彼是叱居候内右長吉俄ニ逃去り候故組合并宿之もの供々近辺相尋候得共見へ不申組合ハ矢張相詰居候由藤四郎和四郎九時過罷帰リ相届候付逃去リ候ハヽ夫切之事ニ而可有之組合不引取候ハヽ猶又罷越追而吟味可有之候間名面承り糺為引取候様申含差遣候所最早組合之ものも引取候処右長吉親太助夫婦忰太吉三人罷越し長吉義致喧哢逃去リ候由尋出し相返候様ニ宿彦右衛門へ申懸ケ逆ねたりいたし候付双方ゟ御吟味可有之ニ付引取候様同心組ゟ申付引取セ候由今暁七時過罷帰り相届候付其段郡代所へ申遣御吟味有之候様申遣置候然所長吉義宿へ不罷帰候ニ付尋申付置候段郡代所ゟ申来

一牢舎人作兵衛郡代所ゟ呼出申来昼廻幸治和四郎出入取計之尤今昼ゟ牢賄申付ル

一新魚町野田屋六郎左衛門義病気付町作庄屋役指免同人忰孫三郎へ跡役申付候段御代官竹内要左衛門ゟ案内手紙来

一西川役人平沢助八大谷代蔵ゟ米相場書例年之通頼来及相答

一斎藤孫右衛門義土居三郎平方へ八日計逗留ニ而罷越度旨先格之通同役源五兵衛ゟ口上ニ而願出承リ届ル同十二日帰

一東新町槙木屋理助娘りせ義御領分大田村九郎左衛門忰久米蔵妻ニ差遣度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一御払米正銀五拾三匁七分四厘　落札高瀬屋勘右衛門

町米正銀四拾九匁七分四厘

一御蔵米五拾三匁　町米四拾九匁

十月六日　曇夜雨

一二ノ宮村長吉義一昨夕西今町永延屋方ニ而致狼藉逃去り候処立帰り候ニ付可差出候間吟味取計候様郡代所ゟ申来候所永延屋方趣意承り候所当座之口論夫切之事ニ而強而申立候程之趣意ハ無之旨申出候付其段郡代所へ申遣在方之もの組合迄も趣意有之候様子ニ候ハヽ双方呼出可相糺候得共是以同様之義ニも候ハヽ双方共不慎之段叱置候而も可相済程之義ニ者有之間敷哉と郡代所へ申遣候処同意之趣ニ而双方共大年寄大庄屋場合ニ而不慎不埒之段叱置以来何

等之義を申出候而茂取上ケ間敷候間其旨取計候様申来候付其段大年寄共へ申達以来相慎候様可申付旨申達ス

一安藤丹後殿ゟ使ニ而家来長谷川此右衛門義町住相止屋敷へ今日ゟ引取候段案内有之

一東新町高原屋武兵衛義摂州能勢郡妙見宮江参詣三十日計之逗留ニ而明七日出立之願大年寄承り届差出

十月七日　晴

一勢州朝熊岳明玉院使僧休可坊儀忠坊悦忠坊宝蔵坊上下八人例年之通来候段新魚町三沢屋与八郎宿切手差出子三月十日罷帰

十月八日　晴

一御用日登城

一豆腐直段十八文売之処大豆四拾五匁ニ下落仕候付以来拾六文売ニ可仕届書御用番御聞済ニ付大目附へ差出但手間代拾挺ニ付三分四厘

一京町畳屋伊兵衛借屋住勘兵衛并忰久米吉右家内二人京都柳之馬場通り仏光寺前西へ入所日野屋久五郎方へ引越度願右同断取計済

一御用番中ゟ左之通被仰渡即刻大年寄へ申達置候

孤独扶持頂戴之もの病気見分有之候処御省略中見分不被指出候間大年寄場合ニ而鹿抹無(ママ)之行届候様可心付旨可申付旨被仰付候

一蔵合孫左衛門ゟ去ル四日差出候町方之様子伺之通上原彦蔵へ申談江戸表へ申上候様御用番中ゟ被仰出則添書いたし上原彦蔵へ差出候

一下横野村才之助方へ去ル二日盗賊入込衣類七品代銀ニ積六拾五匁計之もの被盗取候触流し取計候様大目附ゟ達有之町触取本書ハ指戻候同十七日町方無之旨申出ル

一上紺屋町奈原屋久兵衛義先達而揚豆腐安売いたし候所仲ヶ間ゟ差留候由并西新町勘十郎と申もの温飩安売いたし候所仲ヶ間ゟ差留候由甚風義悪敷義ニ付外々諸商売之ものへ為見示右両人呼出不苦義ニ付勝手次第安売致出精候様ニ可申付旨九月十八日要人殿へ伺置所候今日御同人ゟ伺之通宜取計候様被仰出依之即日呼出候所久兵衛義近在へ罷越候由ニ付帰次第可申達事

一河内志津馬へ郡代連名ニ而造酒屋役米御届之義及返書候但事相済候事ニ而不及返書義也

一御払米正銀五拾三匁四歩三厘　落札　甲屋幸助

町米正銀四拾九匁四歩三厘

一御蔵米五拾三匁　町米四拾九匁

十月九日　晴

一木知ヶ原役人江見雄之丞ゟ書状差越木知ヶ原地名之義下方依願吉ヶ原と致改名候段為知申越及相答置御両所へ相届候但吉ヶ原役人江者先役ゟ之文通例致啓達候弥無御別条或御堅固珍重存候申文例也

一上紺屋町奈原屋久兵衛昨夜罷帰候段申出候付今九時過ゟ呼出新左衛門庄蔵藤四郎源五兵衛喜左衛門立会左之通申渡之

先達而揚豆腐到安売候処彼是申　上紺屋町奈原屋久兵衛もの有之相止候由安売之義ハ少も不苦義商売筋奇特之事ニ候以来も致出精如何ニも安売いたし売勝候様可致候

右申渡相済候段御両所へ相届候且又西新町勘十郎義ハ町方人別入懸ケ合中ニ而未聞届無之当時林田上之町ニ罷在候由ニ付申渡差延置候

一中之町玉置卯左衛門所持之他国受酒株去戌九月廿六日安岡町鶴屋茂兵衛借リ受候所猶又子ノ九月迄借受度追願承リ届

十月十日　雨

一大坂長沢清左衛門ゟ去ル六日之返書到来京町大村屋源右衛門滞銀致内済相済候段御番所江届相済候由并西今町直屋市郎左衛門へ滞銀済方六十日限申渡相済候段御両所へ御届相済候由申来御用番中へ差出候

一右同人ゟ去ル六日書状郡代連名ニ而到来先達而致内済候大坂大和屋弥三郎ゟ当所市郷拾壱人之ものへ相懸リ滞銀残金拾両八月晦日切之処不相廻候付呼出差戻候様被仰付被下候様弥三郎ゟ御屋敷江願出候願書写相廻リ郡代所へ相廻候伺之上追而一緒ニ可申付事

一京町田原屋伊兵衛義因州鳥取川端町三町目独活屋喜左衛門方へ三十五日計之逗留ニ而明十一日出立願大年寄承リ届差出十一月廿七日帰

一御払米正銀五拾三匁四分六厘　落札小倉屋茂兵衛　町米正銀四拾九匁四分六厘

一御蔵米五拾三匁五分　町米四拾九匁五分

十月十一日　晴

一大坂長沢清左衛門ゟ昨日申来候滞残銀出訴左之もの共申付候様大年寄へ申渡

大坂大和屋弥三郎へ滞金払残金拾両　西今町　松田屋佐助
八月晦日迄之返済之処不相済候段御　安岡町　山田屋新七
屋敷江致出訴候段御留主居ゟ申来候　同町　小倉屋卯吉
間六十日限急度返済可致候　茅町　浅田屋松之助

右大坂ゟ申来趣ハ昨日郡代ゟ届有之候ニ付今日六十日限郡代申談申付候段御両所へ相届候

一三町目太刀屋久治方へ一昨九日夕盗賊這入脇差壱腰銀札五六拾匁被盗取候届書指出候明後日及御沙駄候上町触可取計候同廿二日町方ニ無之旨届出候

十月十二日　晴

一小頭御給米之割合八升被下置候付四人配分仕候段御礼罷出候

一目明孫兵衛申出候者昨夜も坪井町沢野屋へ盗賊這入候所何も盗取ハ不致候所全元吹屋町熊吉仕業と相見へ候間今夕非人六組召連忍廻り仕是非召捕度旨小頭を以伺出承り届

一材木町北側ニ而材木屋八百吉所持之家屋敷表口四間裏行拾四間御堀切但半役也東隣ハ車屋鉄五郎西隣ハ桶屋忠右衛門也右家屋敷代銀四百目ニ相極町内三栗屋与三兵衛へ売渡度願承り届翌十三日売券状差出

一下紺屋町作人熊吉ゟ安藤丹後殿家来長谷川此右衛門同居仕居候所此度御屋敷内江引越候段届書差出尤安藤ゟハ六日ニ申来

一材木町山城屋重右衛門借屋住恵宝屋彦兵衛義去月廿一日罷出不罷帰打寄相尋候所行衛(ママ)不相知候段届出候ニ付百日尋申付ル子正月廿三日除帳

一盗賊元吹屋町熊吉義弓削之方へ参候を見懸ケ候もの有之由ニ而目明弥吉ニ非人差添可遣哉と孫兵衛申出承り届入用弐拾匁孫右衛門取替候様庄蔵へ申達即刻出立申付翌十三日出仕之上御両所へ相届候

十月十三日　快晴

一御用日登城

一三丁目太刀屋久治方へ盗賊這入候義申上町触伺済ニ而取計大目附へも申達候

一坪井町沢野屋伝六方へ一昨十一日夕盗賊這入候処紛失もの無之届書差出今朝口達ニ而申上候故願書ハ不差出

一御払米正銀五拾三匁六分　落札住屋五兵衛　町米正銀四拾九匁六分

一御蔵米五拾四匁　町米五拾匁

一大神楽岡田忠太夫来候段大年寄届出翌十四日大目附へ相届候同廿一日罷帰ル

十月十四日　快晴

一下高倉村庄屋与林田町岩佐屋善七忰鉄治喧嘩入用之義ニ付同町年寄へ申越答書先達而遣置候所猶又再答書郡代所与相廻り候ニ付猶又再答書申付候

一河内志津馬与質地聞合之義委細伴左衛門へ申含越候旨返書来

十月十五日　雨

一南新座町臭橘摘直し致出来候段喜左衛門届出候

一盗賊熊吉召捕ニ差遣候目明未罷帰候処昨夜も吹屋町ニ而屋根つたい候ニ而いたし候由ニ而隣町迄騒候由ニ付目明孫兵衛呼出急ニ召捕候様申付候所非人三人召連夜廻り可仕旨申出承置翌十六日御用番井大目附へ相届候

一元魚町（朱点）福永屋宇三郎借屋住江見屋折助忰伝治義平井半平へ出入奉公差出候付人別除願勿論父折助方ニ同居仕度願半平与も案内有之ニ付承り届同十二月廿八日暇遣候案内有之（翌年正月廿五日帰住願差出）

十月十六日　快晴

一目明弥吉義去ル十二日盗賊熊吉召捕ニ弓削之方へ差遣候所今夕罷帰り段々足も付岡山与宮内之方迄尋廻り候所宮内ニ而行衛（ママ）不相知候様ニ相成候ニ付罷帰候段届出候

十月十七日　快晴

十月十八日　快晴

一御用日登城

一大久保安芸守殿領分当国久米北条郡神代村林太娘民義材木町材木屋佐助妻ニ引受度人別入願例之通取計済十一月朔日住宅証文差出

一久世手代曽根源次郎榎本宗八飯沼才次郎与飛札指越先達而引合吟味ニ相成候奥津盗人太左衛門義御下知被仰出来ル廿八日取計候間右引合之質物致取次候桶屋町長治井質取候もの新魚町村元屋太四郎質物持参町役井立会役人差添差出候様申来即刻御用番中へ相伺左之通申渡大目附へも相届候

此両人大年寄へ申渡候様申達　（桶屋町広瀬屋長治　新魚町村元屋太四郎）

御用番中へ伺之上大目附　右差添　遠藤和四郎

へ相届置申渡候　　右立会　大脇新左衛門

一大目附御勝手懸リ上原彦蔵ゟ左之通達有之候ニ付大年寄へ申渡候

御省略ニ付人馬問屋井御蔵元御擬作先格之通半減被仰付候此段同人調落ニ付今日申達候

一大目附月番佐々木主馬ゟ左之通御書付を以達有之小頭へ申渡候

御年限中諸組勤日被下米之事　　町奉行へ

一昼夜相勤候得者壱人扶持終日相勤候得者半扶持ツ、被下之

一諸組小頭者毎月六才半扶持ツ、被下之

一諸組一役相勤候得者不拘長短其日之勤米被下之

一一ノ宮里下組多市下人部屋へ盗人這入去月廿六日夕衣類四品代ニ積リ三拾七匁計之もの被盗取触流大目附ゟ達有之町触取計本書ハ差戻候同廿五日町方無之旨届出候

一公儀御触左之通大目附廻状到来組中町中へ相触候

先達而御男子様御誕生被為在候処思召有之候ニ付表向御弘メ者不被仰出候御名之義ハ松平時之助殿と奉称候尤右ニ付都而表向御祝儀等申上ニ者不及旨被仰出候

（将軍徳川家斉の子八月朔日出生）

右之趣従公儀被仰出候ニ付相触可申段被仰出候尤御名ニ差合候名有之面々者名相改可申旨是又被仰出候

一御払米　正銀五拾三匁壱分五厘　落札甲屋幸助　町米正銀四拾九匁壱分五厘

一御蔵米五拾四匁　町米五拾匁

十月十九日　快晴

一雲州杵築多久十太夫上下三人例年之通来候段新職人町松の屋十右衛門宿切手指出十二月十七日帰

一下紺屋町長江朝庵義因州若桜ニ而近江屋周助方へ四十日計之逗留ニ而明後廿一日出立願大年寄承り届指出十二月五日帰

十月廿日　快晴

一郡代所ゟ郷中豆腐屋十二人申付其余者不残差留候由尤追而名面書可差越旨申来候

十月廿一日　曇

十月廿二日　暁少雨晴

一御蔵米五拾三匁　町米四拾九匁

一茅町孤独幸吉母義去ル十六日病気差重り候段申出候ニ付大保頭差遣毎度心を付見改候処少々快気ニ趣候由猶又今日大年寄届出候

一桶屋町桶屋伊助母義当三月廿二日関東廿四拝二百日計之逗留ニ而罷出候所今七十日計之日延願差出承り届十一月二日帰

十月廿三日　曇嵐

一御用日登城

一三丁目三河屋嘉左衛門義桶屋町出抜築出なげ辺ニ小船車四搗臼仕度願差出郡代所江懸合候所故障無之旨申来候ニ付御用番中へ相伺候処御聞届ニ付大目附へ差出置御聞届申達候

一大脇新左衛門義来ル廿七日久世出立ニ付受取もの手形差出候ニ付大目附上原彦蔵上印取之小勘者へ相渡其品受取新左衛門へ相渡候

一掛質と申名目先年久世ゟ郡代所へ申来其段江戸御留主居へ申遣候得共江戸表ニ而ハ掛質と申名目相不分候由申来居候付幸今般新左衛門久世へ罷出候間為尋可申旨御用番中へ相伺候所勝手次第宜取

計候様被仰出候ニ付其段新左衛門へ申含候

一来ル廿七日町人共久世へ差出候付同心組壱人差添遣候間加人壱人廿六日ゟ被仰付候様大目附へ申達且又書役加人も可申立筋ニ候得共今般ハ早速可帰ニ付加人申立間敷候間若又永引候ハヽ其節被仰付候様達置候

一御払米正銀五拾弐匁三分七厘　落札藥屋与七郎　町米正銀四拾八匁三分七厘

一御蔵米五拾三匁　町米四拾九匁

一林田村清吉夫婦幷悴清八庄右衛門辰蔵文兵衛幷祖父伊兵衛右家内七人東新町高原屋武兵衛方へ引受度人別入願下方引合相済候段大年寄申出承り届

一林田村又兵衛借屋住伊八夫婦幷娘右家内三人中之町粟井屋茂市引受度人別入願右同断ニ付承り届

一林田上之町勘四郎幷母右家内二人西新町丸屋吉兵衛引受度人別入願右同断ニ付承り届右ハ先日相尋候温飩安売いたし候勘十郎と申ものヽ由也翌年六月七日除帳

一造酒屋共拾分一役米上納之義郡代相談之上来月十五日限相納候様大年寄へ申渡ス

十月廿四日　曇暁初雪

一深信院様明廿五日四時御供揃ニ而蘭田町通泰安寺妙法寺へ御仏参種村登門ゟ申来リ小頭幷大年寄へ例之通申達候

十月廿五日　曇

一深信院様御仏参無御滞相済候段御先払利左衛門文蔵届出候

一久世へ来ル廿七日罷出候町役桶屋町年寄故障ニ付代人水内屋半八新魚町年寄和泉屋三郎助罷出候段大年寄届出候

一大工共又々我儘申他ゟ人別入済候ものニも新ニ者大工職不為致職分差留或大工道具取上ケ候抔と申弟子ニ可相成と申候得者過分之謝礼を貪り候段大年寄申出不埒之義ニ付棟梁幷右彼是申候大工共呼出急度叱大工職ハ株無之ものニ付人別入相済候ものハ棟梁江相届置大工職相始候而宜筋之義ニ候旨為申聞候様申達ス且又戸川町大工庄兵衛桶屋町大工甚平出精賞度旨伺出承り届

一上田邑村見内八十八と申もの牢番預ケ申来出番文蔵差向取計之

十月廿六日　曇

一牢浚申付候処昼廻り文蔵幸治無別条段届出候

十月廿七日　雨

一久世江差出候もの共左之通今朝出立候段夫々届出御両所江相届候

盗物質取次人　桶屋町広瀬屋長治

盗物質取人　右町役代　水内屋半八

新魚町村永屋太四郎

右町役　和泉屋三郎助

同心組　遠藤和四郎

立合御役人　大脇新左衛門

一茅町阿波屋治兵衛義古川村助右衛門へ田地質入ニして銀札四百匁去ル酉三月借候処不筋立候段出訴いたし翌廿八日郡代所へ相廻候

十一月五日三十日限済方被申付候

一新職人町瀧本屋庄蔵借屋住きく義当三月廿二日身延山へ参詣仕候

所今七十日計日延願差出候承り届十一月二日罷帰

一牢舎扶持弐俵之内貸証文差出奥書印形取計之是ニ而十二月へ九升七合五勺持越候積也

十月廿八日　晴

一御用日登城

一目明共非人召連忍廻り今夕ゟ相止候段伺済ニ付大目附へ相届小頭へ申達

一大工共我儘申候趣ニ付大年寄場合切ニ叱置候段御両所へ申達候

一造酒屋共十分一役米銀札ニ而取上ケ勘定奉行へ相渡置可申旨伺済ニ付大目附へ相届置勘定奉行へも懸ケ合置下方へも銀札ニ而銀歩差添上納候様ニ申達候

一神田栄治六月廿日ゟ引込候所昨日ゟ致出勤候ニ付加人山本治三郎今日ゟ差戻候段大目附へ相届候尤治三郎義永々相勤奇特之義ニ付内々ニ而銀壱両差遣候

一御払米正銀五拾壱匁九分九厘　落札大黒屋利兵衛　町米正銀四拾七匁九分九厘

一御蔵米五拾弐匁五分　町米四拾八匁五分

十月廿九日　雨

一大目附廻状到来左之通則組中へ相触候

御家中借物等之義先日被仰出候通今般格段御引米被仰出候ニ付両年之内及断丑十月ニ至差引可取計候処間々心得違之面々も有之様相聞候先日格別之思召を以被仰渡候義ニ候間無心得違様可致候此旨可及演説旨御用番中御申ニ付申達候

一大脇新左衛門義町人召連今七時頃久世ゟ罷帰り盗賊御裁許其外引合之もの被仰渡無滞相済盗賊太左衛門喜兵衛両人入墨之上重敲ニ相成当所引合之太四郎長治両人過料三貫文被仰付相済候右受書写井新左衛門勤書差添御用番中へ相届大目附へも相届候

△扨又此度之序ニ新左衛門ゟ曽根源次郎へ掛質之義承り合させ候処懸質と申名目ハ源次郎ハ不存候由且又田地家質共利分之書加へ有之候而ハ質地家質ニ不相立家質ハ借屋賃金主へ取候約束之分ハ家質ニ相成候由申聞候事委細ハ新左衛門手扣ニ有之候

一来月朔日誕生寺ニ富興行いたし候由大年寄申出郡代申談寛政十申年十一月十三日西吉田ニ富致興行候先例之取計ニ付市郷共参間敷触書指出し為目付右場所へ目明壱人ツヽ可差遣旨御用番中へ相伺候処宜取計候様仰出其段郡代所へ相通置大目附へも相届置左之通町触差出

近々誕生寺辺ニおゐて富興行有之由相聞候右之場所へ参候義兼而停止候旨申渡置候得共猶心得違無之様可相守候若相背罷越候もの有之候ハヽ目附之者ゟ無用捨召捕候様ニ申付置候右躰之もの於有之者吟味之上急度咎可申付候間其旨を可在候

右之趣惣町中へ可被相触候以上

十月晦日　雨

一番賃銀例月之通相渡候

一二町目南側ニ而三谷屋与三左衛門家屋敷表口四間裏行拾七間但壱軒弐歩役也東隣ハ龍田屋茂兵衛西隣ハ福寿屋音右衛門也右家屋敷元魚町吉屋清蔵取次ニ而質物ニ書入銀札壱貫目来子三月切一ヶ月

壱歩半之利足ニ而借受度願承り届

(朱点)、一黒田要人殿ゟ河野勇治と申もの出入若堂(ママ)ニ召抱美濃職人町ニ差置
候旨案内有之(町方ゟも届出候)

(朱点)、一黒田要人殿ゟ原田軍治と申もの出入若堂(ママ)ニ召抱林田中之町ニ差置
候段案内有之中之町北原屋三之丞ゟハ十一月十三日願出候

十一月　大

月番

御家老　安藤丹後殿

御年寄　海老原極人殿

大目附　太田舎人

大年寄　蔵合孫左衛門

諸吟味　宮田喜左衛門

十一月朔壬辰旦　晴風

一御吉事日ニ付麻上下着用四時登城御省略中ニ付被下物無之三奉行
之面々御祝儀申上も無之勿論御用日ニも無之故御用所江も不罷出
役所ニ扣居御用所御退出之上引取候

一米相場書例年之通大年寄ゟ差出校合之上奥書印形取計之

一久世御代官重田又兵衛殿手代曽根源次郎杈本宗八飯沼才次郎ゟ米
相場書昨晩取ニ差越例年之通相認今日相渡候但相場左之通

一上米　五拾壱匁三毛二

一中米　四拾八匁三毛二

一下米　四拾五匁三毛二

一大豆十月晦日相場　四拾五匁壱歩

一勝山榊原九郎左衛門膝付介右衛門ゟ米相場書昨晩取ニ差越今日相
渡候

一龍野御預り所役人関口作兵衛平野七郎兵衛三沢清太夫ゟ米相場書
取ニ来相渡候

一西川役人平沢助八大谷代蔵ゟ米相場書兼而頼来居候付例歳之通羽
織屋へ相渡候

一御蔵米五拾壱匁　町米四拾七匁

一二ノ宮村卯兵衛方へ先月十四日盗賊這入綿入壱被盗取候触流取計
候様大目附ゟ達有之町触取計本書ハ差戻し但弐拾匁計之もの也同
十四日町方無之段届出候

一綾部村幸八方へ先月十八日以後廿一日迄之内盗賊這入夜類九品盗
取候触流右同断取計済但六拾五匁計之もの也右同断

一昨夜更廻り藤四郎利右衛門文蔵嘉七差出候所別条無之旨今朝届出
候御家中関貫番所も庄蔵相改候所無別条旨届出候

一丹後久美浜御代官塩谷大四郎殿手代勝田近蔵長谷部秀助広石巻右
衛門ゟ米相場書取ニ来例年通相渡候

一小頭月番堀内利右衛門相勤候段届出候

十一月二日　曇

一坪井役人瀧口儀右衛門ゟ米相場書取ニ来例年之通相渡候

一御蔵米四拾九匁五分　町米四拾五匁五分
一黒田要人殿近々御出府ニ付町方之様子幷牢舎人人数認差出候様被仰聞候付則相認致持参差出候尤扣有之ニ付爰ニ略之但六月三日後ハ当役構牢舎人壱人も無之尤郡代所ゟ之入牢当時九人有之
一遠藤和四郎義久世ゟ罷帰り昨日致出勤候ニ付同日ゟ加人真田岩指戻候其段出仕序ニ大目附へ相届候
一弓削土井大炊頭殿役人岡野右左衛門ゟ米相場書取ニ来例年之通相渡候
一下紺屋町作人熊吉同居之古市隼人家来下山藤吉義主人方へ引越候段届書出
一伏見町田邑屋宇左衛門弓削へ之出訴滞銀相尋候所一向不相済由申出候

十一月三日　曇

一御用日登城申上候御用向無之
一於御用所御用番御年寄左之通申渡之大目附出席
一武田七郎兵衛義娘幷利左衛門共不埒之筋有之候　町奉行へ付而ハ兼而申付方不行届不〆之段不埒ニ付戸〆被仰付候
一武田利左衛門義西一ノ宮湯谷分岩右衛門忰義右衛門子殺一件不仁之取計ハ不存候得共後日岩右衛門義右衛門ゟ始末承候ハヽ取計方も可有之処内証ニ而可相済と死骸埋候節も手伝人差遣旁不届ニ付札元見習御免戸〆被仰付候
一上田邑村身内義八忰八十八義去秋博奕参会之上逃去り今度立帰り不埒ニ付五十敲之上帰村被仰付候

右之段可被取計候
一黒田要人殿来ル六日出府ニ付先格之通見送り候様大目附ゟ演達有之三奉行一同中之口御杉戸外ニ而見送之
一材木町竹屋勘兵衛借屋住因幡屋茂市娘みつ義御領分東北條郡下横野村六右衛門妹ニ差遣度人別除願下方引合相済候段申出承り届
一御払米〇四拾九匁三歩九厘　落札大黒屋利兵衛　町米正銀四拾五匁三歩九厘
一御蔵米四拾九匁五歩　町米四拾五匁五歩

十一月四日　雨

一札元玉置卯左衛門義三家屋之右衛門娘死去仕従弟ニ付三日之忌服引込候段届出御両所江相届候
一但州生野御代官布施孫三郎殿手代中沢良助桑名善蔵ゟ米相場書取ニ来例年之通相渡候

十一月五日　雨

一茅町阿波屋治兵衛義古川村助右衛門へ相懸り滞銀出訴先月廿七日郡代所へ相廻置候処今日三十日限済方申付候由申来大年寄へ申達候〇十二月十三日相済
一当所繰綿取〆他国迄も行渡当所改印無之綿ハ不取用候様ニ成行至而様子宜土居江見弓削福渡備中境ゟも当所へ指込候様ニ綿計ハ此趣ニ候得者一国一城之節之様ニ相成候段蔵合孫左衛門宮田喜左衛門申出候付要人殿明朝御出府ニ付其段申上候御用所も近日可申上事
一在方ニ而種油小売いたし候而も不苦義哉と郡代所ゟ尋有之大年寄へ申達候処油方之者共之存寄も承り候処加茂谷等之遠在ニ而ハ是

迄も売居候事ニ而当町ニ而大坂油ニ無相違証拠取置小売仕候義ハ不苦旨申出候付其段郡代所へ申遣候

十一月六日　雨晴

一左之もの共六半時呼出新左衛門利右衛門孫左衛門喜左衛門立合左之通申渡之

一申渡去ル三日之処ニ記置候付爰略之但戸〆見届出番栄治差向候

武田七郎兵衛
煩代茂渡庄右衛門
同　利左衛門

一一ノ宮村義右衛門殺候娘死骸覗河原ニ掘埋候ニ付追込但日数十日

戸川町　文蔵

一一ノ宮村義右衛門妻離縁之節生国へ文通返書人を頼認遣候不埒ニ付追込但日数三日

京町原田屋嘉四郎

右二人ハ大年寄宅へ利右衛門庄蔵差向申渡之右取計済御両所へ相届候

一ノ宮村義右衛門子殺一件ニ付遂吟味候処携無之ニ付差構無之

元魚町武川屋文右衛門借屋住喜助
吹屋町和泉屋八百吉
新魚町備中屋定吉
戸川町　勘太
元魚町辻屋義助
京町　勇助
戸川町文蔵組合
千助平助和助伝三郎

一牢舎人岩右衛門夫婦出牢切手郡代所〻相廻り并義右衛門呼出申来出番文蔵差向出入取計之且又右子殺一件御裁許義右衛門永牢岩右衛門御城下壱里四方構払岩右衛門妻御領分追払被仰付候由也

一大脇新左衛門先月末久世行入用六拾四匁三歩三厘三毛有之候由証文差出候

一一ノ宮村是助入牢郡代所〻申来出番文蔵取計之

十一月七日　時雨

一左之通大目附廻状到来町中組中へ相触候

於江戸表松平上野介様（前藩主斉政の実弟・松江公藩主・藩主松平直政）御病気之処御養生不被成御叶去月廿二日御卒去被成候大守様御叔父之御続ニ付半減之御忌服被為受候右ニ付従今六日来ル十日迄五日之間鳴物停止之事ニ候尤普請ハ不苦候

十一月六日　大目附

一御奏者番廻状到来左之通尤大年寄へ例之通廻勤申達候

江戸表〻飛脚到来松平上野介様御病気之処御養生無御叶去月廿二日御卒去被成候右ニ付大守様半減之御忌服被為受候段申来候依之為伺御機嫌明後八日四時麻上下着用御徒格以上且又御目見相済候部屋住ニ至迄登城可有之候

十一月六日　御奏者番四人

一牢舎人一ノ宮村義右衛門義昨日永牢被仰付候付牢賄取計候様大目附太田舎人〻申来牢番団助へ其旨申渡候

一勝北郡柿村善吉と申もの茅町作人文蔵伯父付一両日以前ニ文蔵方へ罷越候処折節病気差起り病死仕候ニ付同村へ早々申遣候所善吉

甥庄右衛門と申もの来当所ニ葬呉候様ニ相頼右善吉旦那寺西現寺へも申遣候所兼而往来をも差遣置候事故何方ニ葬候而も不苦旨申越勿論四国等之望も兼而御座候哉往来をも致所持居候由ニ付文蔵旦那寺院庄清眼寺へ相頼且又光厳寺寺中へ葬度旨願書差出依之太田舎人江申達候所親類来居候得者死骸在所へ引取候得者届ニも不及義ニ候間寺社取次へ懸合可然若又不承知ニも候ハヽ身共も可相達候得共夫ニも及間敷御談申候趣懸ケ合候様被申聞尤御用番へ可伺程之義ニも有之間敷被申候故其段寺社取次三浦十郎左衛門へ申遣候所承知ニ而向方ゟ申達候筋ハ無之清眼寺ゟ伺出候ハヽ聞届候段可申達旨返答申来候ニ付願之趣承り届候間同人親類庄右衛門ゟ頼之一札町役へ取置葬候様ニ申達候

一下紺屋町鳥屋坂之丞借屋住中島宗元夫婦娘右家内三人御領分西北条郡田辺村庄屋嘉市方へ引越度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一同心組先月中臨時勤昼扶持被下三升有之小頭受取証文差出奥印書取計之

十一月八日　時雨

一御用日井上野介様御卒去ニ付御機嫌伺有之御徒格以上部屋住迄麻上下着用四時登城御奏者番ゟ三奉行迄一同七間廊下ニおゐて御機嫌伺御一方様江申上之

一当所繰綿改他国迄も行届候段去ル五日要人殿へ申上候通御用所ニおゐて御用番中へ申上大目附中へも及噂候且又吹職も大方仕寄候段も御両所へ及御沙駄候

一大年寄共歳末年頭献上ものゝ義伺出大目附へ申達候所御年限中ハ指上被下無之候段被申聞其段大年寄へ申達候

一西川平沢助八大谷代蔵ゟ米相場書差遣候返書来受取書相渡候

一中之町東西新町ゟ先達而差出候川除普請願書郡代所へ相廻置候所御年限ニ付不及其義候由ニ而願書被差戻候ニ付其段大年寄へ申達絵図面迄差戻候

一中之町玉の屋藤十郎役(ママ)介嘉兵衛夫婦娘右家内三人今般御領分東南条郡押入下村清吉方へ為引越度人別除願下方引合相済候段申出承り届

十一月九日　曇

一京町原田屋嘉四郎追込昨日迄三日ニ相成候ニ付今朝差免御両所へ相届候

一御蔵米四拾八匁五分　町米四拾四匁五分

一教心町講釈ハ如何被仰付候哉此節教心手透之旨喜左衛門伺出候ニ付昨日大目附へ談置候処今日太田舎人ゟ御年限中ニ而も是迄之通教諭為致候様御用番中被仰出候旨申来候付其段大年寄へ申達候処十九日ゟ相始候付町触差出候段届出承り置

一大坂谷町二町目御代官柘植又左衛門殿手附増井左門太手代内藤伍三右衛門より米相場書取ニ飛脚来昨年之通差遣候但今度ハ肩書ニ御名様ニ初而いたし来候

十一月十日　曇

一東在梶並と申所ニ来ル十二三日頃富興行いたし候段目明届出依之郡代と申談先日之通市郷共参間敷旨触流可取計哉と御用番中へ相

伺候処宜取計候様即刻被仰出郡代所へ申達先月廿九日之通町触差出并目明差遣候様小頭へ申達大目附へも相届候

一九条殿御用之先触到来之由左之通写差出候

先触

一人足　拾人　一本馬　壱疋

右者九条殿御用ニ付主人丹後守明七日京都発途ニ而作州勝山迄被相越候依之書面之人馬并般川渡等滞無之様用意可被有之候尤宿々無遅滞順達勝山表ニ而可被留置候以上

佐々木丹後守内　神田頼母　蜷川七郎

亥十一月六日

伏見ゟ作州勝山迄宿々問屋役人中

猶以先触順達刻限帳差添候間右宿々ニ而致刻付早々可被相達候已上

一播州龍野浄土真宗善龍寺昨夕元魚町松江屋勝左衛門方へ罷越用事有之候ニ付廿日計逗留致度旨ニ付同人方ニ留置度願承り届同廿九日帰

十一月十一日　快晴

一九条様御家来通行土居之駅ゟ郡代所へ申越今十一日夕土居止宿明十二日津山止宿候旨并東駅々ニ而も殊之外やか間敷申候趣申越候段申来先例取調候処天明六年正月伏見宮様ゟ雲州へ参候御使者通行之節保頭先立同心組弐人先払指出候趣ニ相見候ニ付右例を以十二日早天御用番中へ相伺候処其通取計候様御指図有之候ニ付諸事他国御代官通行之通申達候

十一月十二日　晴

一昨夜同心組更廻り藤四郎嘉七幸治和四郎差出候所新魚町海布屋源治方ニ而十人計賭碁打居候趣ニ相見へ見咎候処決而賭碁ニ而ハ無之宿へ油代少々出合遣候迄之義と云口書取連中ハ他参留宿ハ禁足申付置罷帰り候段届出候右連中左之通

元魚町檜物屋藤吉　桶屋町米屋佐七　新魚町金屋利兵衛
吹屋町沢屋新太郎　堺町中野屋孫市　福渡町福渡屋浅之丞
小性町杉屋八十吉　上紺屋町高砂屋金四郎　細工町灰屋喜平次
美濃職人町備前屋紋蔵

一牢舎人松之助周助作兵衛儀右衛門四人之御仕着願出候付郡代所へ遂相談候処周助ニハ不及被下候旨申来候ニ付周助壱人相除外三人江九匁拾匁拾壱匁之綿入三ツ小頭取計ニ而相調昨日相渡候

一九条様御家来佐々木丹後守止宿取計左之通

一旅宿　茂渡庄右衛門

一保頭先立

一同心組弐人先払　文蔵幸治　夜半ゟ代り合藤四郎庄蔵

但夜中出張挑灯出之

一播州網干余陸屋利兵衛一人例年之通荒物塩物卸売来候段中之町津田屋伝助宿切手指出翌子二月八日帰

一播州網干余陸屋惣七一人例年之通八百屋物卸売来候段右同人宿切手差出右同断

一播州網干塩屋伊兵衛一人例年之通荒物塩物卸売来候段右同人宿切

手差出右同断

一九条様家来佐々木丹後守止宿ニ付左之通伺出及差図候

一御用長持宰領ニ而も可有之人足弐人宿ゟ宿迄竹杖突相送り候趣前宿ゟ申来候由伺出候付前宿仕来候通取計候様及差図候

一宿々ニ而駕籠五挺之人足代下部之もの共受取候由段々不埒之趣も相聞如何可仕哉と伺出候付堅及断可申夫共六ヶ敷相成趣ニも候ハヽ少々之義問屋取計ニ而時之宜ニ取計候様及差図置候処果而右之段申候ニ付厳敷及断候処問屋一存ニ而不相成義ニ候ハヽ役頭江相伺候上ニ而取計呉候様ひたすら詞を下ケ相頼候由強而不差遣候而も却而取縺ニ相成可申程も難計ニ付可差遣哉と大年寄伺出左様ニ詞を下ケ相頼候義ニも候ハヽ如何候様共宜取計候様及差図候

十一月十三日　快晴

一御用日登城

一九条様後家来佐々木丹後守昨十二日七半時茂渡庄右衛門宅へ着いたし今朝六時過出立町分通行相済候段先払藤四郎庄蔵届出并左之通ニ候

一宿庄右衛門悴唯助罷出申候者丹後守家来七郎ゟ段々御叮嚀之御会尺御先払等被仰付忝次第奉存候此段御使者申上候筈ニ御座候得共指急候義ニ付本陣相頼置候段御役人中様江厚御挨拶申上呉候様頼置候段申出候

一先払昨今四人之ものへ鳥目三百文ツヽ御酒代被呉候由何茂届出候

一宿（弟脱）へ為茶代金百疋差置候由并旅籠代百三拾弐文ツヽ相払候由右之段御両所へ委細ニ申達候

一新魚町海布屋方ニ而賭碁ニ紛敷もの共御裁許伺差出候

一造酒屋共拾分一役米石代納銀札高六貫九百七拾壱匁五厘七毛大年寄ゟ昨日相納候付勘定奉行へ相渡預り証文取之箪笥へ入置右之段御両所へ相届候

一公儀ゟ左之通被仰出候旨大目附ゟ被相渡写大年寄へ相渡造酒屋共へ相達候様申達候

（幕府老中・三河吉田藩主松平信明）松平伊豆守殿ゟ大目附へ御達御書付

一諸国酒造米之儀去戌年一旦半石減申渡候得共最早不及其義候間定例之通酒造可致旨猶又申渡候然ル所当亥年ゟ前々書出置候酒造米高格別減石致度旨相願候も不少趣相聞候元来酒造之義ハ造り高少く候者可然事ニ候得共当時者役米をも為差出候付酒造米高ハ減石申立隠造等致し候もの有之候而ハ正路ニ相守候もの共難義之筋ニ可相成候間其支配領主地頭ニ而酒造高厳密ニ相改隠造過造等無之様可致候株高ゟ減造り申立候分ハ御勘定所ゟ切手可相渡候酒造人共義も右之通無株ニ而酒造致候歟又者株高ゟ余計ニ酒造致候様子之者も候ハヽ早々其旨訴出候様可申渡候尤改之役人をも相廻ニて可有之候間可存其旨候

右之趣御領私領寺社領共不洩様可被相触候

十月

御留主居河内志津馬ゟ先達而御勘定所へ伺書差出御領分造酒屋共甚困窮ニ付去戌年分役米ハ半石造可相納候得共今亥年ゟハ得不相納趣ニ付御免被下候様申上置候所左之通御書付を以被仰渡候段江戸表ゟ申来大目附ゟ被相渡此旨も大年寄へ申達候

去戌十二月中被仰出候酒造役米之義猶又自分共ゟ追々申達候趣も有之処御領分酒造之義ハ他国江売出候事無之御領分内而已纔之売捌高ニ付利潤も薄く殊昨年ハ一統困窮故ニ候哉半高造之義不及其義段被仰出候而も半高より余慶不致酒造候得共売捌兼他領へ下直ニ売出候程之義ニ有之右躰利薄困窮之酒造人共とハ乍申格別之御趣意を以重被仰出ニ候間如何ニ茂被申付半高之拾分一役米ハ石代納可被申付候得共前段之次第ニ付以来役米差出候義者難相成趣ニ候間弥右之通取計可被申哉之段被問合候旨趣其御領内ニ限り候事と而已被心得候而ハ無余義様ニも相聞候得共右役米之義ハ諸国一同之義ニ而他領之酒造人ハ都而富饒と申筋ニ無之者勿論之義ニ可有之候得共普救之御趣意を相弁役米差出候旨追々諸向ゟ届有之右之輩者以来役米免除等之義も不申出義ニ有之必竟被申聞候趣者被仰出之事躰を得と不被弁故之義ニも可有之哉たとへ是迄酒造致不来所ニ而も若荒凶之期ニ至候而ハ何方ニ候共御手之可被届丈ハ可被拾置様無之者勿論之義既享保之度西国筋作毛虫付之患有之節等不少拝借被仰付候得共御料所迚も其患有之思召通り之御手当不被行届義者銘々及承候ものも可有之又如斯之期ニ至り存当候ものも可有之義ニ候必竟此度之義も無益之余財を以右躰非道之御手当筋ニ被偏候義ニ候得者素ゟ其所領ニ不限者勿論之事ニ候処偏ニ被致進退候所計之義と被心得候よりして行違以来役米免除之義も被申立候義と相聞候間此旨得と被相弁心得違無之様被取計可然筋と存候

但　本文之趣得と承知之上何そ別ニ差支候筋も有之候而之義ニ候ハヽ何ケ度も問合可被申候

十月

御勘定所ニおゐて右御書付御渡被成畢而御勘定組頭太田作兵衛殿左之通被申聞候

当亥年分酒造役米取立届之義者去戌年届書之趣を以相認来子二月迄を限御勘定所へ可被相届候若造高入狂も有之候ハヽ前広ニ可被問合候

亥十月

右御達之請書印形例之通取計之

十月廿七日

一御払米正銀四拾七匁　落札大黒屋利兵衛　町米正銀四拾三匁

一御蔵米四拾八匁　町米四拾四匁

一坪井町中買静虎屋利兵衛義年罷寄候ニ付中買役忰和吉へ相譲度并和吉義利兵衛と改号仕度願大年寄差出承り届同廿二日一札差出

一黒田要人殿出入若堂(ママ)原田軍治義中之町北原屋三之丞同居仕度願承り届

一目明弥吉義東在梶並へ富興行之目附ニ参候所別条無之段夜ニ入帰り候由届出候

一弓削役人岡野右左衛門ゟ一昨十一日米相場書差遣候為挨拶鮮鯛一尾差越及相答候

十一月十四日　早天雨昼後快晴

十一月十五日　晴

一大坂阿波座豊島町油屋新兵衛ゟ西今町直屋市郎左衛門へ相懸り油代滞出訴六十日限済方九月廿二日申付置候処病気ニ付登坂日延願差出御用番中へ差出候処同十六日伺済

一上田邑村見内義八忰八十八義敲被仰付候段去ル三日被仰付候処明十六日取計度旨郡代所ゟ申来候ニ付御徒目附立会之義大目附へ相達其外手配申付候

一在分豆腐屋御免之もの共左之通之由郡代所ゟ申来大年寄へ申達候尤直段上ケ下ケ之義ハ役筋ゟ郡代所へ致通用候様申来候

林田村喜平次　源蔵　太田村勘右衛門　川崎村平七

川部村初右衛門　中原村新兵衛　西一ノ宮村伝蔵　茂八

中村与左衛門　院庄村源七　二ノ宮村茂兵衛

一方村源右衛門

一安国寺振鐘徳守宮於社地有之頼ニ付昼廻ゟ心付候様申付候

十一月十六日　雨

一於牢屋御徒目附河村市兵衛下目附安井友治同心組小頭堀内利右衛門部屋目附三船藤四郎立合左之通取計之但郡代下代申渡之

五十敲帰村但去ル三日御達有之　上田邑村見内義八忰八十八

一戸川町武田七郎兵衛家守伝三郎借屋住久蔵追込昨日迄十日ニ相成候ニ付今朝差免其段御両所へ相届候

一本郷西村与三兵衛入牢手形郡代所ゟ相廻り認かへ出番和四郎差向取計之

一伊勢内宮藤波神主名代松井李衛一人例年之通来候段新職人町松のや十右衛門宿切手出十一月朔日帰

一播州今市綿屋嘉市郎一人例年之通呉服物売来候段右同人宿切手差出翌年正月八日帰

十一月十七日　雨

一備前加茂円城村円城寺納所沼本儀兵衛と申もの一人用事有之林田町福吉屋安右衛門方へ来候ニ付十日計逗留為仕度願承り届同廿五日帰

一上紺屋町対馬屋栄吉借屋住作人伊八義当三月無願出府仕大病相煩去ル七月歎書指出候処昨日罷帰候段届書指出候付無願他国いたし候段急度叱置候様大年寄へ申達候

十一月十八日　曇時雨

一御用日登城

一大久保安芸守殿領分当国久米北条郡堺和角石谷上村徳左衛門忰喜兵衛義京町城木屋源七後家養子ニ去戌十二月十三日引受候所離縁仕度人別除願例之通取計済

一二階町組屋忠右衛門義困窮ニ付造酒相休度仍而十分一役米得不差出旨歎書差出右之段江戸御留主居へ申遣可申旨伺済ニ付大目附へも及届候仍而今日可差出処御飛脚延候ニ付近便可申遣事

一去ル十二日伺置候新魚町海布屋源治方ニ而賭碁ニ紛敷もの共伺之通被仰出候付小頭郡屋目附大年寄宅へ差向左之通申渡之取計済御

両所へ相届候

賭碁ニ紛敷参会宿いたし不届　宿新魚町海布屋源治

ニ付追込申付候但日数七日

右同断不届ニ付追込申付候　右連中之もの共拾人（江戸名面ハ去ル十三日之処ニ記）

但日数五日

一小田中村義兵衛娘いき義寛政十年午十二月十四日福渡町阿賀屋助五郎家守借屋住福島屋庄吉妻ニ引受候所此度親元へ差戻度人別除願下方引合相済候段申出承り届

一船頭町土手通筋北側ニ而京町大村屋源右衛門所持之家屋敷表口弐間四尺壱寸裏行弐間四尺但本役也西隣ハ片田屋利右衛門持之明地東隣ハ通筋也并東側ニ而表口三間弐尺五寸裏行六間半之明地但本役也南隣ハ片田屋利右衛門明地北者通り筋也右家屋敷代銀弐百目ニ相極町内高瀬屋四郎兵衛へ売渡度願承り届同廿日売券状差出

一西今町直屋市郎左衛門大坂出訴ニ付日延願致奥書今日之便ニ長沢清左衛門へ差遣候

十一月十九日　晴

一生野御廻米今津屋孫十郎方へ積越候ニ付火盗之手当郡代所へ頼越候由郡代所ゟ通用申来例年之通手当申付候様大年寄へ申達候

一久世手代鈴木弥太郎ゟ書状差越御廻米今日ゟ積下ケ候ニ付今津屋孫十郎方へ出張いたし居候付例年之通火盗之手当申付候様頼来承知之旨及相答其段大年寄へ申付候

一九条様御家来佐々木丹後守古借金致催促甚権威高ニ而少之義も慮外咎いたし甚敵敷催促ニ而御役人も致当惑旅宿金田弁右衛門も甚致難義居候由当所へも借金乞ニ参候様ニ申趣ニ申候由斎藤孫右衛門縁類金田庄右衛門と申もの ゟ孫右衛門方へ内々申越候由ニ付右書状孫右衛門指出当所ニ而ハ御不用之義ニ者候得共折角心付申出候事故内々太田舎人江右書状差出披見之上孫右衛門へ指戻候

一御払米正銀四拾八匁六分五厘　落札伏見ヤ茂七　町米正銀四拾四匁六分五厘

一御蔵米四拾八匁五分　町米四拾四匁五分

一油利七義博奕為御咎夫役ニ御作事へ相渡置候処昨十八日切ニ而相済候由御作事奉行金井長平ゟ案内有之

十一月廿日　快晴

一公儀廻状左之通大目附ゟ到来町中組中へ相触候

先達而（将軍徳川家斉の娘　十月十五日に出生）姫君様御誕生被為在候処思召有之候ニ付表向御弘メ者不被仰出候御名之義者寿姫君様（トシ）与奉称候尤右ニ付都而表向御祝儀等申上候ニ不及旨被仰出候

右之趣今般従公儀被仰出候ニ付相触可申段被仰出候尤御名ニ差合候名有之面々ハ名相改可申旨是又被仰候此段海老原極人殿御申聞候間可被得其意候

十一月廿日　大目附

一大目附廻状到来左之通尤町中組中へ相触候

怡丸様御名慎三郎様与御改被成候

寿丸様御名良四郎様与御改被成候右御同名ニさへ無之候得者一字ツヽ上下ニ相用候義者名乗号字共御構無之候

十一月廿日　大目附

十一月廿一日　雨

一林田町岩佐屋善七義養子鉄治離縁之訳仲人林田村良助ゟ弁書差出候郡代所ゟ相廻候付善七へ答書申付候処差出候付郡代所へ相廻候

一大円寺義什物之仏具二ツ弁当箱一ツ右三品致紛失候段届書差出町触取計候様大目附ゟ申来町触取計本書ハ指戻候同廿九日町方ニ無之旨届出候

十一月廿二日　雨

一船頭町南側ニ而高瀬屋四郎兵衛家屋敷表口五間裏行四間半但壱軒役也東隣ハ伊部屋勘兵衛西隣ハ高瀬屋四郎兵衛所持之明屋敷也并土手筋ニ而表口弐間四尺壱寸裏行弐間四尺但本役也西隣ハ四郎兵衛所持之明地東隣も同人裏通り筋也右家屋敷二ヶ所共質物ニ書入京町野田屋佐右衛門取次ニ而銀札弐百(ママ)来子ノ六月切壱ヶ月壱歩半之利足ニ相極借受候願承り届同廿七日証文差出文化七庚午年四月十三日元利返済請戻候断出ス

一元魚町(本紙)東側ニ而延屋喜七後家家屋敷表口四間半裏行拾七間但本役也南隣ハ伊勢屋慶助北隣ハ本町通り筋也右家屋敷并表借屋建物共不残質物ニ書入町内海老屋長右衛門取次ニ而銀札壱貫弐百匁壱ヶ月壱歩四朱利足ニ而来子十一月切ニ借用仕度願承り届翌廿三日証文差出丑ノ二月廿一日元利相済受戻ス

一福渡町ニ而浜屋亀四郎家守作人忠吉借屋住作人文治義当九月中旬近在へ罷出候趣ニ而罷出不罷帰心当之所相尋候得共行衛(ママ)不相知段届書指出候ニ付即日尋申付候十二月廿二日燈住

一牢舎扶持三俵之内貸証文指出奥書印形取計之是ニ而正月へ三升七合五勺持越積也

十一月廿三日　曇

一御用日登城

一脇坂淡路守殿預り所当国勝南郡中尾村与九郎忰市六一人勝間田町西屋要助借屋住駕籠屋幸吉引受度人別入願例之通取計済十二月四日住宅証文差出

一馬持廿五人例年之通壱人ニ大豆弐俵半ツヽ拝借願例之通取計済

一賭碁紛敷致取計候連中之もの拾人追込昨日迄ニ而五日ニ相成候ニ付今朝差免其段出仕之上御両所へ相届候

一大目附太田舎人ゟ左之通達有之候

今般盗賊無宿松之助江戸表へ被指出候ニ付同心組三人警衛可被申付候尤道中差添佐藤郷左衛門山本弥七被仰付候間右両人之指図受相勤候様可被申付候

右ニ付左之三人呼出新左衛門利右衛門立会ニ申渡

今般無宿盗賊松之助江戸表へ被指出候間　三船藤四郎
道中警衛申付候尤郡代下役佐藤郷左衛門　川端幸治
御徒目附山本弥七郎両人差添被仰付候間　遠藤和四郎
諸事右両人之指図を受可相勤候

右之通申付候段三浦十郎左衛門へ及案内候

一九条様御内佐々木丹後守義勝山用向相済今朝出立当所へ相越候左之通先触到来

一人足九人　本馬壱人

右ハ当所迄之先触ニ候間定而当所ニ逗留之様子と相見へ候ニ付先

頃之通諸事手配いたし候様ニ申付候処宿ハ二町目福永屋藤助へ申付候段大年寄申出井先払差出候様申付候処庄蔵嘉七差出候由小頭申出若弥逗留ニ候ハヽ出張ニも不及候間出火等之節者先払弐人ツヽ早々差出候様手配いたし置候様小頭へ申付置右之始末出仕之上御両所へ相届候

一御払米正銀四拾八匁壱分九厘　落札大黒屋利兵衛　町米正銀四拾四匁壱分九厘

一御蔵米四拾八匁五分　町米四拾四匁五分

一林田町作人治吉義宮地東庫役介又之丞家内人同居仕候処去ル六月東庫方へ引取候段届出候

一林田町三升屋勘吉借屋住塚屋藤助悴幸治義中尾幸治と相改本多左門殿江被召抱候ニ付人別除願承り届十二月四日売券状差出

一江戸御留主居河内志津馬へ今夕之御便ニ組屋忠右衛門義造酒今年相休候御届井質地聞合之田邑屋証文写井水屋弥之助殿へ之米相場書差遣候

一九条様御家来佐々木丹後守今晩七半時過福永屋藤助方へ致止宿候段届出承置且又明朝七半時出立之旨及深更届出依之先払之ものも出張代り合申付井郡代所江も及通用候且又田中幸助も相残及面談候由ニ候

十一月廿四日　曇

一佐々木丹後守今六時出立いたし候由夫々届出其段御両所へ相届候

一昨夜及深更伺出候者於何方も夜中通行之節高張挑灯先ニ立候間指出候様申聞候付当所駅場ニ高張挑灯用意無之勿論差出候例も無之旨及断候得共強而差出候様申聞候如何取計可申哉と伺出候ニ付挑灯無之旨幾度も申達可及断向方ゟ挑灯差出候ハヽ御勝手次第之義と可申達旨及差図置候所猶又申出候者挑灯者向方ゟ可差出候間人足井蝋燭差出候様申候間其旨可取計旨申出候所出立夜明ケ挑灯ハ不入相済候由也

一先払同心組庄蔵嘉七栄治文蔵差出候所此度ハ御酒代不差越候

一宿福永屋藤助へ為茶代金百疋井旅籠代も先日之通相払候由

一田中幸助昨夜旅宿へ相越及面談候処為指用事も無之時候之安否而已ニ而事済候由同人ゟ承之

一教心町講釈去ル十九日夕ゟ相始昨廿三日迄ニ而相止候由喜左衛門届出候

一深信院様明廿五日四時御供揃ニ而藺田町通り泰安寺妙法寺へ御参詣被成候旨種村登門ゟ申来例之通大手寄井小頭へ申達候

一御料御廻米川下ケ申来候由郡代所ゟ通用有之依之箱番所番人等之義例年之通宜取計候様大年寄へ申達候

十一月廿五日　快晴

一寒中御機嫌伺ニ付御徒格以上四時揃惣登城三奉行例之通於七間廊下御奏者番ゟ三奉行一同罷出御二方様へ寒中御機嫌奉伺候

一新魚町海布屋源治追込昨日迄七日ニ相成候ニ付今朝差免其段出仕之上御両所へ相届候

一深信院様御仏参無滞相済候段幸治和四郎届出候

一小性町作屋常借屋住孤独佐助義船頭町瓜生原屋仁左衛門後家借屋へ引越候段届出候

十一月廿六日　雨

一牢舎人本郷西村与三兵衛義郡代所ゟ出牢切手相廻り認かへ嘉七差向相渡候

一御払米正銀四拾八匁九厘　落札大黒屋利兵衛　町米正銀四拾四匁九厘

一御蔵米四拾八匁五分　町米四拾四匁五分

十一月廿七日　晴少霰

一摂州有馬辻堂茂兵衛一人例年之通墨筆白粉卸売来候段中之町甲屋幸助宿切手差出十二月廿一日帰

一林田町北側ニ而作人治吉家屋敷表口三間裏行十五間五尺但半役也東ハ横町通筋西隣ハ橋本屋和助也右家屋敷質物ニ書入銀札三百五拾匁来子十月切借用仕度願承り届

一林田町三増屋勘吉家屋敷表口弐間裏行六間半但弐歩七厘三毛役也東隣者作人伝右衛門西ハ宮川土手通筋也右家屋敷代銀弐百貫目ニ相極東隣作人伝右衛門へ売渡度願承り届十二月四日売券状差出

一西今町中横町西側ニ而直屋孫四郎所持之家屋敷表口弐間裏行九間但五厘二毛役也南隣ハ小畑屋門吉北隣ハ菱屋藤助也右家屋敷建物不残代銀七拾匁ニ相極町内高松屋嘉右衛門へ売渡度願承り届十二月四日売券状差出

一西今町中野屋太郎兵衛役介(ママ)桑屋安右衛門義兼而本道医術執行仕候付今般桑山東庵と相改医業仕度願承り届

一桶屋町倉敷屋金吾義当八月十日四国遍路罷出候所今以罷帰り不申候間今七十日日延願差出承り届十二月十三日帰

一人馬問屋佐右衛門義印形損候付改印仕度印鑑差出書役江渡置候

一馬持小性町七蔵持馬昨夜落候段届出取捨勝手次第申付

十一月廿八日　晴少雪花散

一御用日登城

一林田町香々登屋六之助母義四年巳前寛政十二申八月十七日出奔届出同年十二月八日除帳願御聞済之処当時吉野郡古町辺ニ罷在尋出候所借金ニ差詰り致出奔候由ニ付右借金相済親之義ニ付引戻し養育仕度歎書例之通取計済

一元魚町住備前屋勘兵衛と申もの先月除帳取計候所致箱訴右箱訴江戸表へ被差出候付右之もの始末委敷認出候様大目附ゟ達有之下地夫々相糺口書取尚又先達而ゟ之取扱之趣委細致添書大目附へ差出候

一栄厳寺義来ル廿九日ゟ旦家召連当年中町中夜念仏執行伺済之由寺社取次三浦十郎左衛門ゟ申来大年寄并小頭へ為心得申達置候

一戸川町次田屋善右衛門借屋住備前屋源吉夫婦娘右家内三人徳守宮地子居平兵衛方へ引越度人別除願寺社取次三浦十郎左衛門へ引合之上承り届ル

一茅町南側ニ而森永屋伊八家屋敷表口四間四尺五寸裏行拾七間但四歩役也東隣者立具屋利兵衛西隣者吉屋平次也右家屋敷質物ニ書入安岡町片田屋宇吉取次ニ而銀札三百目壱ヶ月壱歩半之利足ニ而来子十一月切借用仕度願承り届同晦日証文差出候

一牢浚申付候処昼廻り栄治和四郎無別条旨届出候

十一月廿九日　快晴

一支配方御賞之伺書御用番中へ持参指出候
一大坂長沢清左衛門ゟ返書到来直屋市郎左衛門日延願先日廿四日佐久間備後守殿へ相届候由申来
一播州網干唐網屋佐七郎一人例年之通小間物反物売来候段林田町福吉屋安右衛門宿切手指出子正月廿三日帰
一播州網干天満屋儀兵衛一人例年之通反物売来候段右同人宿切手指出右同断
一越中富山向河原町松井屋佐兵衛一人例年之通反魂丹売来候段右同人宿切手出右同断
一播州網干新在家唐網屋平松屋左七郎一人例年之通姚灯張替来候段右同人宿切手出右同断
一播州網干平松屋惣九郎一人例年之通小間物晒蠟売来候段右同人宿切手出子正月廿四日帰

十一月晦日　曇

一関貫番賃銀例月之通相渡候
一牢舎人松之助義来月五日江戸表へ差出候由郡代所ゟ通用有之依之同心組三人江右之通申達候様ニ小頭へ申付候且又右ニ付加人三人来月二日ゟ被仰付候様大目附へ相届候処植月清蔵難波吉次寺坂兵治来

十二月　小

月番　御家老　安藤丹後殿
御年寄　海老原極人殿
大目附　上原彦蔵
大年寄　玉置源五兵衛
諸吟味　宮田喜左衛門

十二月朔壬戌旦　快晴

一牢舎人松之助義下地ゟ小瘡相煩居候所此間ゟしほづゝ井陰茎痛之様子ニ相見へ候得共飲食起居平日之通相替義ハ無之候得共出府前之義ニ付申出候由昨夜牢番申出候付今朝大年寄へ申付岩佐孝順へ為見候得者気遣敷義無之旨容躰書差出候ニ付郡代所へ相廻候
一伊勢山田結城弥惣太夫名代高田兵吉御師一人例年之通旦那廻りニ来候段新職人町松の屋十右衛門宿切手差出翌年四月八日罷帰
一伊勢山田河北助太夫名代辻田善次御師一人右同断来右同人宿切手指出翌年四月廿一日帰
一長安寺振鐘ニ付被相頼昼廻り庄蔵嘉七差遣候所無別条引取候段届出候

十二月二日　雪風

一二階町井筒屋弥三郎所持他国請酒株去ル酉十二月三日元魚町亀屋弥兵衛借り受候所猶又今亥十二月ゟ来ル丑十一月迄丸二ヶ年之間借受度願承り届
一林田町山本三右衛門所持之他国受酒株去酉十月廿六日ゟ東新町楢

屋清八へ借シ置候処今般取戻候届書承り届
一小頭月番神田栄治相勤候段届出候
一同心組臨時御用相勤候先月中之昼扶持七升七合五勺受取証文奥書取計之

十二月三日　晴

一御用日登城
一豆腐十六文売候処拾七文売御聞済大目附へ達郡代所へも及通用御聞届申達候

但大豆四拾九匁相場手間代三分五厘

一船改役并繰綿改役之もの共暮之御賞伺書差出候
一綾部村忠吉先月廿日ゟ廿三日迄之内被盗もの三品ニ而四拾位之もの触流大目附ゟ被相渡町触取計本書ハ大目附へ指戻ス同十二日無之段申出候

十二月四日　雨晴風

一御蔵米四拾七匁五分　町米四拾三匁五分
一神戸村瀧右衛門方へ先月廿六日夕盗賊這入衣類拾弐品代銀百八拾五匁位被盗取候触流し取計候様大目附ゟ達有之町触取計本書ハ差戻候同十二日無之旨届出候
一牢舎人無宿盗賊松之助義明朝東武へ被差出候ニ付七半時出牢切手郡代所ゟ相廻り諸事手配夫々申付候且又同人義不快之旨申出候付医師申付候所岩佐孝順致診察明朝出立候而も少も不苦旨容躰書差出郡代所へ相廻候

十二月五日　朝曇快晴

一牢舎人松之助出立ニ付出番文蔵指向出牢取計郡代所へ相渡候且又右指添同心組三船藤四郎川端幸治遠藤和四郎出立仕候段小頭ゟ届出承り置
一御蔵米四拾六匁五分　町米四拾弐匁五分
一茅町阿波屋治兵衛ゟ古川村助右衛門へ相懸り滞銀出訴先達而三十日限済方被申付候処来ル九日迄日延願差出候由郡代所ゟ申来大年寄へ申達候所阿波屋治兵衛ゟも其趣申出候由承知之趣ニ付被聞届候様郡代所へ及返答候
一安岡町南側ニ而三原屋八蔵家屋敷去戌十二月十七日町内松島屋清吉取次ニ而質物ニ書入銀札三百匁借り受候所元利返済受返し候願書差出承り届
一吹屋町孤独嘉兵衛後家義病気差重り候ニ付大保頭差遣見改候処鹿抹之義無之旨大年寄届出猶又無程相果候段届出候ニ付勝手次第取葬いたし候様申達翌朝御両所へ相届勘定奉行へ及通用候
一明朝武田七郎兵衛戸〆差免候付立会并大工等夫々手配申付置候

十二月六日　快晴

一下役新左衛門大年寄源五兵衛諸吟味喜左衛門小頭栄治立合六半時呼出左之通申渡之

其方戸〆御免被成候　武田七郎兵衛
同　利左衛門

七郎兵衛義病気ニ付名代同役川口藤左衛門罷出於座敷申渡之利左衛門義ハ玄関之上江呼出置小座敷ゟ申渡之尤立合役人相揃候上出番庄蔵ニ大工壱人差添遣筋違為取庄蔵召連来候右申渡相済候段御両

所へ相届候
一牢舎人西一ノ宮村是助郡代所ゟ出牢申来出番庄蔵差向取計之
一西川役人大谷代蔵ゟ例年之通鰹節三十酒弐升寒中為見廻差越及相答
一備中小坂郡水谷弥之助殿役人中島幸右衛門近藤武左衛門ゟ例年之通米相場書差遣候為挨拶釜敷紙二束差越及相答候
一繰綿取扱行届候付孫左衛門喜左衛門御賞伺書御宅へ持参差出候
一稲荷鳥井之脇ニ行倒非人躰之男相果居候ニ付八幡宮神主へ申達候所神主ゟ非人番付置候段三軒屋番中尾清八届出候ニ付其段大目附へ相届候所晩方大目附ゟ右行倒もの為見分候所非人ニ相違無之勿論病死ニ付□□□非人へ申付格之通取捨候様申付候様申来其旨大年寄へ申付候所右行倒もの川向惣墓へ取埋相済候段及深更届出候ニ付翌朝大目附計へ其段相届候

十二月七日　快晴

十二月八日　曇

一御用日登城
一新魚町魚屋庄右衛門借屋住児島屋久太郎義六月十二日致出奔九月廿六日日延願書差出其後も方々相尋候得共弥行衛(ママ)不相知候ニ付除帳願差出例之通取計済
一東新町籾屋利八と申もの土手通りへ柱建庇いたし候由相糺候様大目附被申聞其段大年寄へ申達ス
一小性町美濃屋茂兵衛義昨晩在方ゟ帰り懸ケ椿上下(ママ)大石橋ニ而米切手弐枚ニ而三斗井もんぱ足袋壱俵質札弐枚拾候由届書差出候ニ付右切手ハ市郷触流し可仕足袋質札ハ元魚町北之関貫ニ張紙ニ取計可申段御用番中へ紙面ニ而相伺候処宜取計候様被仰出候付其段大目附へ相届郡代所江も及通用置町触差出井張紙之義大年寄へ申達候

十二月九日　晴

十二月十日　晴雪

一上横野村中組三右衛門義一昨八日河内屋金右衛門方ニ而米切手三枚合而三斗五合壱勺五才之切手相調元魚町黒坂屋幸助方へ参右切手井銀札拾匁布袋ニ入同人店ニ差置候処致紛失候段届出候ニ付落切手之触流可取計旨伺済ニ付取計呉候様郡代所ゟ申来候ニ付落切手之触流取計井中買共へ右切手持参候もの有之候ハ、留置申出候様ニ可申付之旨書付を以大年寄へ申付候
一下紺屋町長江朝庵義備前西大寺湊屋惣兵衛方へ八十日計之逗留ニ而来ル十三日出立願大年寄差出承り届
一札元山本三右衛門所持之他国受酒株当亥十二月ゟ来ル寅十一月迄丸三年之間安岡町徳納屋卯兵衛借り受商売仕度願承り届
一大坂大和屋弥三郎ゟ市郷十一人之ものへ相懸り滞銀出訴限日過候ニ付稠敷催促申付候処何茂大難渋ニ而町役働ニ而植付置候麦迄取入漸々町方四人之もの壱両ツ、出銀相揃候段大年寄申出其段郡代所へ懸ケ合置候
一暮之大割帳差出候所左之通

壱貫九百八拾匁弐分　但割方壱貫文ニ付七拾五匁四分三厘六毛二

但戌暮割ゟ八拾三匁八分九厘増　尤八朔割合五貫百三拾五匁八分（一ヶ年分合昨戌年ゟ八拾三匁八分九厘増）

十二月十一日　晴

一昨夜更廻り庄蔵利右衛門嘉七吉次差出候所無別条旨今朝届出候小頭栄治義御家中関貫相改候処是又無別条旨届出候

一牢浚申付候所昼廻り文蔵利右衛門無別条旨届出候

一播州広峰天皇坊昨日来候段京町花屋権兵衛届出候同廿日帰候段届出候

一小性町美濃屋茂兵衛去ル七日拾候切手并足袋之類大田村友治と申もの落候由相糺候所無相違旨小性町年寄ゟ申出候ニ付先格之通切手割合受取并一札も取置相渡候様ニ及差図置其段御両所へ相届候

一東新町籾屋利八義土手筋へ柱建庇いたし候義大目附へ糺書差出置候所存寄無之候間宜取計候様申来候ニ付左候ハヽ役筋切之取計ニざつといたし置可然哉之旨申遣候処同意ニ付左之通申付候様大年寄へ申渡候

往来土手筋へ柱建庇いたし不埒之　東新町籾屋利八

至ニ候急ニ取払可申表立候而ハ不軽義ニ付

憐愍を以内分ニ而叱置候以来急度可相慎候

一加人難波吉次引込ニ付右代真北岩蔵来ル

一阿州板野郡中留村兵助手代平兵衛一人例年之通藍玉売来候段京町今出屋半兵衛宿切手指出子六月十九日帰ル

一阿州名西郡桑島村平次兵衛手代庄助一人右同断来候段右同人宿切手指出六月十九日帰ル

十二月十二日　曇

一坪井町南側ニ而河原屋治助家屋敷寛政九年巳二月同町小塩屋茂右衛門取次ニ而壱貫匁之質入仕銀札貸置候所不相済不埒之段願出候付三十日限相済可申旨申渡候様大年寄へ申達ス

一林田町福吉屋音右衛門家屋敷寛政九年巳十二月同町上田屋久平取次ニ而質物ニ書入銀札壱貫匁貸置候所不致返済段願出候ニ付三十日限済方可申付旨大年寄へ申達候

一三町目次田屋善右衛門家屋敷寛政九年巳十二月西今町三倉屋善四郎取次ニ而銀札拾弐貫目坪屋藤十郎貸渡候所不相払候ニ付歎書差出百五十日限済方申付候様大年寄へ申達ス（子六月朔日相済）

一福渡町南側ニ而小文字屋源右衛門家屋敷表口六間裏行十七間但壱軒半役也西隣ハ畳屋甚助東隣ハ大工吉左衛門也右家屋敷戸川町吉田屋甚右衛門取次ニ而質物ニ書入銀札百目一ヶ月壱歩半之利足ニ而来子四月切借用仕度願承り届翌十三日証文差出（文化七午四月廿六日元利返済受戻し断書出ス）

一安岡町南側ニ而三原屋八蔵家屋敷表口弐間裏行拾七間但弐歩五厘役也東隣ハ小倉屋七右衛門西隣ハ橋留屋喜与松也右家屋敷同町松島屋清吉取次ニ而質物ニ書入銀札三百六拾匁来子ノ十月切但弐割之利足ニ相定借り受度願承り届同十四日証文差出

一阿州板野郡成瀬村曽右衛門一人例年之通藍玉売ニ来候段船頭町今岡屋熊吉宿切手差出翌子五月廿六日帰

一阿州名西郡高原村直兵衛手代平左衛門一人右同断来右同人宿切手差出右同断

一阿州板野郡高房村新兵衛一人右同断右同人宿切手差出候右同断

一江戸表河内志津馬ゟ書状到来左之趣御触達有之候由申来候
造酒共十分一役米差出候付減石之ものも有之哉ニ候付身分相応有躰ニ株高石高ニ不抱相改候様并我儘ニ減石不相成旨被仰出候段御触書来解兼候

十二月十三日　晴

一御用日登城
一材木町河内屋武兵衛義鍛冶場ゟ本琳寺出抜迄之川瀬ニ小船車四搗臼仕度願先達而差出郡代所へ懸ケ合置候所故障無之旨申来候ニ付御用番中へ相伺候所御聞済ニ付御大目附へ差出置御聞届申達候
一京町花屋権兵衛義太田村之内上之町宇八持分之田地借り受小水車臼数六ツ付相稼度尤冥加銀白銀壱枚当亥暮ゟ可相納旨願書差出郡代所へ懸ケ合置候所承り届候様申来候ニ付聞届候段大年寄へ申達候
一出羽守様来子二月御参府ニ付二月廿八九日三月朔日当所院庄御昼休申来候段郡代所ゟ通用有之下方へ申達ス
一西今町ニ年貢不納人有之組頭ニ而不訳立候ニ付町役呼寄候得共承知ニ而可参致返答いたし置不参甚不束之義ニ而障取代官下代致迷惑候由届出候付以来差支無之様ニ達呉候様郡代所ゟ申来其旨差心得差支無之様ニ可相達旨大年寄へ申達候
一大坂大和屋弥三郎ゟ市郷拾壱人之ものへ相懸り滞金出訴限日来候得共不差出候ニ付両役ゟ稠敷申付町方ハ安岡町橋留屋喜与松同町小倉屋卯吉茅町浅田屋松太郎西今町松田屋佐助右四人分金子四両差出候ニ付郡代所へ相廻候
一下紺屋町大溝之制札取計之義御作事奉行ゟ尋有之古代ハ当役ゟ取計候様ニ相見へ候所近例ハ大目附取計ニ候旨及返答候
一大保頭長兵衛平兵衛年中格別出精仕候ニ付工面ものゝ内ゟ為褒美弐朱ツゝ差遣度旨大年寄伺出承り届候
一茅町阿波屋治兵衛古川村助右衛門へ相懸り滞金出訴致郡代所懸ケ合三十日限済方被申付候所右滞金四百六拾匁受取相済候段願下ケ出し承り届書差戻候
一教信町講尺(ママ)入用八匁八分之手形喜左衛門差出例之通証文差出勘定奉行ゟ受取喜左衛門へ相渡候
一暮之町触先格之通差出候
一御廻米今日限積切候段御蔵元両人届出候

十二月十四日　晴

一御奏者番廻状到来左之通但町方へ廻勤申達候
従江戸表飛脚到来大守様益御機嫌能被成御座先月十九日上使本多丹下殿(幕府使者本多紫文)を以御鷹之雁御拝領被成候段申来候依之為御歓来ル十八日御徒格以上并御目見相済候部屋住ニ至迄四時登城可有之候

十二月十五日　快晴

十二月十六日　曇

一円宗寺村上分茂治入牢郡代所ゟ申来出番文蔵差向取計之
一久世手代鈴木弥太郎ゟ紙面差越又兵衛殿支配所御廻米今日切ニ当川岸積切候ニ付引取候段案内申越候ニ付及相答尤今津屋ゟも積切候段届出候

一生野御廻米今日ゟ積出候段今津屋ゟ届出候

十二月十七日　晴

一繰綿取締厳重ニ行届繰屋共も能堅相守候付為御酒代惣繰屋六拾四軒へ綿口銭之内を以銀弐枚差遣度旨蔵合孫左衛門伺出承り届候

一京都伏見海道五条上ル森下町近江屋勘兵衛一人例年之通小間物きせる卸売来候段美濃職人町松野屋十右衛門宿切手差出翌春正月八日帰

一大坂江戸堀三町目坪屋新兵衛手代吉兵衛一人例年之通小道具腰物売ニ来候段右同人宿切手差出同廿七日帰

一大坂常盤町弐丁目鍵屋吉兵衛一人例年之通紺屋形売来候段右同人宿切手差出同廿七日帰

一大坂天神橋筋南河原町目鏡屋平兵衛手代久治一人例年之通目鏡売来候段右同人宿切手差出同廿七日帰

一戸川町年寄平野助左衛門義四拾三ヶ年相勤候処近来病身ニ相成候付倅幸右衛門義名代ニ差出度願承り届

一新魚町北側ニ而豆腐屋又吉家屋敷表口弐間裏行九間但四歩役也東隣ハ桑名屋喜兵衛西隣ハ鉄砲屋庄助也右家屋敷寛政九巳三月樫野屋友三郎取次ニ而銀札弐百五拾匁借り受候所今般元利致返済受返し候届承り届

一右豆腐屋又吉家屋敷猶又備中屋甚七取次ニ而質物ニ書入来子三月切ニ銀札百七拾五匁借り受度願承り届同廿八日証文差出

十二月十八日　快晴

一御用日井御鷹之雁御拝領被遊候恐悦申上ニ付御徒以上麻上下着用四時惣登城御奏者番ゟ三奉行迄ハ例之通七間廊下へ罷出御二方様へ恐悦申上之畢而御用所へ罷出恐悦申上之大目附へも及挨拶

一二階町久美屋忠右衛門義当年造酒相休候段先月届書差出江戸表へ其段申遣置候処右株を林田町島屋文七へ相譲度旨願下ケ差出候ニ付右之段江戸表へ申遣候下案差添御用番中へ差出置大目附へも及噂置候同日御聞届相済候段被仰出候来ル廿日可差遣事

一大目附廻状到来左之通

御家中薬礼之儀御差支之御場合ニ付御取計難行届候依之乍少分医師夫々江薬礼被成下候得共不足も可有之候間其上ハ銘々手繰勝手次第ニ取計可申候薬礼被下候割合之義ハ勘定奉行へ相達置候間承合可被申候尤来ル廿日迄ニ薬数之書付可被差出候此段及演達候

一支配之者共服薬員数左之通銘々書出候ニ付大目附へ差出候

四百六十五服神田栄治　百十五服萩野嘉七

百十服堀内利右衛門　八十五服本島庄蔵

八十五服江原文蔵　三十三服加藤清右衛門

百三十服中尾清八

〆千弐拾三服

一造酒屋共公儀ゟ御改有之由ニ而久世手代共当所へ改ニ来候由之沙駄森原村庄屋ゟ立石広助承り候趣郡代所へ申出候段為知有之候ニ付右書付御用番中へ差出大年寄共へも其段内々申聞下方不束無之様精々心付候様ニ内々及差図候御用所ゟ下り候上大目附へも差出候

一御蔵米四拾七匁　町米四拾三匁

一勢州安芸郡白子村形屋忠左衛門手代万助一人例年之通紺屋形売ニ来候段美濃職人町松の屋十右衛宿切手差出翌年正月八日帰

一伊勢山田御炊太夫名代西藤兵衛と申御師上下弐人例年之通来候段右同人宿切手出（翌年四月廿一日帰）

一元魚町大庭屋善兵衛家屋敷去戌三月廿一日質物ニ書入銀札三貫目借り受候段元利返済候段届書差出承り届候

一中之町山西屋要助へ相懸り林田上之町長吉ゟ滞銀去戌五月九日申出済申付候処不相済候ニ付同六月十二日家財書認書付郡代へ相廻置候所弥不相済候ニ付家財受取可申申出候間明十九日九時村役差添可差出候間家財相渡候様相達呉候様郡代所より申来其段御用番中へ伺済之上引渡候様可申付旨大手寄へ申達候

一三丁目佐和屋孫四郎義西筋へ用事有之罷越候序ニ商売躰之義ニ付造酒屋共従公儀御改有之義中洲（マヽ）賀久世勝山辺ニ而噂承り候処公儀御証文を以被改候由并国守方へ者御普請役被相廻候由専取沙駄有之旨噂書差出候由ニ而大年寄差出翌十九日御用番中へ差出候翌日御下ケ被成候ニ付大目附へ差出候

十二月十九日　晴

一堺町太布屋万吉所持之造酒株高七拾八石七斗五升酒造高弐百壱石五斗八升之株此度勝手付当十二月ゟ来子八月迄京町吉田屋喜八郎へ借し渡度願承り届

一中之町山西屋要助家財林田上之町長吉へ町役村役立合引渡相済候段届出候

一繰綿口銭左之通取集割渡度旨大年寄伺出承り届

繰綿口銭取集割合左之通

一上綿百拾三本半　中綿拾六本　大坂屋鉄五郎

一上綿九百九拾五本半　中綿百七拾八本　並屋忠兵衛

一上綿千百拾九本　高瀬屋勘右衛門

一上綿九拾五本　和泉屋清助

一上綿弐千七百八拾九本　中綿四拾壱本半　能勢屋源助

一上綿弐百九拾弐本　中綿拾七本　豊屋喜兵衛

〆上綿五千四百四本　中綿弐百五拾弐本半　合五千六百五拾六本

半但（上綿口銭壱匁　中綿口銭五分）

右口銭合五貫五百三拾目弐分五厘

問屋へ割渡左之通但納候銀高六歩也

一七拾弐匁九分　大坂屋鉄五郎

一六百五拾匁七分　並屋忠兵衛

一六百七拾壱匁四分　高瀬屋勘右衛門

一五拾七匁　和泉屋清助

一壱貫六百八拾五匁八分五厘　能勢屋源助

一百八拾匁三分　豊屋喜兵衛

〆三貫三百拾八匁壱分五厘

一壱貫四百三拾七匁八分六厘　改役四人（江但弐歩六厘ノ割）

一百五拾匁　両中買拾九人へ酒代

一六拾匁　大村屋源右衛門へ

但右ハ問屋付之外船積之分調方勘料尤歩割ニ不抱差

遣候義ニ候得共強而歩割ニ致候得者壱厘六毛ニ相当
り候由

一弐百五拾匁　　樫野屋茂一郎へ

但右ハ惣繰綿船積改料尤歩割ニ不抱差遣候義ニ者候
得とも強而歩割付候得者四厘五毛余ニ相当り候由尤
源右衛門茂一郎ハ当年始事也

〆壱貫八百九拾七匁八分六厘

右渡合五貫弐百拾六匁壱厘

一百拾三匁壱分八厘　　改人手前諸入用小手形之通

一八拾六匁　　惣くり屋六拾四軒へ御酒代遣

右差引残而百拾五匁六厘大年寄諸吟味預り（抹紙）

十二月廿日　晴昼後曇

一公儀御触左之通造酒屋共へ触達取計候様大目附ゟ達有之造酒屋共
へ相触候

松平伊豆守殿御渡候御書付写大目附へ

酒造之義唯今迄造来候米高并株高共書付差出之事天明八年申
渡之節銘々造高ヲ余分ニ書出置候向も不少歟此節ニ至候而者
又前々と違ひ従来是迄も格別ニ減し造来候者共多分之趣今般
其旨頻ニ相聞事実相違成次第何れニも不束之事共ニ候全躰酒
造之義者年々豊凶ニ随造高之御処置も有之事ニ候処右之通造
高書出ニ相違多候而者其詮無のミならす却而妨多キ事ニ至不
取締之義ニ候条酒造致候もの共自今以来前々之高ニ無構其身
之分限ニ応し実を得候造高之義を改而申出させ不猥様ニ可申
付候都而無故我儘ニ造高を増減不致有子細旨其儀ニ及候ハ、
是又其訳を御勘定奉行へ申立候様可被致候

右之趣御料者御代官私領者領主地頭并寺社領共可得其意候尤
隠造増造之義者弥厳重其向々ニ而穿鑿可申付候

十一月

別紙　大目附へ

去年相達候酒造役米之義追而及沙駄候迄者先不及差出候

一河内志津馬ゟ右造酒取計一件之義先日申来御館入豊田勇蔵へ聞合
候書面も来り候処向方御並方ニ而も区々相心得候ものも有之御趣
意不相分候間造酒屋改并届等之義も見合可申猶又追而可申越旨申
来候付右相答之返書郡代両名ニ而今日之便ニ遣候勿論御用番中へ
伺済之上取計候

一二階町組屋忠右衛門造酒株林田町島屋文七へ相譲度願書も今日之
便ニ御留主居江申遣候

一大坂長沢清左衛門ゟ書状到来大和屋弥三郎猶又再訴申出候段申来
右ハ市郷十人之もの共金子取立置候処御便無之延引ニ相成候段申
遣則今便郡代所ゟ連名ニ而被相廻候

一西今町南側ニ而直屋孫四郎家屋敷表口五間裏行拾五間但四歩六厘
役也西境者横町通り東隣ハ直屋孫四郎居宅也右家屋敷代銀弐貫匁
ニ相極町内山際屋和兵衛へ売渡度願承り届同廿三日売券状差出

一美濃職人町南横町東側ニ而綿屋忠助家屋敷表口七間裏行拾五間但
壱軒役也北隣ハ沢田屋善助南隣ハ浅川屋与七也右家屋敷之内北之
方ニ而表口三間裏行拾五間但四歩役付代銀札壱貫百匁ニ相極町内

作人与治兵衛へ売渡度願差出承り届同廿三日売券状差出
一右同人家屋敷之内南之方ニ而表口四間裏行拾五間六歩役付（代銀壱貫八百匁ニ相極）○隣家浅川屋与七へ売渡度願承り届右同断
一西今町中屋忠右衛門家屋敷北側ニ而表口四間裏行拾五間但七歩五厘役也東隣ハ永田屋喜七西隣ハ永延屋彦右衛門也右家屋敷并土蔵壱ヶ所相添質物ニ書入坪井町井口屋利兵衛取次ニ而銀札壱貫百匁一ヶ月壱歩弐朱之利足ニ而来子ノ八月切ニ借用仕度願承り届翌々廿三日証文差出文化七庚午三月廿日元利済受戻ス届出ス
（朱書）一西新町南側ニ而飯綱屋万蔵家屋敷表口三間裏行拾七間但六歩役也西隣ハ伊木屋源右衛門東隣ハ飯綱屋源兵衛也右家屋敷并弐間ニ三間之土蔵弐ヶ所并壱間半ニ弐間半之部屋壱ヶ所都合三ヶ所質物ニ書入東新町並屋忠兵衛取次ニ而銀札六百五拾匁一ヶ月壱歩半之利足ニ相定来子ノ十月切ニ借用仕度願承り届同廿五日証文差出丑十二月一日元利済受返ス

十二月廿一日　快晴

一加人寺坂兵治引込ニ付下山忠治来候処痛所有之右代り三森八十吉来
一石松院振國徳守宮於社地有之昼廻り被相頼利右衛門清蔵罷出候処無別条相済候段夜ニ入届出候

十二月廿二日　快晴

一二階町山手屋理兵衛家守石右衛門借屋住南屋藤右衛門家内三人七月五日四国遍路罷出候処病気ニ付今五十日日延願承り届同廿四日罷帰
一新職人町南側ニ而作人市助家屋敷表口三間裏行拾四間半但本役也東隣ハ白銀屋岩治西隣ハ高畠生斎也右屋敷之内ニ而裏南端ニ而東西三間南北四間但弐間ニ三間之部屋共御役弐歩付隣家高畠生斎へ代百弐拾匁ニ売渡度願承り届
一福渡町浜屋亀四郎家守忠吉借屋住作人文治義不罷帰旨十一月廿二日御届仕百日尋被仰付候所伯州山市場村武右衛門方ニ居候由昨日罷帰候段届出候ニ付無願致他国候段急度叱置帰住差免候様大年寄へ申付候
一二階町東側ニ而田原屋武兵衛後家家屋敷表口五間裏行拾七間但壱軒役也北隣ハ出雲屋与次右衛門南隣ハ組屋忠右衛門也右家屋敷去戌十一月十四日畳屋佐吉取次ニ而質物ニ書入銀札五百匁借り受候処此度元利返済受返候届承り届同廿五日証文差出
一右同人家屋敷猶又今般質物ニ書入京町野田屋佐右衛門取次ニ而銀札四百匁借り受度願書差出承り届
一林田町三升屋勘吉母并妹弐人右三人西一ノ宮村和平次役介（ママ）ニ差遣度人別除願下方引合相済候段申出承り届
一牢舎扶持弐俵内貸証文差出奥印書取計之但来子ノ正月へ持越米弐斗弐升壱合弐勺有之候処猶又右内貸ニ而二月へ持越米弐斗六合弐勺五才有之積り也
一牢屋払六拾弐匁弐分弐厘服薬料百五拾匁六分有之右之内役筋払五拾匁引残而六拾九匁八分弐厘証文致印形差出候
一柳土手ニ而無宿者賄代并非人酒代八匁五分証文差出奥書取計之
一目明共他領富之節両度差遣候入用七匁六分九厘証文差出是ハ以前

不被下義ニ候得共申付差遣致一宿入用之義故不差遣候而ハ不相済訳ニ付当年初而致奥書差出候

十二月廿三日　快晴

一御用日登城

一林田町川島屋十兵衛借屋住中野屋新助夫婦娘弐人忰佐助右家内五人脇坂淡路守殿預り所当国勝南郡瓜生原村斧八方へ為引越人別除願御用番御聞済ニ付大目附へ差出置御聞届申達候

一大久保安芸守殿領分当国久米北条郡神代村義兵衛弟茂兵衛夫婦忰岩太郎右家内三人林田町岩佐屋善七引受度人別入願右同断取計済

同廿九日住宅証文差出

一二階町宮田喜左衛門家守長八借屋住作人源蔵忰重蔵義六月十六日出奔九月七日百日尋申付候所弥行衛(マヽ)不相知最早百日余ニ相成候付人別除差出右同断取計済

一布施孫三郎殿支配所当国西々条郡山城村助五郎夫婦弐人享和元酉九月八日戸川町平野屋助左衛門方へ引受候所此度伯州八橋郡箆津村奈良屋伊助方へ為引越度人別除願右同断取計済

一町方静謐ニ者御座候得共及月廻候ニ付壱町切全躰引夜廻り来ル廿五日之夕ゟ申付度旨御用番中伺済ニ付大目附へ相届置其段大年寄へ申渡候尤当年者目明并非人加廻りハ先見合可申段申上置候

一牢番共暮之受取もの書付差出大目附上印取之相渡候

一加人植月清蔵引込ニ付代り野尻太市来候段昨夜届出候

一吹屋町南側ニ而釜屋孫三郎家屋敷地表口四間壱尺裏行拾壱間但壱軒役也東隣ハ吹屋利兵衛西隣ハ瓜生原屋勘助也右屋敷地代銀百目ニ相極町内釜屋市郎右衛門へ売渡度願承り届同廿八日売券状差出候

一坪井町南側ニ而塩屋直之助所持之家屋敷表口三間半裏行拾七間但壱軒役也東隣ハ小塩屋岩治西隣ハ沢野屋伝六也右家屋敷代銀壱貫八百目ニ相極町内静虎屋利兵衛へ売渡度願承り届同廿六日売券状差出

一御領分林田上之町甚七弟伝吉并忰伝治并娘周右家内三人東新町飯綱屋石右衛門引受度人別入願下方引合相済候段申出承り届

一中之町小山屋与三右衛門所持之宿屋株去ル酉六月六日林田町福吉屋安右衛門へ預ケ置候処右宿屋株同人江相譲度願承り届尤小山屋与三右衛門ハ宿屋頭相勤居候付頭役差免候段可申達勿論差当り跡宿心当りも無之ニ付先当分松野屋十右衛門壱人ニ為相勤候段大年寄申出承り置

一加人三森八十吉外御用ニ付引替ニ相成右代荒木源四郎来

一牢屋取計之節之九月迄之酒代六匁六分相渡候

一牢屋入用役所ゟ払分例年之通五拾匁相渡候

十二月廿四日　快晴

一繰綿懸り之もの共賞詞伺置候処昨日も御沙駄無之候ニ付罷越御用番中へ相伺候所当年者都而御賞類等之被仰渡無之ニ付上ゟハ御賞詞無之候得共役所切之取計ニ候ハヽ勝手次第之旨昨日大目附へ達置候由被仰聞候付綿役之もの共ハ元来上ゟ被仰付候程之役名ニも無之大年寄以下之取計之義ニ候所当年ハ見込之通行届候義ニ付以後懈り出来候而ハ不宜候間当役切之賞詞可申渡旨申上置其段大目

附へも相達置左之通申渡候

一繰綿取扱之義元来其方共心付を以　蔵合孫左衛門
取計候所兼而見込之通他邦迄も行届　宮田喜左衛門
奇特之事ニ候猶又無油断精々心を付可取計候以段役筋ゟ之賞
詞申達候

一船方改格別出精相勤太儀之事ニ候　樫野屋茂一郎
此段役筋切賞詞申達候

一繰綿改厳重ニ取計締方も
行届他邦迄も相用候趣奇特
之事ニ候此段当役場ゟ賞詞申
達候猶又以来も無油断厳重ニ
可取計候
（並屋忠兵衛
大村屋源右衛門
米屋長兵衛
生綿屋喜右衛門）

但綿改之節袴致着用中買共と差別付度内含之趣も相聞候所
此義ハ役筋ゟ可及差図筋ニ無之下方勝手次第之事ニ候得共
聢と袴着用と相極候ハヽ必定故障出来之程も難計ニ付以後
故障も不出来義ニ候ハヽ如何候様とも勝手次第ニ可致候

右五人之もの共へハ大年寄宅ニ而申渡候様口達ニ而申達候

一山北村兵蔵方へ去ル十二日夕盗賊這入衣類五品代ニ積り三拾五匁
位之もの被盗取候触流し取計候様大目附ゟ達有之町触取計本書ハ
指戻し同廿九日無之段申出候

一深信院様明廿五日五半時御供揃ニ而蔵田町通り泰安寺妙法寺へ御
仏詣被成候段種村登村ゟ申来例之通小頭并大年寄へ申達候

十二月廿五日　雨雪

一深信院様両寺御仏詣無滞相済候段文蔵嘉七届出候

一堀坂村重吉と申もの西吉田村文七と申ものへ昨廿四日八時頃中之
町ニ而薪を引懸ケ致怪我候由ニ而六ヶ敷取合ニ相成平岡屋忠左衛
門方へ引込居疵所も無之候得共甚とうたれ候趣ニ付昨夜廻り文蔵
嘉七取扱セ候得共右文七承知不致双方共追々同村之もの来り懸ケ
合居候得共兎角不相済何れ当所差構無之事故其儘捨置候由今暁両
人とも引取届出候

一和田村百姓弥吉并□□□□穢多音之助吉五郎音右衛門右四人郡代
所ゟ牢番預ケ申来り昼廻り利右衛門太市差向取計之

一御蔵米四拾八匁五分　町米四拾四匁五分

十二月廿六日　雪

一坪井滝口儀右衛門ゟ為寒中見廻例年之通鰹節弐拾来り及相答

一河内志津馬ゟ返書到来組屋忠右衛門造酒相休候義并水谷弥之助殿
へ之米相場書相届候義致承知候旨申来候

一□□□□穢多藤五郎長蔵并□□□□非人番音八右三人郡代所ゟ牢
番預ケ申来当番岩蔵事又作差向入牢取計之

一関貫番賃銀例歳之通昨廿五日相渡候

十二月廿七日　（ママ・書漏れ）

一昨夜更廻り栄治利右衛門嘉七源四郎差出候処町分ハ無別条候由然
ル所生野御廻米積ニ来届候栗子仁兵衛船中ニ而備前赤坂郡小倉村
長吉勝南郡安井村伊之助同村猪之助右三人博奕いたし居見咎候処
三人共他領もの殊ニ今朝御廻米積受罷帰候もの共ニ付以来右躰之
義仕間敷旨一札取差免候段届出其段御用番并大目附へ相届候

一江原文蔵不快引込届出候ニ付加人大目附へ申達候所福井小左衛門来

一林田町山本三右衛門所持之家屋敷北側ニ而表口六間裏行拾五間五尺但本役也東隣ハ鍵ヤ勘七後家西隣ハ備前屋武兵衛也右家屋敷之内西之方ニ而表口三間半裏行拾五間五尺御役六歩附代銀札八百目ニ相極町内辰野屋喜助へ売渡度願承り届（同廿九日売券状出）

一伏見町南側ニ而玉屋源太郎家屋敷表口三間裏行弐拾六間但本役也東隣ハ原ヤ九兵衛西ハ通横町也右家屋敷代銀札三百六拾匁ニ相極吹屋町角屋清右衛門へ売渡度願承り届同廿九日売券状差出

一御領分西北条郡西一ノ宮村広瀬雅楽弟八百吉義三ヶ年以前酉八月朔日船頭町和泉屋清助養子ニ引受候処離縁仕親元へ差返度除帳願下方引合相済候段申出寺社取次野条金平へ引合之上承り届

一種油四匁三分売之処以後四匁五分売仕度願承り届

一牢屋賄入用余り当正月ゟ五月迄之分拾弐匁弐分五厘牢番共差出候付両人共呼出例之通以後締之義申達差遣候尤五月後ハ牢舎人少故賄余り無之旨ニ候

一郡代所ゟ牢舎人穢多甚吉呼出し申来昼廻又作嘉七出番利右衛門出入取計之

一来子ノ年油方年行司安岡町大黒屋利兵衛へ申付度喜左衛門伺出承り届

一備中早島之もの昨夜坪井町畑屋弁蔵店へ泥わらし（乞食）ニ而駆上り狼藉ニ付目明孫兵衛呼寄為相糺候所右早島之もの甚酒ニ給酔居申聞候者唯今爰ニ而備前ニボリ之亀蔵と申ものニ羽織を被剥取此家へ駆込候様ニ存追懸ケ踏込候由申聞候得共右亀蔵と申ものハ這入不申右備前ニボリ之亀蔵と申ものハ当時尾上八十七長屋ニ罷在同人義此間も沢野ヤ嫁之銀之笄を夜中途中ニ而抜取井後藤屋孫市家族之笄を途中ニ而抜取候ものも必定同人之様ニ被察候ニ付尾上江者孫兵衛兼而懇意ニ付今朝罷越候処長屋之かゝ申候者昨夜友たち之羽織泥付候由ニ而親父こし被申候由申候其節表ニ亀蔵声もいたし候様ニ相聞候付直ニ表へ参候所右亀蔵ハ勘当ものニ而長屋ニ者居不申候由八十七申聞井羽織裏ニ者無之旨内義被申聞候畢而海老原殿ゟ孫兵衛方へ使来り亀蔵ハ海老原ニ者居不申尾上裏門ゟ逃去り候を見懸ケ候もの有之由被仰下候由新左衛門を以孫兵衛申出候付非人共申付急ニ相尋候様申付候尤右之段翌廿八日御両所へ相届候

十二月廿八日　雪

一御用日ニ付先格之通麻上下着用登城尤御年限中ニ付歳末御祝儀申上無之

一西今町安田屋清助方へ去ル廿三日夕盗賊這入綿入壱ツ銀札八匁被盗取候届書差出市郷触流之義伺済ニ付大目附へ差出置町触差出候正月八日無之段届出候

一元雲州出生当時備中惣社村住帳外無宿金蔵と申もの昨晩元魚町二文字屋店ニ而綿入壱ツタナガへいたし召捕柳土手ニ而相糺候処外ニ而悪事ハ不致旨目明孫兵衛届出直ニ追放候而も可然もの ニ候得共此節之義故直ニ立帰候程も難計ニ付春迄柳土手ニ留置二日三日頃ニも追払候様ニ申付置今日右之段御両所へ及御沙駄候

一御年限ニ付医師へ薬礼被下足軽之分ハ当人井両親井妻ニ者被下候

得共其余家族共之分ハ不被下候旨大目附上原彦蔵ゟ申来堀内利右衛門加藤清右衛門子供之服薬之書付相戻候ニ付其段小頭江申達候

一下高倉村東分代治郎郡代所ゟ牢番預ケ申来出番又作差向入牢取計之

一宿屋株之もの共ゟ御用宿ニ者商人不差留候様被仰付被下候様歎書指出右ハ寛政十一年巳四月御定申達候事ニ而商人たり共一夜宿ハ不苦筋株付之もの連日御用宿ニ為泊候義ハ不相成義ニ付大年寄共存寄承り候所一夜泊之商人不為泊と申候而ハ手狭ニ相成不宜候間御用宿ニ連日為泊候もの有之候ハヽ相改可申出何分寛政十一年被仰出通堅相守候様申達願書御下ケ被成可然旨申出候付任其意願書差戻宜申達候様申渡

十二月廿九日　快晴

一安岡町岡崎屋善吉後家方へ去ル廿六日之夕盗賊這入土蔵之壁を切繰綿弐本盗取候届書指出紙面ニ而御用番中へ差出大目附へも相届候

一大目附上原彦蔵ゟ闕所銀ニ而被下取計候先例有之候ハヽ承り度旨尋有之右例書抜昨廿八日同人江差出候

一安岡町岡崎屋善吉後家方之盗賊之義目明孫兵衛申出候者岡崎屋ニ三四年巳前召仕候下人備中者去ル廿七日繰綿弐本弓削之方へ持出途中ニ而一方村之もの弓削迄賃持いたし代四匁貰候由右善吉方盗賊之様子承り一巳之身はれ之為岡崎屋方へ来右之段相咄尤福渡迄持参候由申候ニ付嘸此節ハ福渡ニ居可申誰ソ被参候ハヽ案内可致由申聞候由申候趣申出相違も無之趣ニ付直ニ孫兵衛ニ非人弐人右一方之者召連罷越急ニ召捕候様申付銀札五拾匁闕所銀之内ゟ取かへ相渡置右之段紙面ニ而御両所へ相届候

一牢舎人□□□□穢多甚吉出牢帰村郡代所ゟ申来嘉七差向出牢取計之

津山郷土博物館紀要第二十七号
津山松平藩町奉行日記二十一
平成二十五年三月三十一日発行
編集
発行　津山郷土博物館　©
岡山県津山市山下九二番地
印刷　株式会社　廣陽本社
岡山県津山市田町二一二